

男女共同参画・多文化共生に関する
市民意識調査結果

令和6年度
湖西市

目次

1. 調査概要	1
I 調査目的	1
II 調査設計	1
III 回収結果	1
IV 報告書をみる際の注意事項	1
2. 調査結果	3
I あなたのことについて	3
①性別	3
②年齢	3
③居住地区	4
④職業	5
⑤業種	7
⑥未婚・既婚	10
⑦配偶者・パートナーの職業	11
⑧同居家族	13
⑨同居している一番下の子ども	16
⑩介護の状況	19
II 以下の言葉・考え方について	20
①男女共同参画の認知	20
②リプロダクティブ・ヘルス/ライツの認知	21
③性的マイノリティ（またはLGBTQ+）の認知	22
④多文化共生の認知	23
III 社会における男女平等について	24
①性別役割分担意識についての考え方	24
②家庭生活の平等感	25
③職場の平等感	26
④学校教育の場の平等感	27
⑤地域（自治会・PTA等）の平等感	28
⑥政治の場の平等感	29
⑦法律や制度の上の平等感	30
⑧社会通念や慣習・しきたりの平等感	31
⑨男女平等を達成するために重要なこと	32

IV 家庭生活における役割分担について	35
①生活費を稼ぐことについての考え方	35
②日常の家計管理についての考え方	36
③高価な契約（住宅・車など）についての考え方	37
④食事作りについての考え方	38
⑤洗濯についての考え方	39
⑥掃除についての考え方	40
⑦ゴミ出しについての考え方	41
⑧日用品の買い物についての考え方	42
⑨こどものお世話についての考え方	43
⑩こどもの進路決定についての考え方	44
⑪家族の介護についての考え方	45
⑫地域行事の役員についての考え方	46
⑬地域行事への参加についての考え方	47
⑭家事の外部化についての考え方	48
⑮育児の外部化についての考え方	49
⑯介護の外部化についての考え方	50
V 職業や労働、ワーク・ライフ・バランスについて.....	51
①「女性と職業」についての考え方	51
②現在の女性の働きやすさ	52
③女性が働きやすくない原因	53
④育児休業・休暇を男性が取得することについての考え方.....	56
⑤介護休業・休暇を男性が取得することについての考え方.....	57
⑥育児休業・休暇を男性が取得する環境	58
⑦介護休業・休暇を男性が取得する環境	59
⑧理想の生活（「仕事」「家庭生活」「個人の生活」）	60
⑨現実の生活（「仕事」「家庭生活」「個人の生活」）	61
VI DV（ドメスティック・バイオレンス）やセクシュアル・ハラスメントについて.....	62
①平手で打つ場合、DVだと思うか	62
②足で蹴る場合、DVだと思うか	63
③からだを傷つける可能性のある物などで殴る・物を投げる場合、DVだと思うか.....	64
④殴るふりをして、おどす場合、DVだと思うか	65
⑤大声で怒鳴る場合、DVだと思うか	66
⑥家族や友人との関わりを制限する場合、DVだと思うか.....	67
⑦電話・メール・SNSを細かく監視する場合、DVだと思うか.....	68
⑧ほかの異性との会話を許さない（同性パートナーの場合は同性）場合、DVだと思うか.....	69
⑨何を言っても長時間無視し続ける場合、DVだと思うか.....	70
⑩「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う場合、DVだと思うか.....	71
⑪生活費を渡さない場合、DVだと思うか	72

⑫相手の金品を勝手に使ったり、借金を強要する場合、DVだと思うか.....	73
⑬嫌がっているのに性的な行為を強要する場合、DVだと思うか.....	74
⑭避妊に協力しない場合、DVだと思うか.....	75
⑮暴力を経験したり見聞きしたりしたこと.....	76
⑯暴力を受けたときの対応.....	78
⑰セクシュアル・ハラスメントを経験したり、見聞きしたりしたこと.....	81
⑱セクシュアル・ハラスメントを受けたときの対応.....	83
⑲あなたの心身や暮らしに悪影響を与えるような傷つき体験.....	86
⑳女性が困難な状況から回復するために重要なこと.....	87
VII 性的マイノリティについて.....	90
①周りの性的マイノリティの有無.....	90
②身近な人から、性的マイノリティであると打ち明けられた場合の態度.....	91
③性的マイノリティが生活しやすくなるために重要な施策.....	93
VIII その他について.....	96
①男女共同参画の視点で災害に強い地域をつくるために重要なこと.....	96
②市政への女性の意見の反映.....	98
IX 多文化共生にかかわることについて.....	99
①外国人との付き合い.....	99
②外国人と付き合いがない理由.....	102
③近所で会えば挨拶をする外国人.....	103
④地域で暮らす外国人に対する親しみ.....	104
⑤地域や職場において外国人から受けた影響.....	105
⑥外国人は、日本語を身につけたほうが良いか.....	107
⑦外国人は、日本の文化やルールを知ったほうが良いか.....	108
⑧外国人は、地域の活動に積極的に参加したほうが良いか.....	109
⑨行政は、外国人が日本語や文化を学べるよう援助したほうが良いか.....	110
⑩行政は、外国人がかれら自身の言語や文化を守れるよう援助したほうが良いか.....	111
⑪日本人は、地域に住む外国人の言語を学んだほうが良いか.....	112
⑫日本人は、地域に住む外国人の文化やルールを知ったほうが良いか.....	113
⑬日本人は、地域の活動に外国人を積極的に受け入れたほうが良いか.....	114
⑭地域で暮らす外国人と接するとき困ったこと.....	115
⑮地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするためにすべきこと.....	116
⑯日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために行政が力を入れるべき取り組み.....	118
3. 調査票.....	121

1. 調査概要

1. 調査概要

I 調査目的

湖西市民の男女共同参画及び多文化共生に関する考えや意見を聞き、今後の計画の策定・推進の参考とするために実施しました。

II 調査設計

調査対象：湖西市在住の18歳以上の男女

調査方法：郵送配布、郵送またはWEB回収

抽出方法：層化無作為抽出

調査期間：令和6年11月5日（火）～ 令和6年11月25日（月）

調査機関：株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所

III 回収結果

発送数	回収方法	回収数	有効回収数	有効回収率
2,000件	郵送	602件	602件	30.1%
	WEB	204件	204件	10.2%
	合計	806件	806件	40.3%

IV 報告書を見る際の注意事項

- ①基数となるべき実数はnとして記載しています。
- ②比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。
そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ③複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ④全体の上位3つについてコメントしています。また、属性でのコメントについては、全体の1位とその属性の1位が異なった場合にコメントしています。

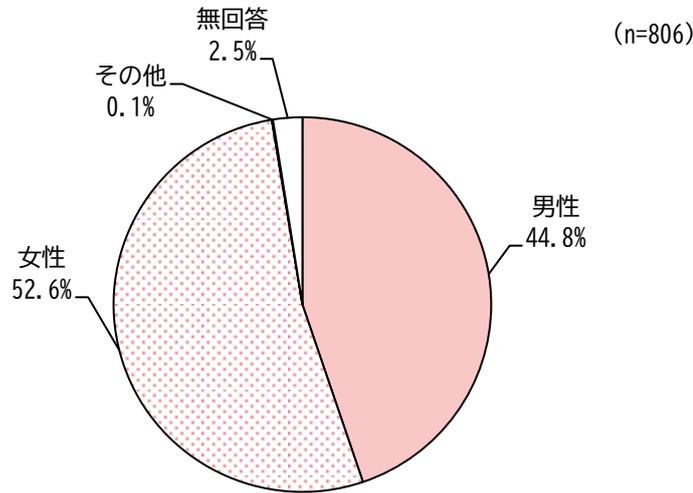
2. 調査結果

2. 調査結果

I あなたのことについて

①性別

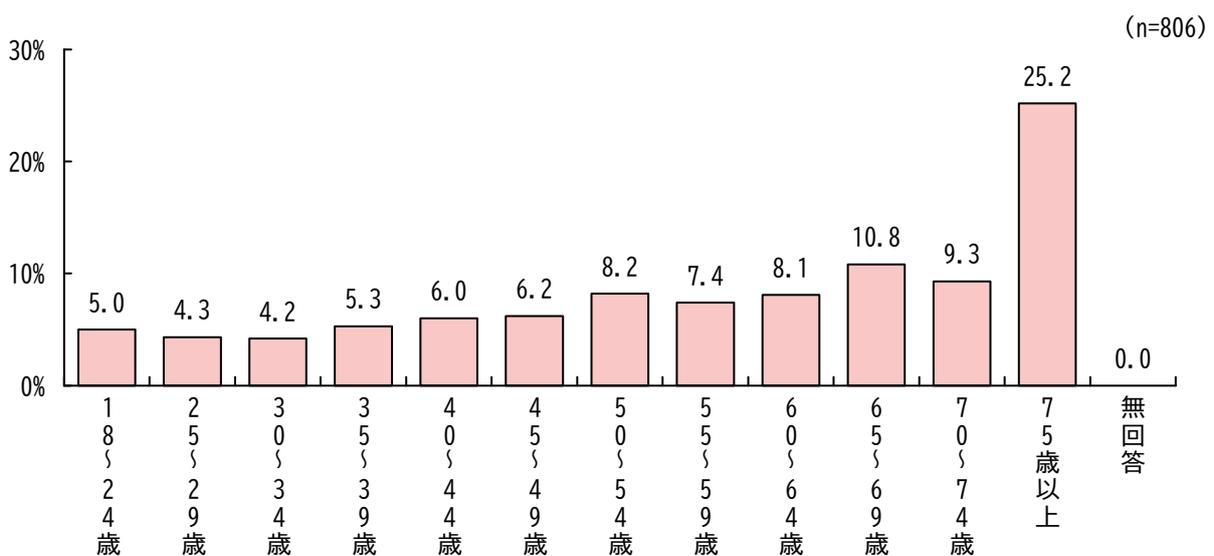
問1 性別（1つを選択）



性別では、「男性」が44.8%、「女性」が52.6%、「その他」が0.1%となっています。

②年齢

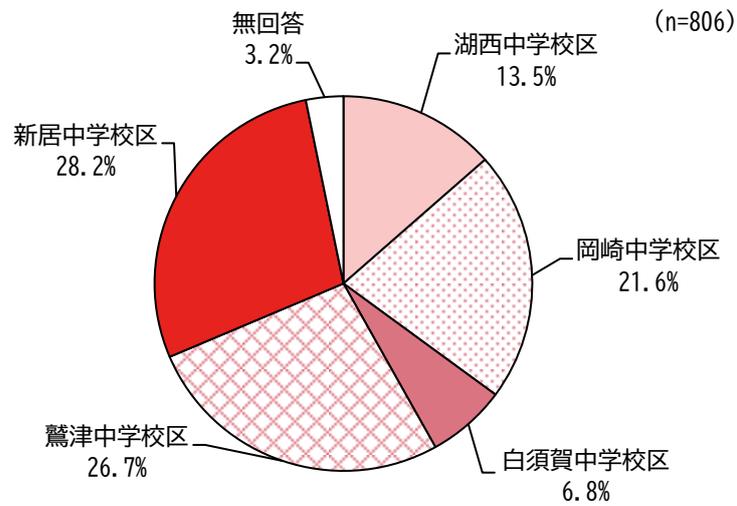
問2 年齢（1つを選択）※令和6年11月1日現在



年齢では、「75歳以上」が25.2%と最も多く、次いで「65～69歳」が10.8%、「70～74歳」が9.3%などとなっています。

③居住地区

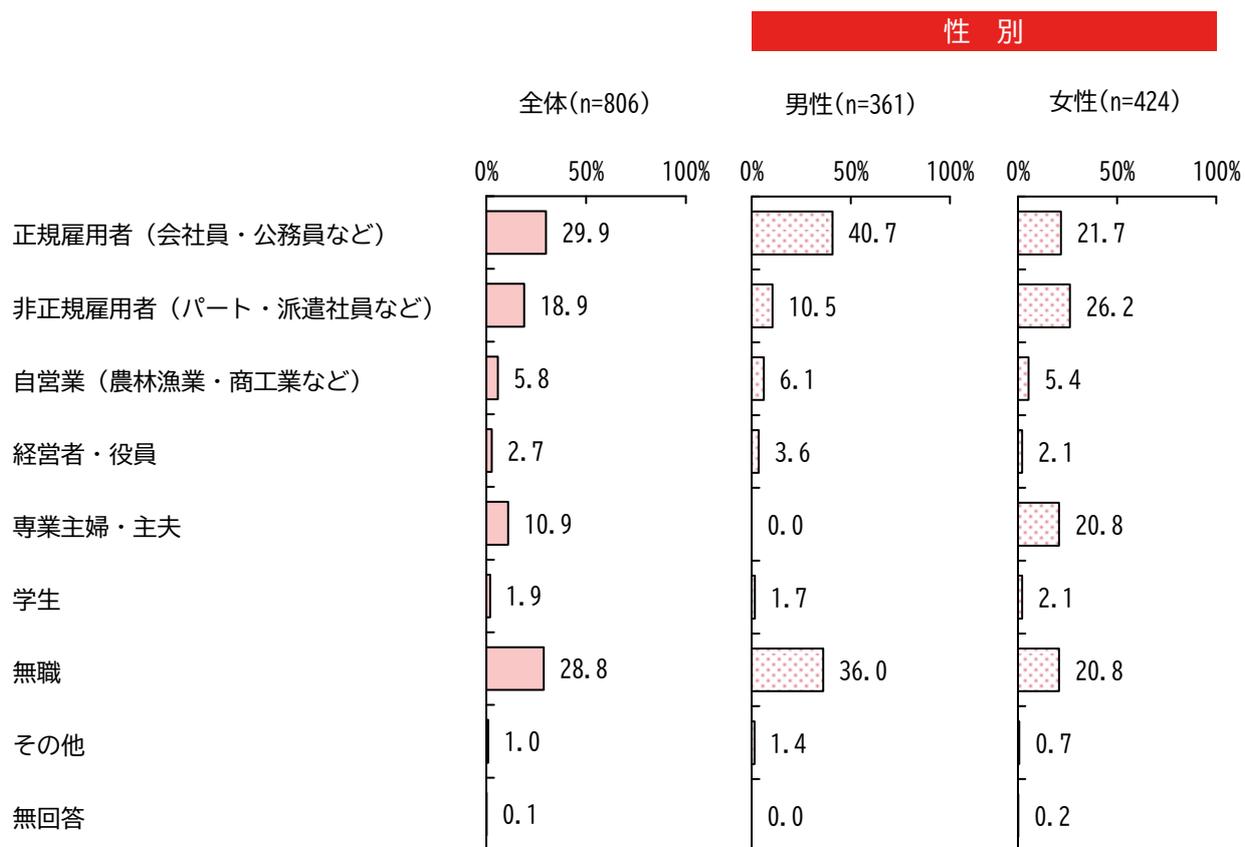
問3 お住まいの地区（1つを選択）



居住地区では、「新居中学校区」が28.2%と最も多く、次いで「鷺津中学校区」が26.7%、「岡崎中学校区」が21.6%などとなっています。

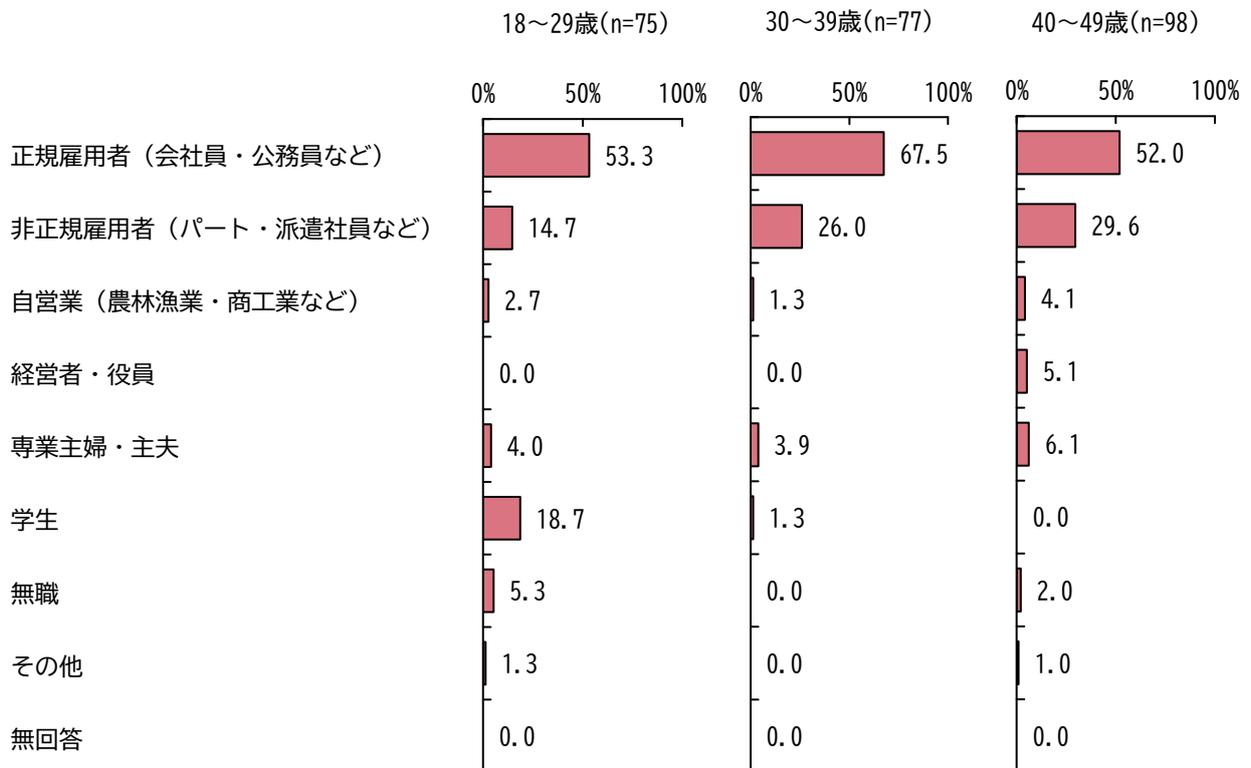
④職業

問4 自身の職業（1つを選択）※兼業の方は主なものをお選びください。

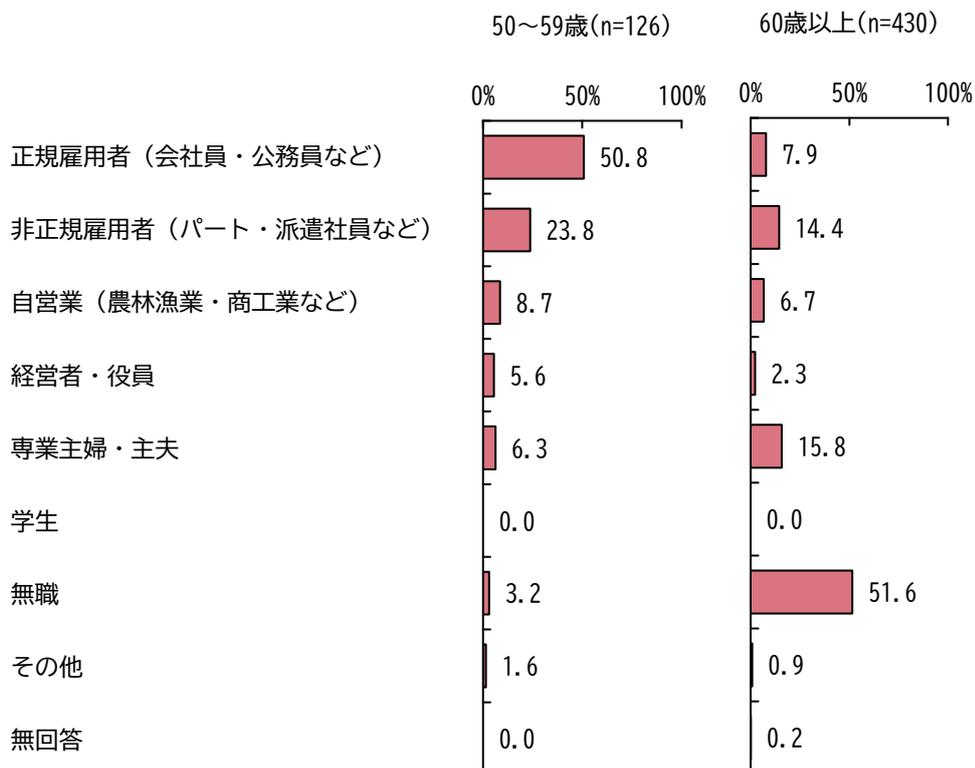


職業では、「正規雇用者（会社員・公務員など）」が29.9%と最も多く、次いで「無職」が28.8%、「非正規雇用者（パート・派遣社員など）」が18.9%などとなっています。

年 齢 別



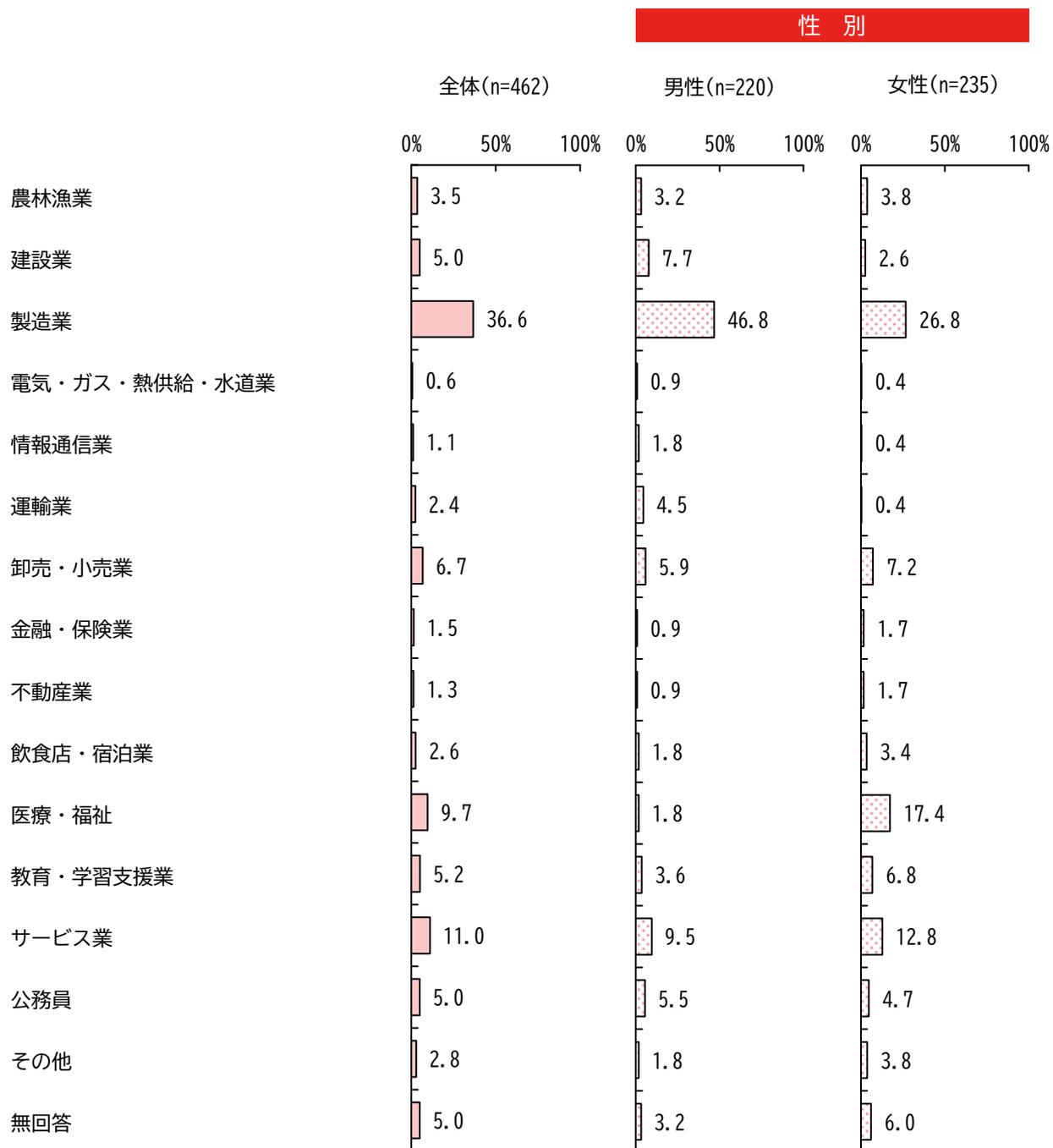
年 齢 別



⑤業種

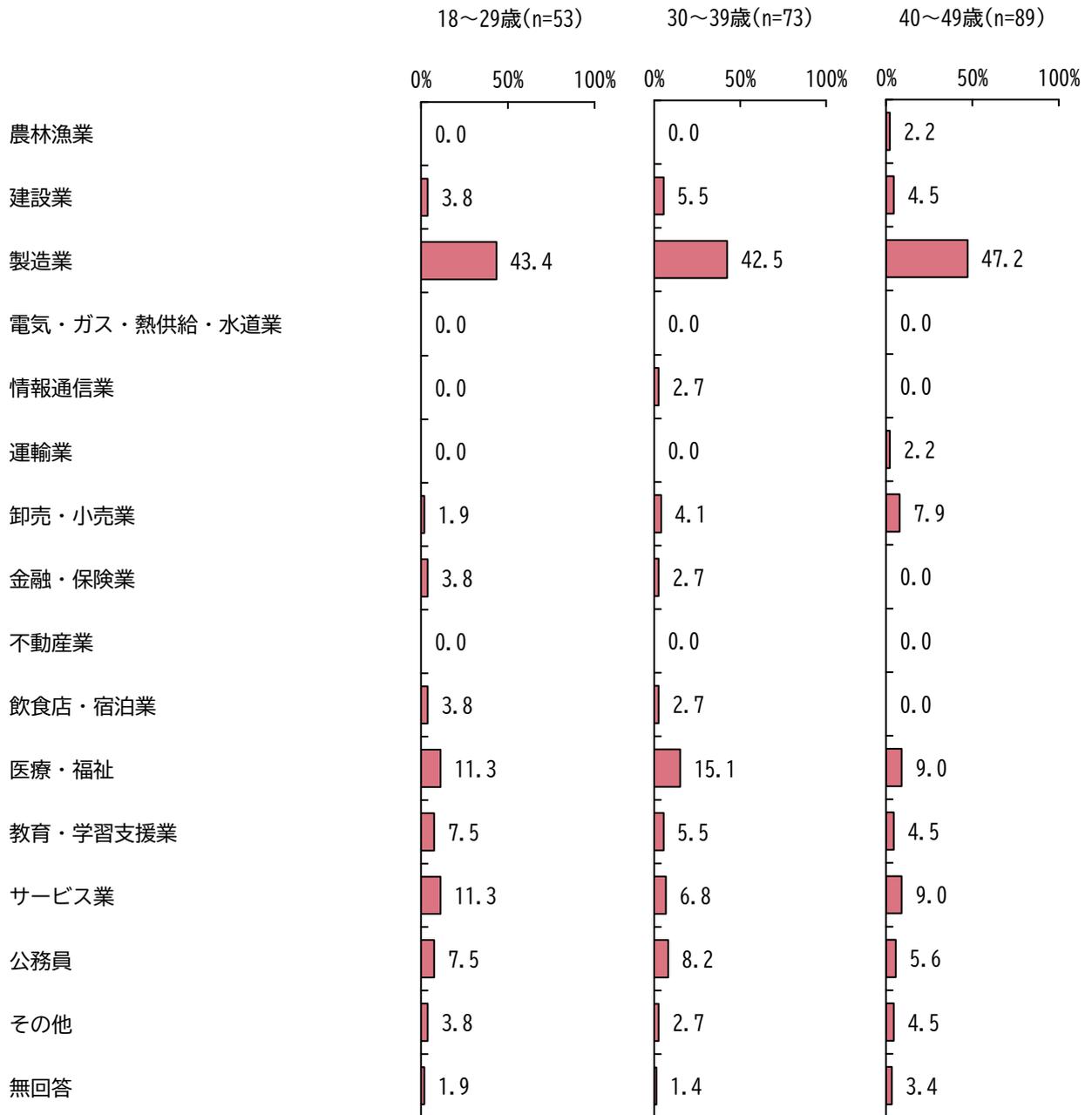
※く問4で「1. 正規雇用者（会社員・公務員など）」「2. 非正規雇用者（パート・派遣社員など）」「3. 自営業（農林漁業・商工業など）」「4. 経営者・役員」とお答えの方

問5 業種（1つを選択）※兼業の方は主なものをお選びください。

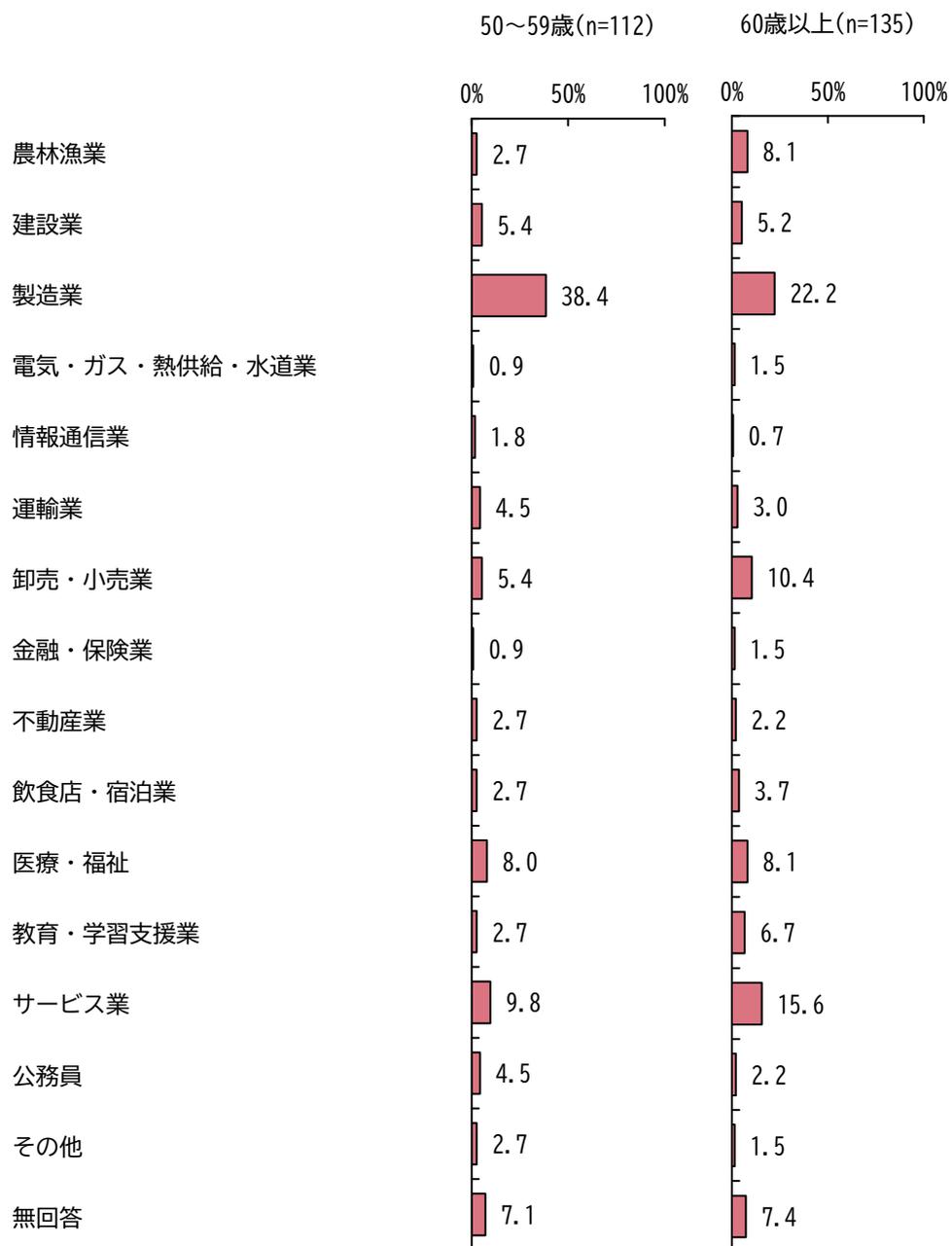


業種では、「製造業」が36.6%と最も多く、次いで「サービス業」が11.0%、「医療・福祉」が9.7%などとなっています。

年 齢 別

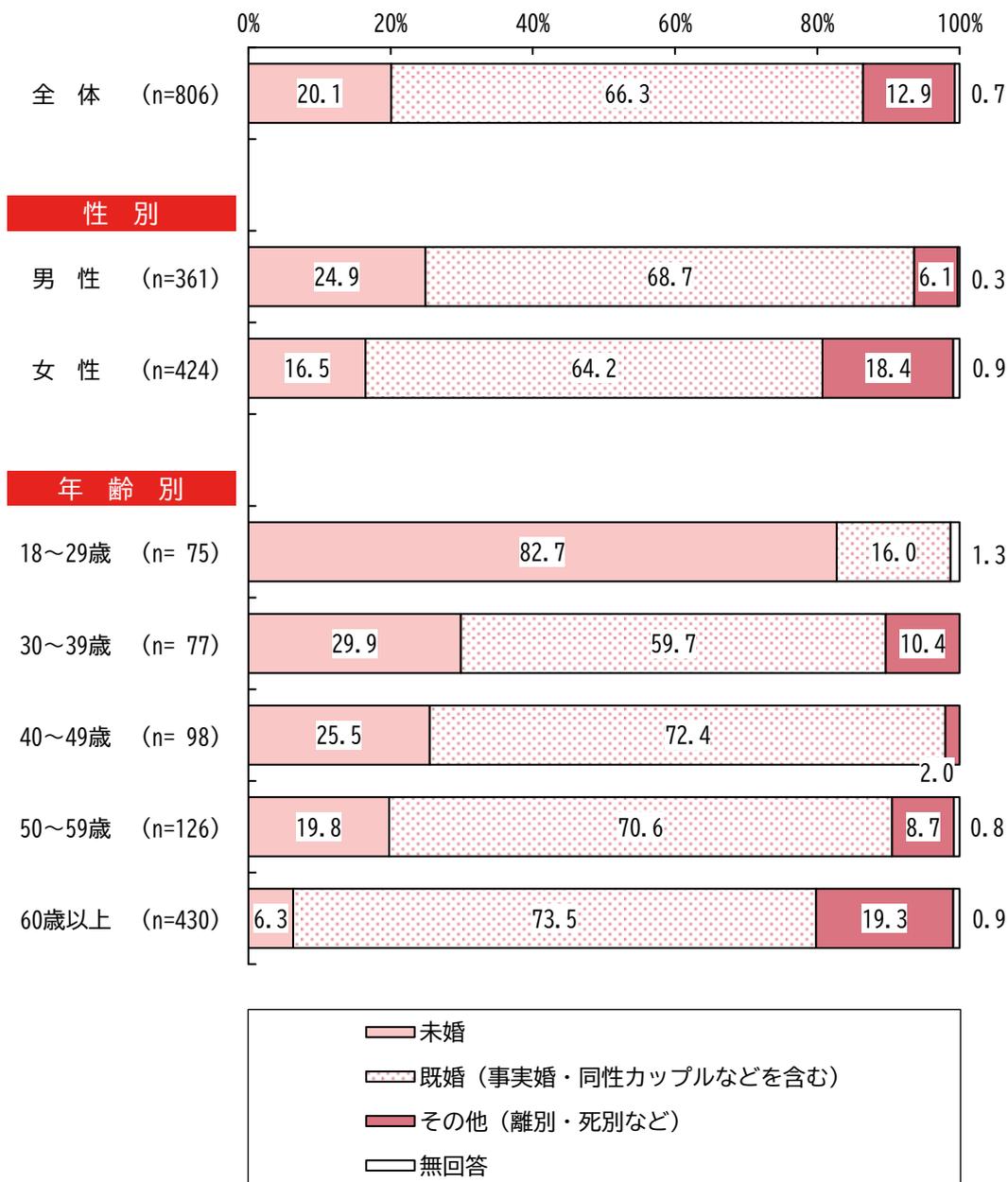


年 齢 別



⑥未婚・既婚

問6 未婚・既婚別（1つを選択）

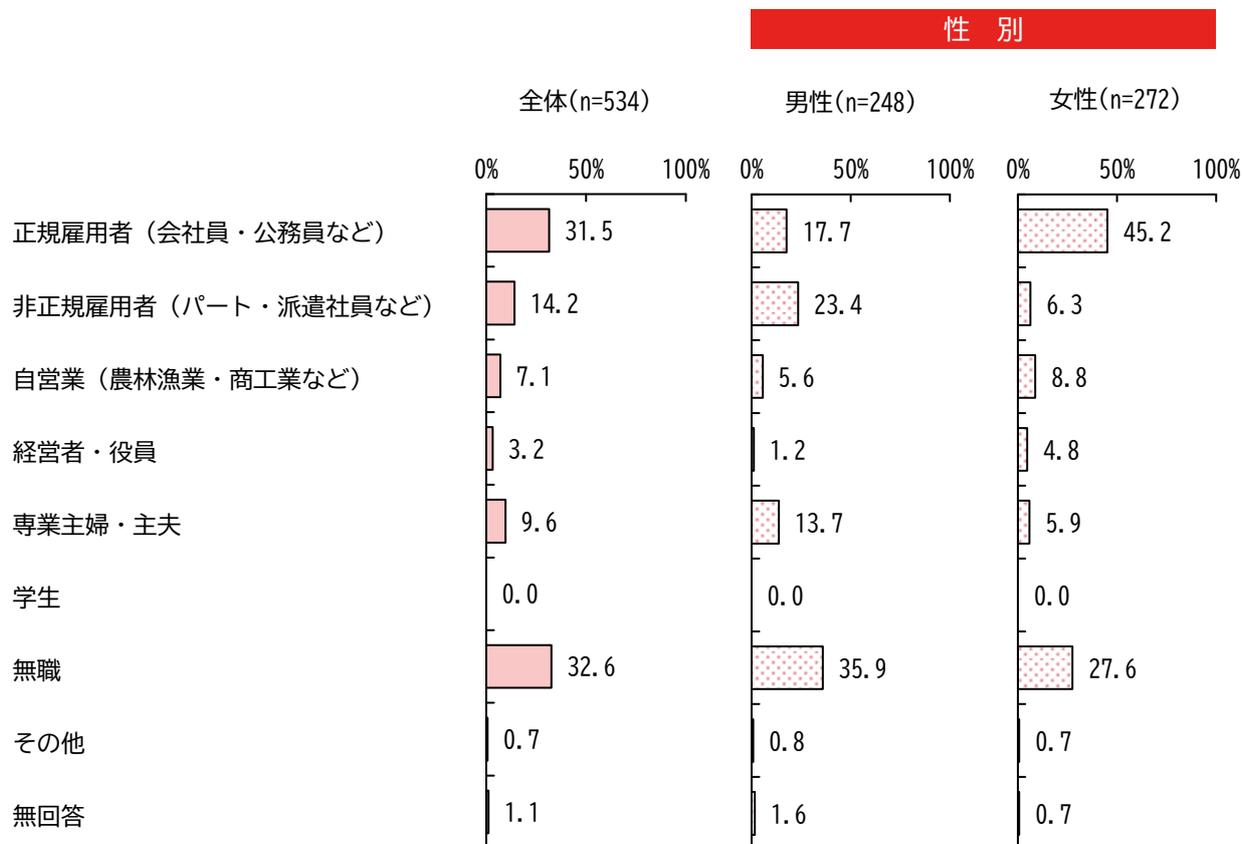


未婚・既婚では、「未婚」が20.1%、「既婚（事実婚・同性カップルなどを含む）」が66.3%、「その他（離別・死別など）」が12.9%となっています。

⑦配偶者・パートナーの職業

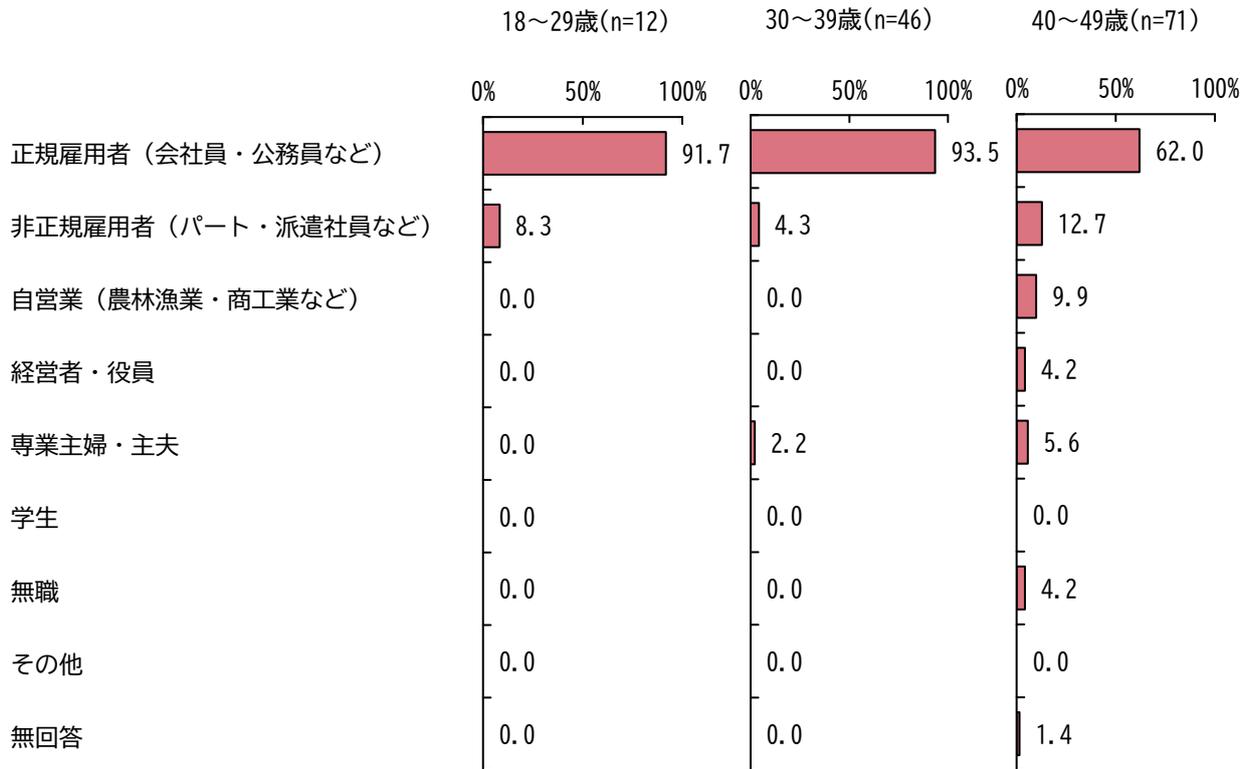
※〈問6で「2. 既婚（事実婚・同性カップルなどを含む）」とお答えの方〉

問7 配偶者・パートナーの職業（1つを選択）

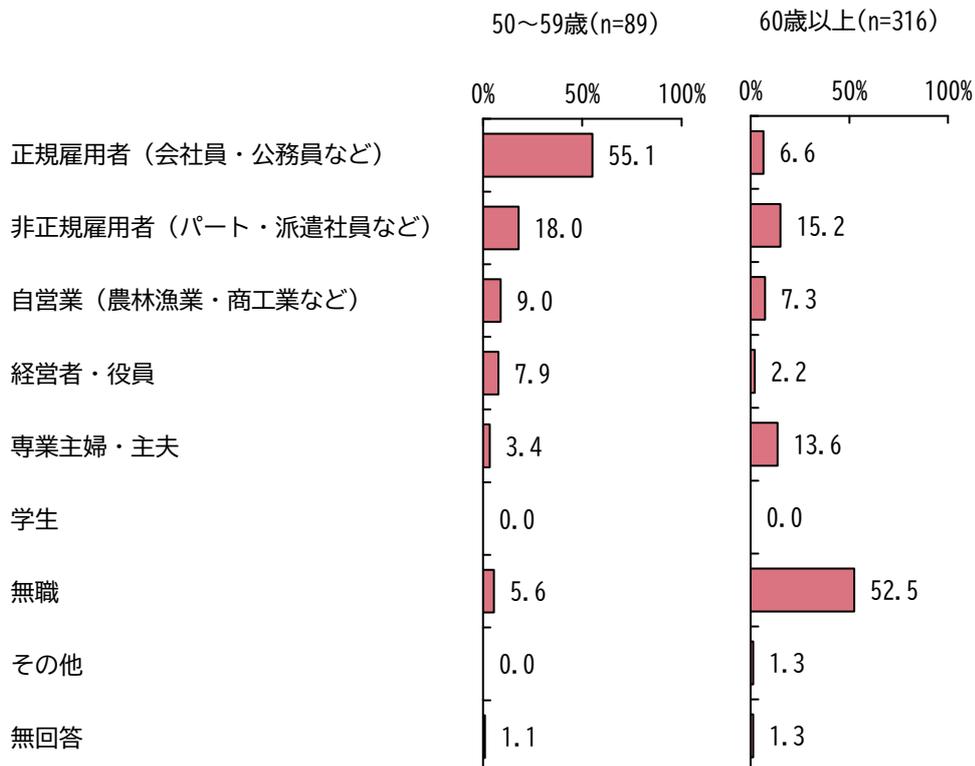


配偶者・パートナーの職業では、「無職」が32.6%と最も多く、次いで「正規雇用者（会社員・公務員など）」が31.5%、「非正規雇用者（パート・派遣社員など）」が14.2%などとなっています。

年 齢 別

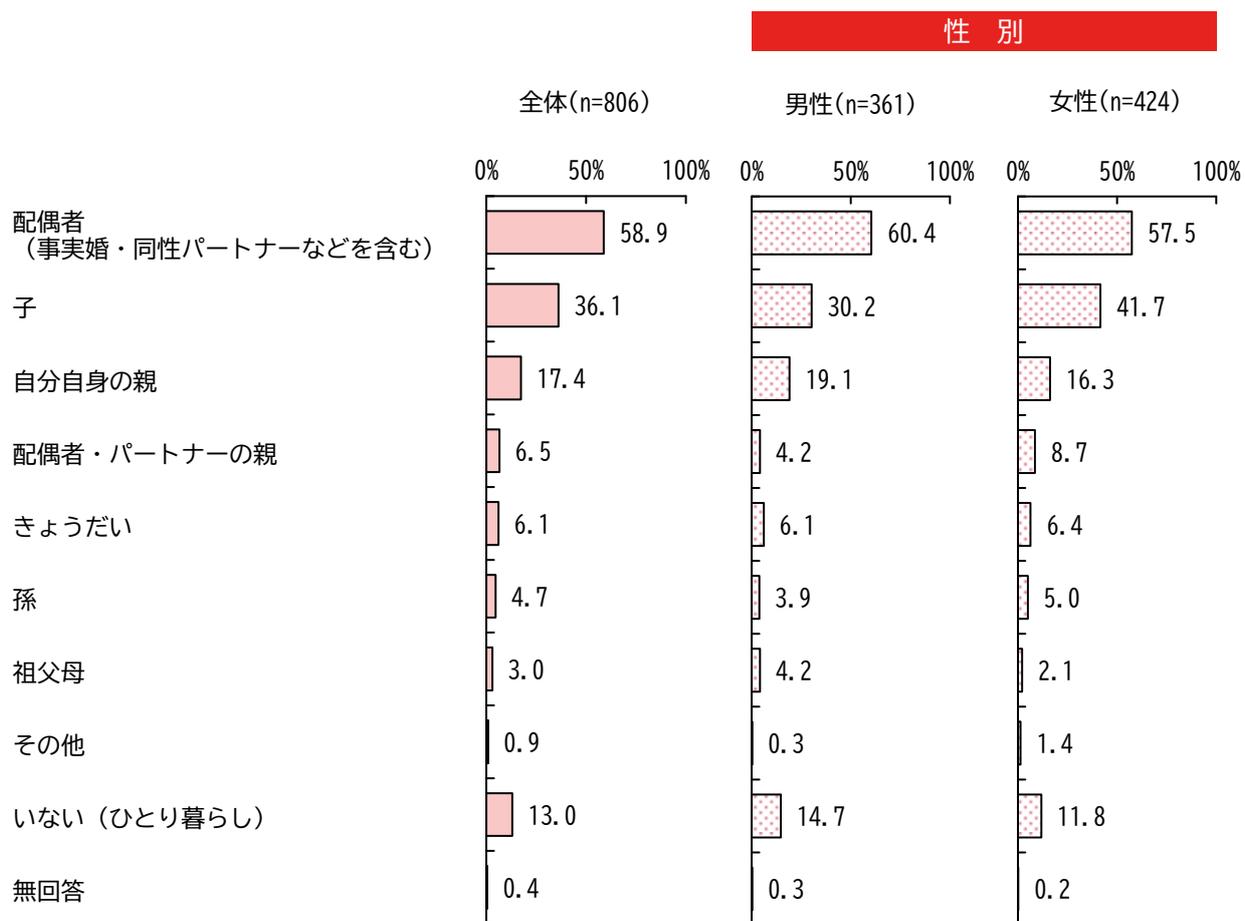


年 齢 別



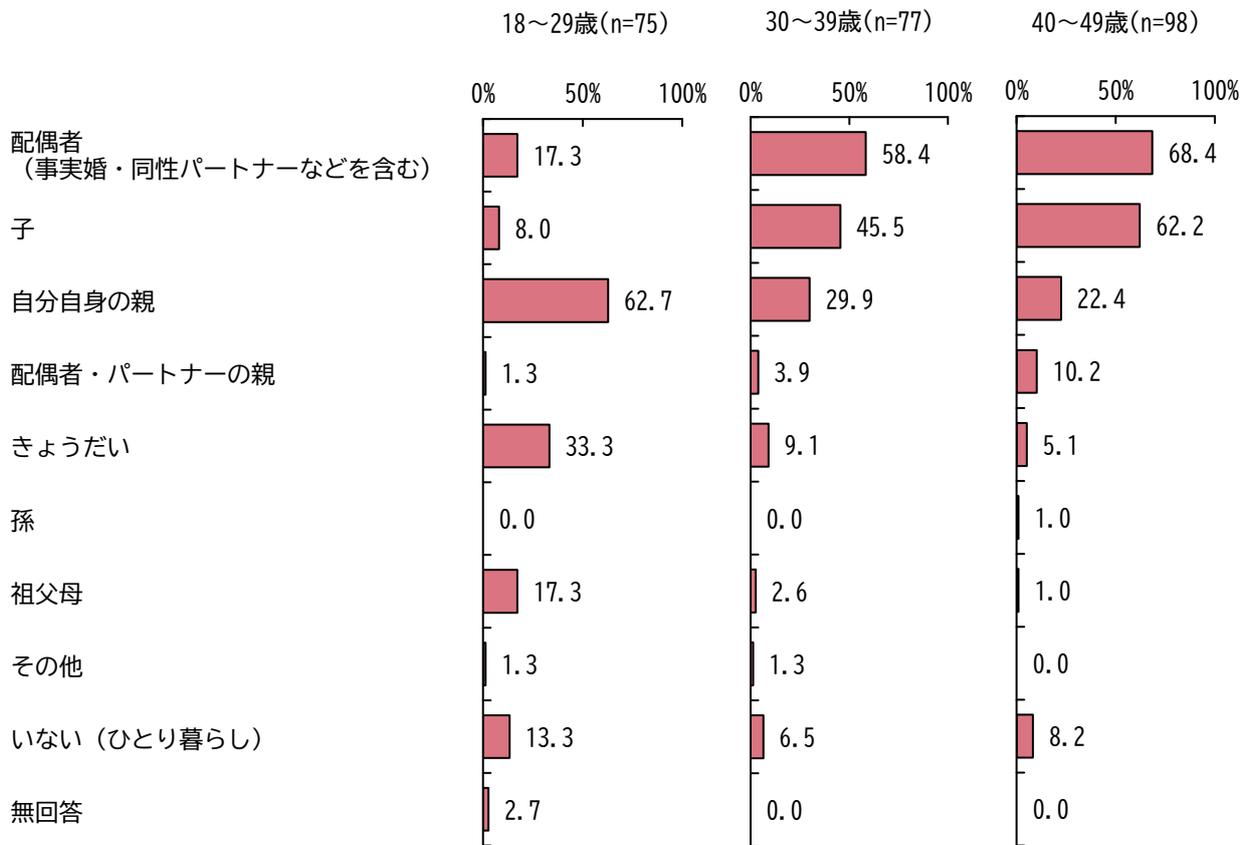
⑧同居家族

問8 同居家族（複数選択可）

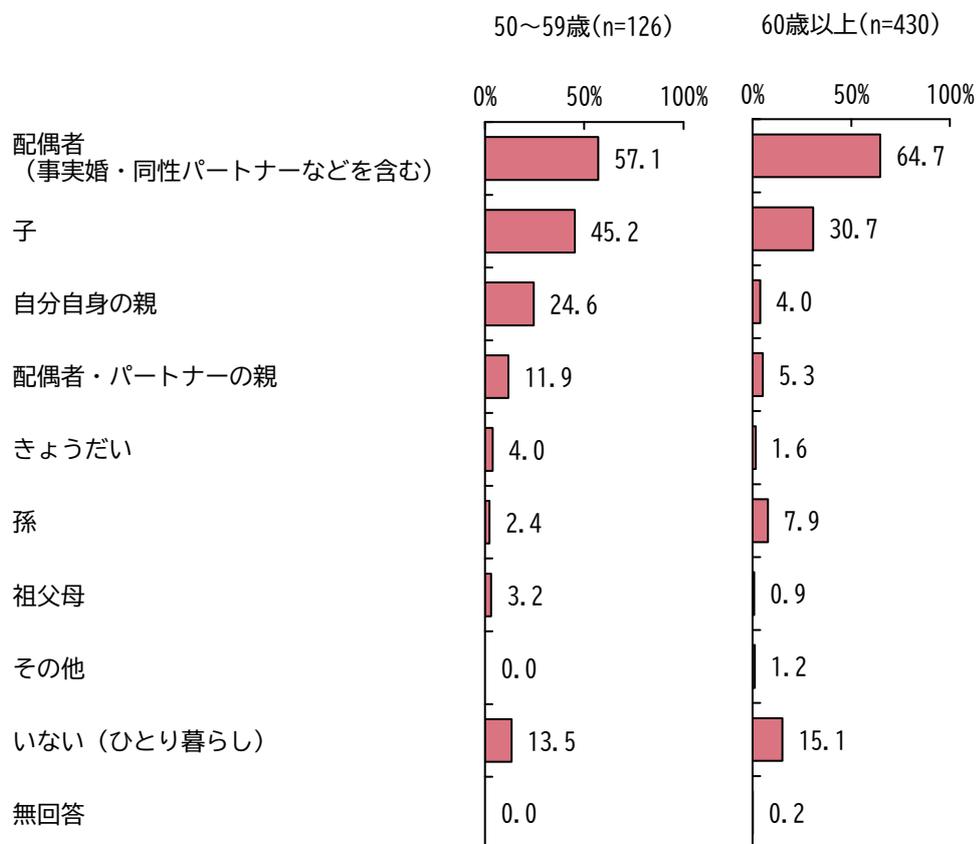


同居家族では、「配偶者（事実婚・同性パートナーなどを含む）」が58.9%と最も多く、次いで「子」が36.1%、「自分自身の親」が17.4%などとなっています。

年 齢 別

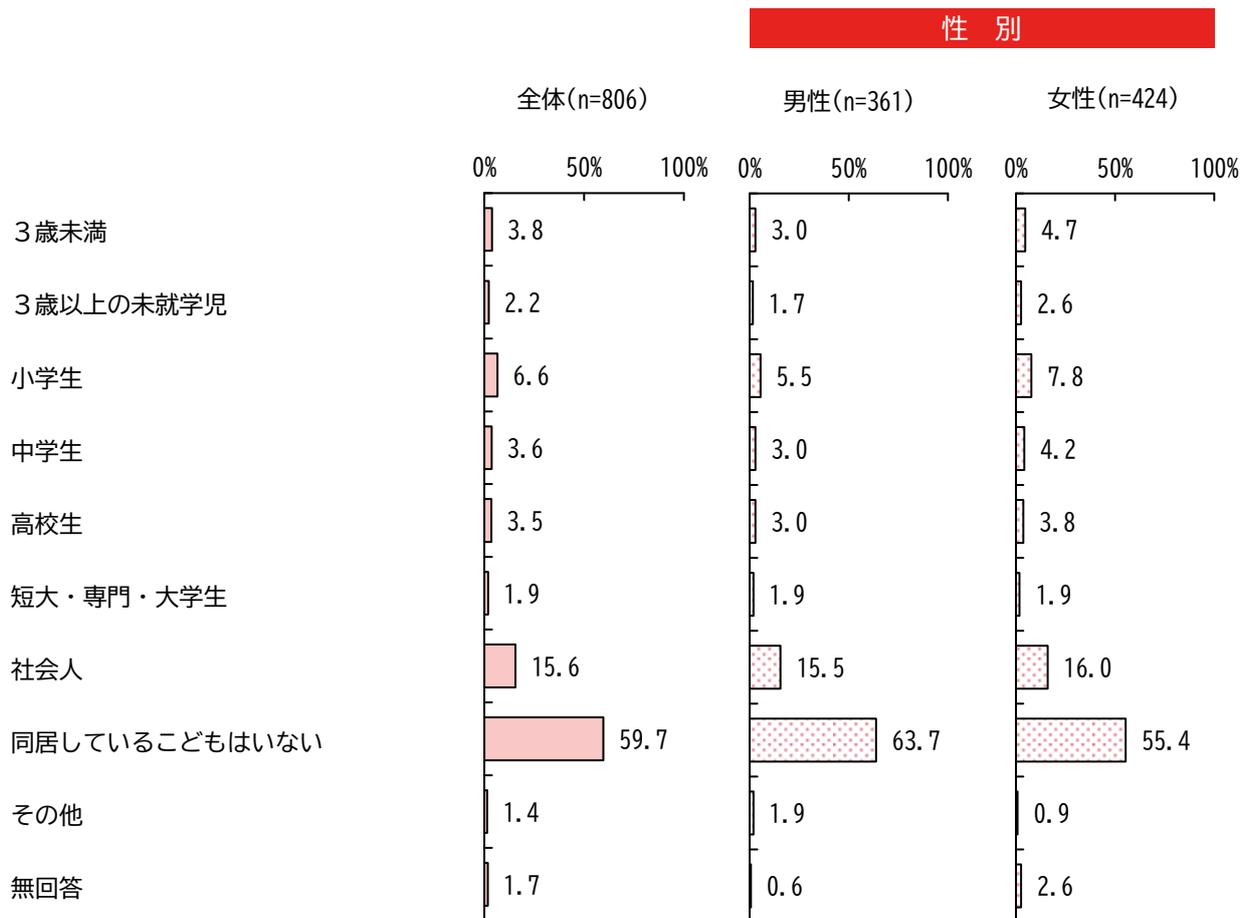


年 齢 別



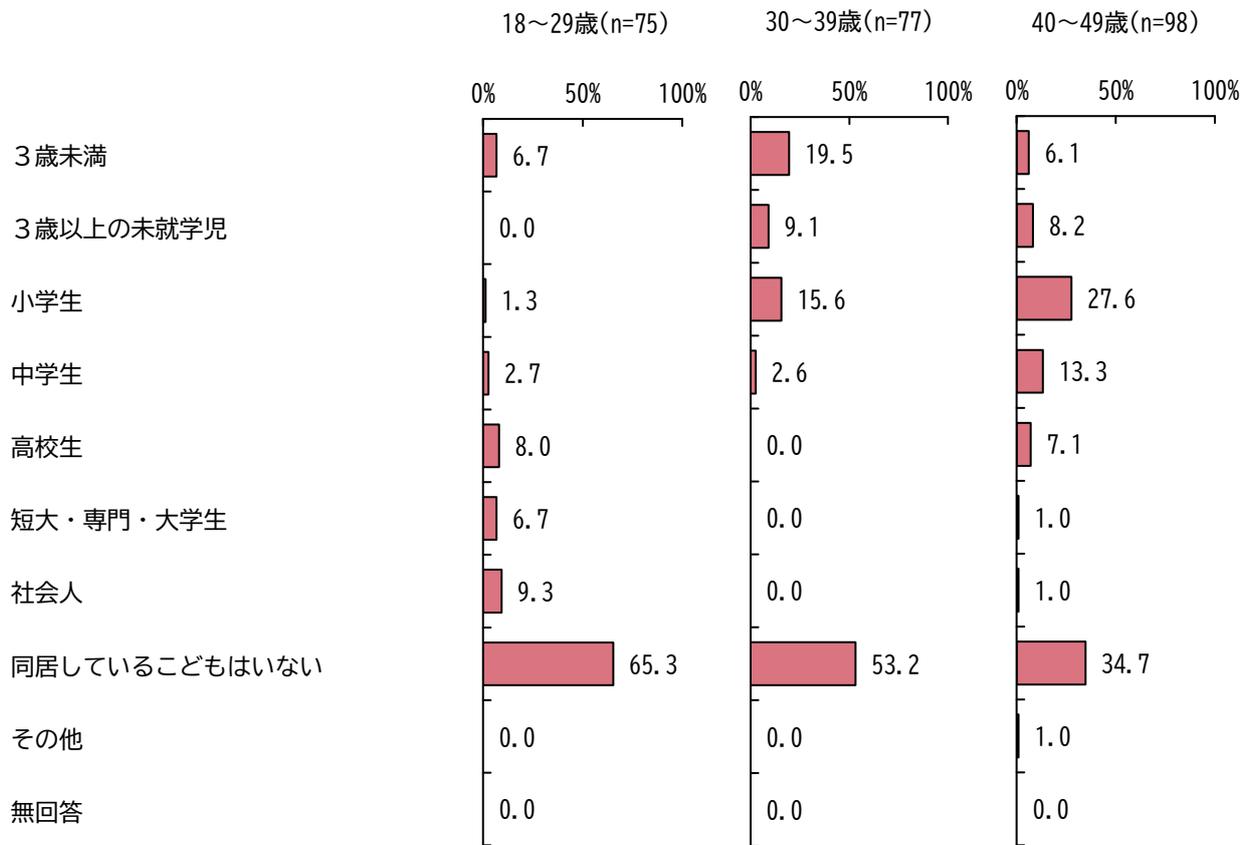
⑨同居している一番下の子ども

問9 同居している一番下の子ども（1つを選択）

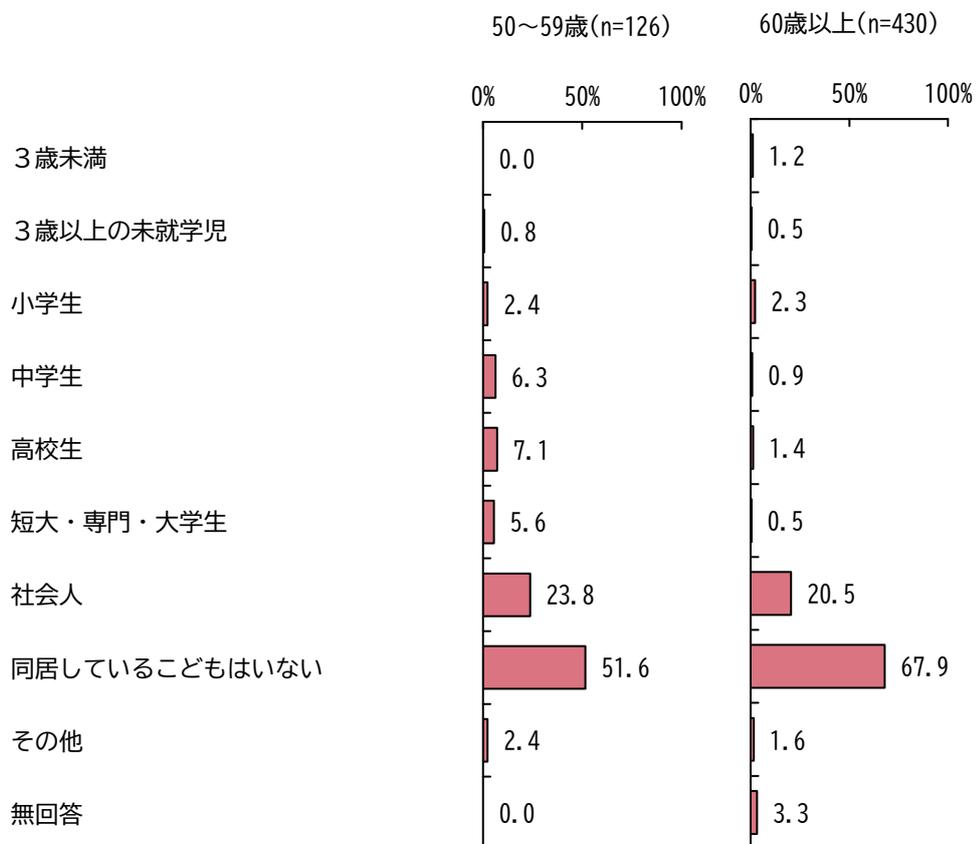


同居している一番下の子どもでは、「同居している子どもはいない」が59.7%と最も多く、次いで「社会人」が15.6%、「小学生」が6.6%などとなっています。

年 齢 別

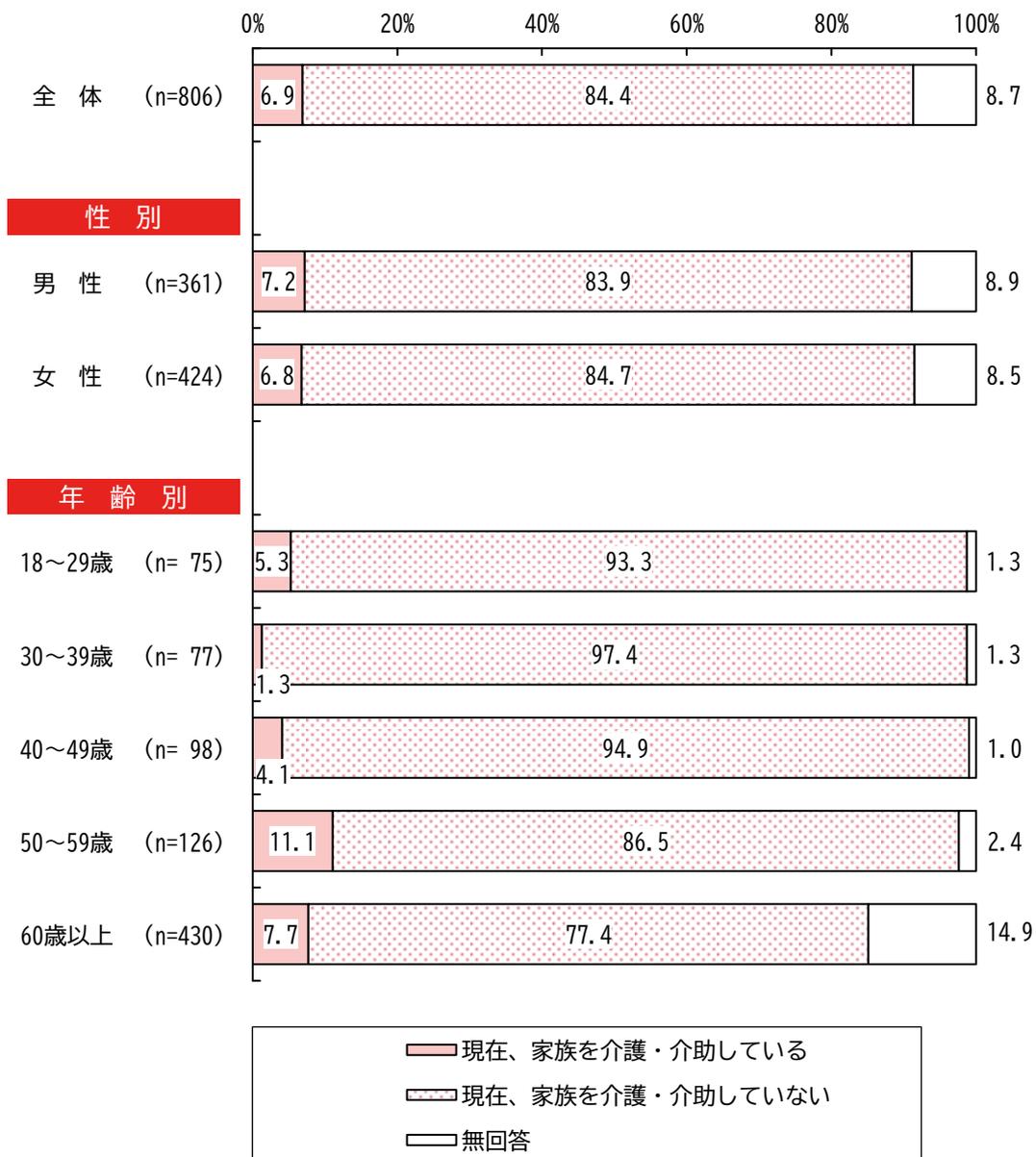


年 齢 別



⑩介護の状況

問10 あなたの介護の状況（1つを選択）



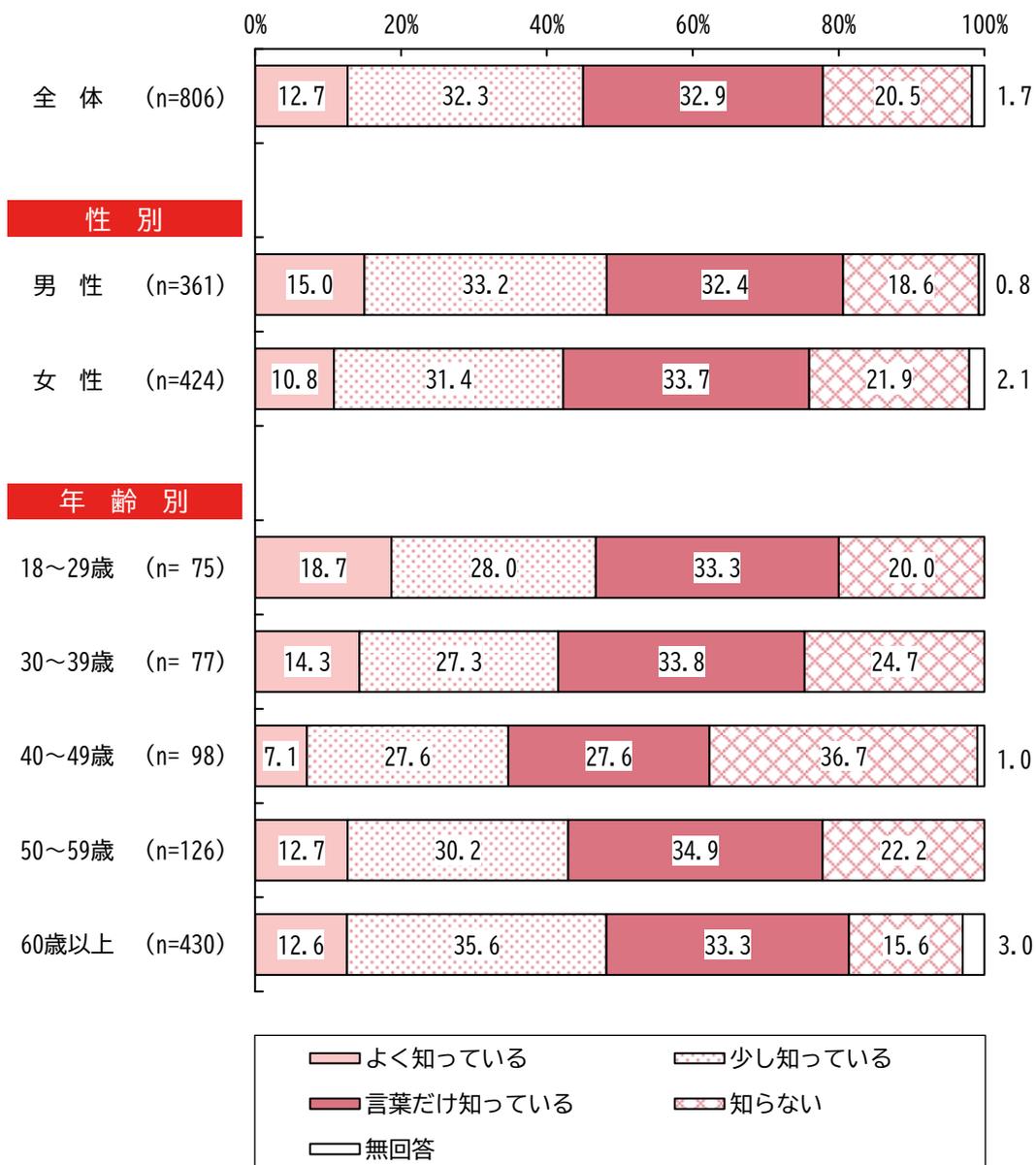
介護の状況では、「現在、家族を介護・介助している」が6.9%、「現在、家族を介護・介助していない」が84.4%となっています。

Ⅱ 以下の言葉・考え方について

①男女共同参画の認知

問11 次の言葉・考え方についてどのくらい知っていますか。(それぞれ1つを選択)

①男女共同参画



男女共同参画では、「よく知っている」が12.7%、「少し知っている」が32.3%、「言葉だけ知っている」が32.9%、「知らない」が20.5%となっています。

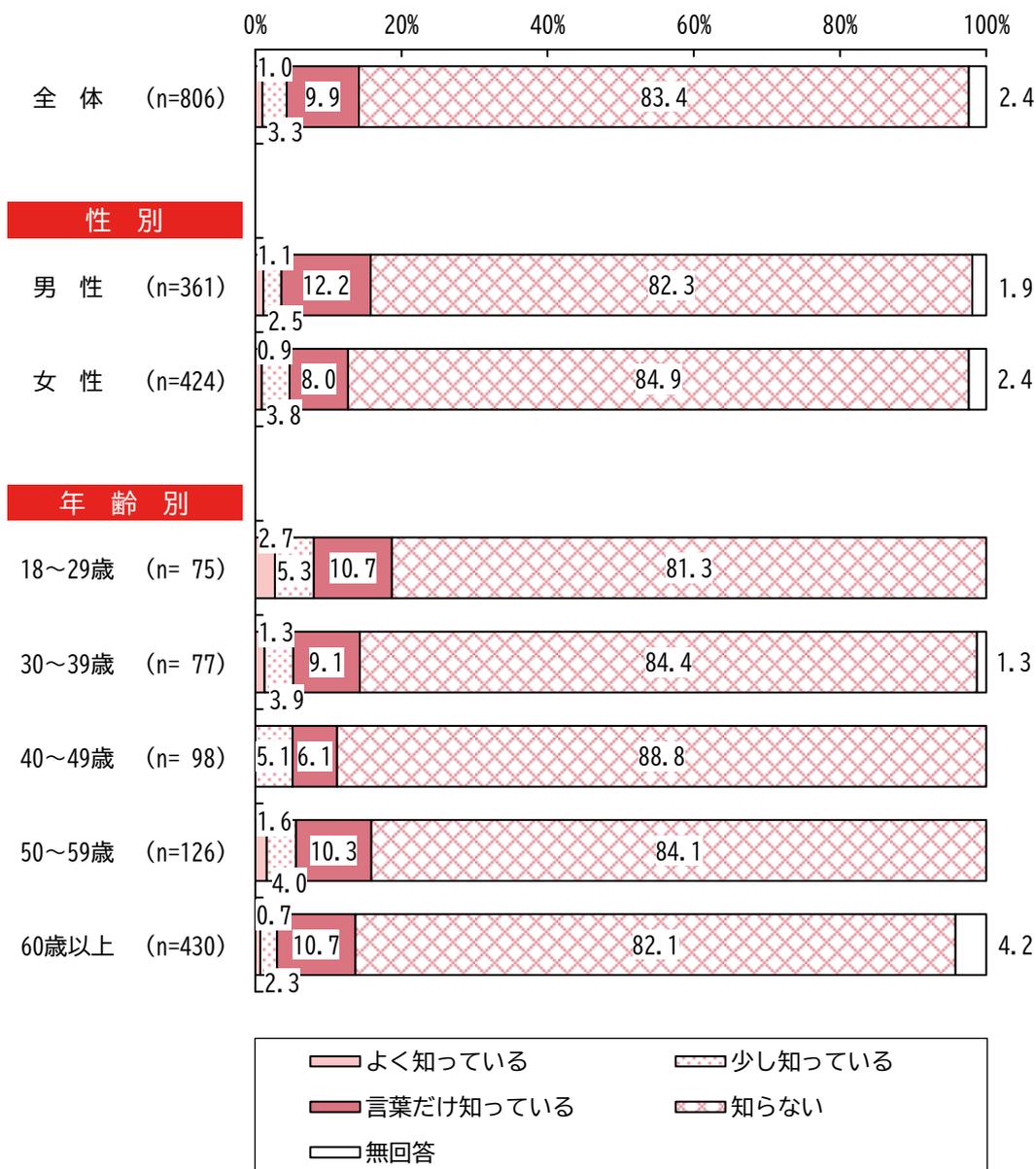
性別でみると、「男性」は「少し知っている」が33.2%と最も多くなっています。

年齢別でみると、「40~49歳」は「知らない」が36.7%と最も多くなっています。「60歳以上」は「少し知っている」が35.6%と最も多くなっています。

②リプロダクティブ・ヘルス/ライツの認知

問11 次の言葉・考え方についてどのくらい知っていますか。(それぞれ1つを選択)

②リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

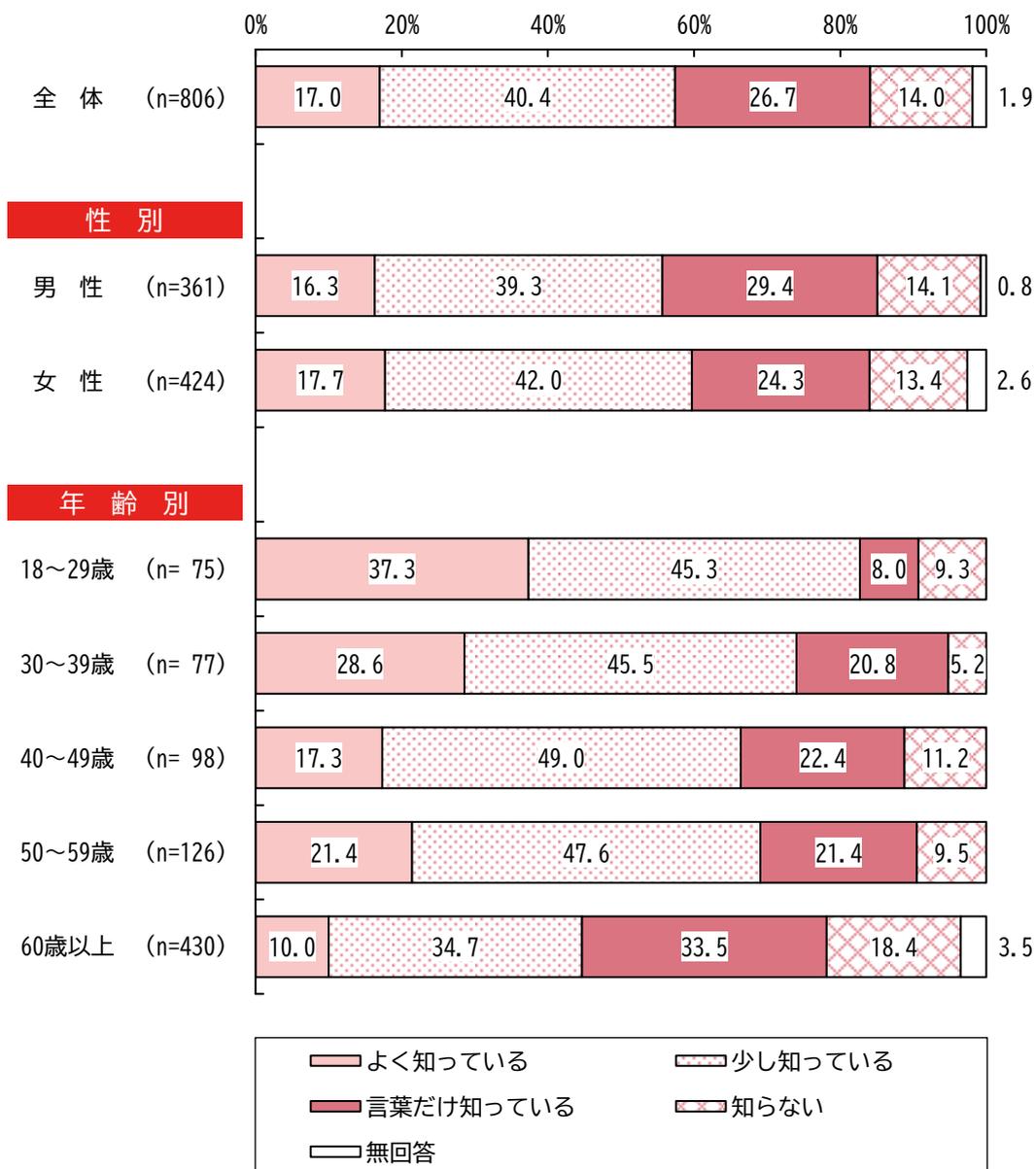


リプロダクティブ・ヘルス/ライツでは、「よく知っている」が1.0%、「少し知っている」が3.3%、「言葉だけ知っている」が9.9%、「知らない」が83.4%となっています。

③性的マイノリティ（またはLGBTQ+）の認知

問11 次の言葉・考え方についてどのくらい知っていますか。（それぞれ1つを選択）

③性的マイノリティ（またはLGBTQ+）

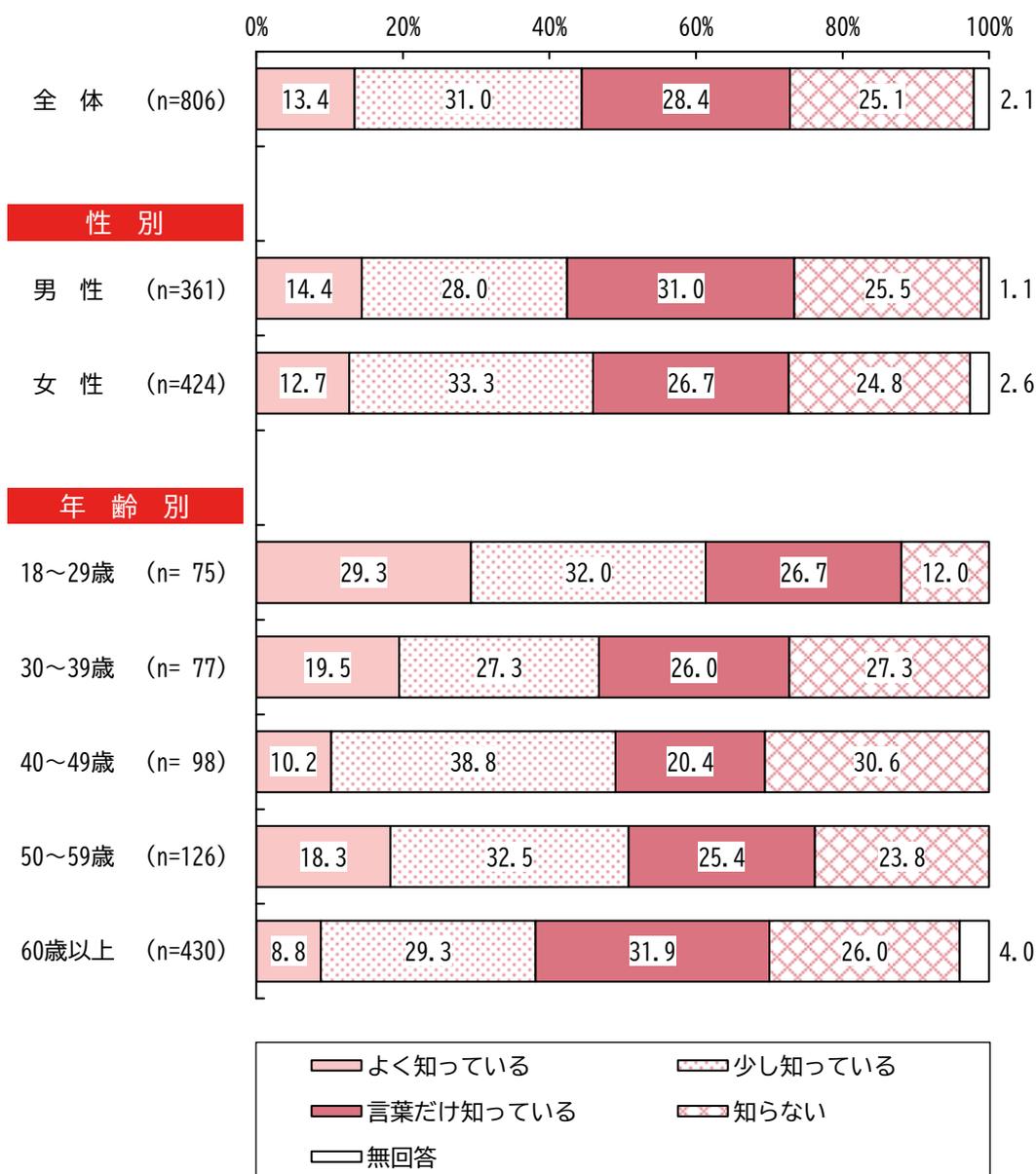


性的マイノリティ（またはLGBTQ+）では、「よく知っている」が17.0%、「少し知っている」が40.4%、「言葉だけ知っている」が26.7%、「知らない」が14.0%となっています。

④多文化共生の認知

問11 次の言葉・考え方についてどのくらい知っていますか。(それぞれ1つを選択)

④多文化共生



多文化共生では、「よく知っている」が13.4%、「少し知っている」が31.0%、「言葉だけ知っている」が28.4%、「知らない」が25.1%となっています。

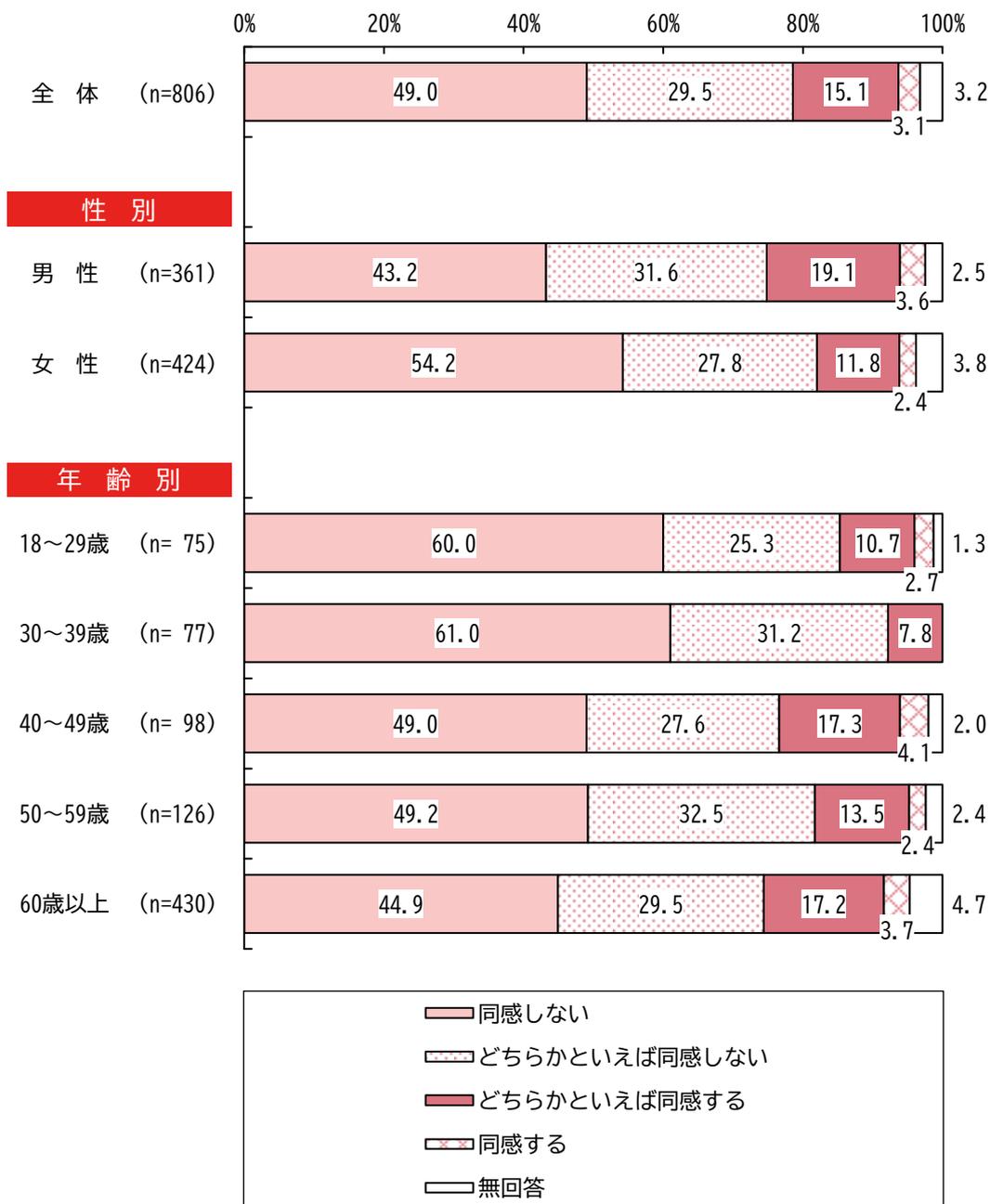
性別でみると、“男性”は「言葉だけ知っている」が31.0%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“60歳以上”は「言葉だけ知っている」が31.9%と最も多くなっています。

Ⅲ 社会における男女平等について

① 性別役割分担意識についての考え方

問12 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について、あなたはどのようにお考えですか。（1つを選択）

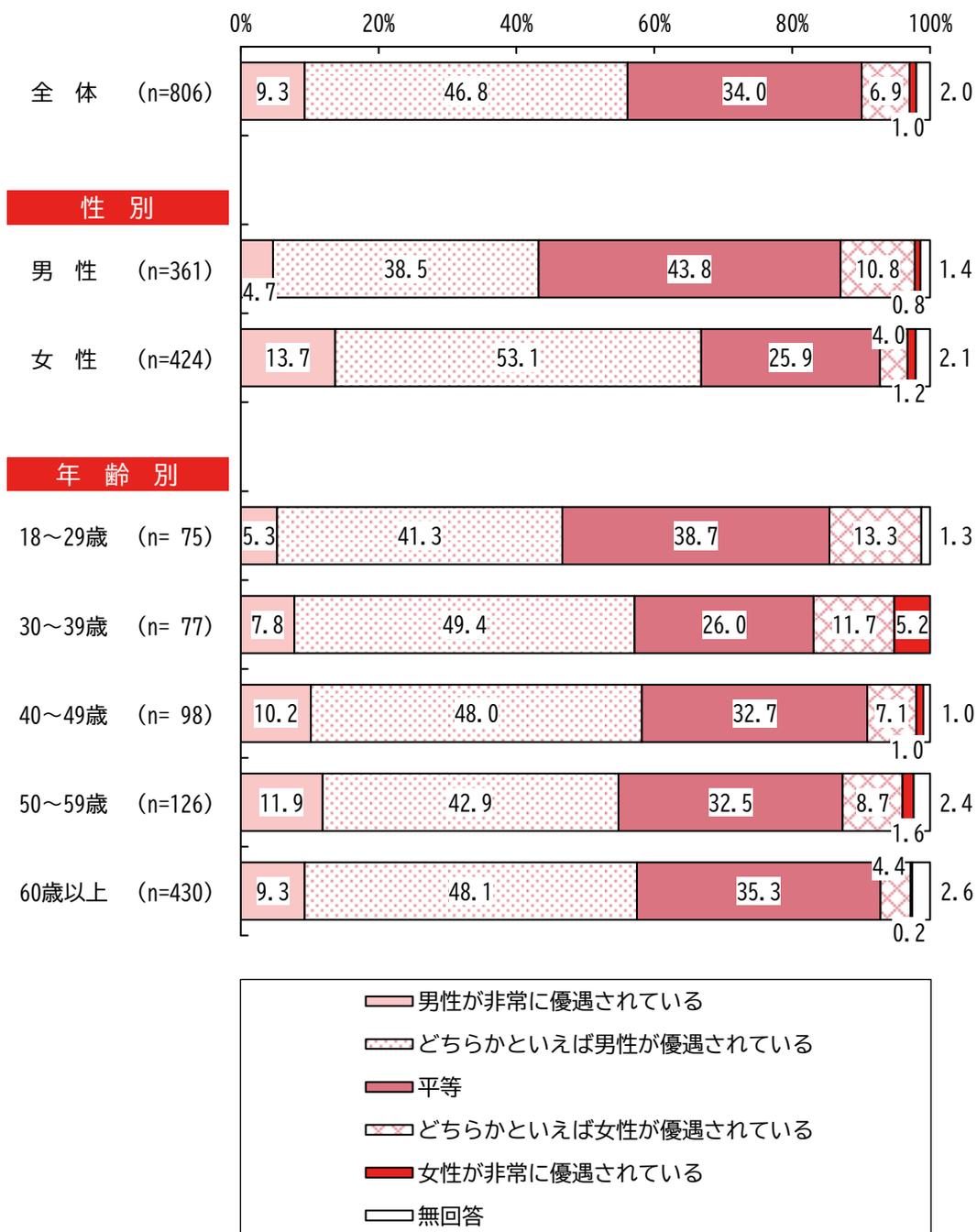


性別役割分担意識についての考え方では、「不同意」が49.0%、「どちらかといえば不同意」が29.5%、「どちらかといえば同意」が15.1%、「同意」が3.1%となっています。

②家庭生活の平等感

問13 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

①家庭生活

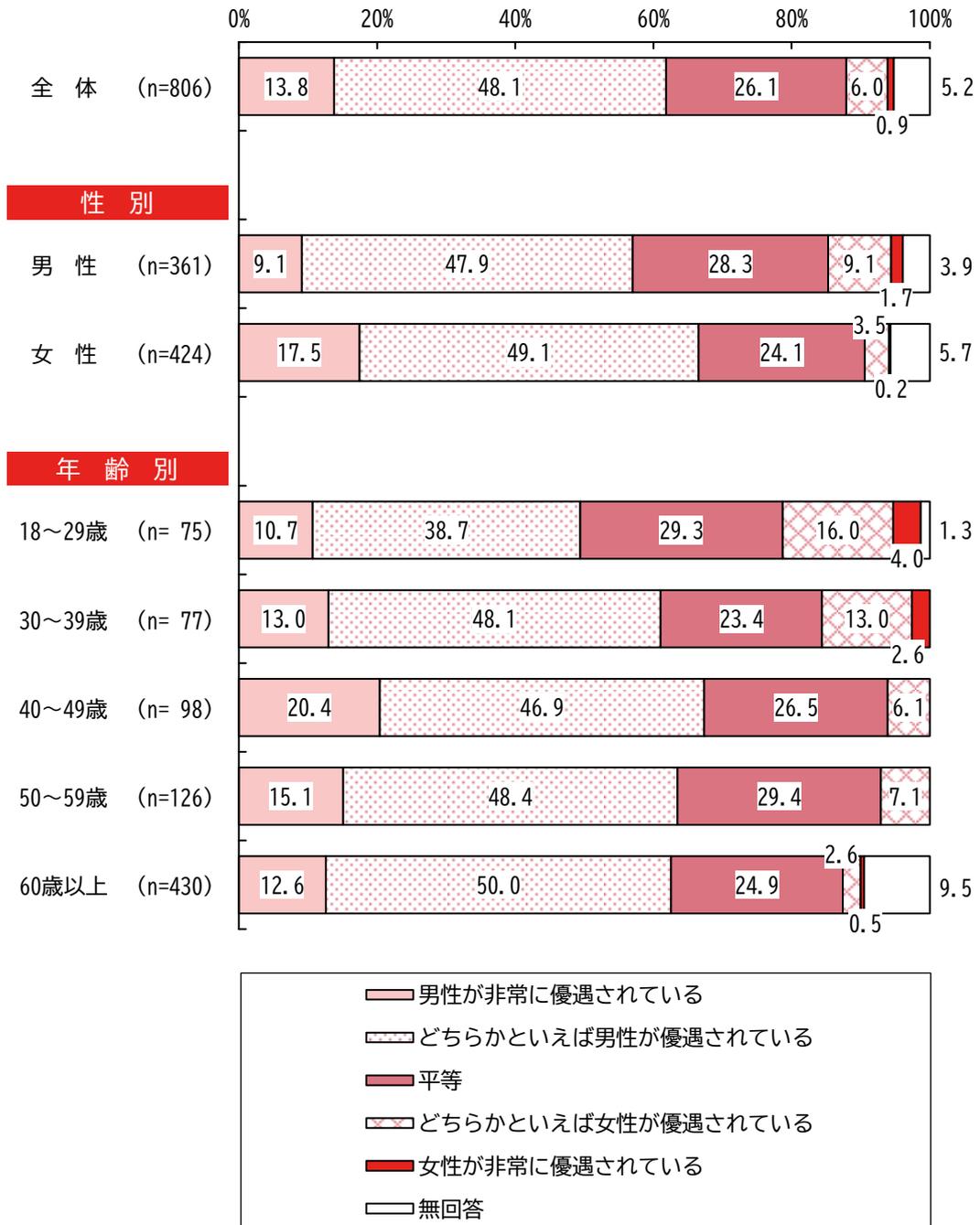


家庭生活では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が46.8%と最も多く、次いで「平等」が34.0%、「男性が非常に優遇されている」が9.3%などとなっています。
性別で見ると、“男性”は「平等」が43.8%と最も多くなっています。

③職場の平等感

問13 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

②職場

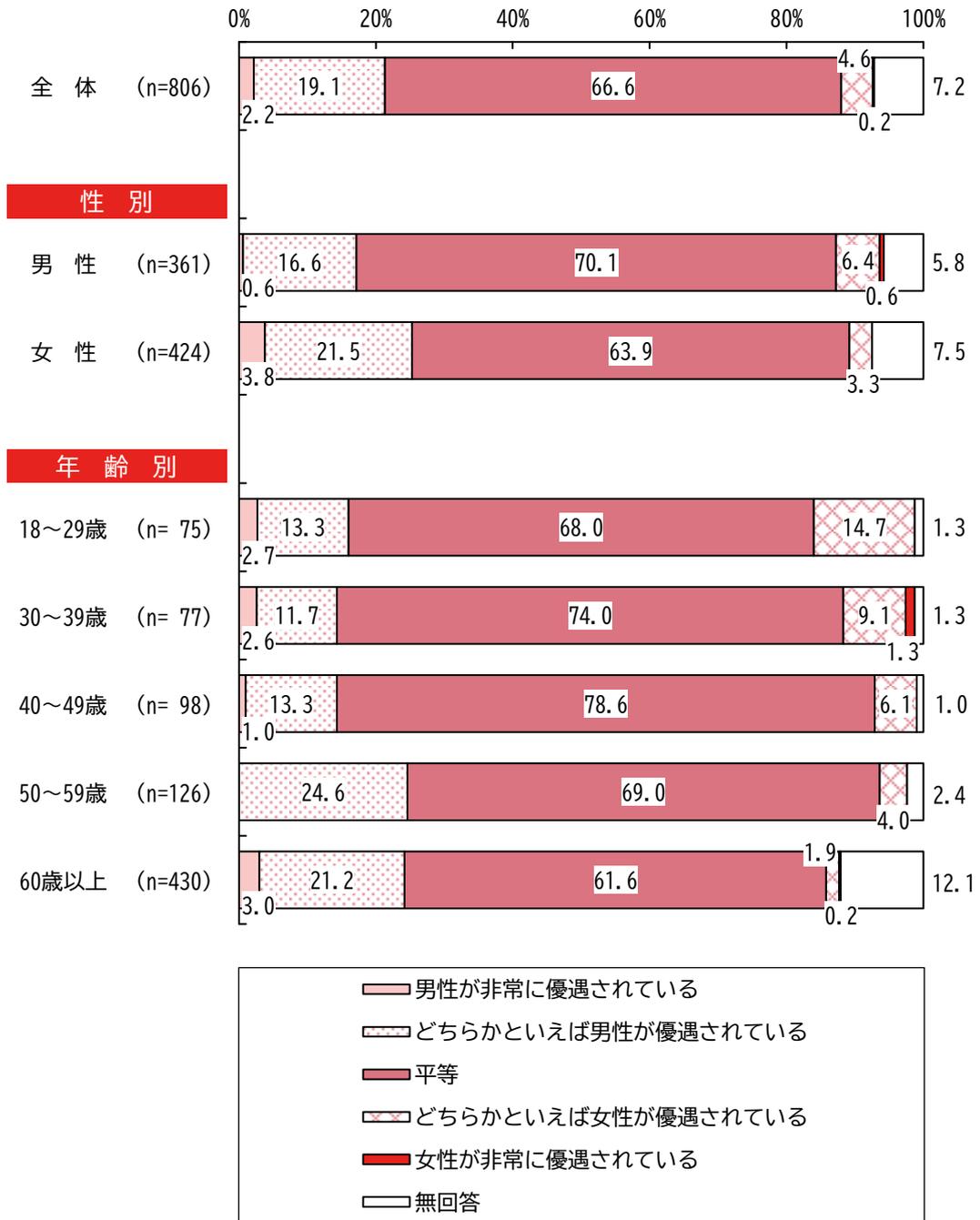


職場では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が48.1%と最も多く、次いで「平等」が26.1%、「男性が非常に優遇されている」が13.8%などとなっています。

④学校教育の場の平等感

問13 あなたは、次のことから、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

③学校教育の場

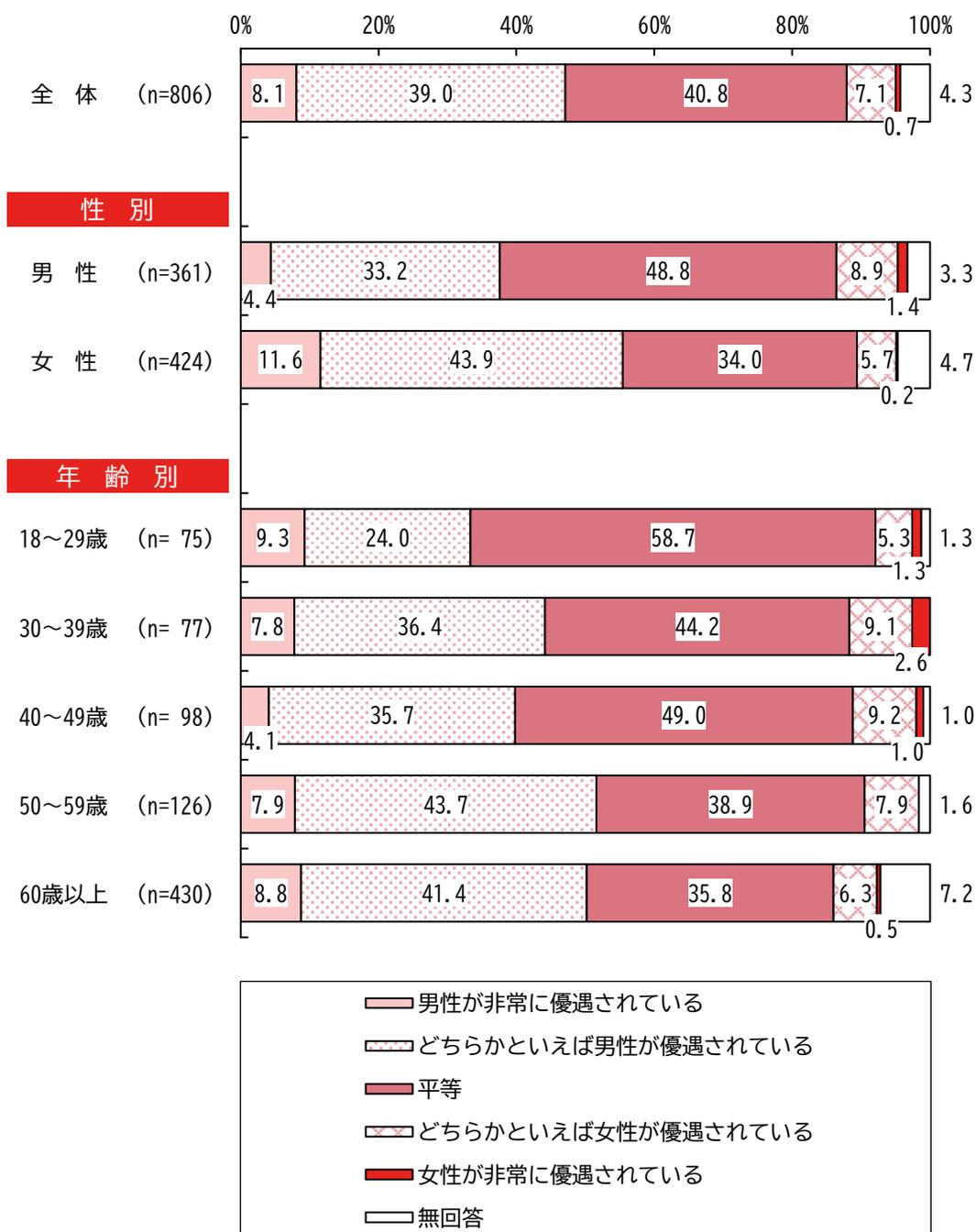


学校教育の場では、「平等」が66.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が19.1%、「どちらかといえば女性が優遇されている」が4.6%などとなっています。

⑤地域（自治会・PTA等）の平等感

問13 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
（それぞれ1つを選択）

④地域（自治会・PTA等）



地域（自治会・PTA等）では、「平等」が40.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が39.0%、「男性が非常に優遇されている」が8.1%などとなっています。

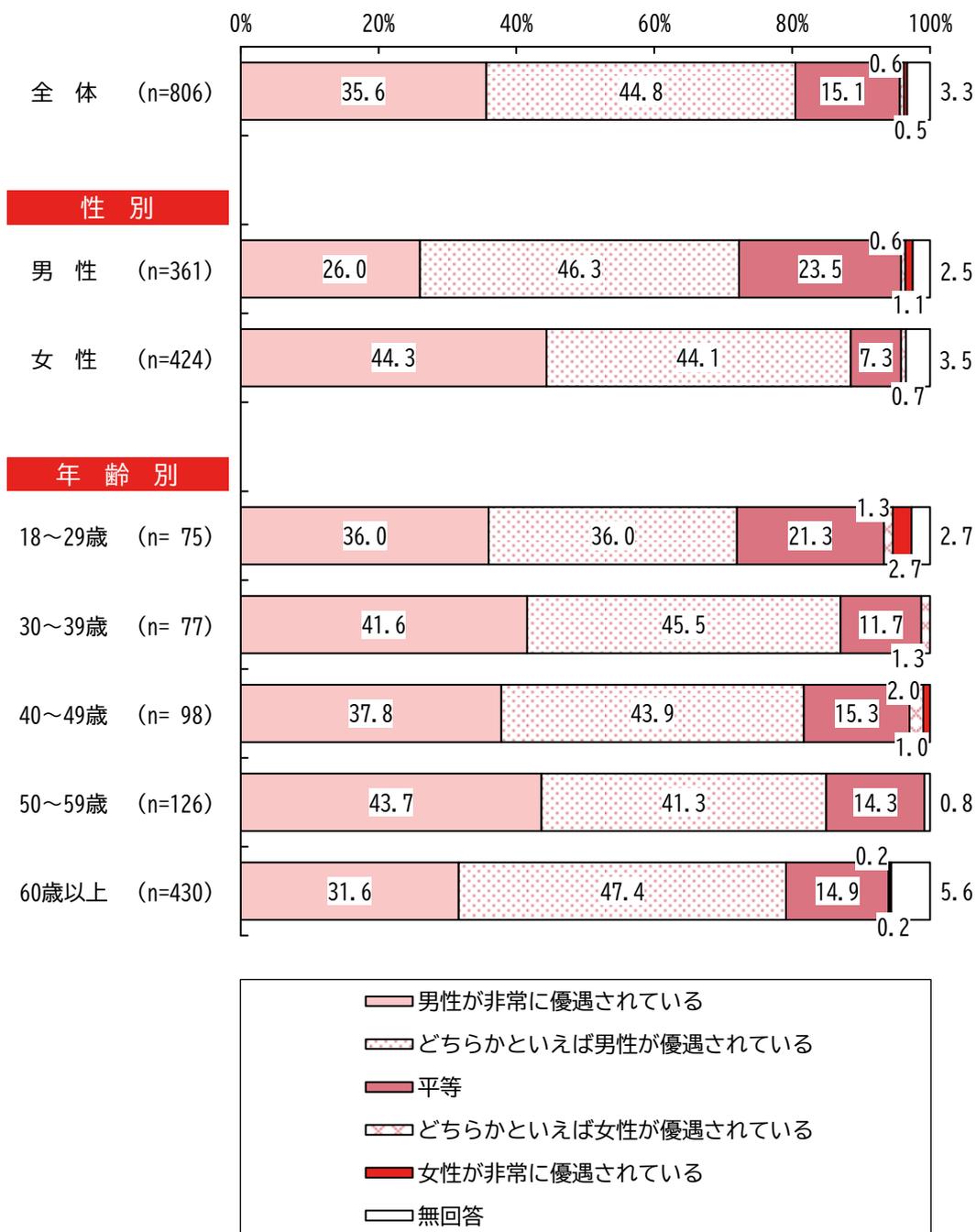
性別でみると、“女性”は「どちらかといえば男性が優遇されている」が43.9%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“50～59歳”と“60歳以上”は「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。

⑥政治の場の平等感

問13 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑤政治の場



政治の場では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が44.8%と最も多く、次いで「男性が非常に優遇されている」が35.6%、「平等」が15.1%などとなっています。

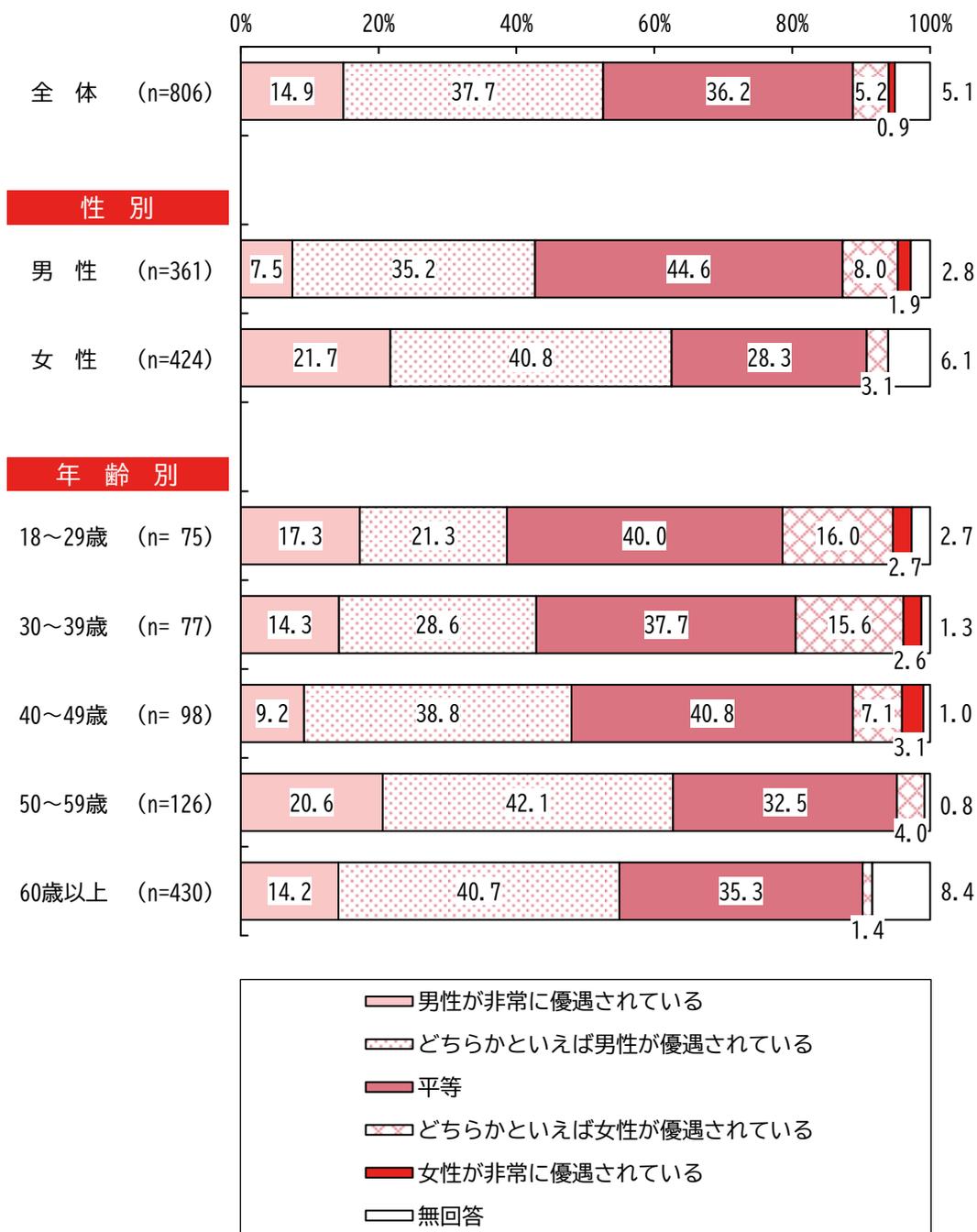
性別でみると、“女性”は「男性が非常に優遇されている」が44.3%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“50～59歳”は「男性が非常に優遇されている」が43.7%と最も多くなっています。

⑦法律や制度の上の平等感

問13 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

⑥法律や制度の上

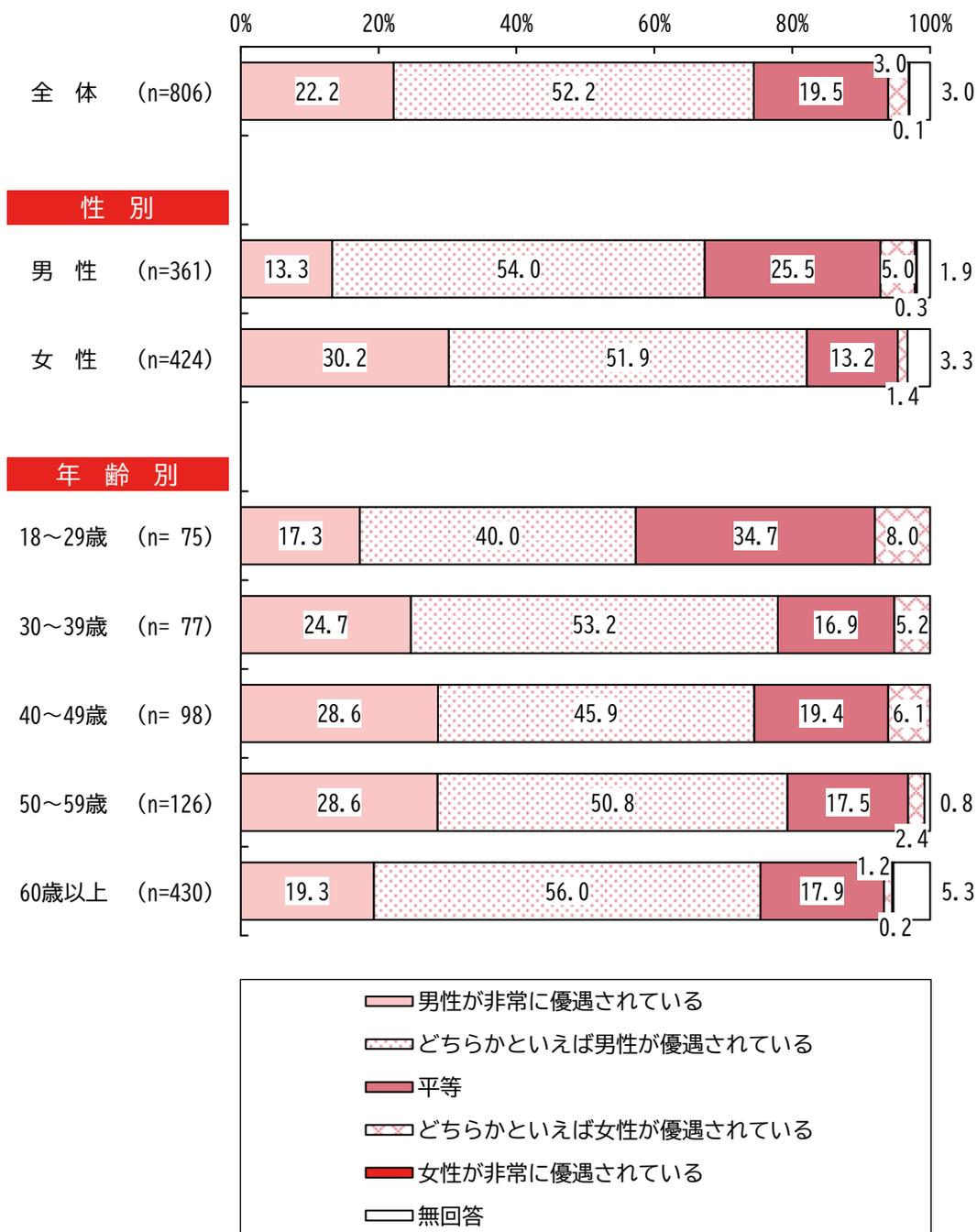


法律や制度の上では、「どちらかといえば男性が優遇されている」が37.7%と最も多く、次いで「平等」が36.2%、「男性が非常に優遇されている」が14.9%などとなっています。
性別で見ると、「男性」は「平等」が44.6%と最も多くなっています。
年齢別で見ると、「18～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」は「平等」が最も多くなっています。

⑧社会通念や慣習・しきたりの平等感

問13 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つを選択)

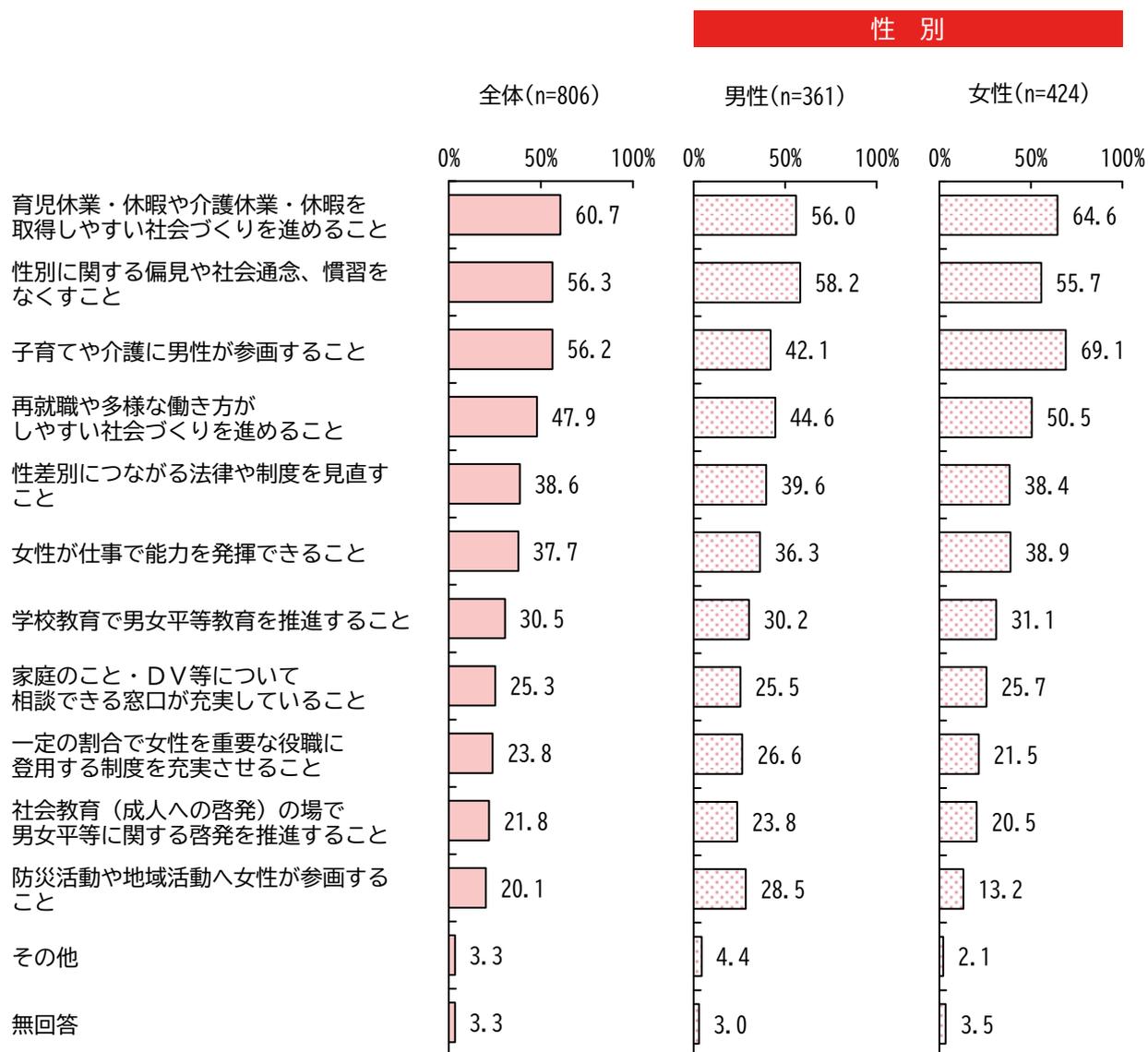
⑦社会通念や慣習・しきたり



社会通念や慣習・しきたりでは、「どちらかといえば男性が優遇されている」が52.2%と最も多く、次いで「男性が非常に優遇されている」が22.2%、「平等」が19.5%などとなっています。

⑨男女平等を達成するために重要なこと

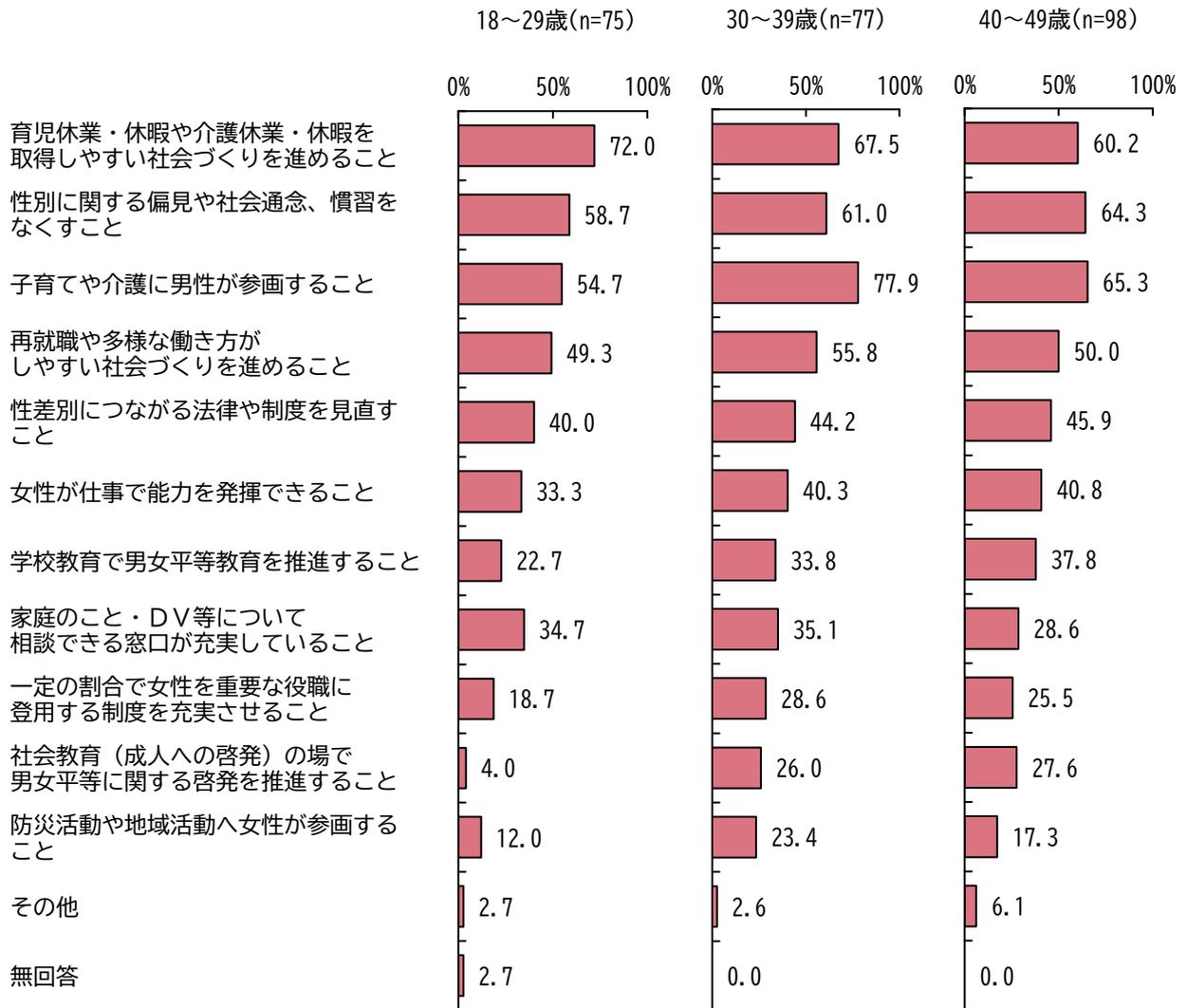
問14 男女の平等を達成するために、重要なことは何だと思えますか。(複数選択可)



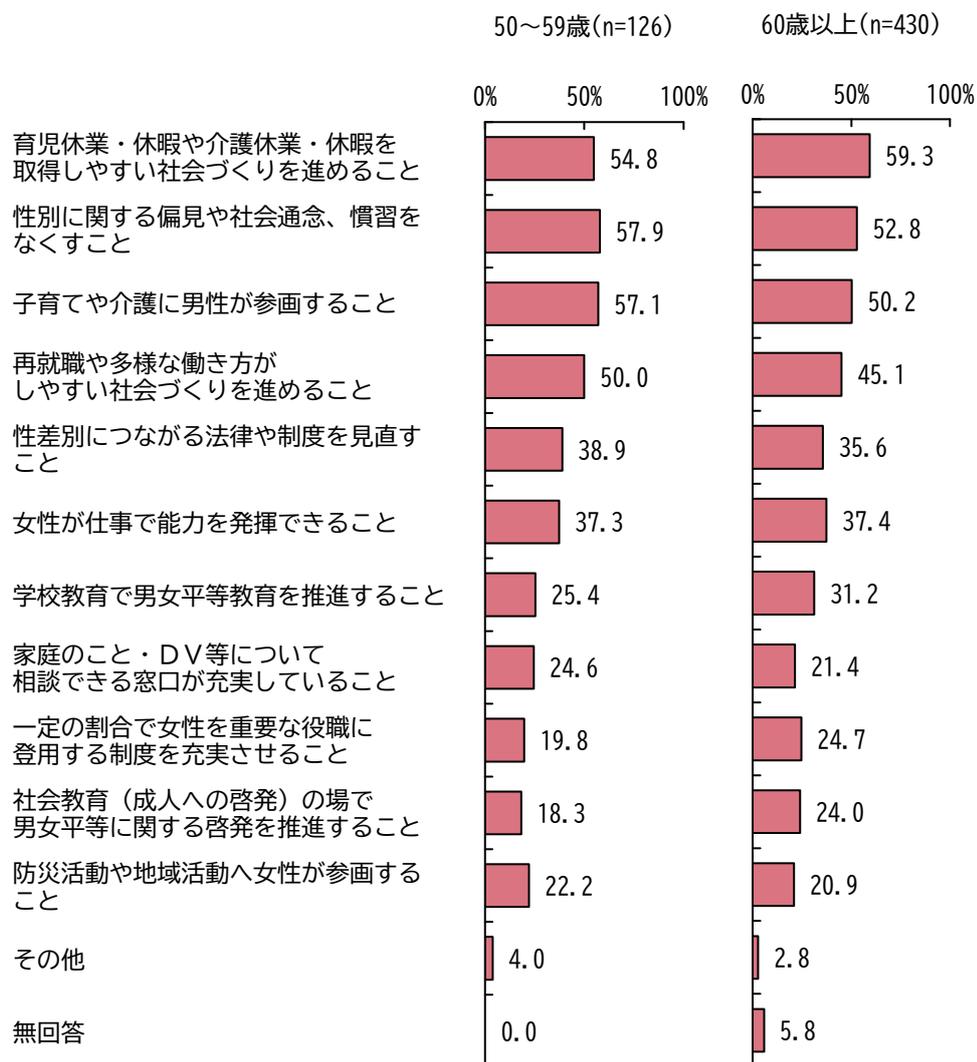
男女平等を達成するために重要なことでは、「育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること」が60.7%と最も多く、次いで「性別に関する偏見や社会通念、慣習をなくすこと」が56.3%、「子育てや介護に男性が参画すること」が56.2%などとなっています。

性別でみると、「男性」は「性別に関する偏見や社会通念、慣習をなくすこと」が58.2%と最も多くなっています。「女性」は「子育てや介護に男性が参画すること」が69.1%と最も多くなっています。

年 齢 別



年 齢 別



年齢別で見ると、“30～39歳”と“40～49歳”は「子育てや介護に男性が参画すること」が最も多くなっています。“50～59歳”は「性別に関する偏見や社会通念、慣習をなくすこと」が57.9%と最も多くなっています。

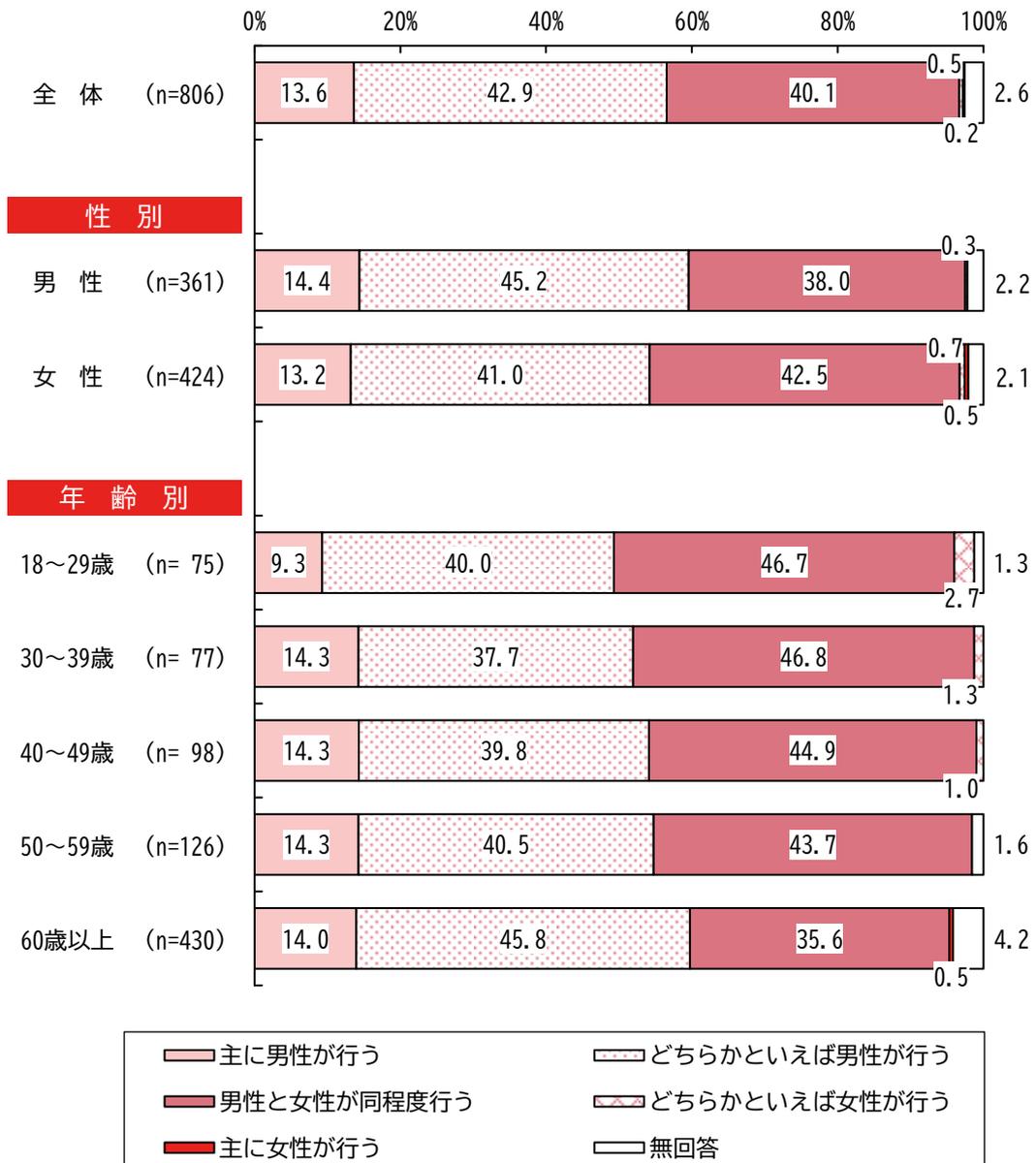
IV 家庭生活における役割分担について

①生活費を稼ぐことについての考え方

問15 次のことからについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

①生活費を稼ぐこと



生活費を稼ぐことでは、「どちらかといえば男性が行う」が42.9%と最も多く、次いで「男性と女性が同程度行う」が40.1%、「主に男性が行う」が13.6%などとなっています。

性別でみると、“女性”は「男性と女性が同程度行う」が42.5%と最も多くなっています。

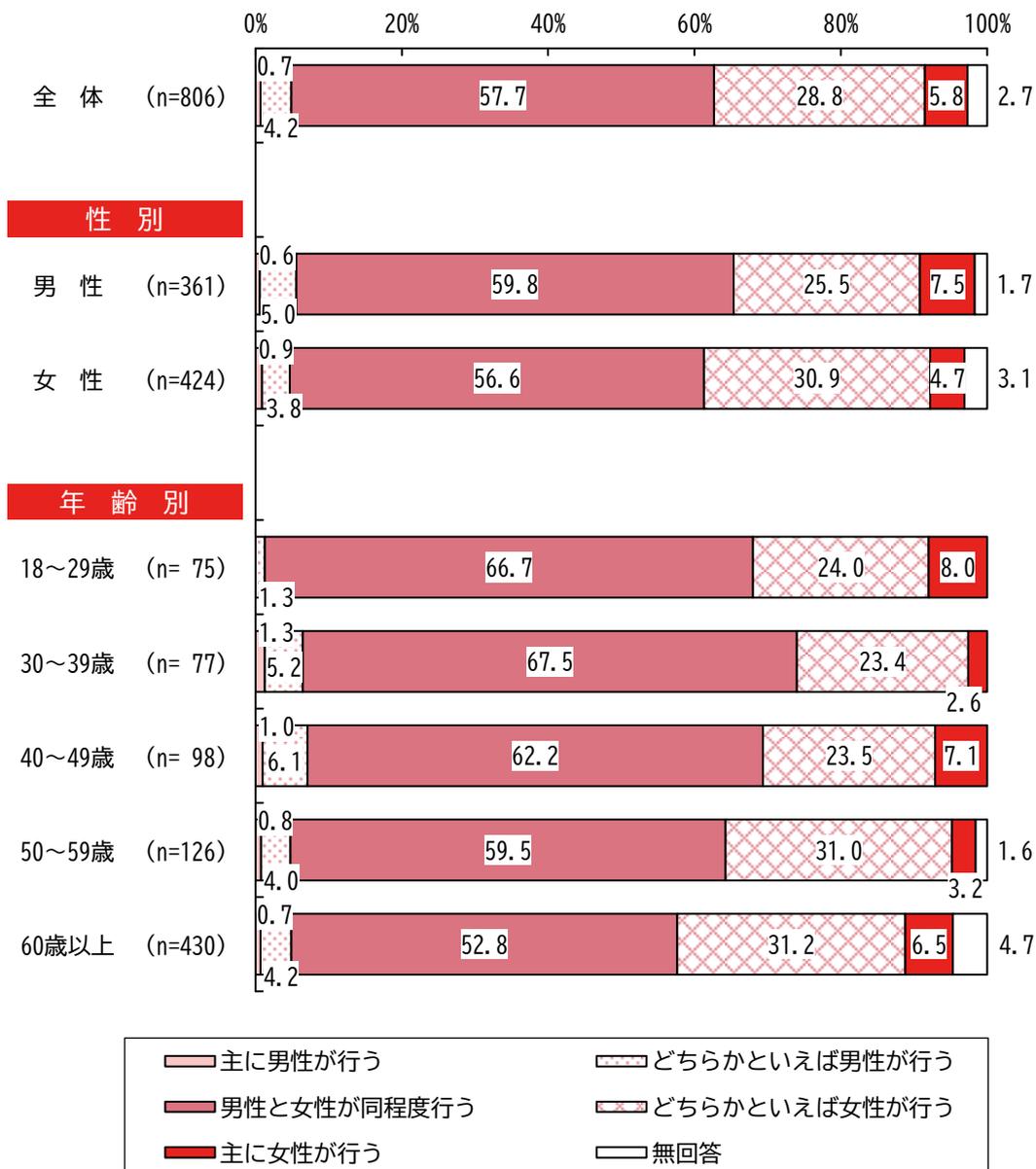
年齢別でみると、“18~29歳”、“30~39歳”、“40~49歳”、“50~59歳”は「男性と女性が同程度行う」が最も多くなっています。

②日常の家計管理についての考え方

問15 次のことごとらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

②日常の家計管理



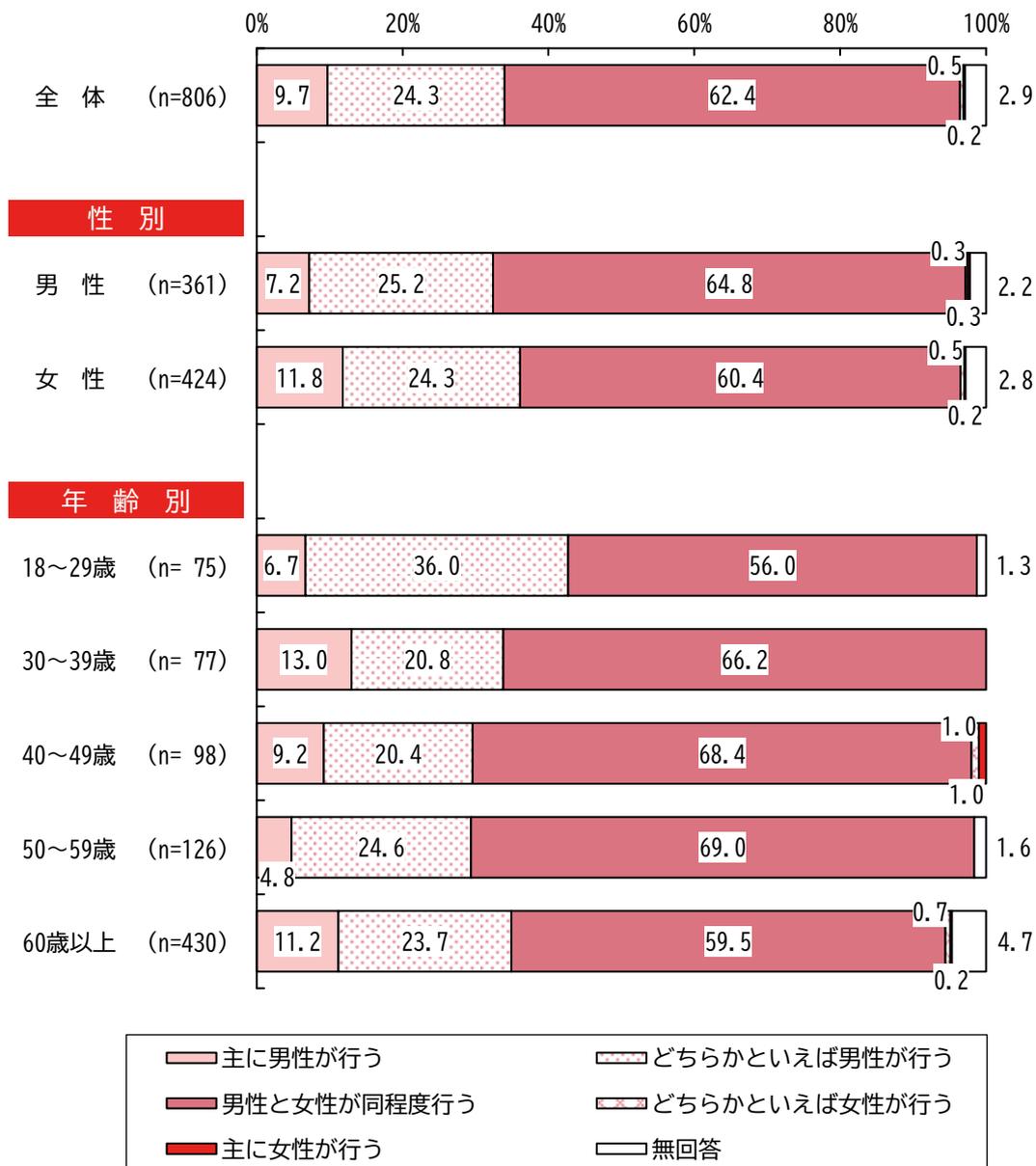
日常の家計管理では、「男性と女性が同程度行う」が57.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性が行う」が28.8%、「主に女性が行う」が5.8%などとなっています。

③高価な契約（住宅・車など）についての考え方

問15 次のことからについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。（それぞれ1つを選択）

③高価な契約（住宅・車など）



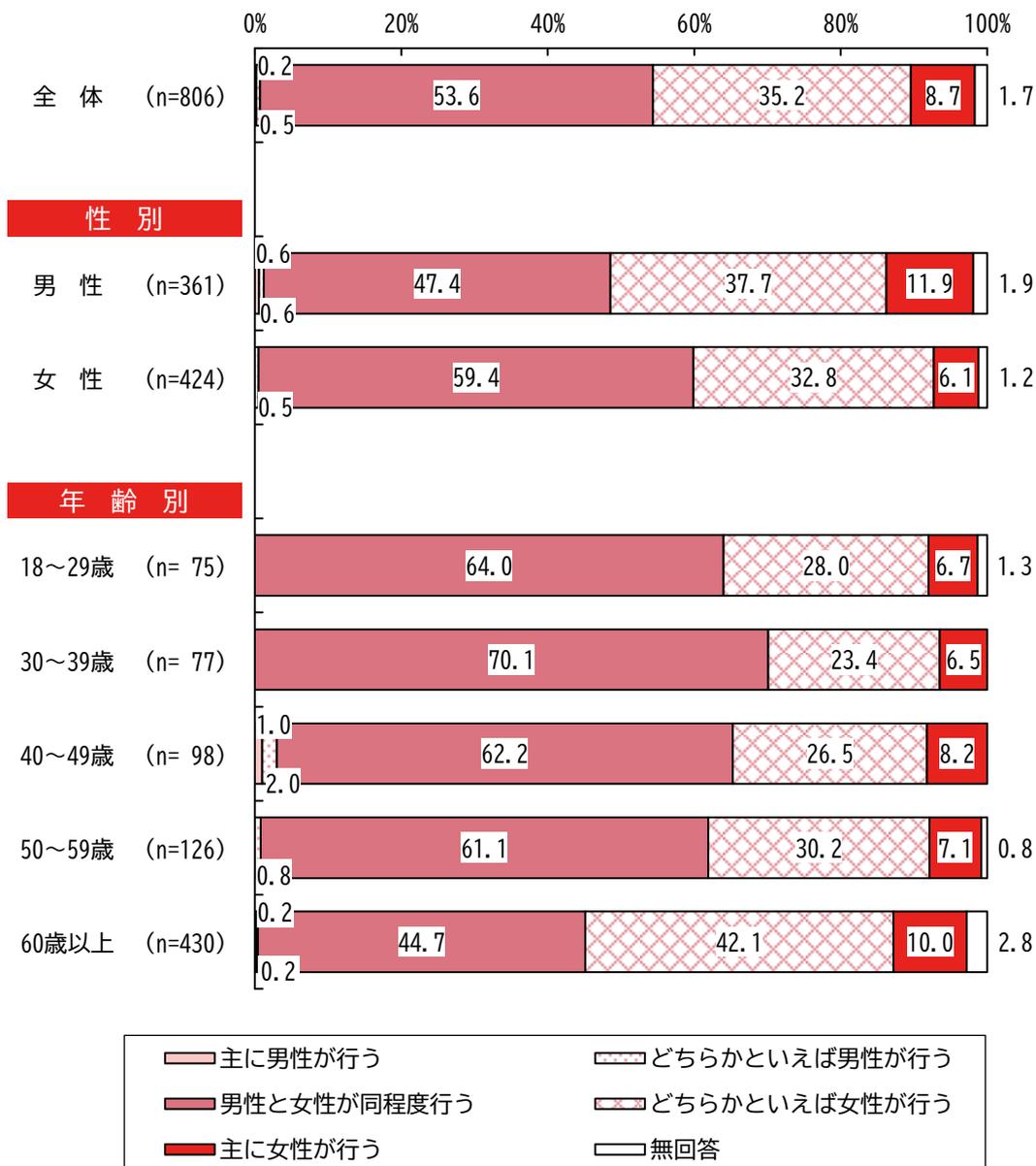
高価な契約（住宅・車など）では、「男性と女性が同程度行う」が62.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が行う」が24.3%、「主に男性が行う」が9.7%などとなっています。

④食事作りについての考え方

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

④食事作り



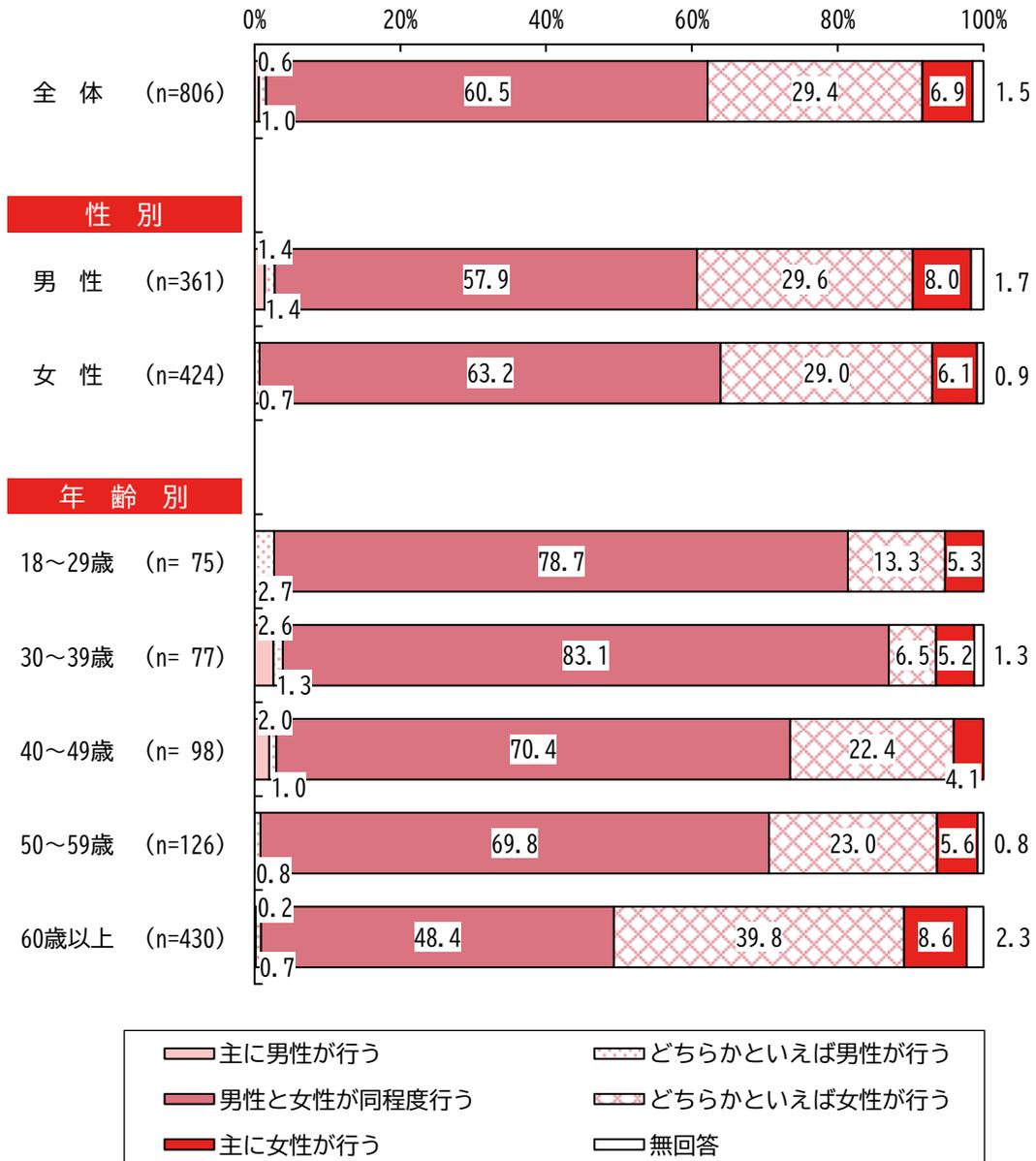
食事作りでは、「男性と女性が同程度行う」が53.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性が行う」が35.2%、「主に女性が行う」が8.7%などとなっています。

⑤洗濯についての考え方

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

⑤洗濯



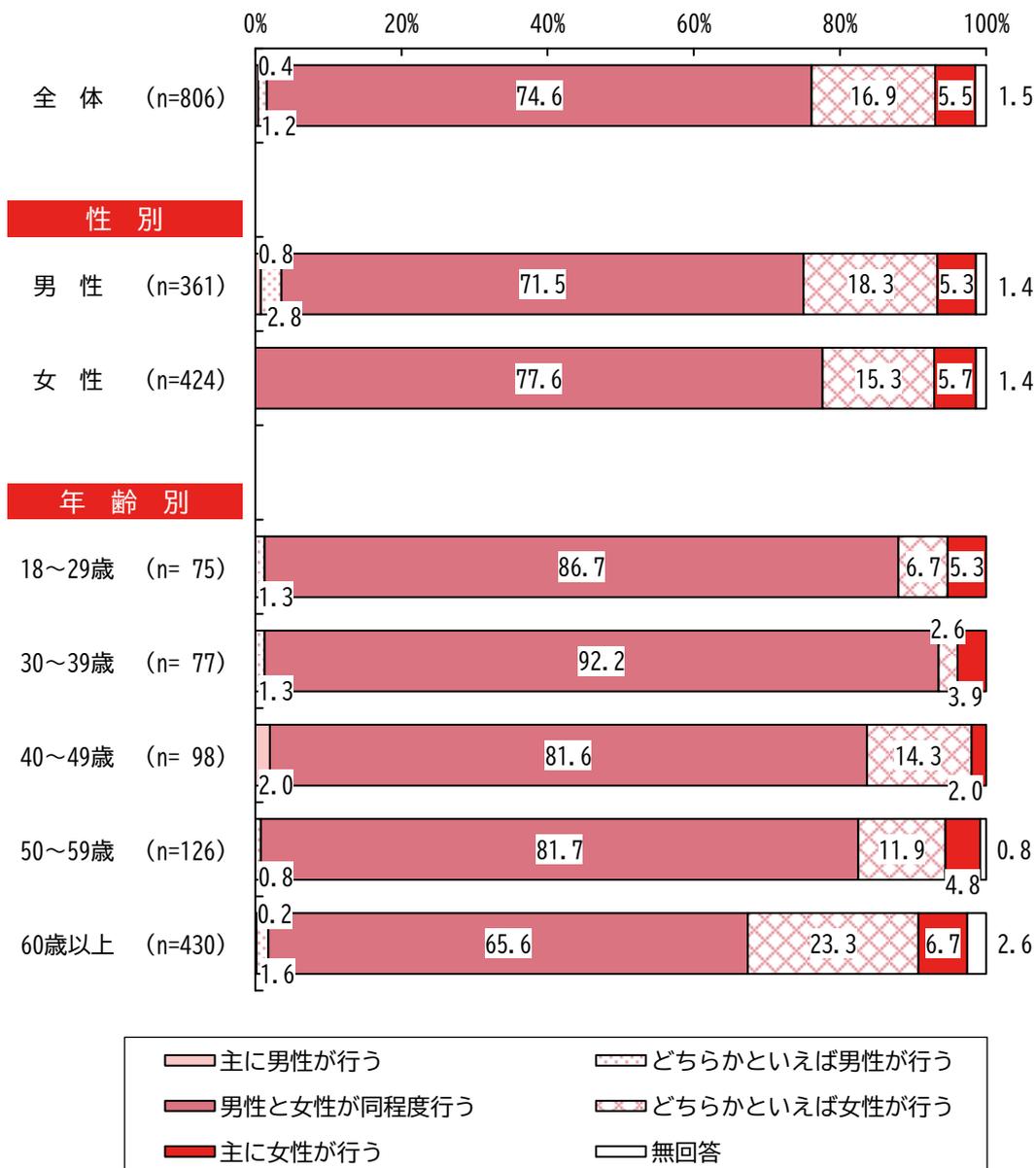
洗濯では、「男性と女性が同程度行う」が60.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性が行う」が29.4%、「主に女性が行う」が6.9%などとなっています。

⑥掃除についての考え方

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

⑥掃除



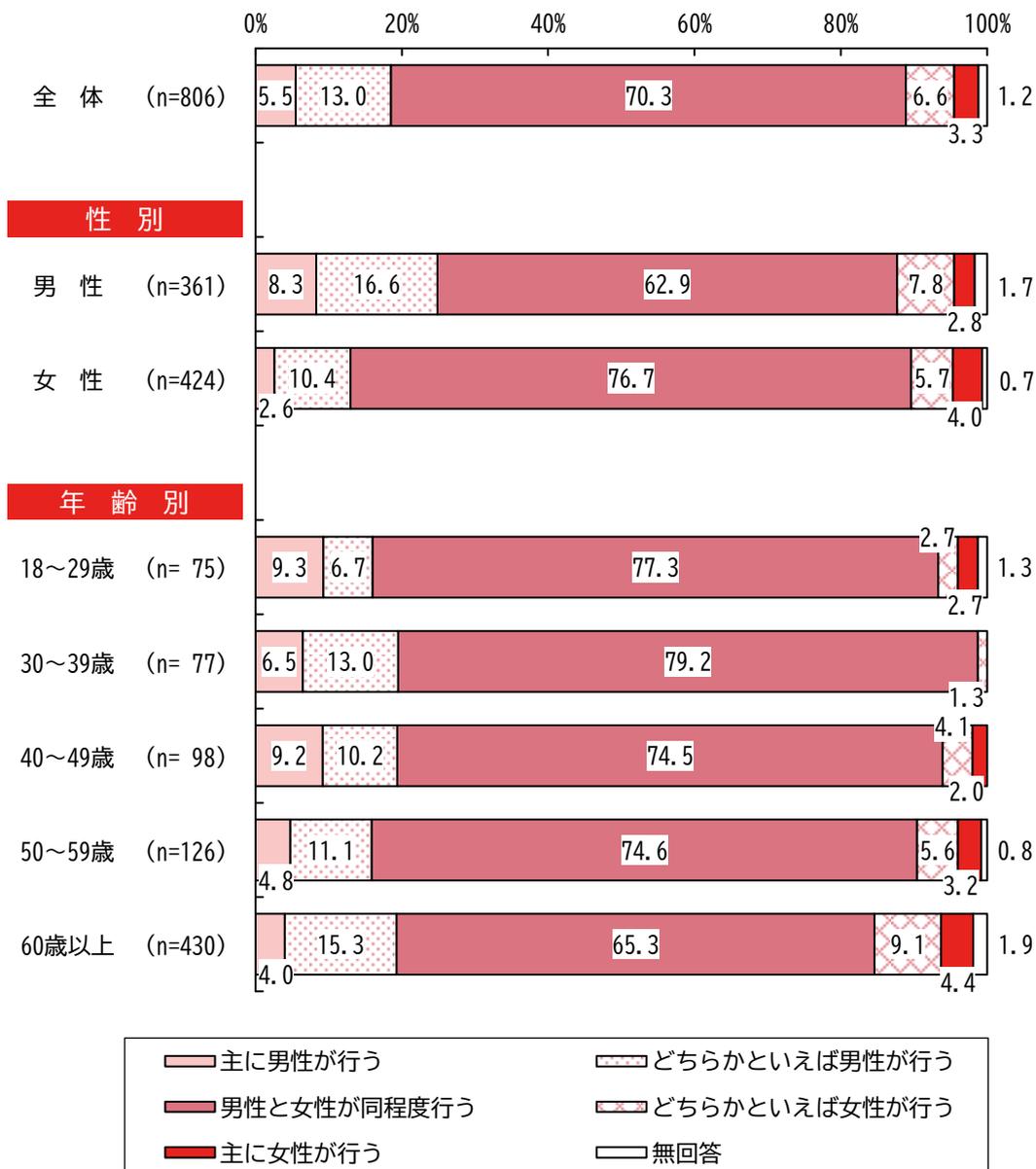
掃除では、「男性と女性が同程度行う」が74.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性が行う」が16.9%、「主に女性が行う」が5.5%などとなっています。

⑦ゴミ出しについての考え方

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

⑦ゴミ出し



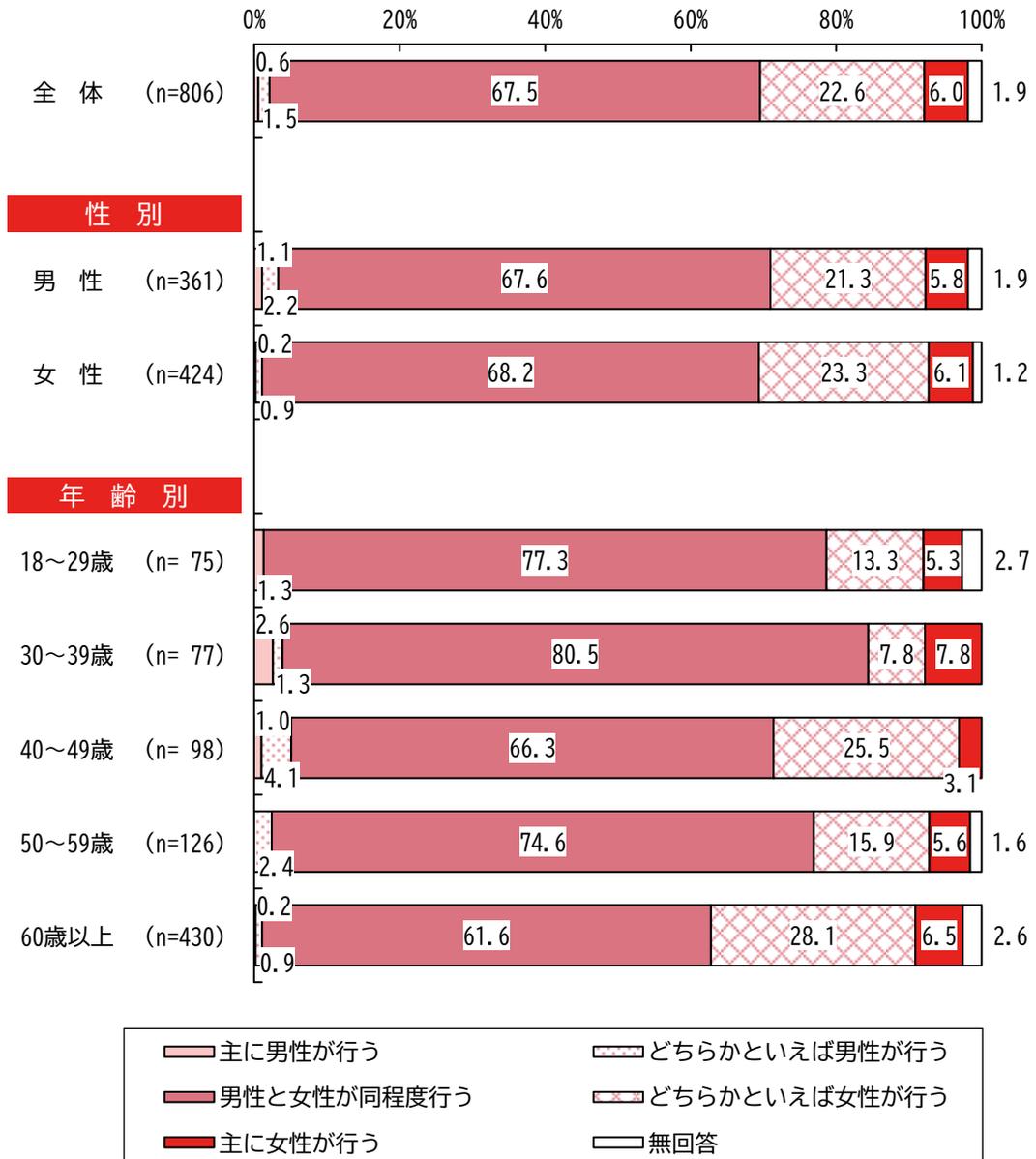
ゴミ出しでは、「男性と女性が同程度行う」が70.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が行う」が13.0%、「どちらかといえば女性が行う」が6.6%などとなっています。

⑧日用品の買い物についての考え方

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

⑧日用品の買い物



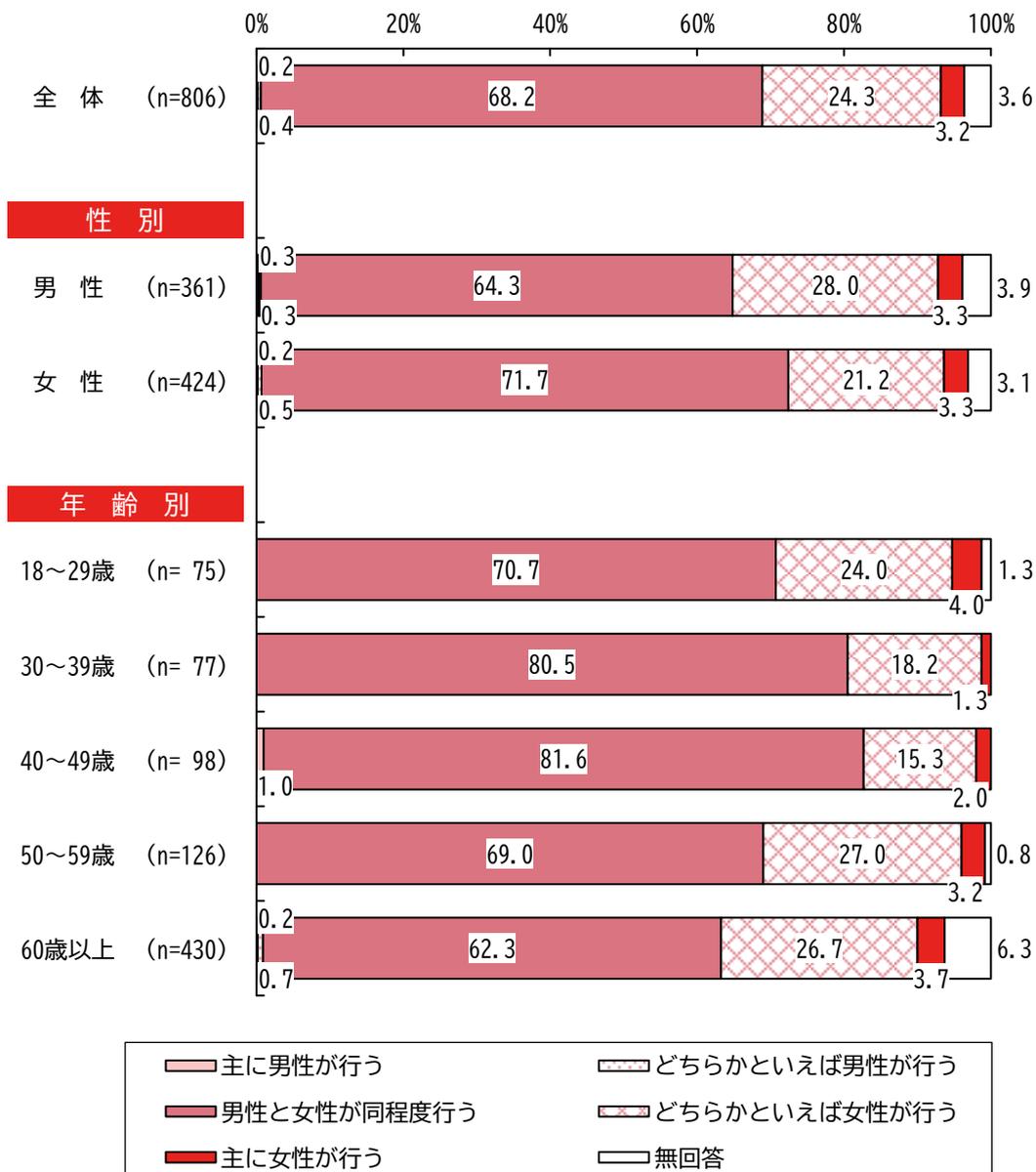
日用品の買い物では、「男性と女性が同程度行う」が67.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性が行う」が22.6%、「主に女性が行う」が6.0%などとなっています。

⑨こどものお世話についての考え方

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

⑨こどものお世話



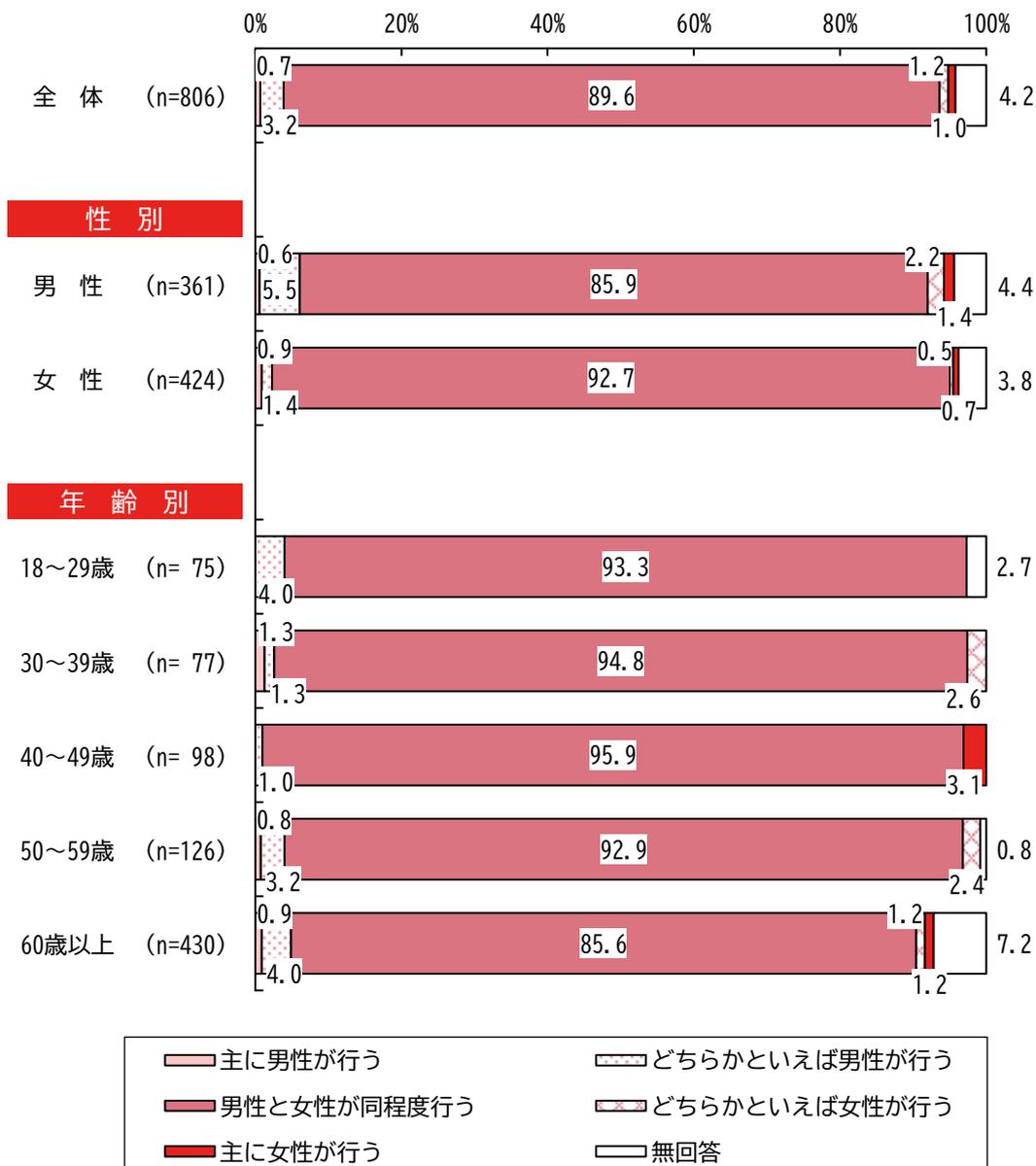
こどものお世話では、「男性と女性が同程度行う」が68.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性が行う」が24.3%、「主に女性が行う」が3.2%などとなっています。

⑩こどもの進路決定についての考え方

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

⑩こどもの進路決定



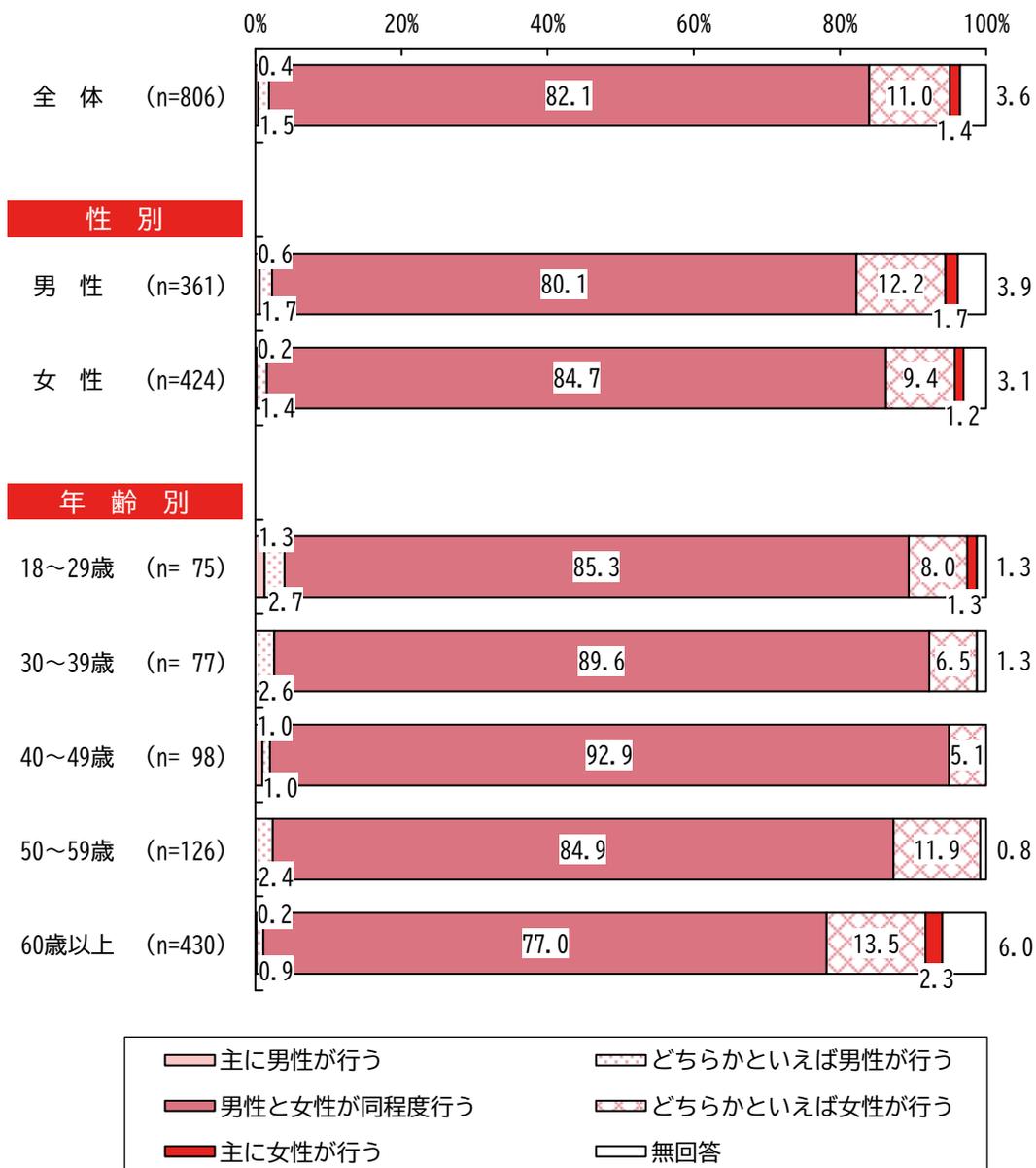
こどもの進路決定では、「男性と女性が同程度行う」が89.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が行う」が3.2%、「どちらかといえば女性が行う」が1.2%などとなっています。

⑪家族の介護についての考え方

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

⑪家族の介護



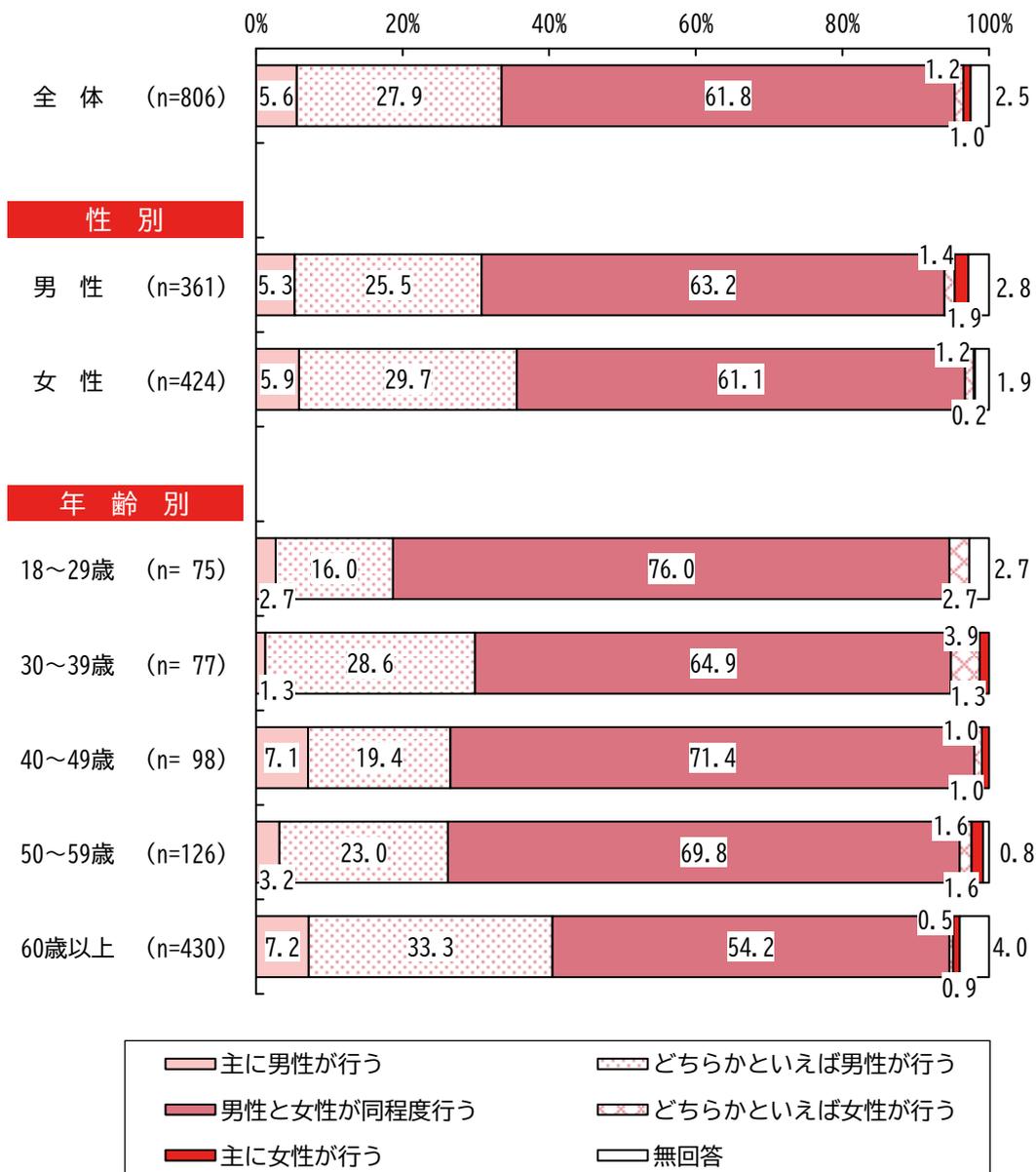
家族の介護では、「男性と女性が同程度行う」が82.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性が行う」が11.0%、「どちらかといえば男性が行う」が1.5%などとなっています。

⑫地域行事の役員についての考え方

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

⑫地域行事の役員



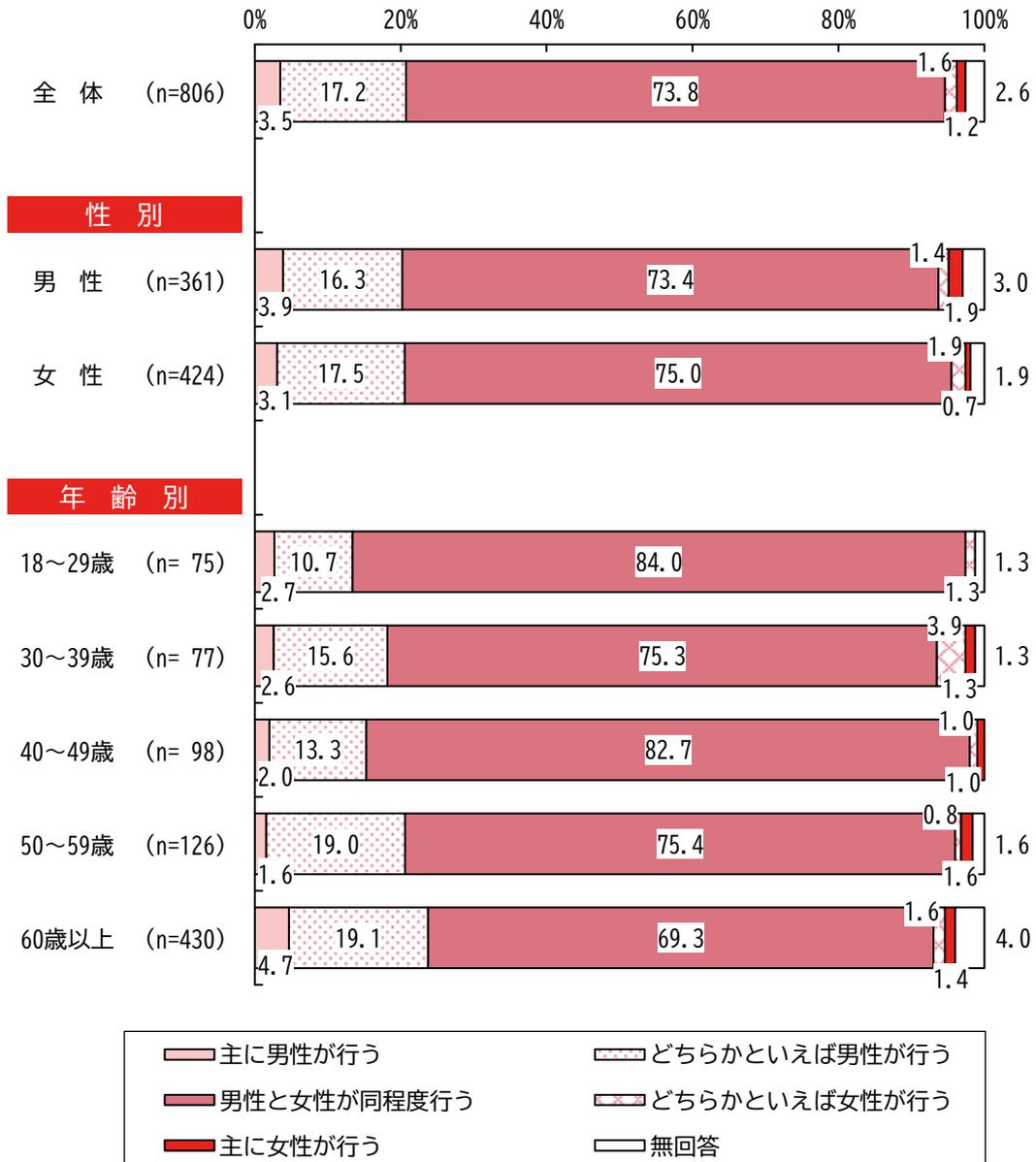
地域行事の役員では、「男性と女性が同程度行う」が61.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が行う」が27.9%、「主に男性が行う」が5.6%などとなっています。

⑬地域行事への参加についての考え方

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。(それぞれ1つを選択)

⑬地域行事への参加

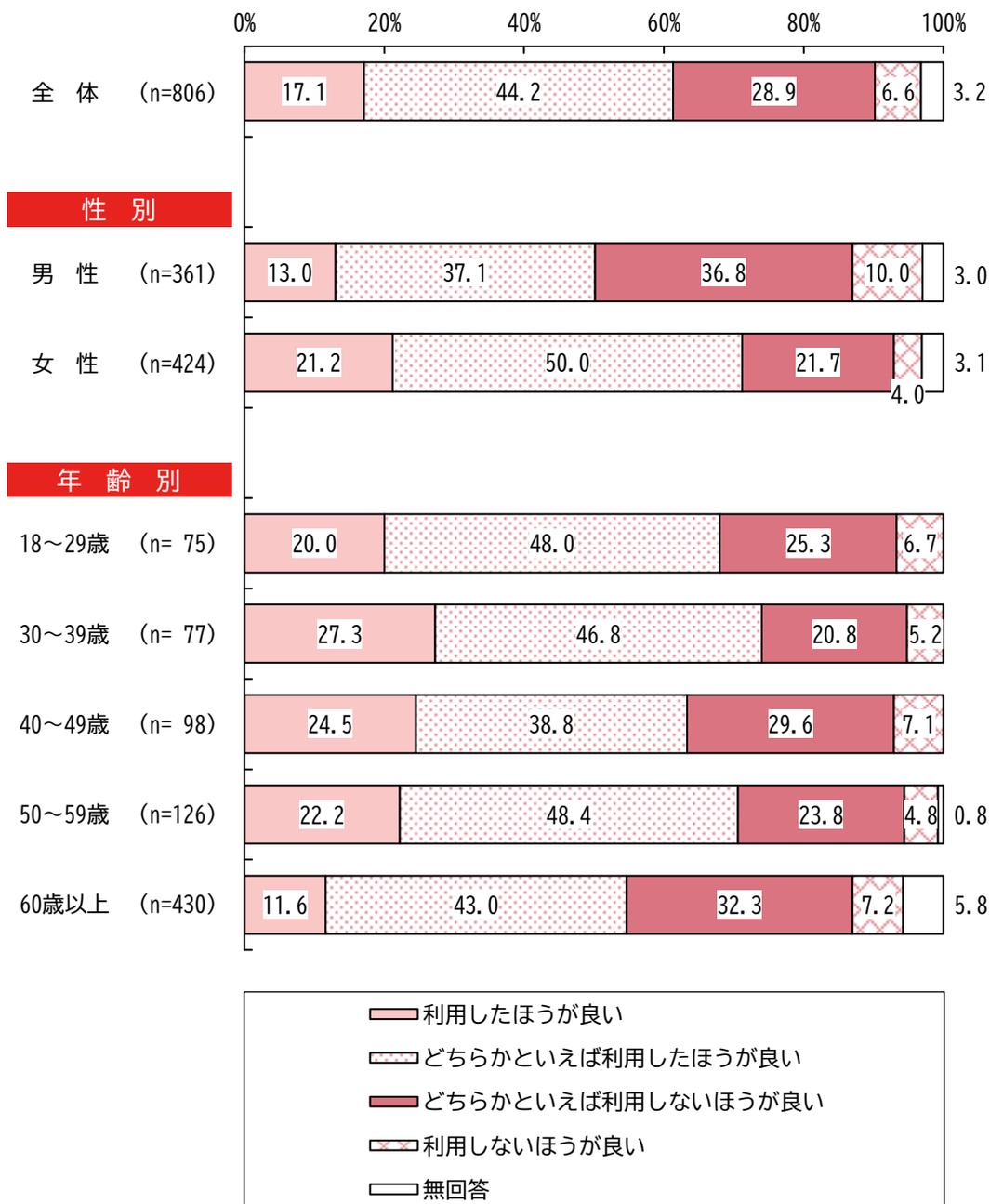


地域行事への参加では、「男性と女性が同程度行う」が73.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が行う」が17.2%、「主に男性が行う」が3.5%などとなっています。

⑭家事の外部化についての考え方

問16 家事・育児・介護を外部化（有償サービス・家電等を利用）することについて、どのようにお考えですか。（それぞれ1つを選択）

①家事

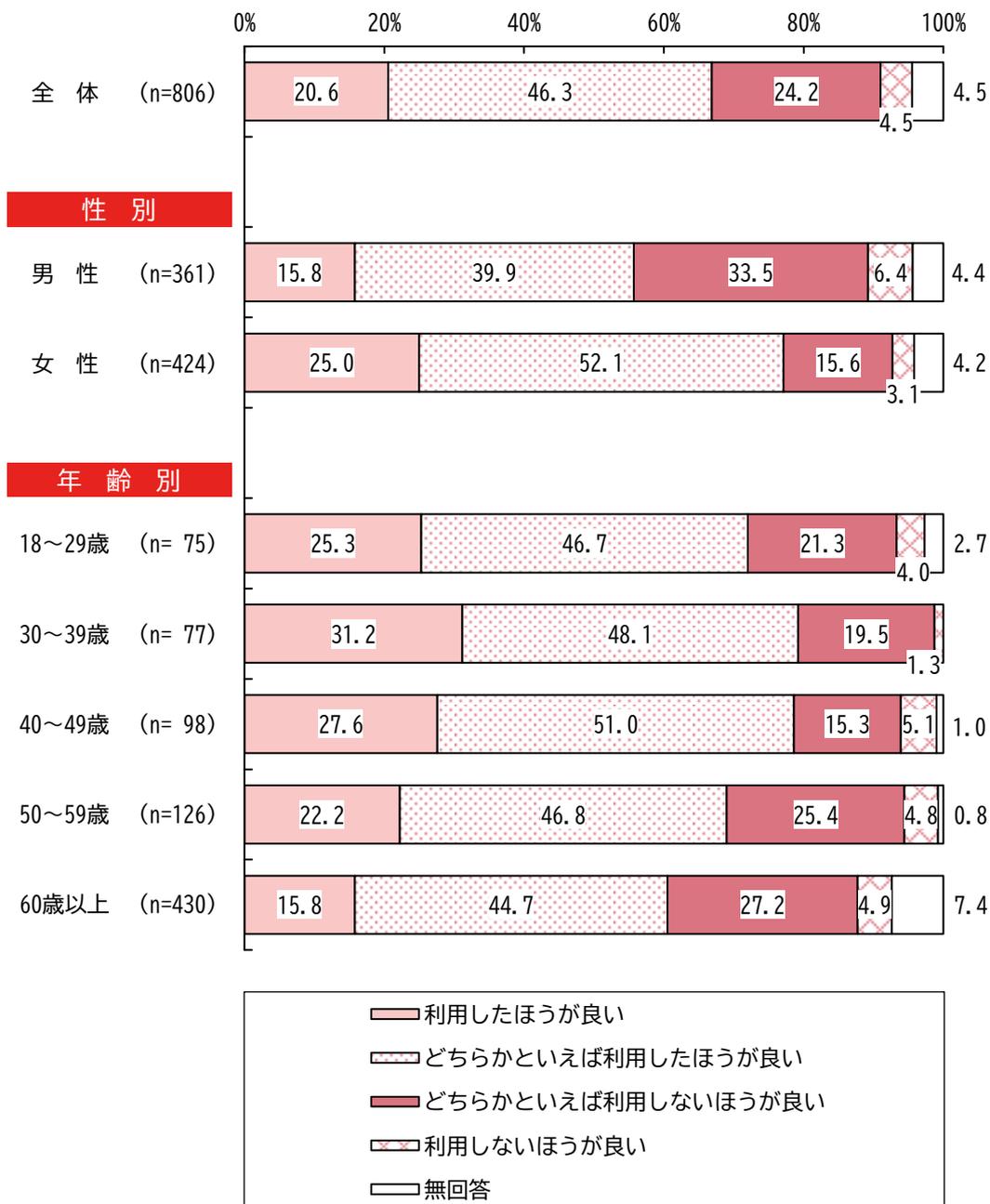


家事では、「利用したほうが良い」が17.1%、「どちらかといえば利用したほうが良い」が44.2%、「どちらかといえば利用しないほうが良い」が28.9%、「利用しないほうが良い」が6.6%となっています。

⑮育児の外部化についての考え方

問16 家事・育児・介護を外部化（有償サービス・家電等を利用）することについて、どのようにお考えですか。（それぞれ1つを選択）

②育児

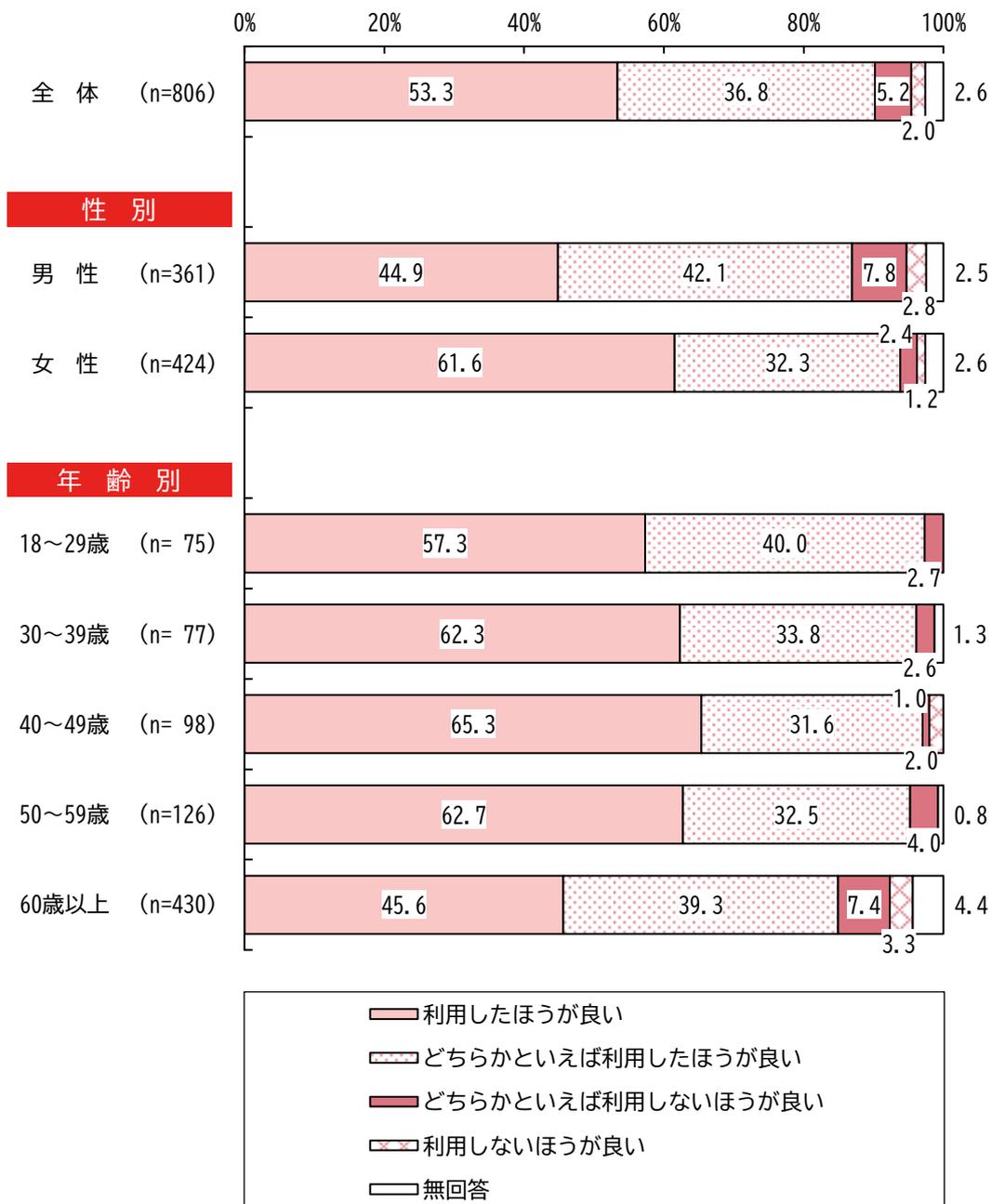


育児では、「利用したほうが良い」が20.6%、「どちらかといえば利用したほうが良い」が46.3%、「どちらかといえば利用しないほうが良い」が24.2%、「利用しないほうが良い」が4.5%となっています。

⑩介護の外部化についての考え方

問16 家事・育児・介護を外部化（有償サービス・家電等を利用）することについて、どのようにお考えですか。（それぞれ1つを選択）

③介護

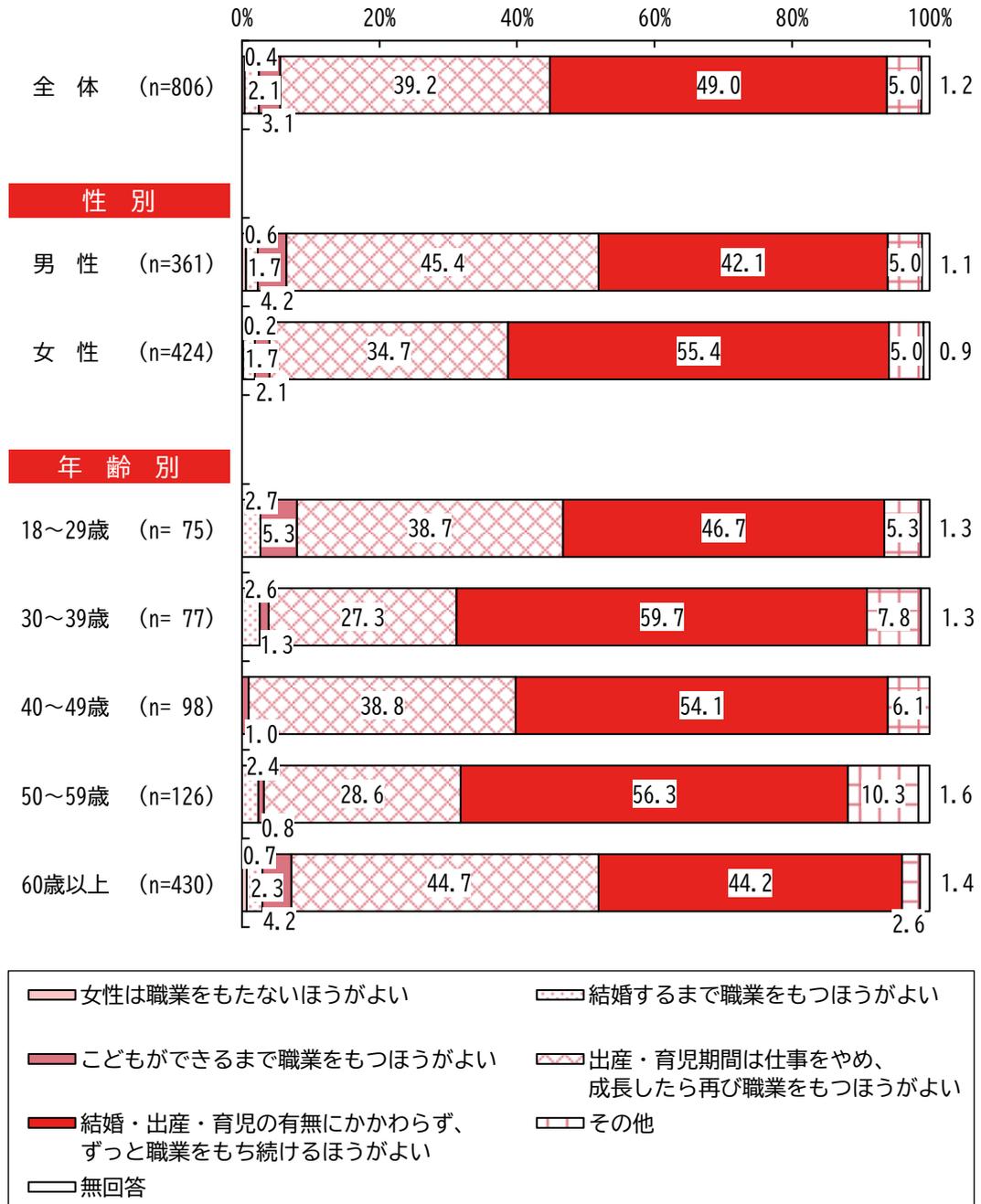


介護では、「利用したほうが良い」が53.3%、「どちらかといえば利用したほうが良い」が36.8%、「どちらかといえば利用しないほうが良い」が5.2%、「利用しないほうが良い」が2.0%となっています。

V 職業や労働、ワーク・ライフ・バランスについて

①「女性と職業」についての考え方

問17 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。(1つを選択)



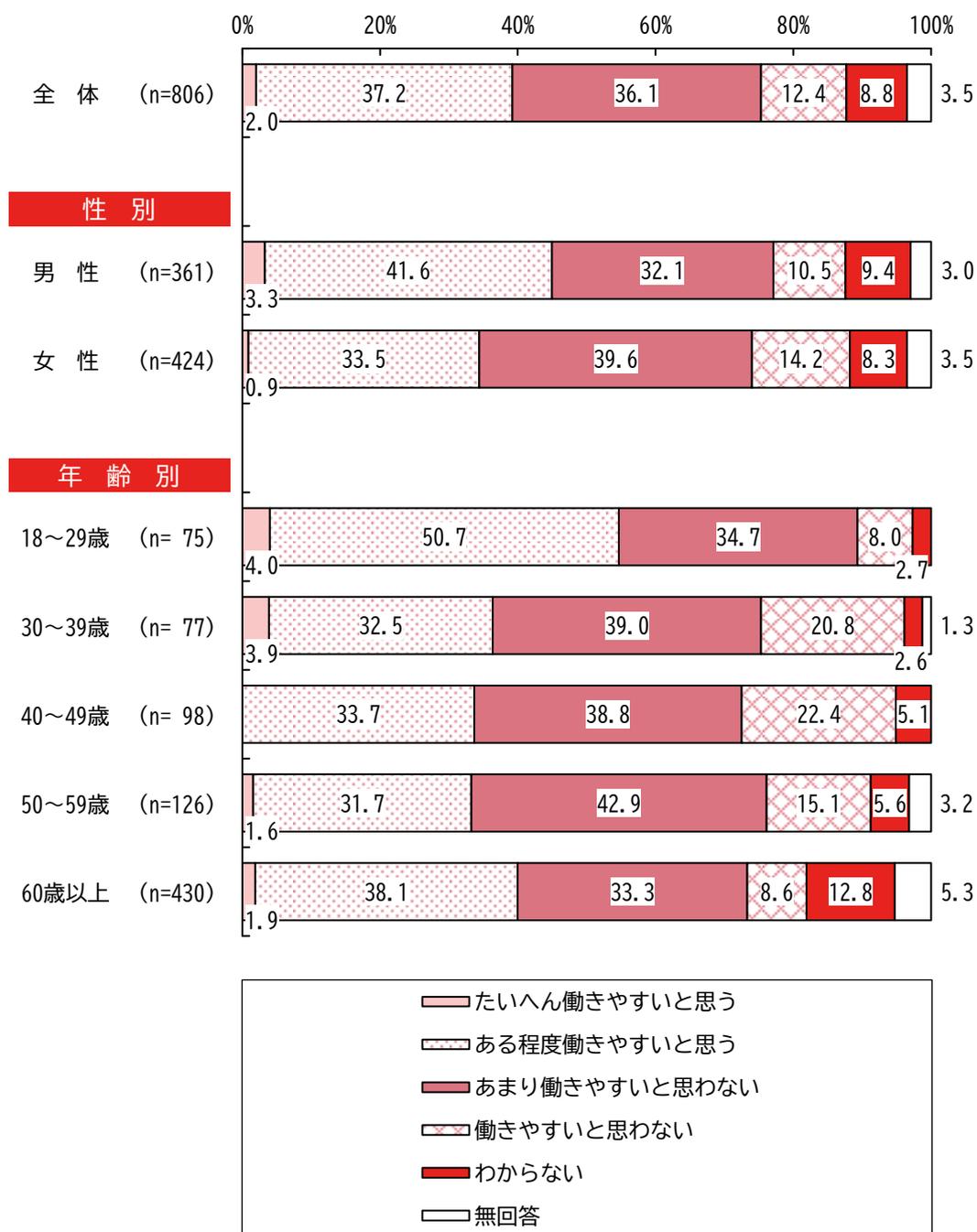
「女性と職業」についての考え方では、「結婚・出産・育児の有無にかかわらず、ずっと職業をもち続けるほうがよい」が49.0%と最も多く、次いで「出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい」が39.2%、「子どもができるまで職業をもつほうがよい」が3.1%などとなっています。

性別でみると、「男性」は「出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい」が45.4%と最も多くなっています。

年齢別でみると、「60歳以上」は「出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい」が44.7%と最も多くなっています。

②現在の女性の働きやすさ

問18 男性と比較した場合、現在の女性の働きやすさの状況について、どのように思いますか。(1つを選択)



現在の女性の働きやすさでは、「ある程度働きやすいと思う」が37.2%と最も多く、次いで「あまり働きやすいと思わない」が36.1%、「働きやすいと思わない」が12.4%などとなっています。

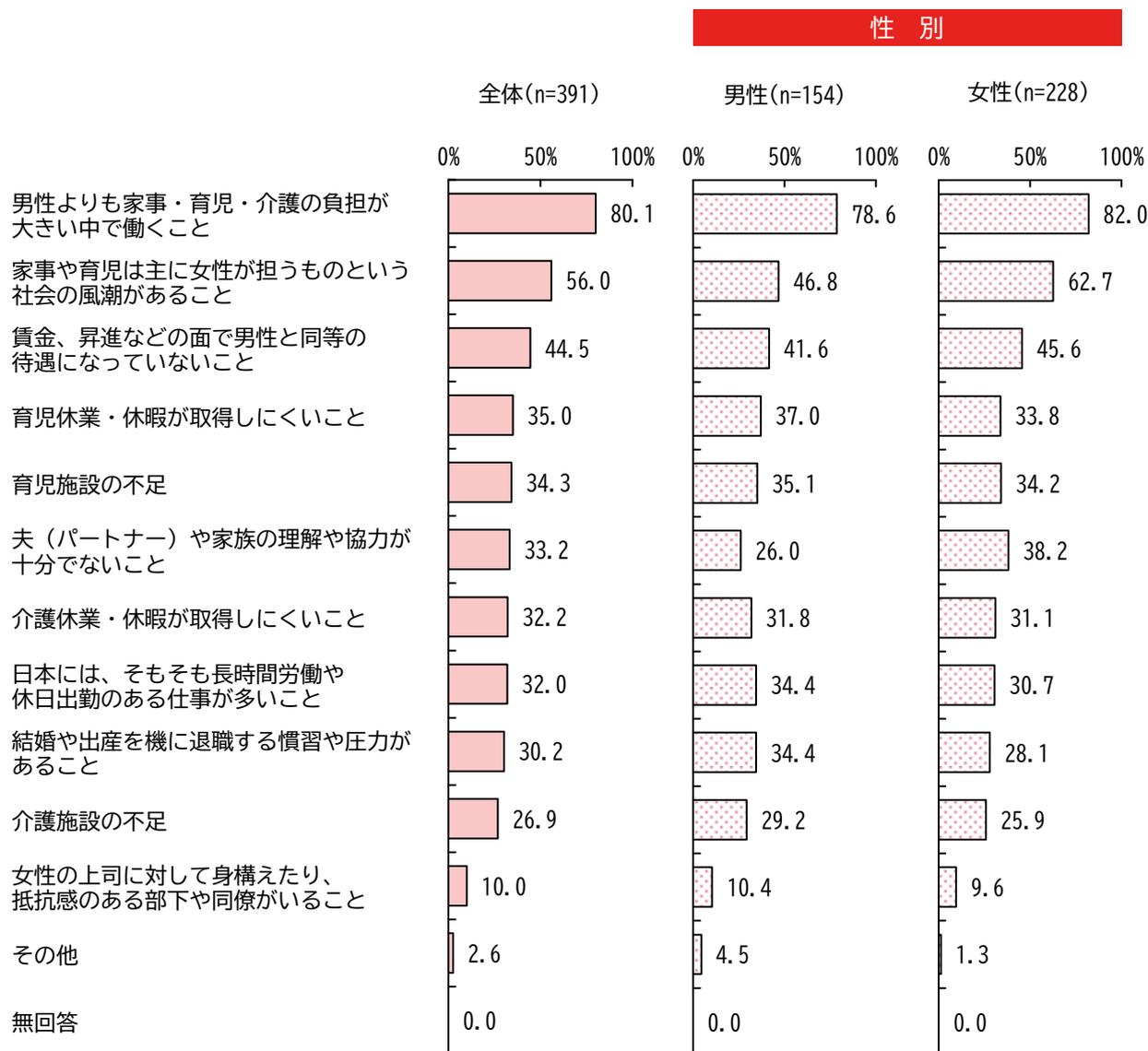
性別でみると、「女性」は「あまり働きやすいと思わない」が39.6%と最も多くなっています。

年齢別でみると、「30~39歳」、「40~49歳」、「50~59歳」は「あまり働きやすいと思わない」が最も多くなっています。

③女性が働きやすい原因

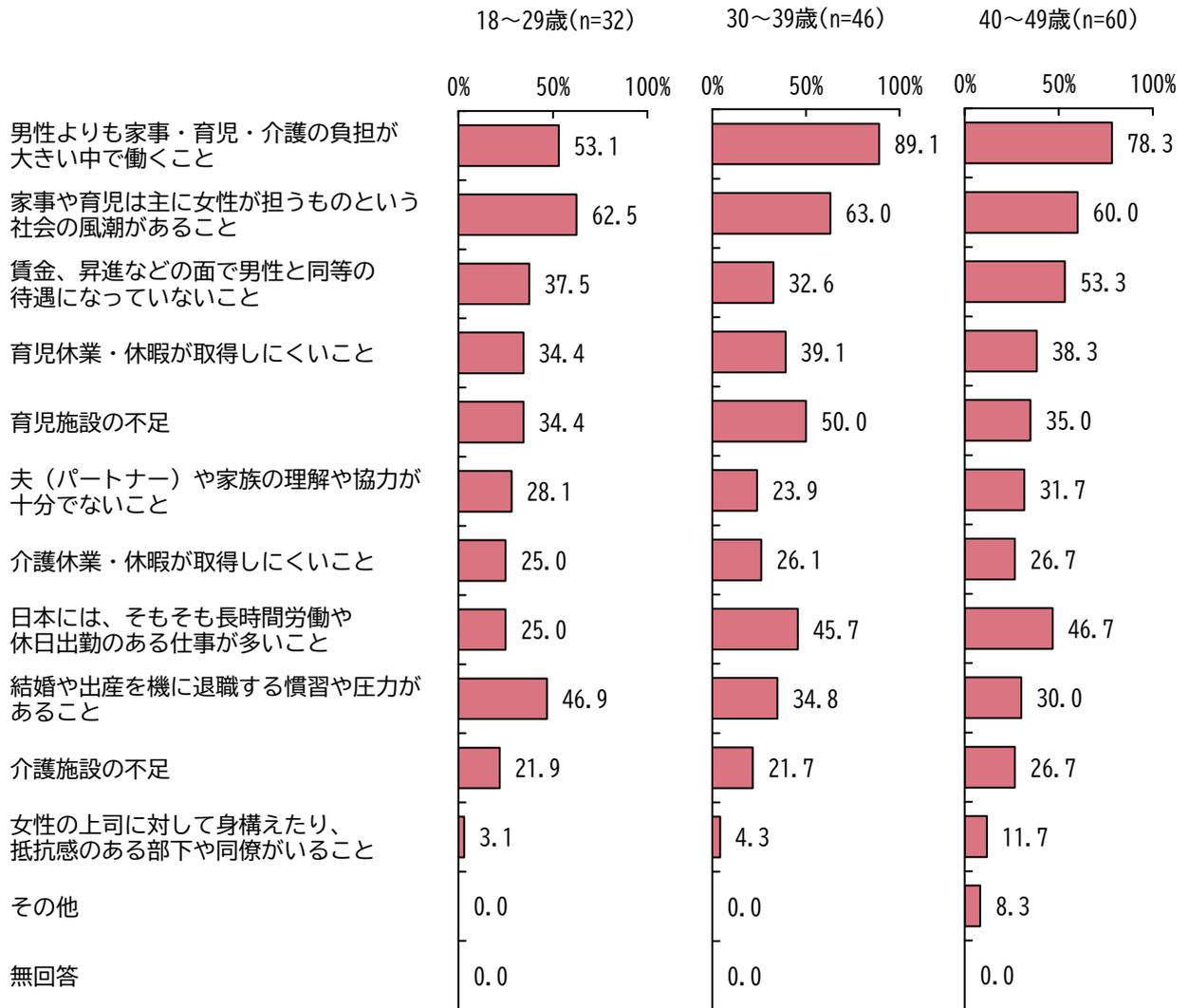
〈問18で「3. あまり働きやすいと思わない」、「4. 働きやすいと思わない」とお答えの方に伺います。〉

問19 女性が働きやすい状況の原因は何だと思えますか。(複数選択可)

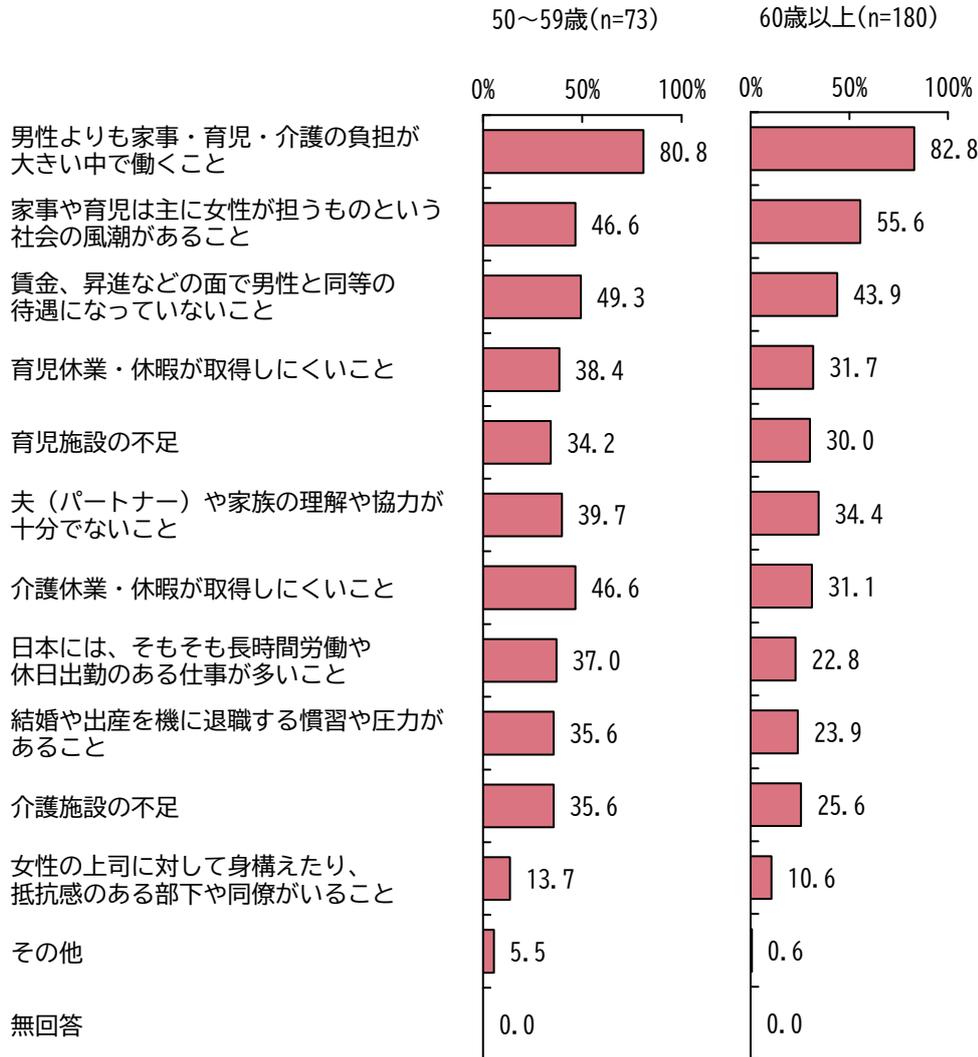


女性が働きやすい原因では、「男性よりも家事・育児・介護の負担が大きい中で働くこと」が80.1%と最も多く、次いで「家事や育児は主に女性が担うものという社会の風潮があること」が56.0%、「賃金、昇進などの面で男性と同等の待遇になっていないこと」が44.5%などとなっています。

年 齢 別



年 齢 別

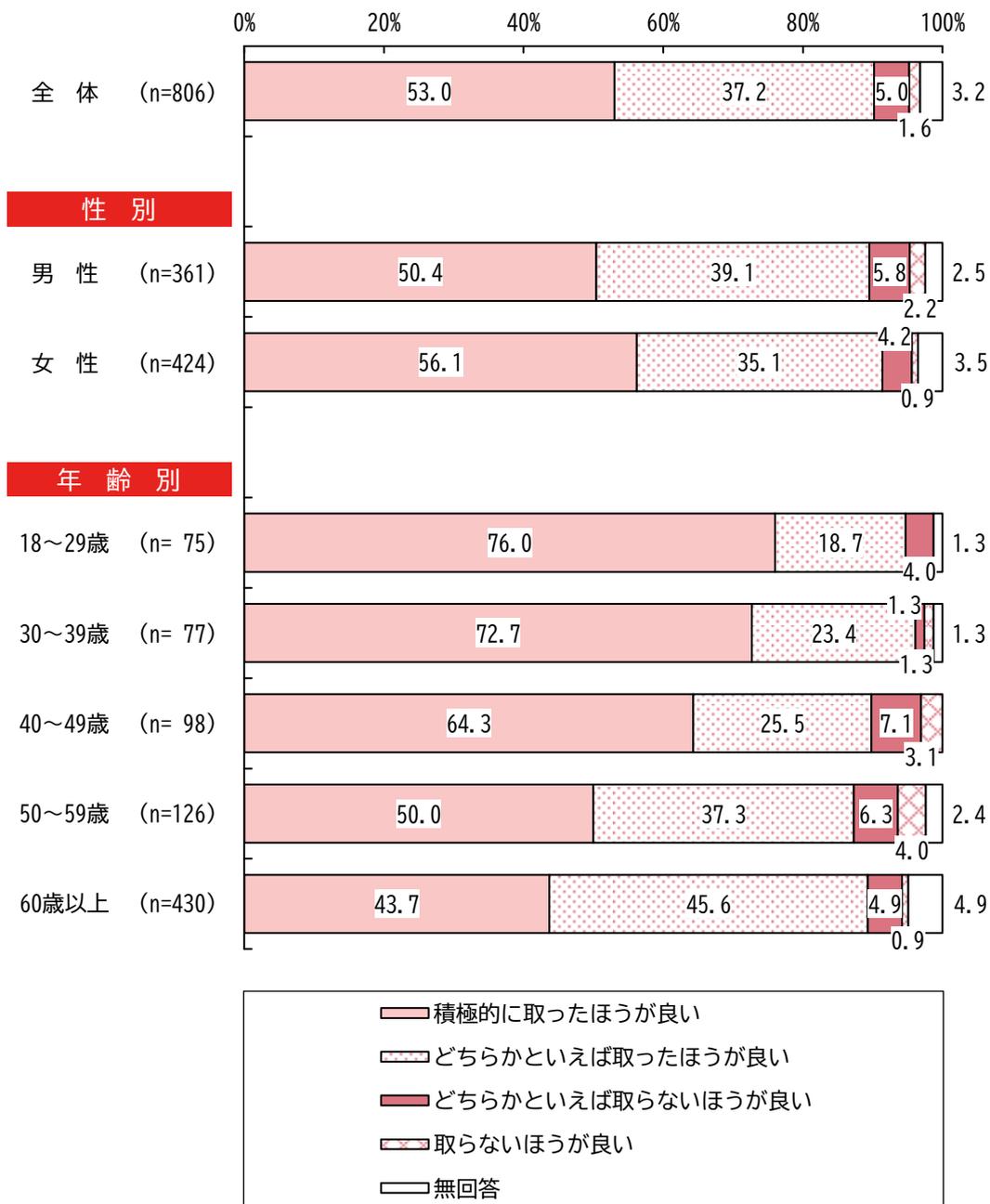


年齢別で見ると、“18～29歳”は「家事や育児は主に女性が担うものという社会の風潮があること」が62.5%と最も多くなっています。

④育児休業・休暇を男性が取得することについての考え方

問20 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。(それぞれ1つを選択)

①育児休業・休暇



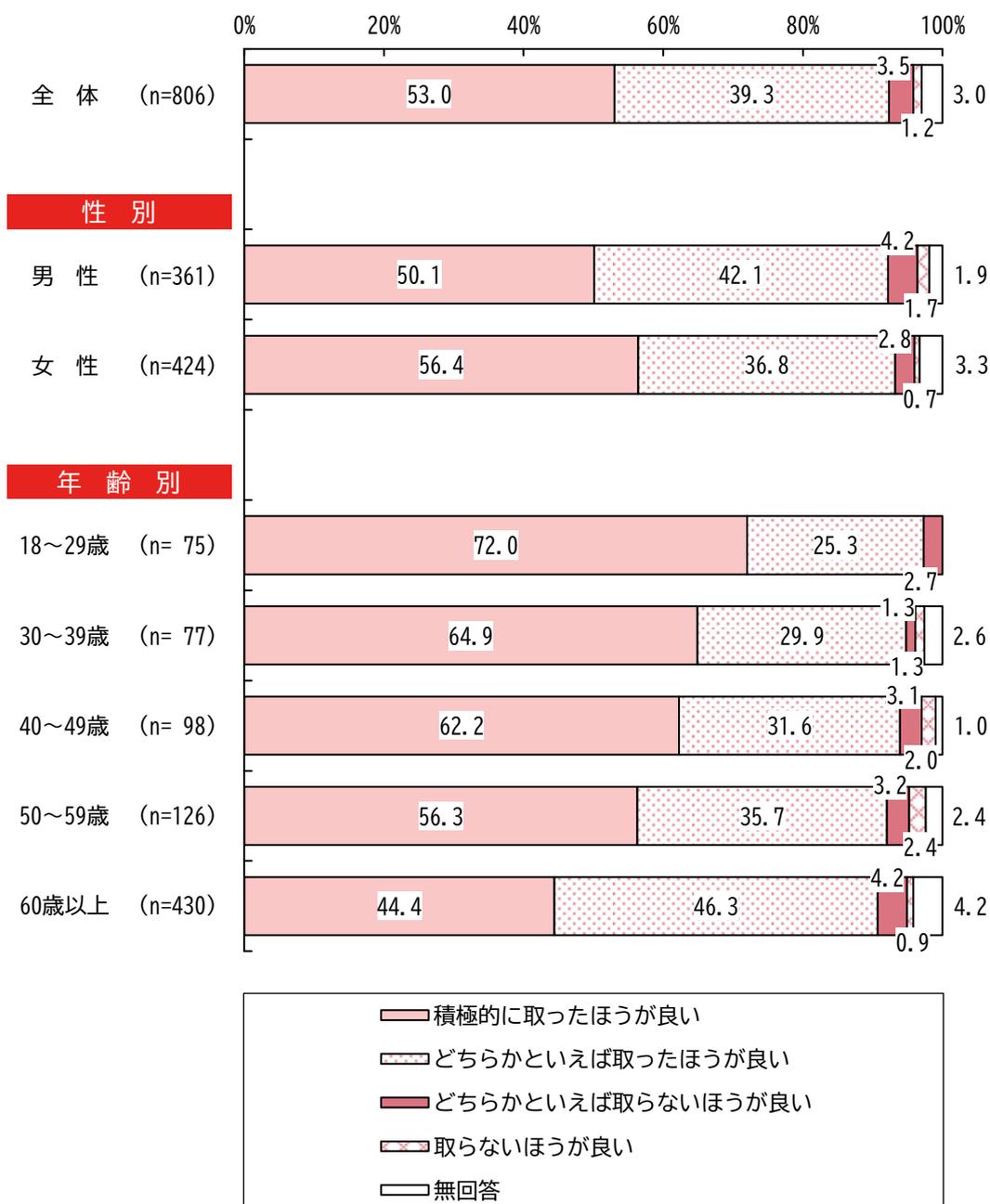
育児休業・休暇では、「積極的に取ったほうが良い」が53.0%、「どちらかといえば取ったほうが良い」が37.2%、「どちらかといえば取らないほうが良い」が5.0%、「取らないほうが良い」が1.6%となっています。

年齢別でみると、「60歳以上」は「どちらかといえば取ったほうが良い」が45.6%と最も多くなっています。

⑤介護休業・休暇を男性が取得することについての考え方

問20 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。(それぞれ1つを選択)

②介護休業・休暇



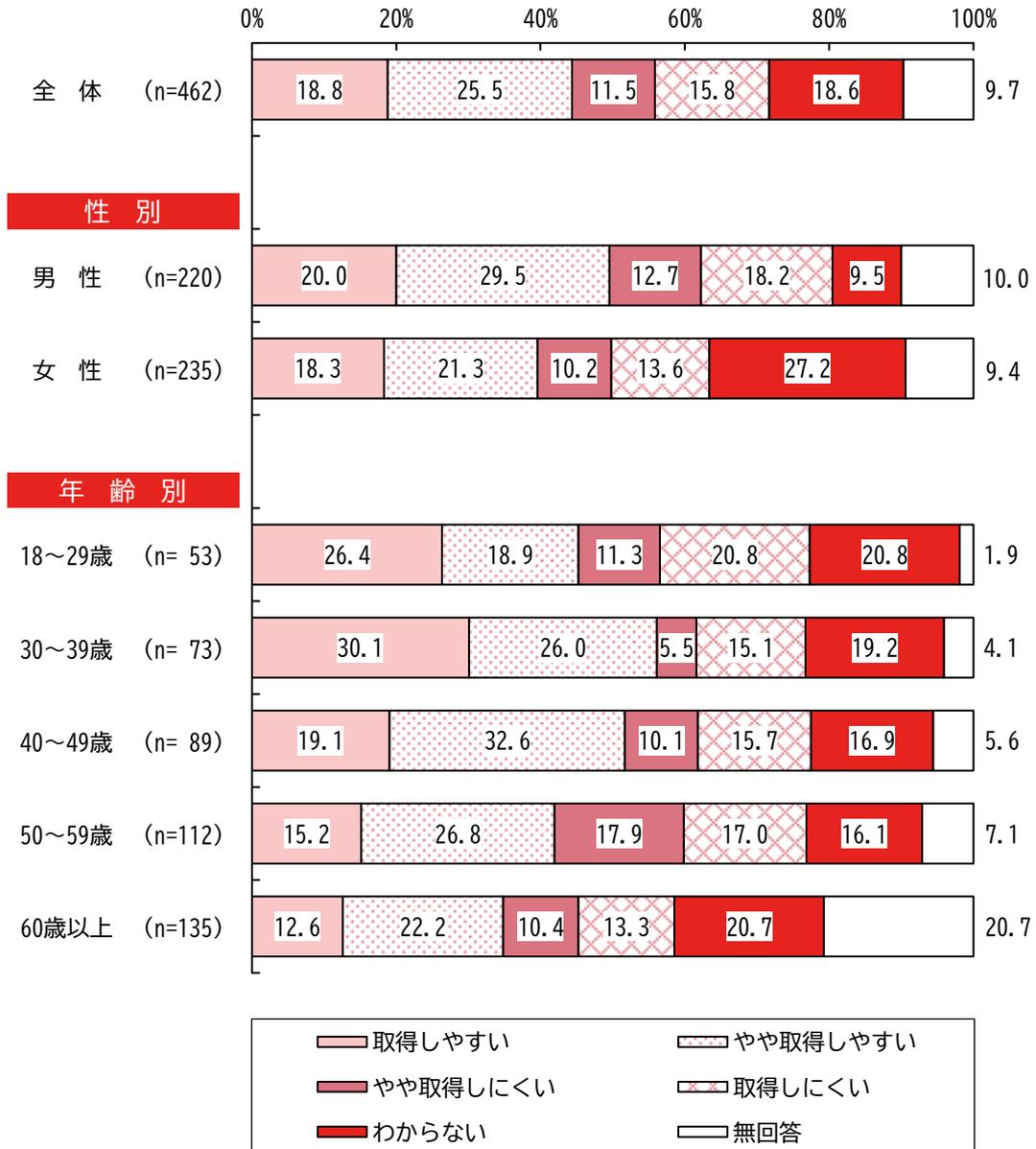
介護休業・休暇では、「積極的に取ったほうが良い」が53.0%、「どちらかといえば取ったほうが良い」が39.3%、「どちらかといえば取らないほうが良い」が3.5%、「取らないほうが良い」が1.2%となっています。

年齢別でみると、「60歳以上」は「どちらかといえば取ったほうが良い」が46.3%と最も多くなっています。

⑥育児休業・休暇を男性が取得する環境

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境にありますか。（それぞれ1つを選択）

①育児休業・休暇



育児休業・休暇では、「やや取得しやすい」が25.5%と最も多く、次いで「取得しやすい」が18.8%、「わからない」が18.6%などとなっています。

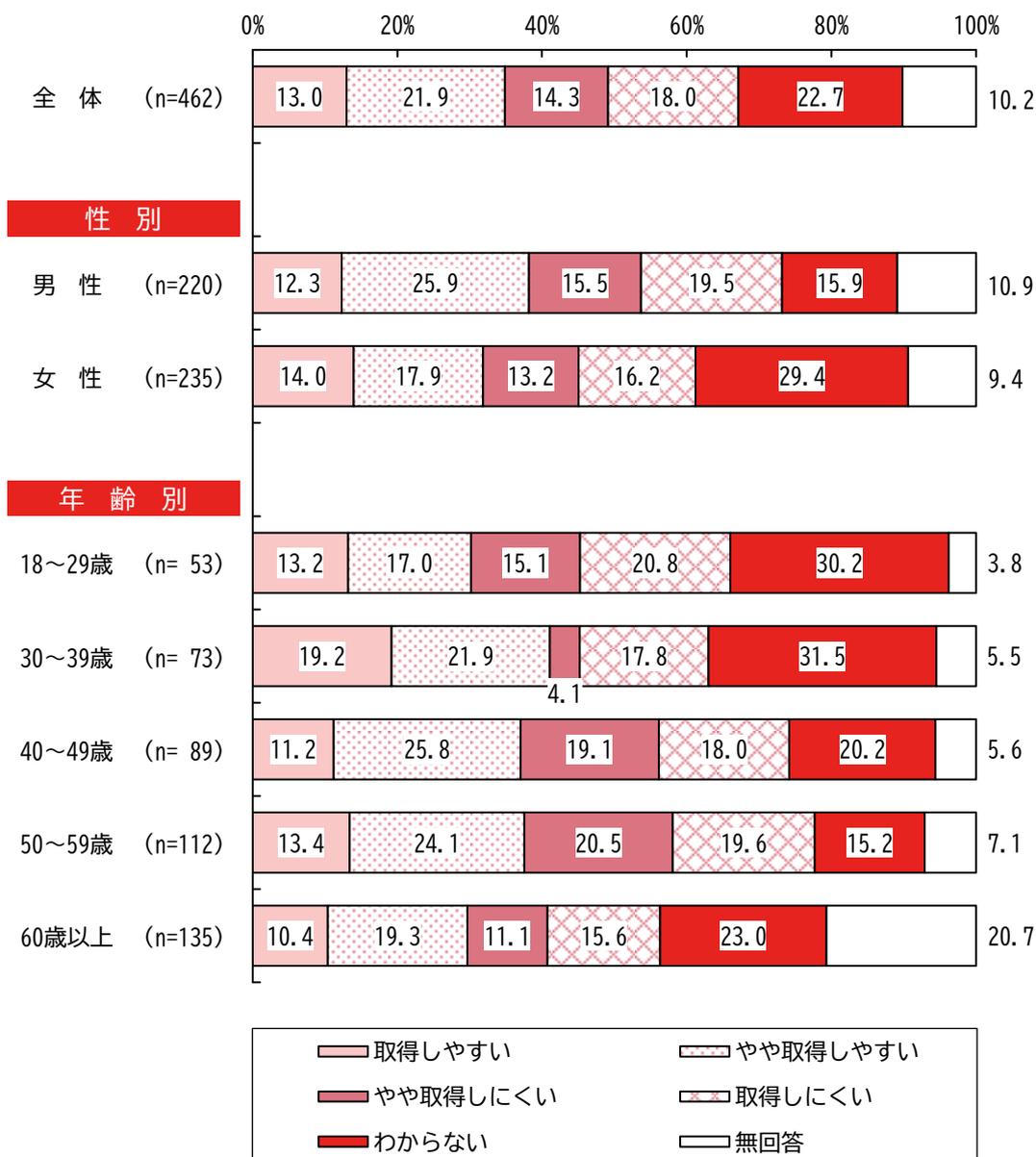
性別でみると、“女性”は「わからない」が27.2%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“18～29歳”と“30～39歳”は「取得しやすい」が最も多くなっています。

⑦介護休業・休暇を男性が取得する環境

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境にありますか。（それぞれ1つを選択）

②介護休業・休暇



介護休業・休暇では、「わからない」が22.7%と最も多く、次いで「やや取得しやすい」が21.9%、「取得しにくい」が18.0%などとなっています。

性別でみると、「男性」は「やや取得しやすい」が25.9%と最も多くなっています。

年齢別でみると、「40～49歳」と「50～59歳」は「やや取得しやすい」が最も多くなっています。

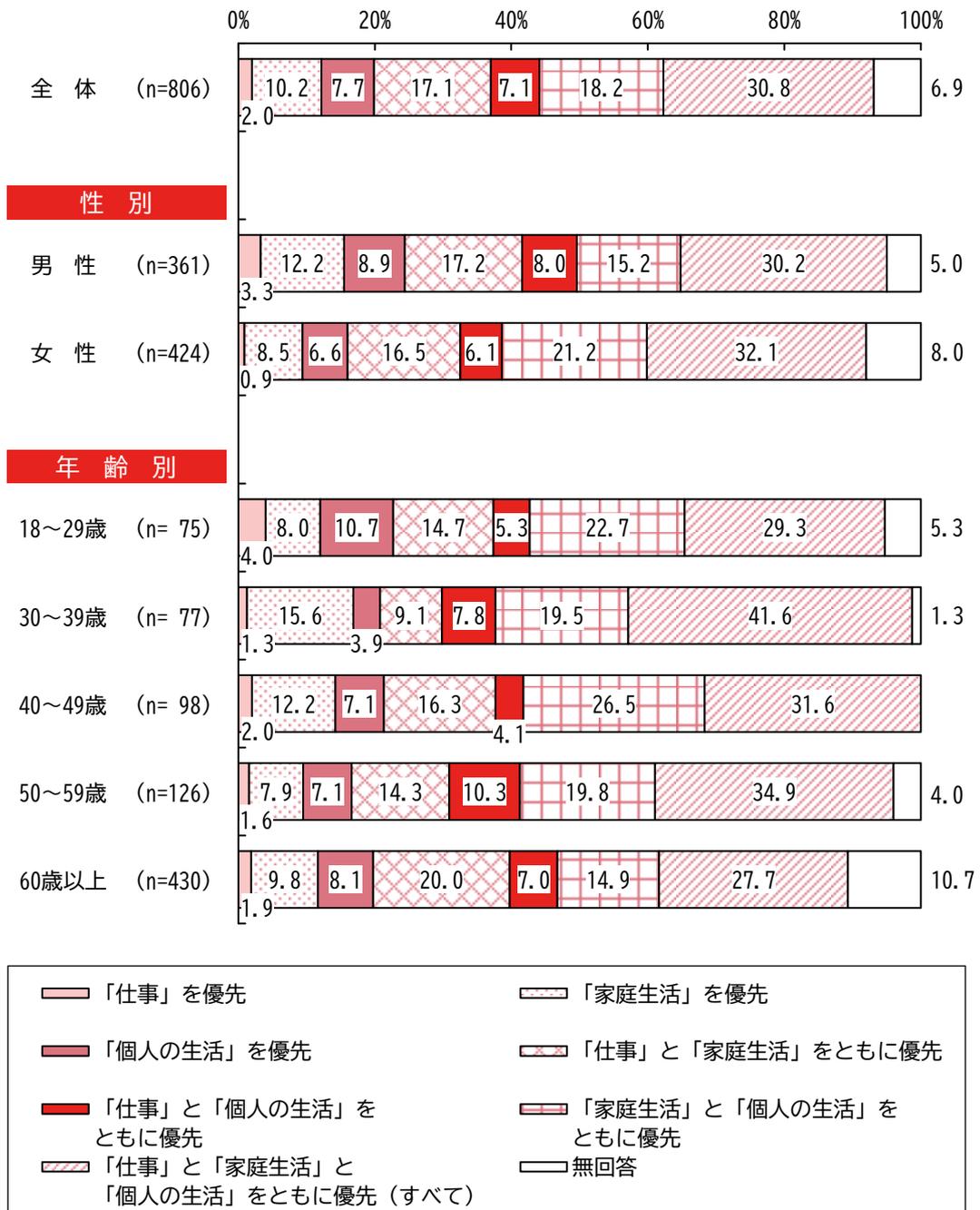
⑧理想の生活（「仕事」「家庭生活」「個人の生活」）

問22 あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「個人の生活」について、優先させたいものの理想と現実を教えてください。

※「個人の生活」とは、趣味・学習・社会活動・付き合いなどを指しています。

（A、Bについてそれぞれ1つを選択）

A 理想の生活



理想の生活では、「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先（すべて）が30.8%と最も多く、次いで「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先が18.2%、「仕事」と「家庭生活」をともに優先が17.1%などとなっています。

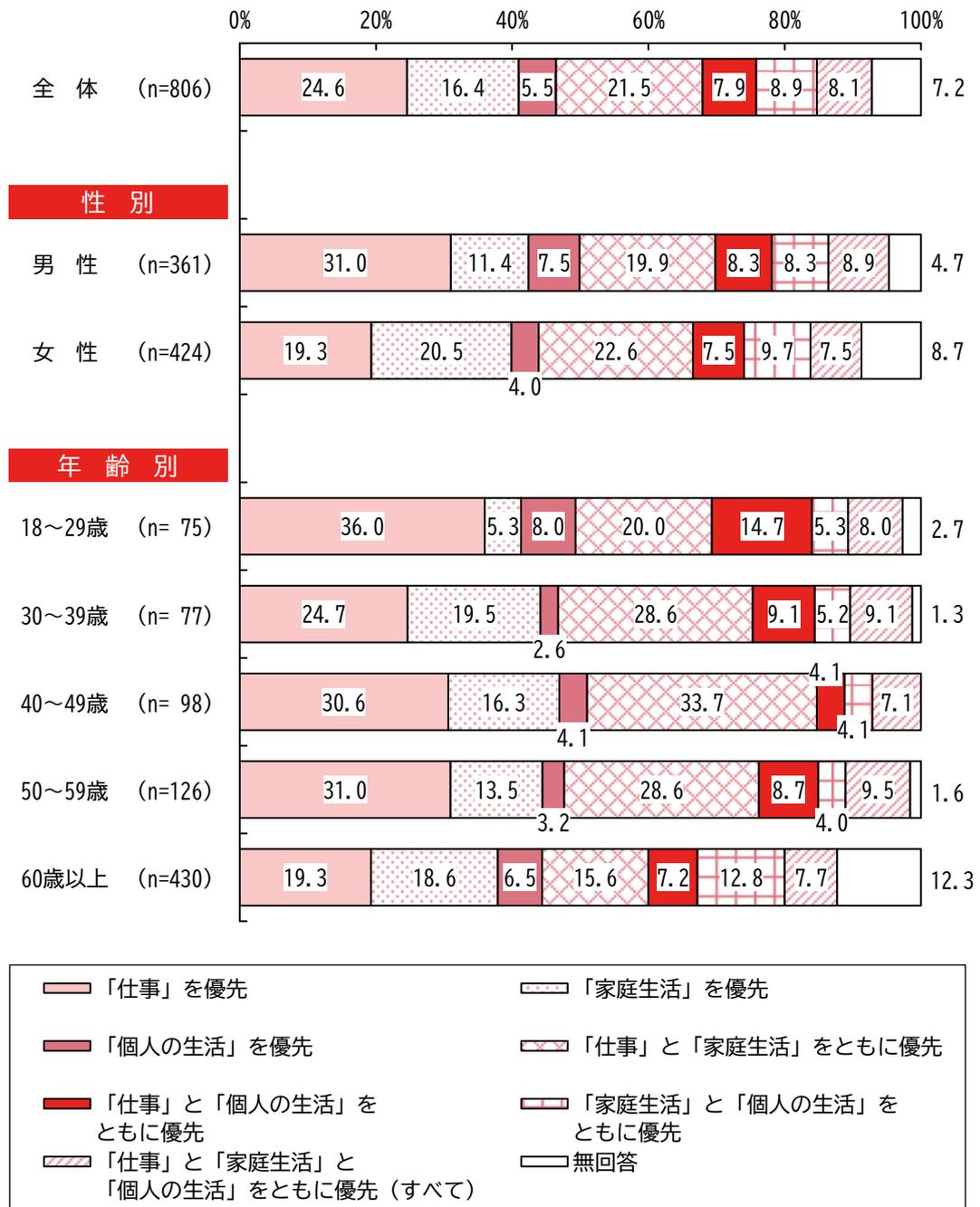
⑨現実の生活（「仕事」「家庭生活」「個人の生活」）

問22 あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「個人の生活」について、優先させたいものの理想と現実を教えてください。

※「個人の生活」とは、趣味・学習・社会活動・付き合いなどを指しています。

（A、Bについてそれぞれ1つを選択）

B 現実の生活



現実の生活では、「仕事」を優先が24.6%と最も多く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先が21.5%、「家庭生活」を優先が16.4%などとなっています。

性別でみると、「女性」は「仕事」と「家庭生活」をともに優先が22.6%と最も多くなっています。

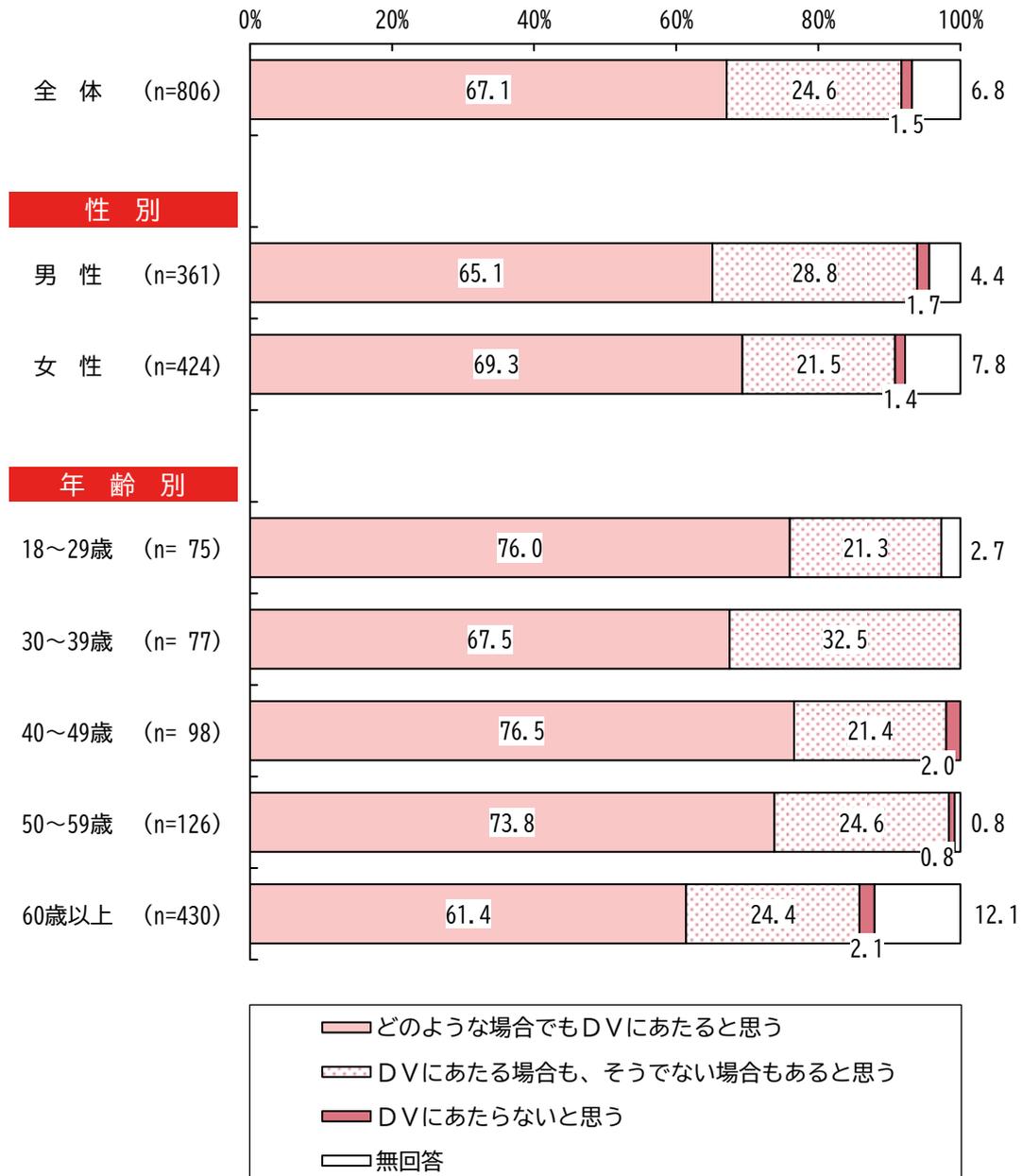
年齢別でみると、「30~39歳」と「40~49歳」は「仕事」と「家庭生活」をともに優先が最も多くなっています。

VI DV（ドメスティック・バイオレンス）やセクシュアル・ハラスメントについて

①平手で打つ場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

①平手で打つ

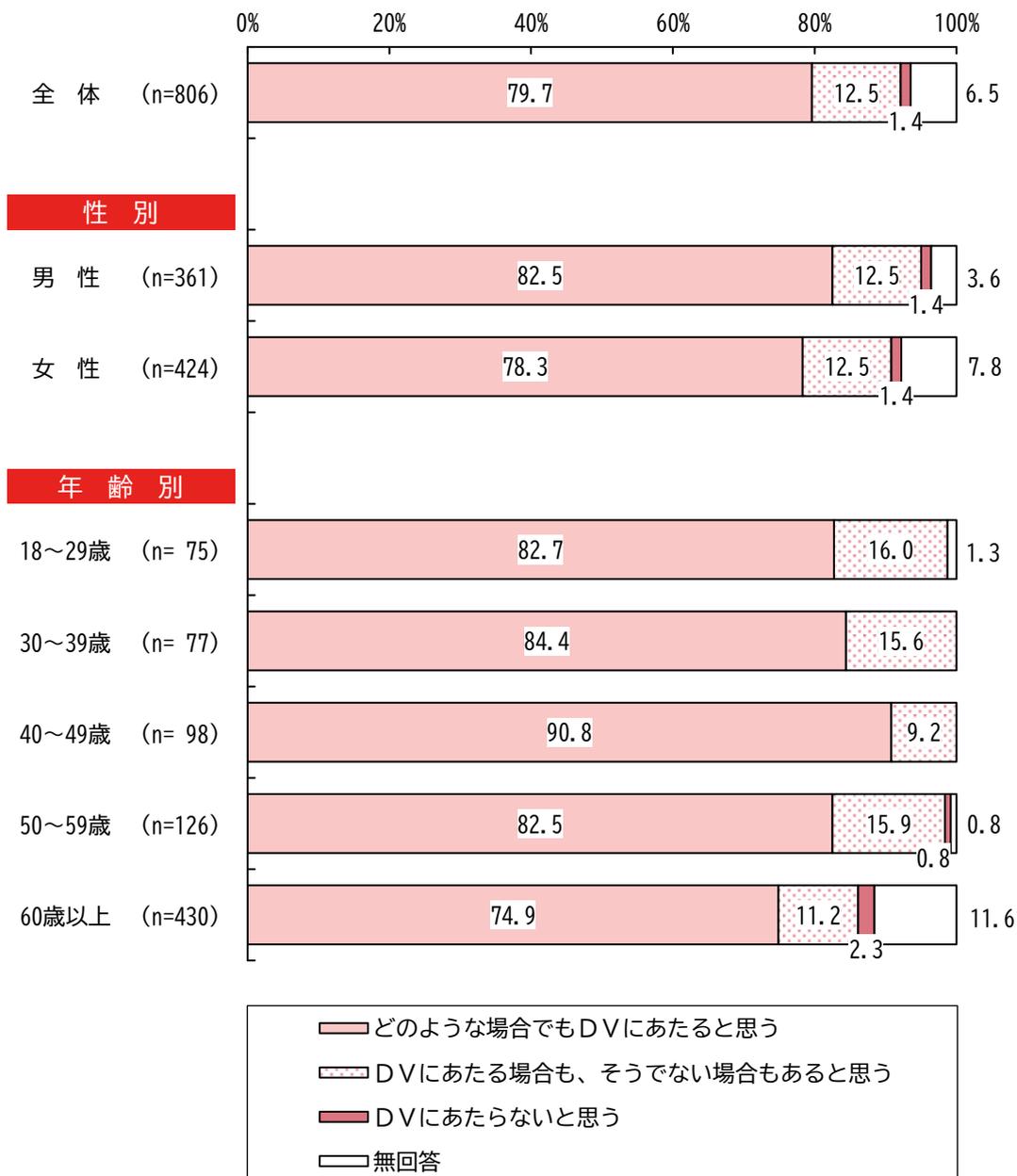


平手で打つでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が67.1%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が24.6%、「DVにあたらないと思う」が1.5%となっています。

②足で蹴る場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

②足で蹴る

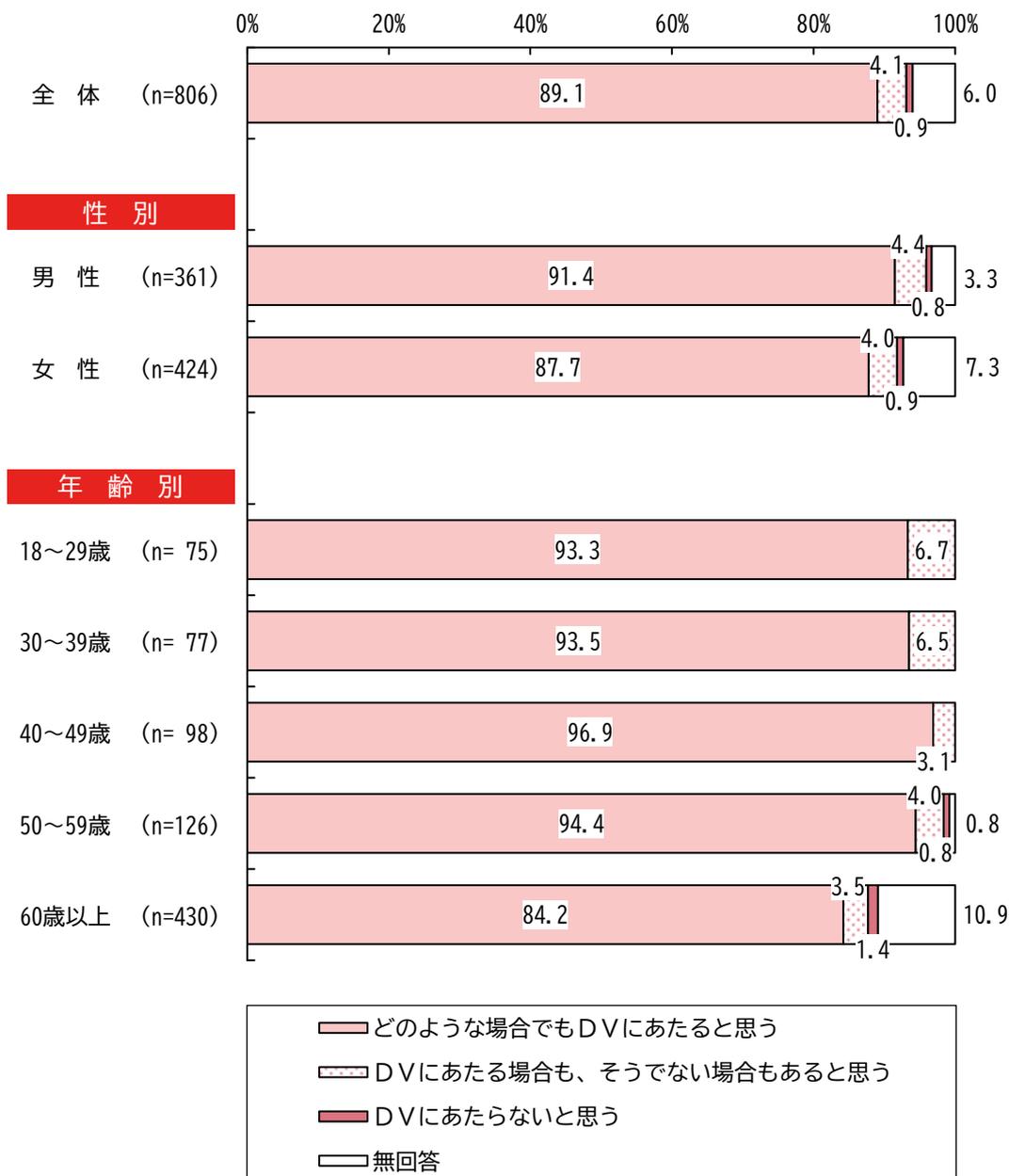


足で蹴るでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が79.7%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が12.5%、「DVにあたらないと思う」が1.4%となっています。

③からだを傷つける可能性のある物などで殴る・物を投げる場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

③からだを傷つける可能性のある物などで殴る・物を投げる

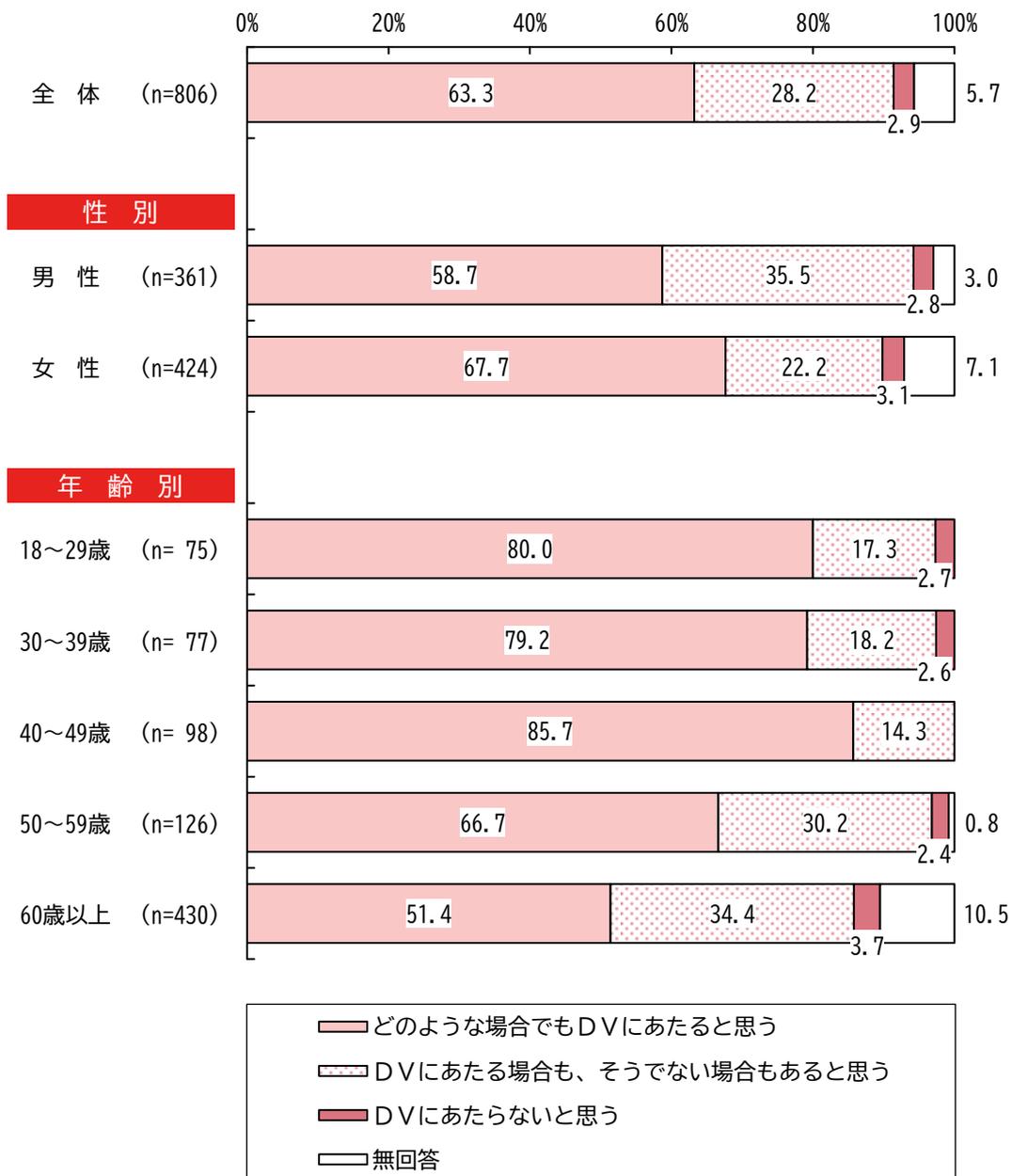


からだを傷つける可能性のある物などで殴る・物を投げるでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が89.1%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が4.1%、「DVにあたらないと思う」が0.9%となっています。

④殴るふりをして、おどす場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

④殴るふりをして、おどす

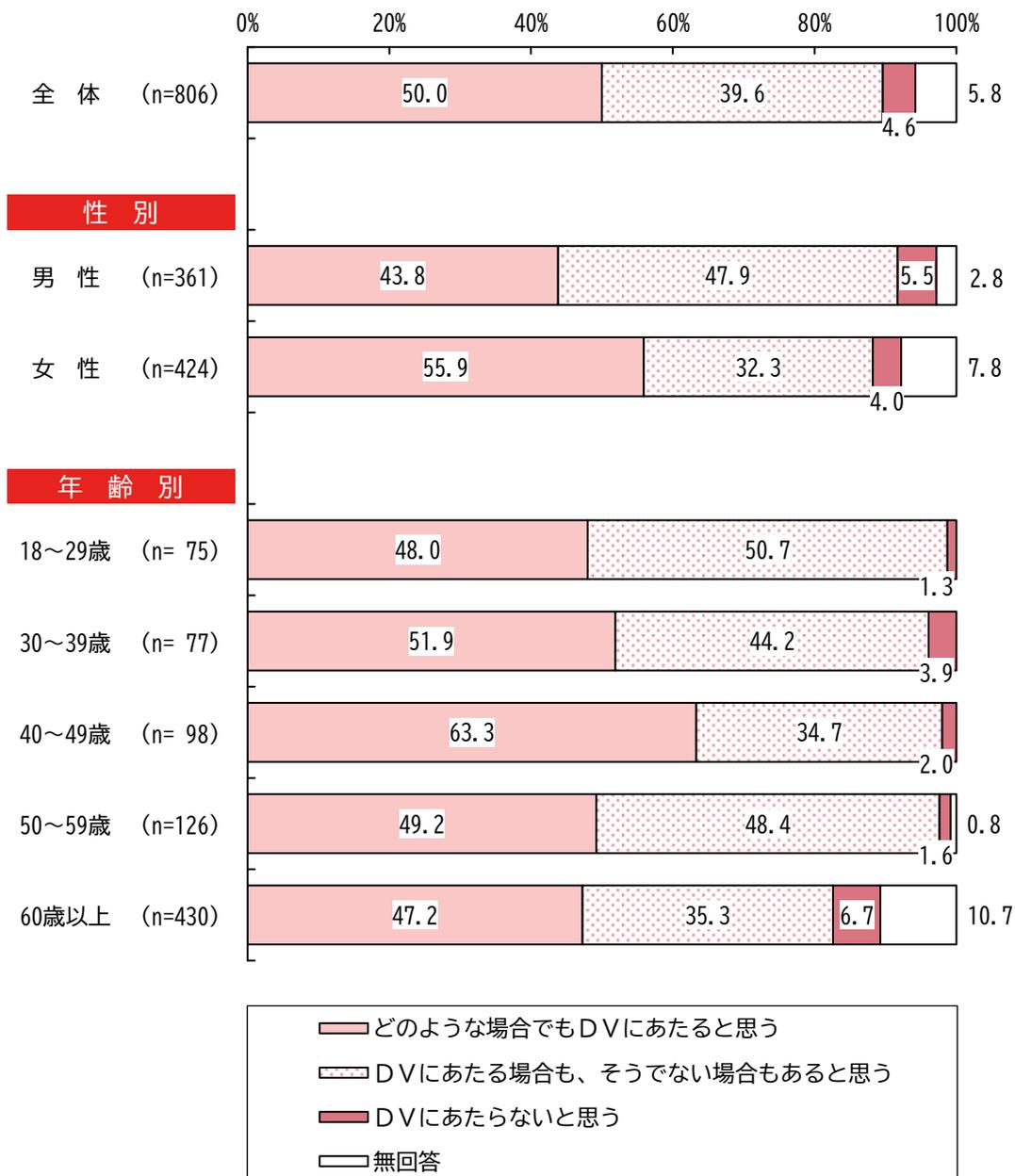


殴るふりをして、おどすでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が63.3%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が28.2%、「DVにあたらないと思う」が2.9%となっています。

⑤大声で怒鳴る場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

⑤大声で怒鳴る



大声で怒鳴るでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が50.0%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が39.6%、「DVにあたらないと思う」が4.6%となっています。

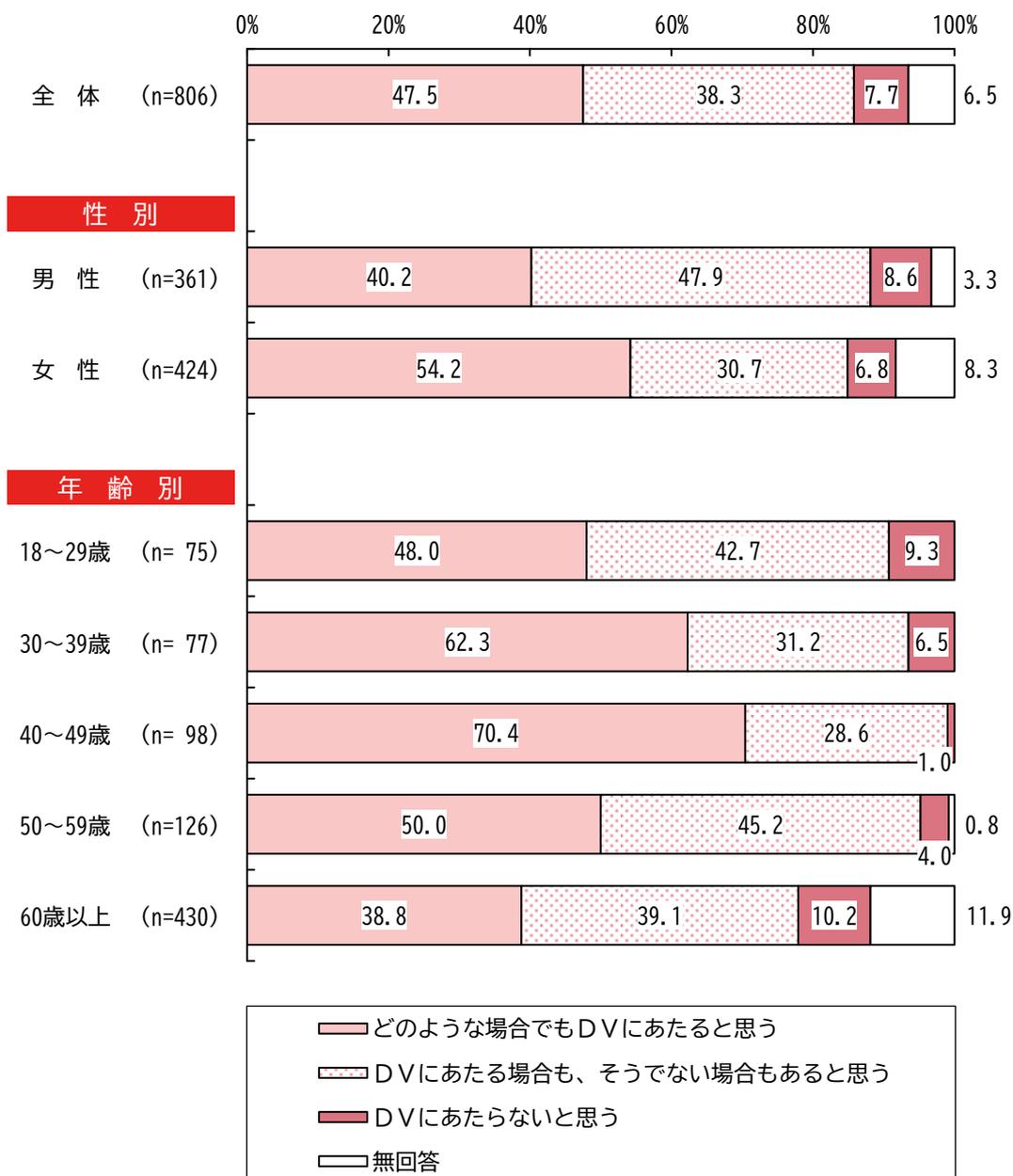
性別でみると、「男性」は「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が47.9%と最も多くなっています。

年齢別でみると、「18~29歳」は「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が50.7%と最も多くなっています。

⑥家族や友人との関わりを制限する場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

⑥家族や友人との関わりを制限する



家族や友人との関わりを制限するでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が47.5%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が38.3%、「DVにあたらないと思う」が7.7%となっています。

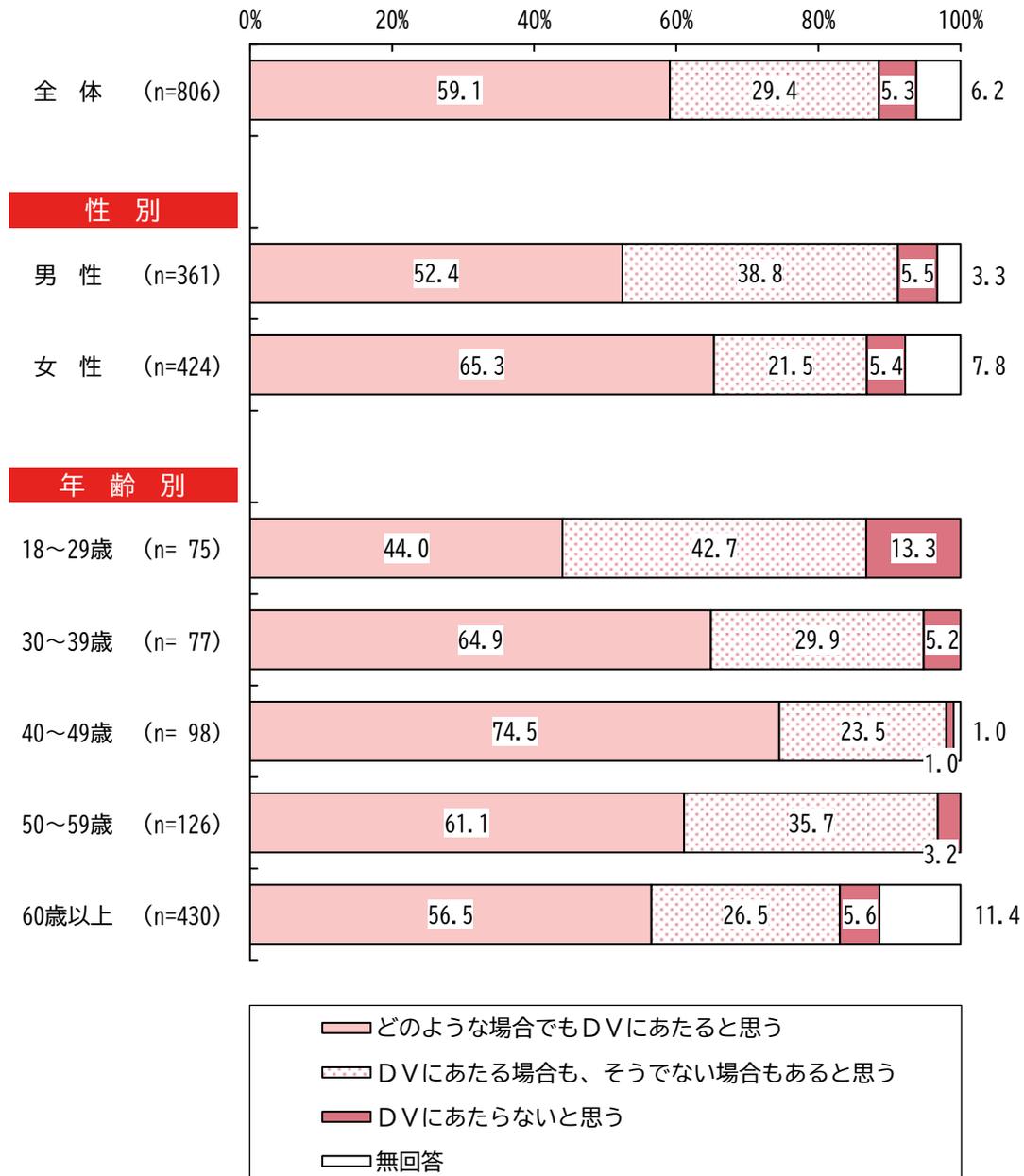
性別で見ると、「男性」は「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が47.9%と最も多くなっています。

年齢別で見ると、「60歳以上」は「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が39.1%と最も多くなっています。

⑦電話・メール・SNSを細かく監視する場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

⑦電話・メール・SNSを細かく監視する

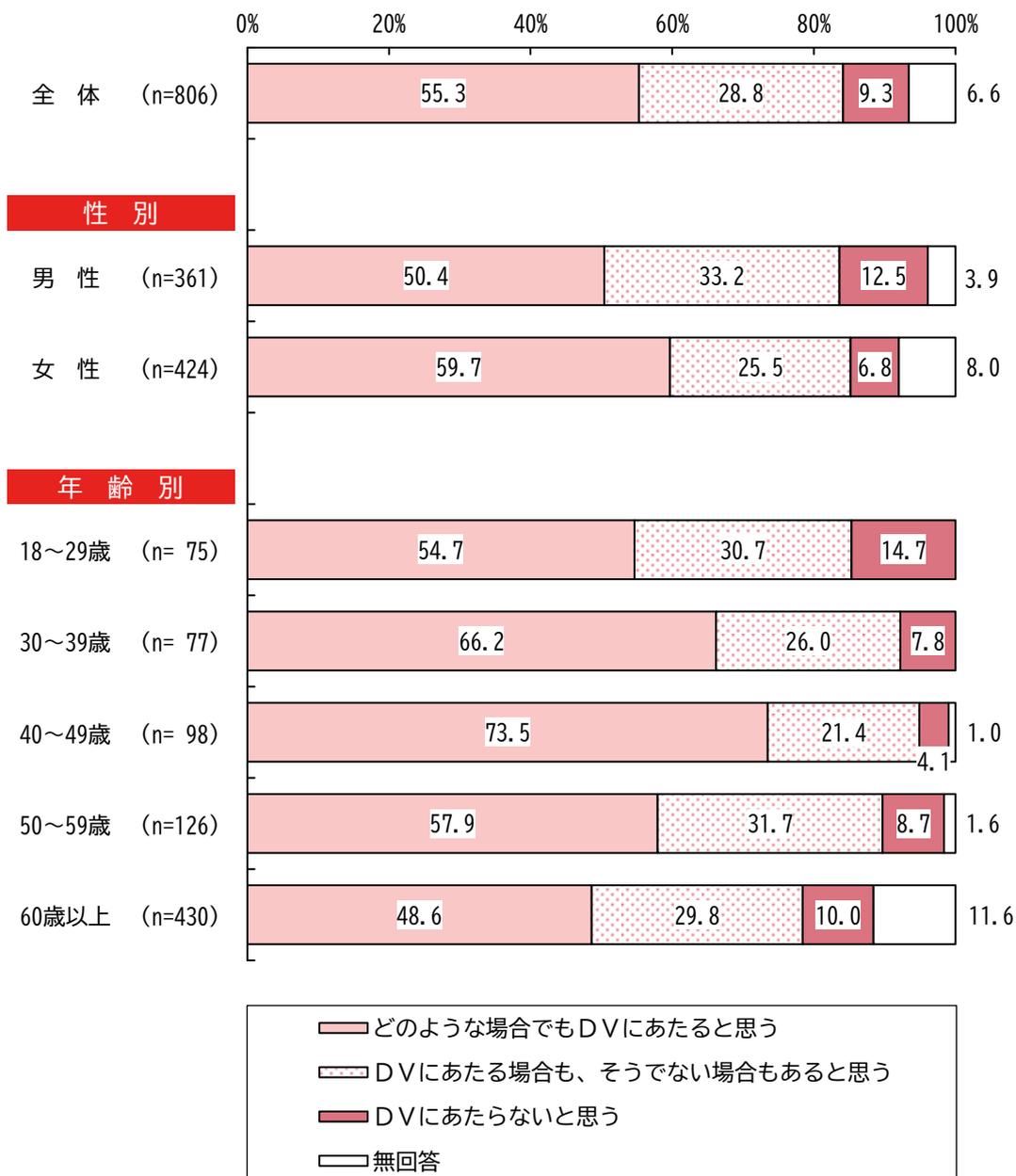


電話・メール・SNSを細かく監視するでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が59.1%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が29.4%、「DVにあたらないと思う」が5.3%となっています。

⑧ほかの異性との会話を許さない（同性パートナーの場合は同性）場合、DV
だと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ド
メスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

⑧ほかの異性との会話を許さない（同性パートナーの場合は同性）

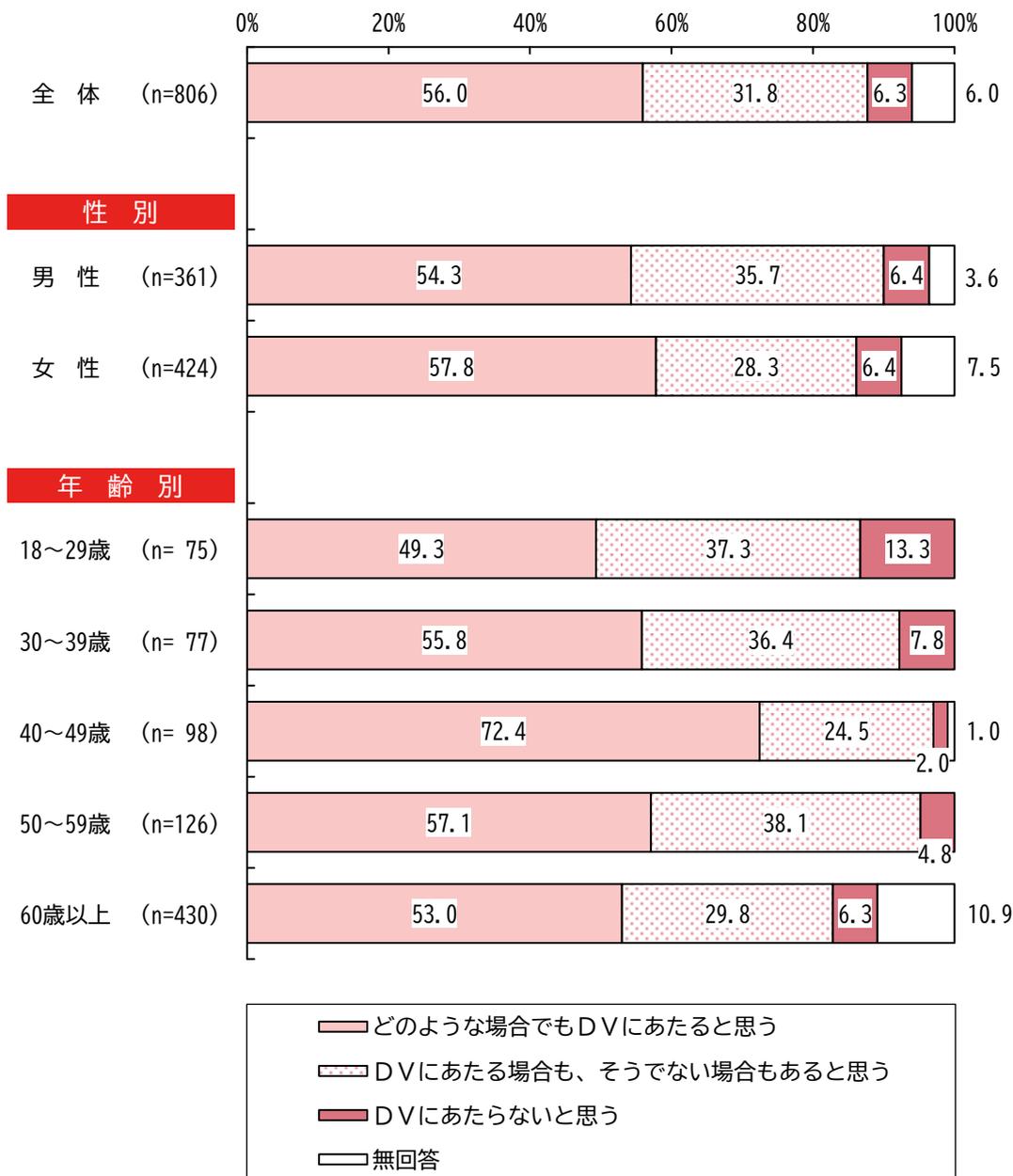


ほかの異性との会話を許さない（同性パートナーの場合は同性）では、「どのような場合でもDVにあたると思う」が55.3%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が28.8%、「DVにあたらないと思う」が9.3%となっています。

⑨何を言っても長時間無視し続ける場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

⑨何を言っても長時間無視し続ける

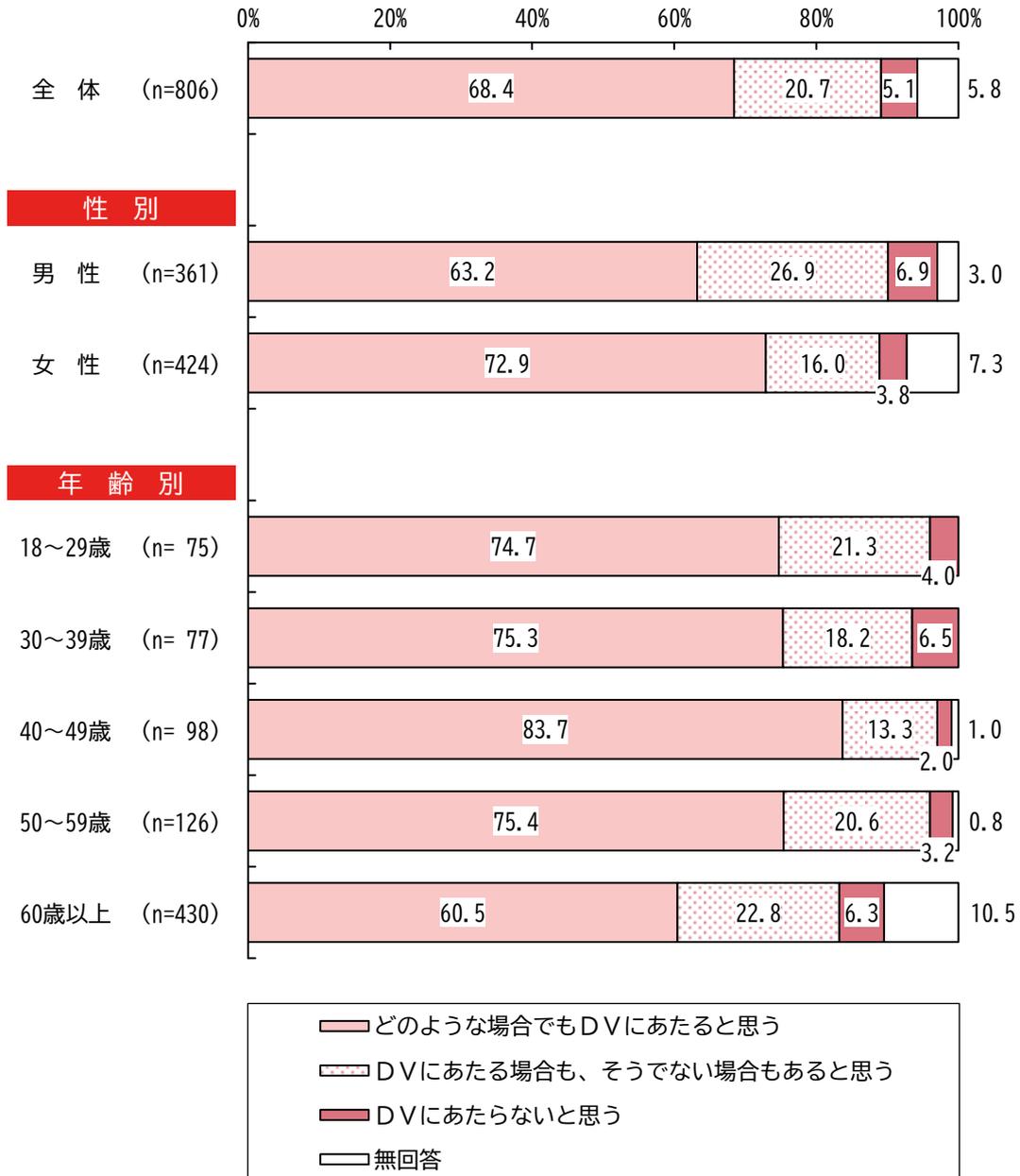


何を言っても長時間無視し続けるでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が56.0%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が31.8%、「DVにあたらないと思う」が6.3%となっています。

⑩ 「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

⑩ 「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う

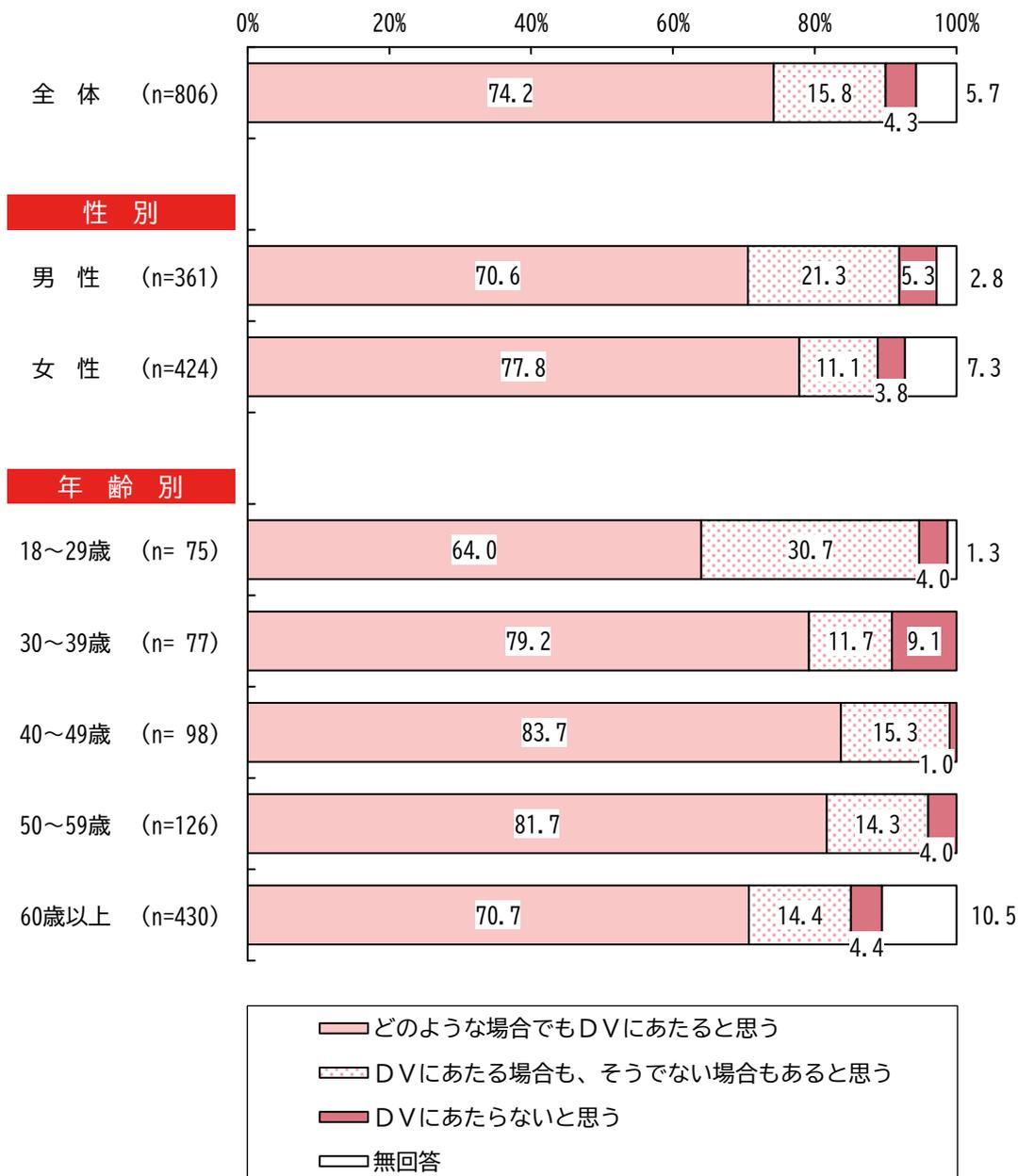


「誰のおかげで生活できているんだ」などと言うでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が68.4%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が20.7%、「DVにあたらないと思う」が5.1%となっています。

⑪生活費を渡さない場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

⑪生活費を渡さない

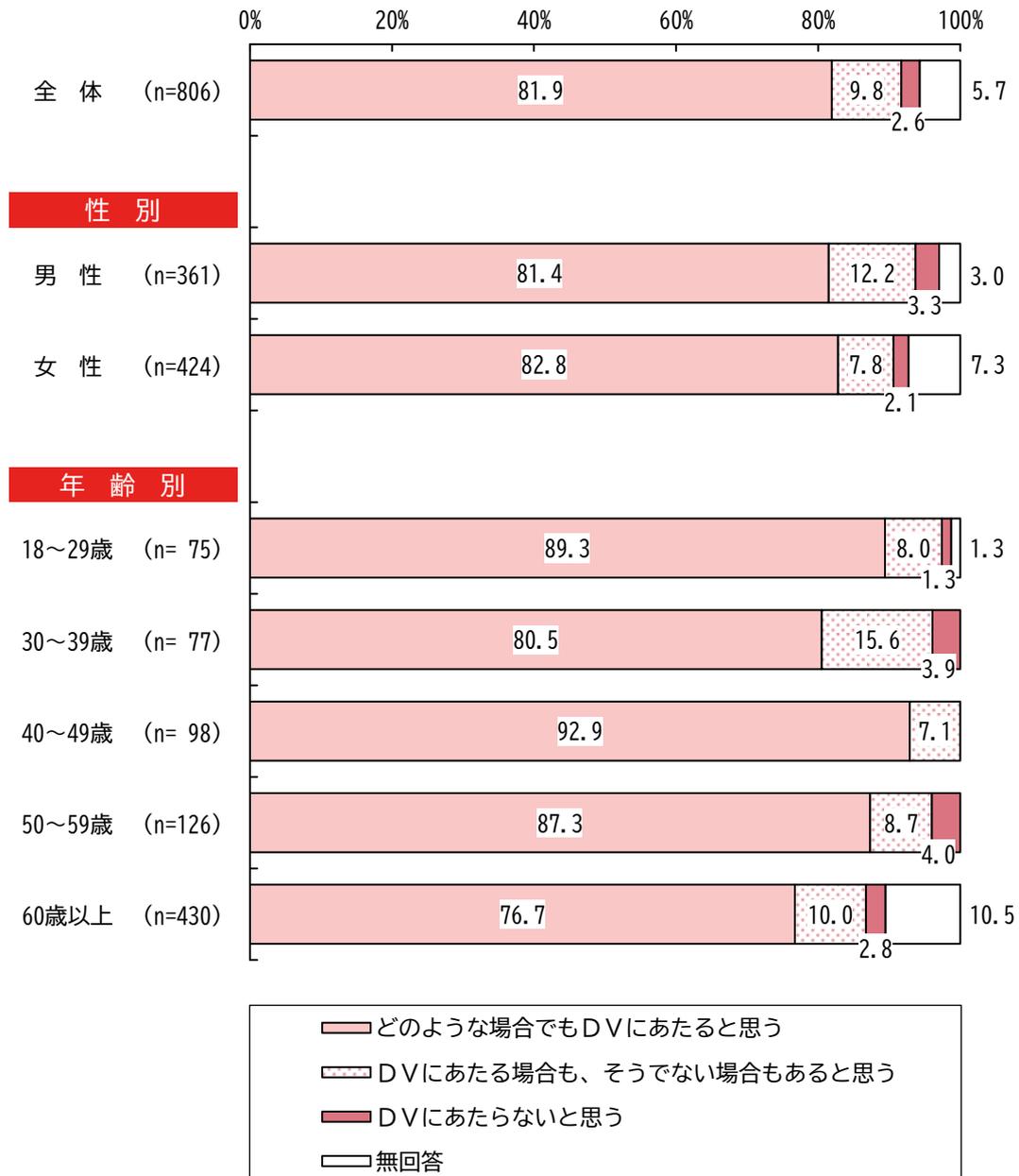


生活費を渡さないでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が74.2%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が15.8%、「DVにあたらないと思う」が4.3%となっています。

⑫相手の金品を勝手に使ったり、借金を強要する場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

⑫相手の金品を勝手に使ったり、借金を強要する

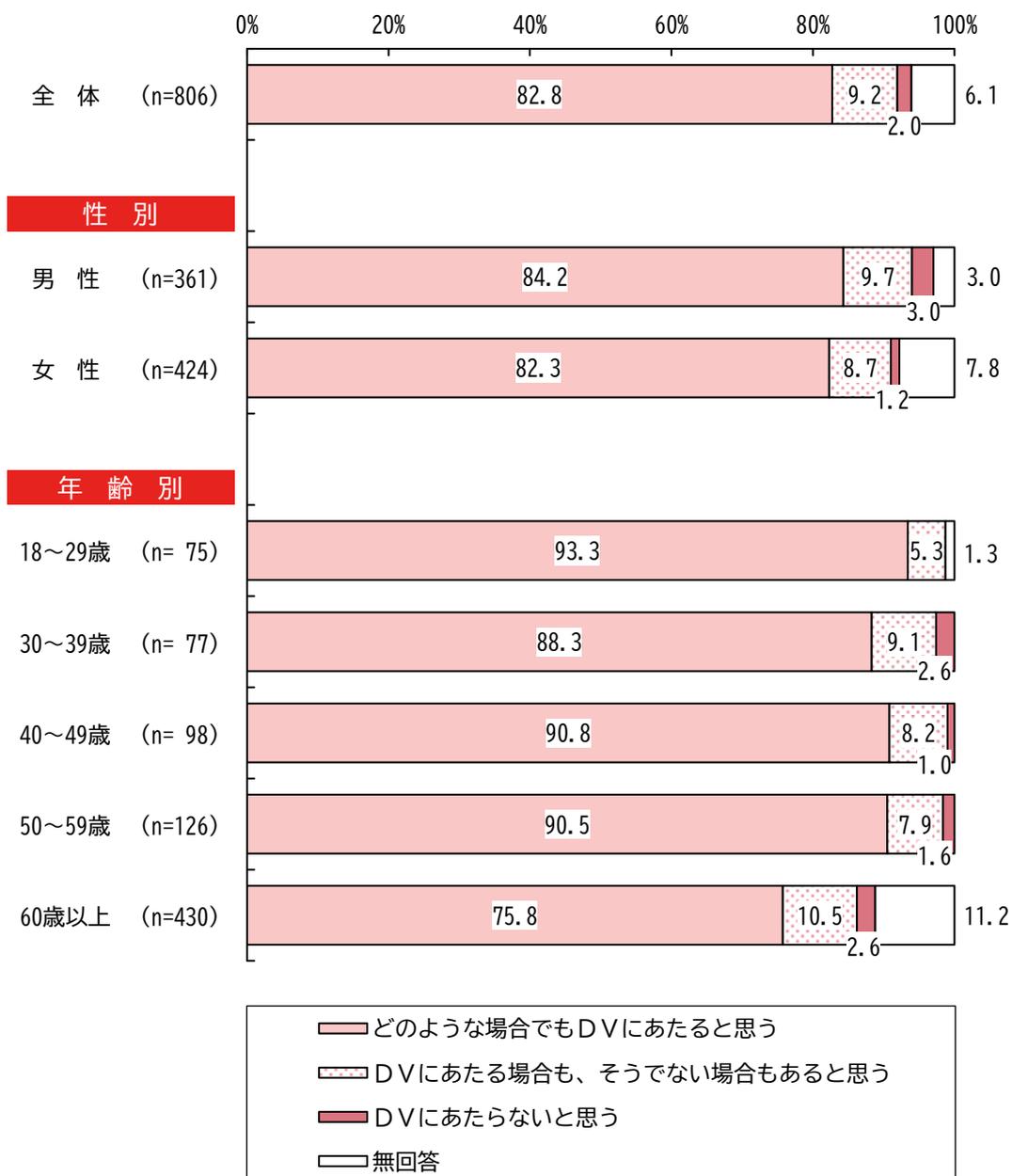


相手の金品を勝手に使ったり、借金を強要するでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が81.9%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が9.8%、「DVにあたらないと思う」が2.6%となっています。

⑬嫌がっているのに性的な行為を強要する場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

⑬嫌がっているのに性的な行為を強要する

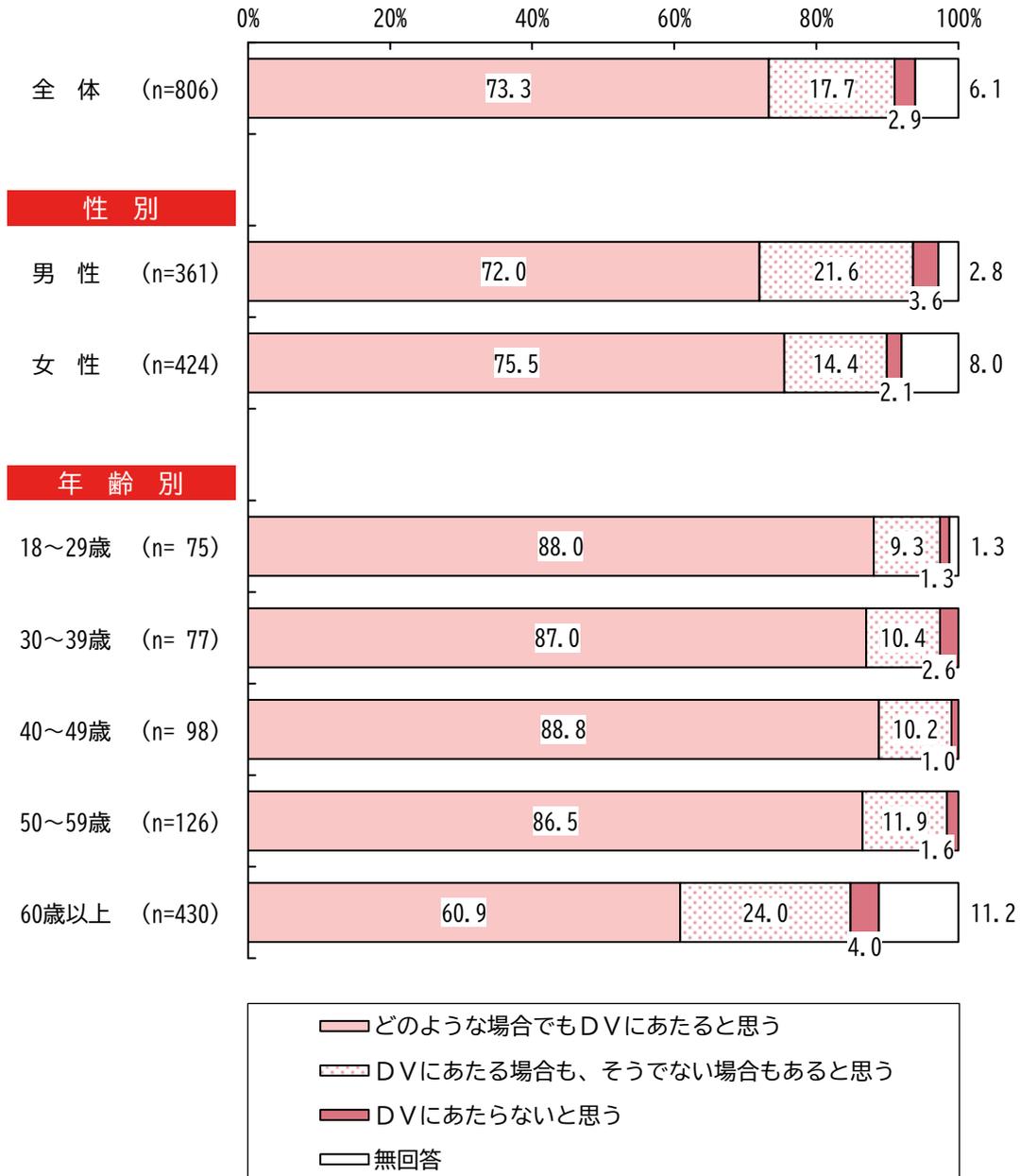


嫌がっているのに性的な行為を強要するでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が82.8%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が9.2%、「DVにあたらないと思う」が2.0%となっています。

⑭避妊に協力しない場合、DVだと思うか

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

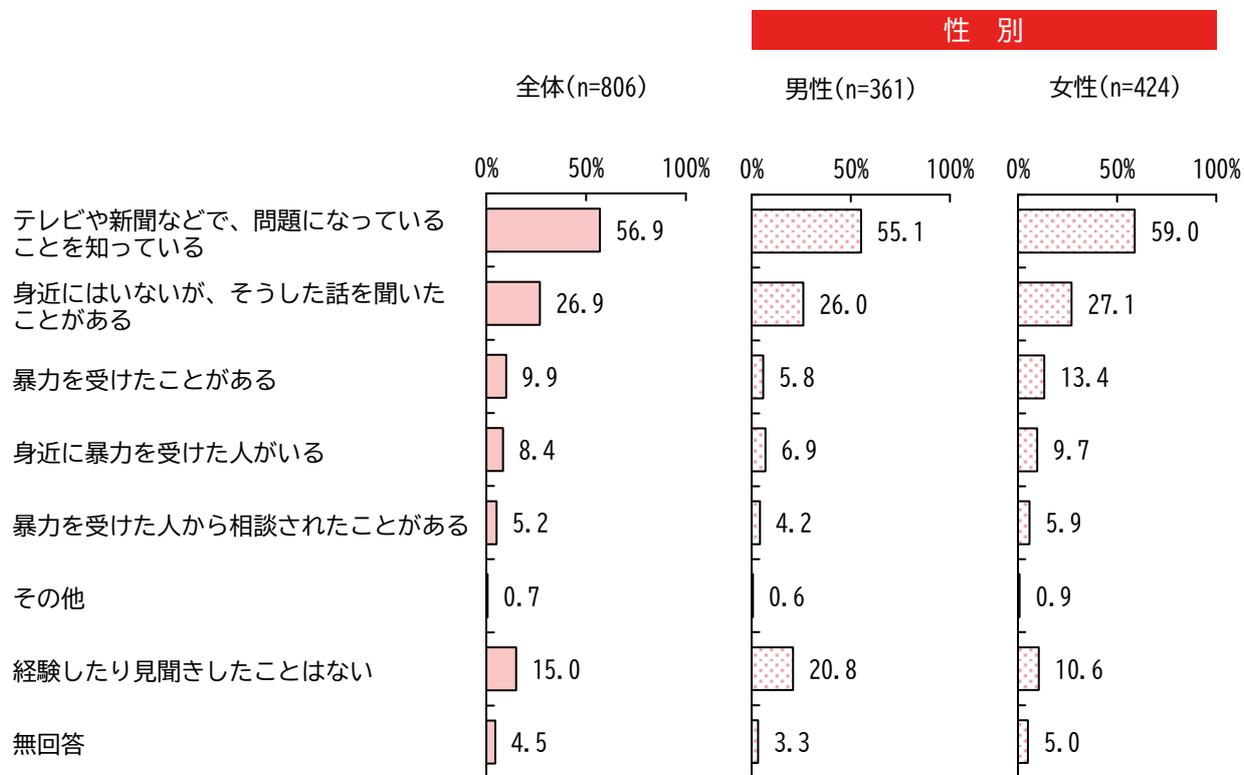
⑭避妊に協力しない



避妊に協力しないでは、「どのような場合でもDVにあたると思う」が73.3%、「DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が17.7%、「DVにあたらないと思う」が2.9%となっています。

⑮暴力を経験したり見聞きしたりしたこと

問24 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある（あった）人からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。（複数選択可）



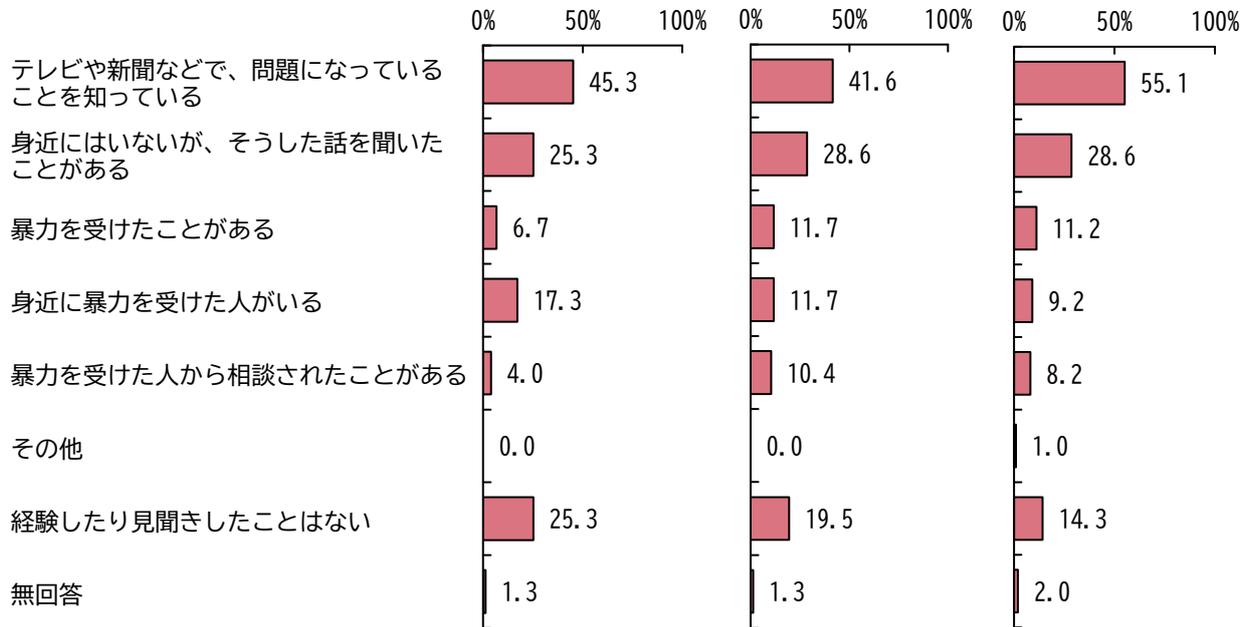
暴力を経験したり見聞きしたりしたことで、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が56.9%と最も多く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が26.9%、「暴力を受けたことがある」が9.9%などとなっています。また、「経験したり見聞きしたことはない」が15.0%となっています。

年 齢 別

18～29歳(n=75)

30～39歳(n=77)

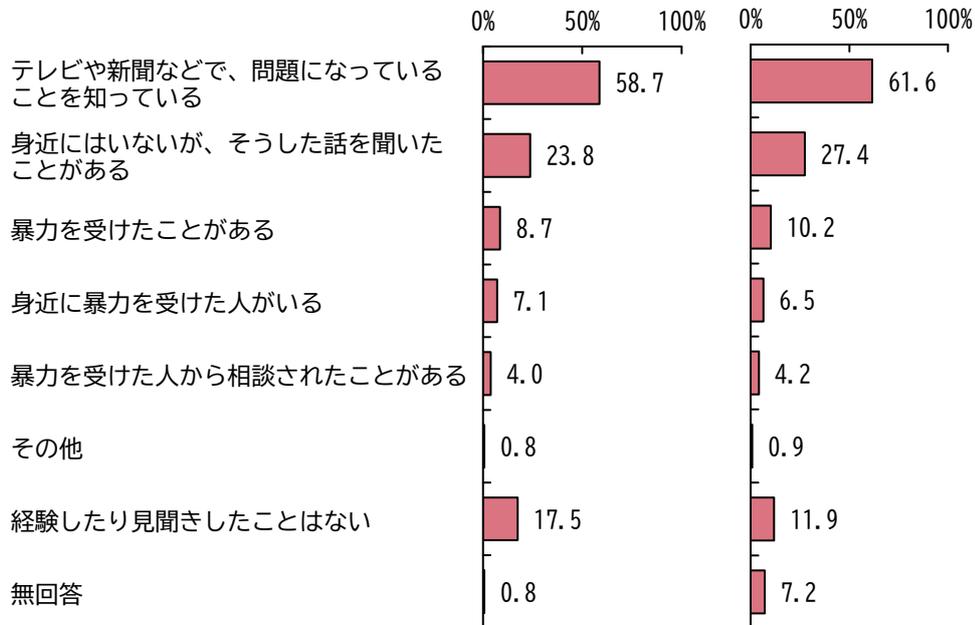
40～49歳(n=98)



年 齢 別

50～59歳(n=126)

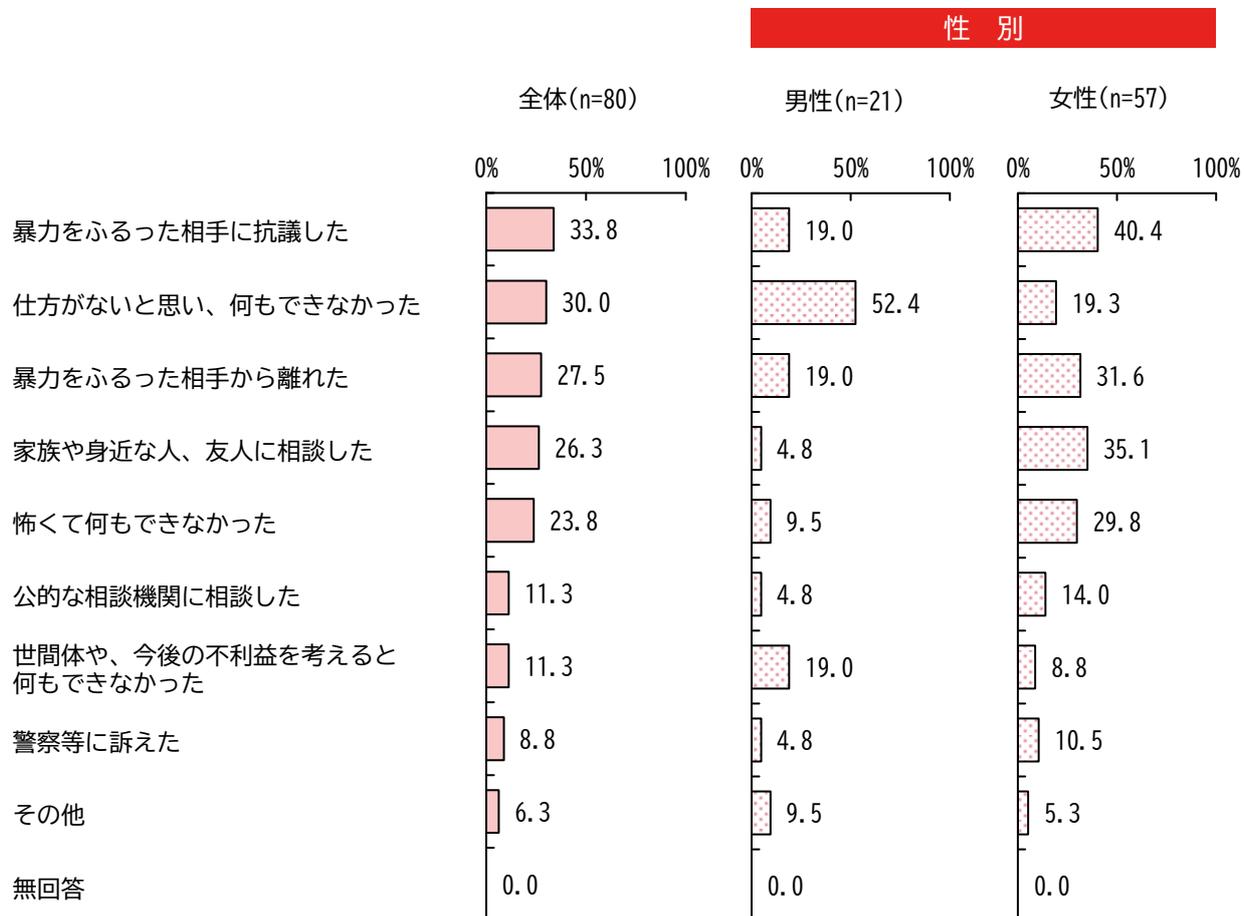
60歳以上(n=430)



⑩暴力を受けたときの対応

〈問24で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方に伺います。〉

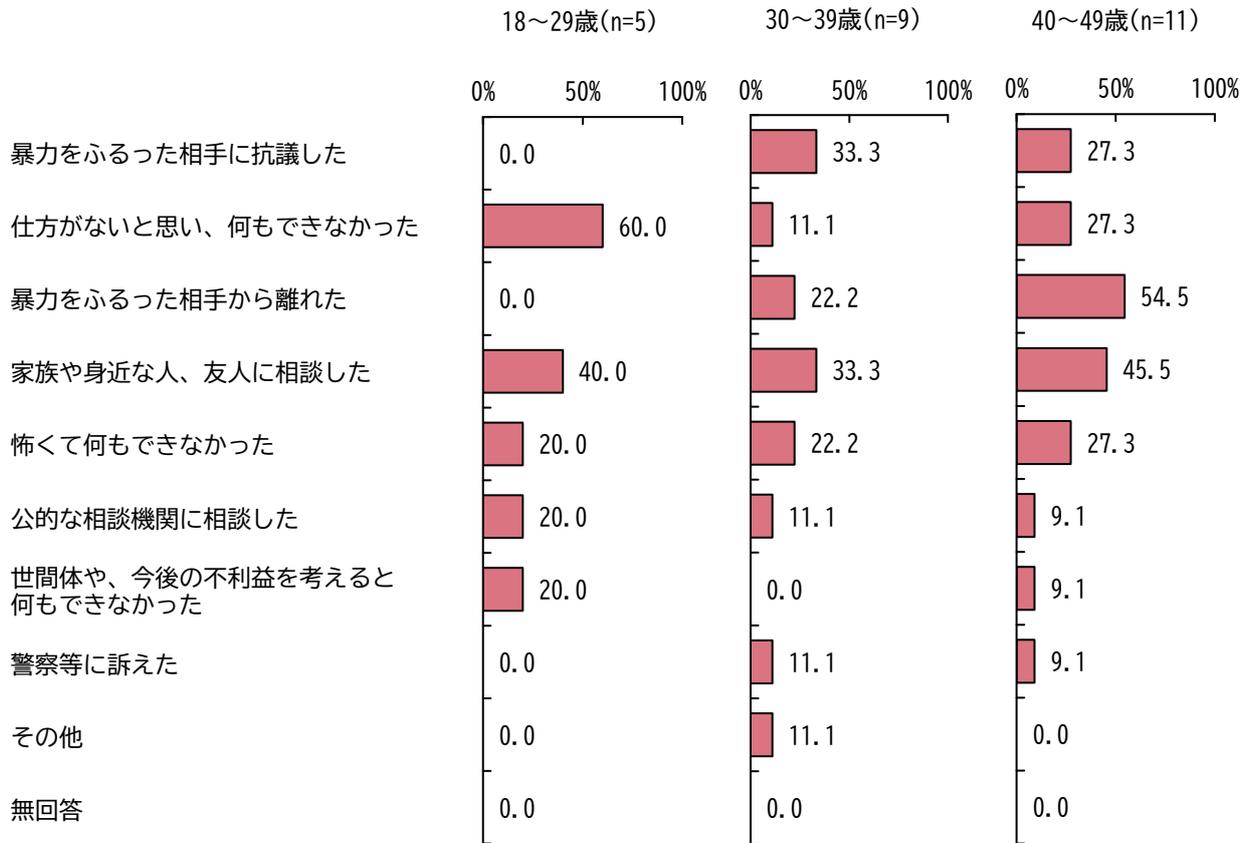
問25 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。(複数選択可)



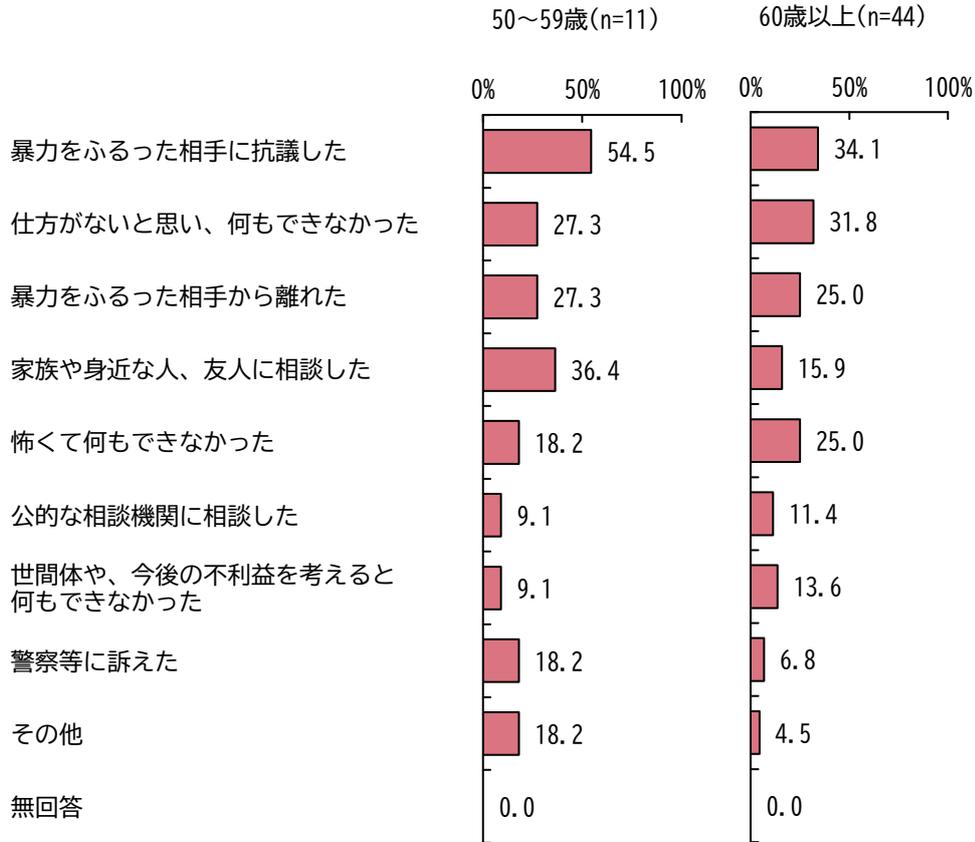
暴力を受けたときの対応では、「暴力をふるった相手に抗議した」が33.8%と最も多く、次いで「仕方がないと思い、何もできなかった」が30.0%、「暴力をふるった相手から離れた」が27.5%などとなっています。

性別で見ると、“男性”は「仕方がないと思い、何もできなかった」が52.4%と最も多くなっています。

年 齢 別



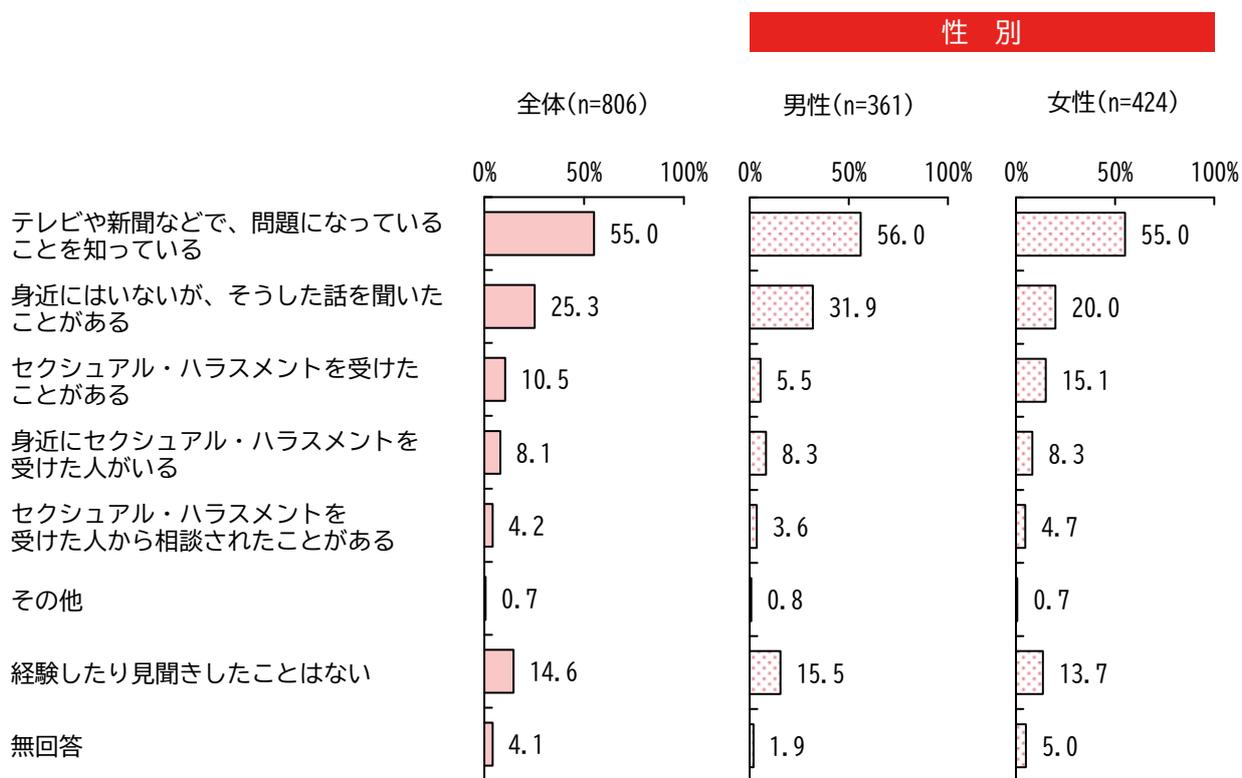
年 齢 別



年齢別でみると、“40～49歳”は「暴力をふるった相手から離れた」が54.5%と最も多くなっています。

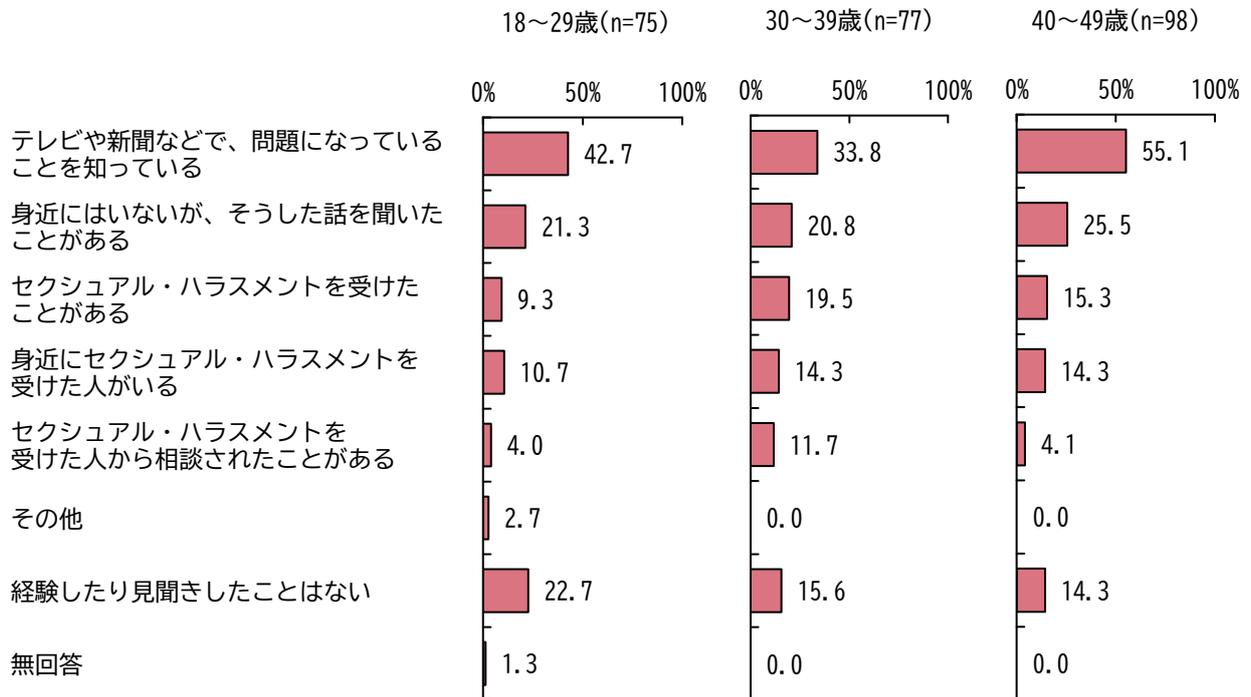
⑰セクシュアル・ハラスメントを経験したり、見聞きしたりしたこと

問26 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメントについて経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。(複数選択可)

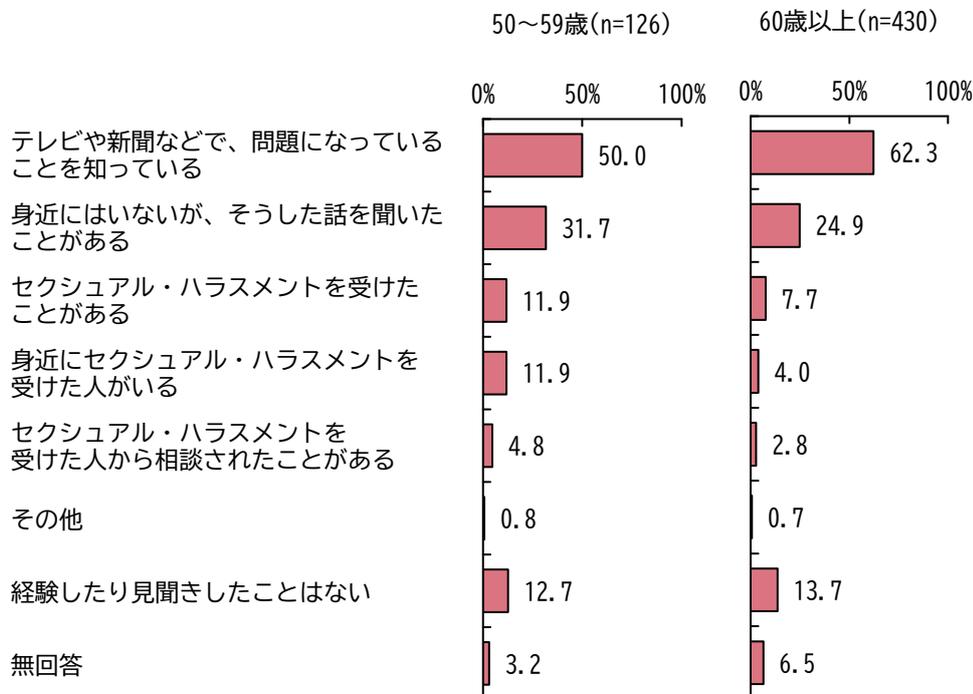


セクシュアル・ハラスメントを経験したり、見聞きしたりしたことは、「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」が55.0%と最も多く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が25.3%、「セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」が10.5%などとなっています。また、「経験したり見聞きしたことはない」が14.6%となっています。

年 齢 別



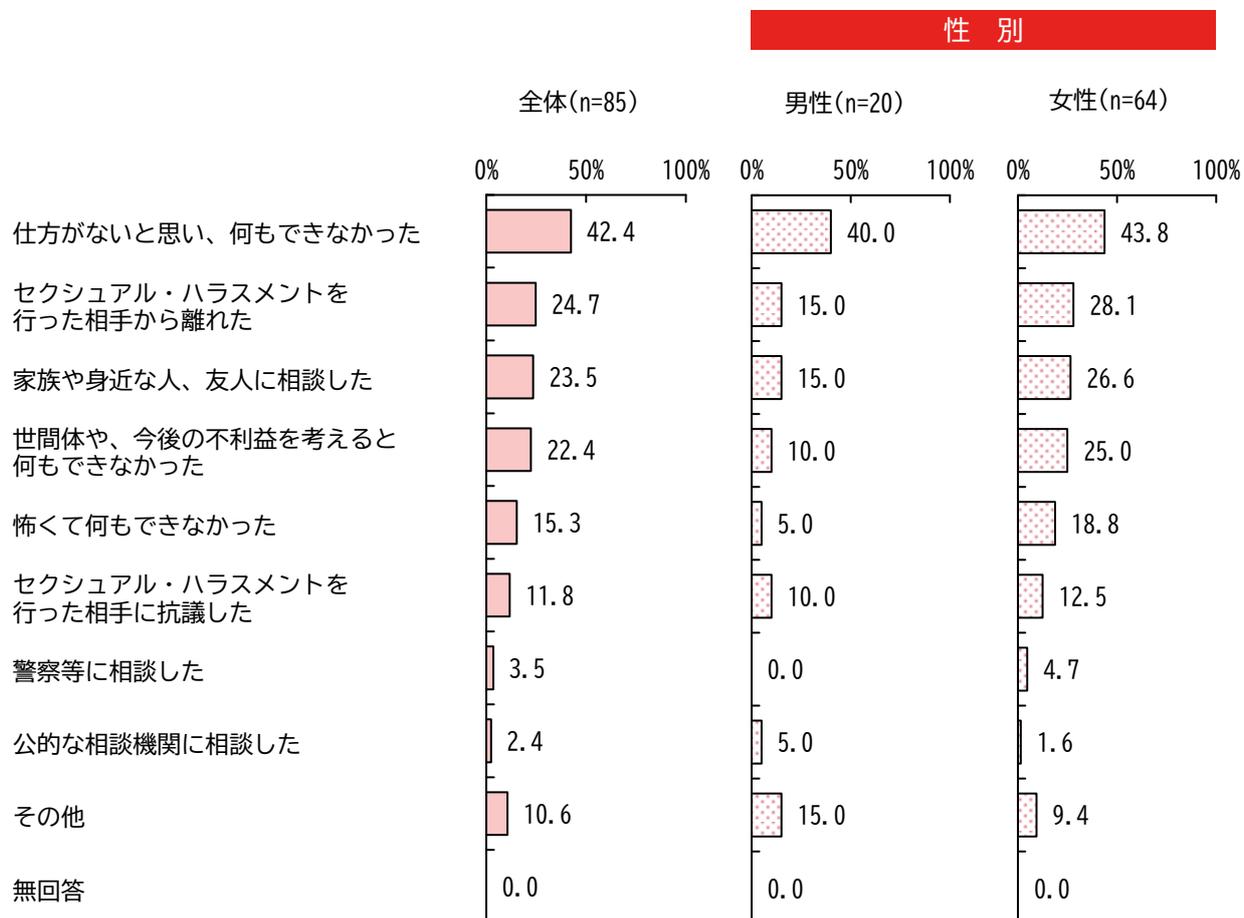
年 齢 別



⑱ セクシュアル・ハラスメントを受けたときの対応

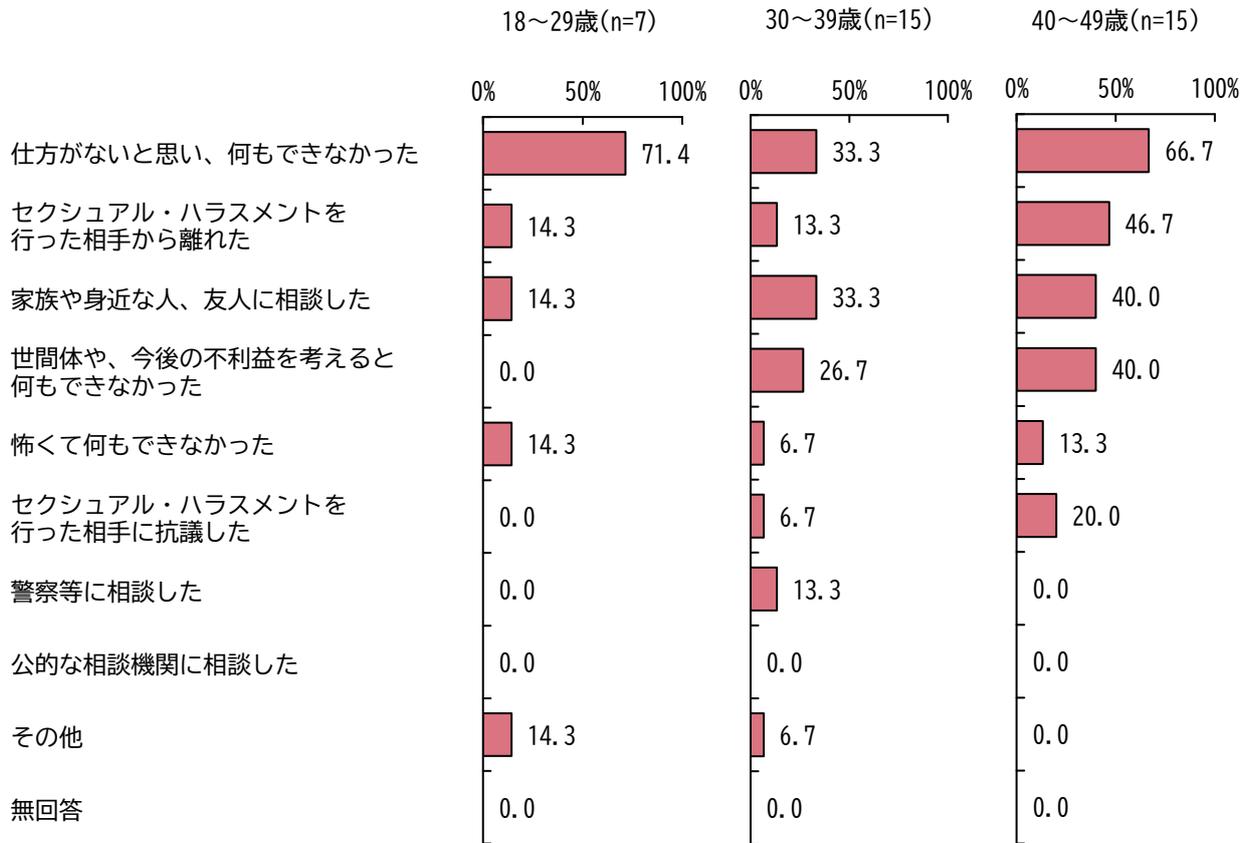
〈問26で「1. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」と答えた方に伺います。〉

問27 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。(複数選択可)

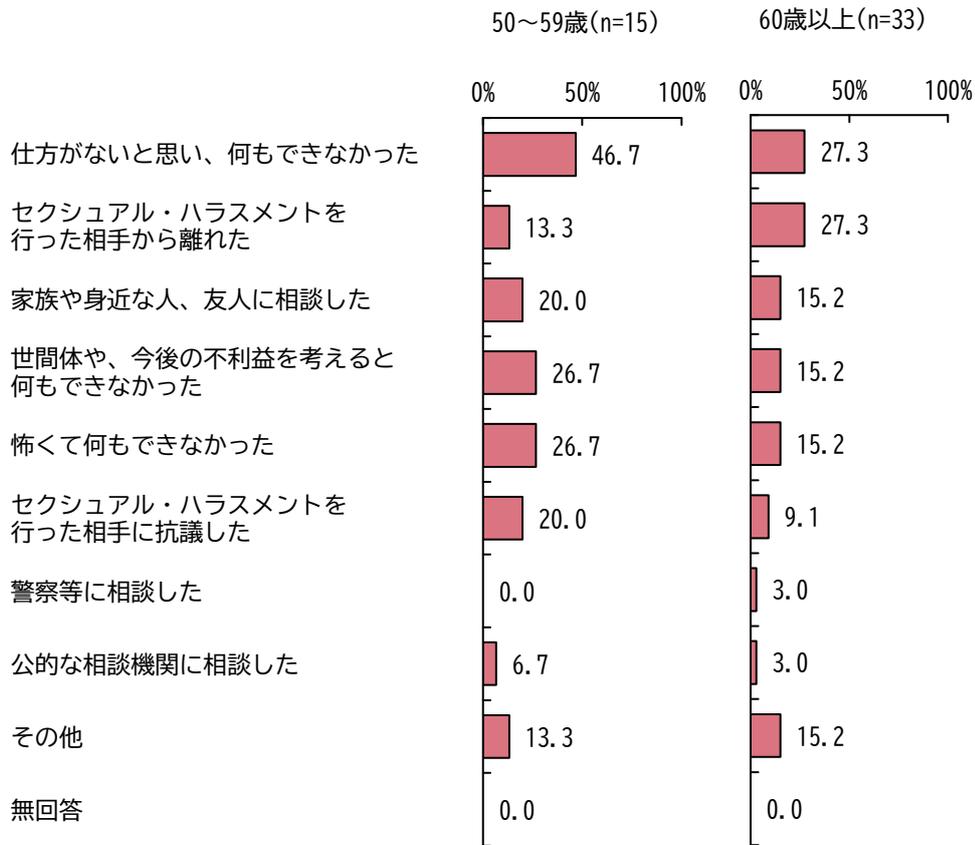


セクシュアル・ハラスメントを受けたときの対応では、「仕方がないと思い、何もできなかった」が42.4%と最も多く、次いで「セクシュアル・ハラスメントを行った相手から離れた」が24.7%、「家族や身近な人、友人に相談した」が23.5%などとなっています。

年 齢 別

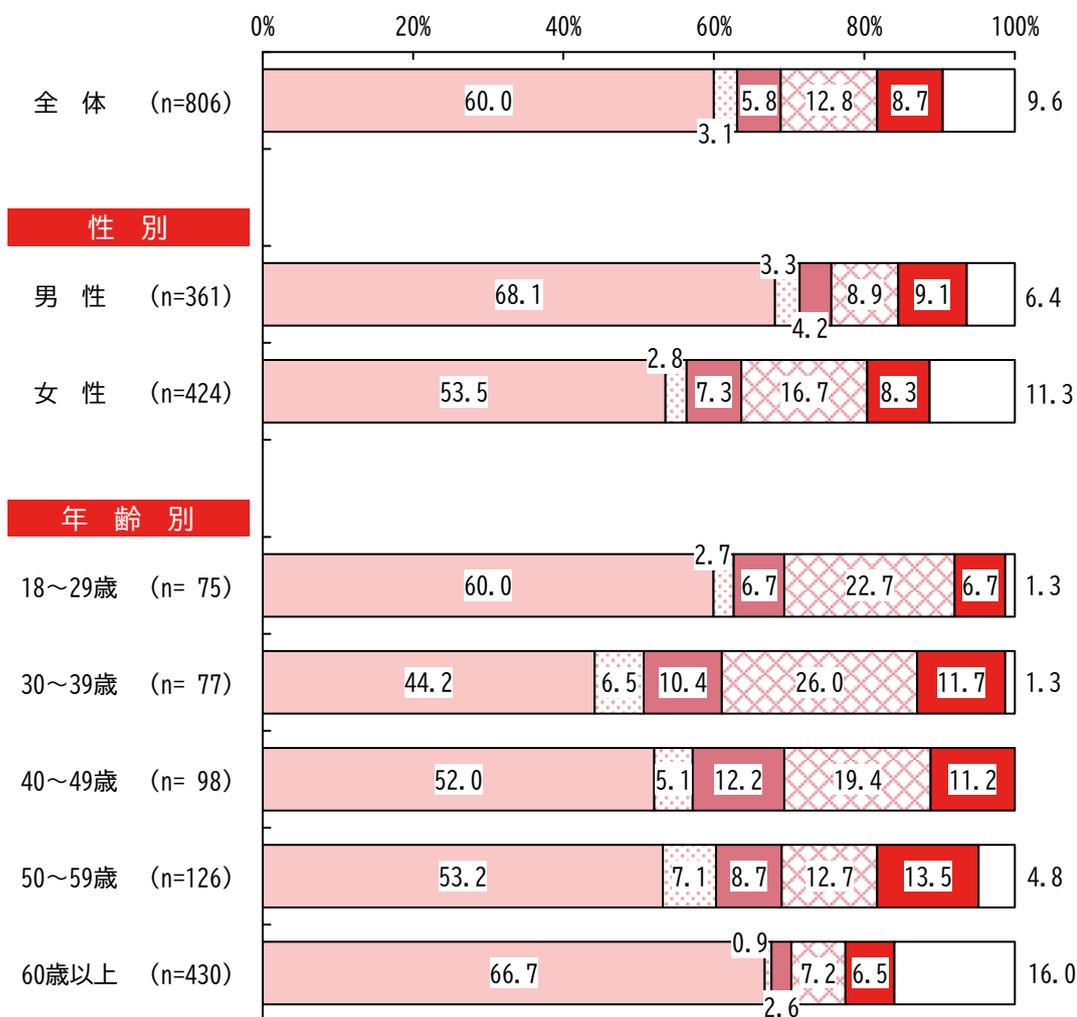


年 齢 別



⑱あなたの心身や暮らしに悪影響を与えるような傷つき体験

問28 あなたは過去に、今のあなたの心身や暮らしに悪影響を与えるような傷つき体験（例：虐待、DV、いじめ、セクシュアル・ハラスメント、性被害またはそれらの目撃など）がありますか。（1つを選択）



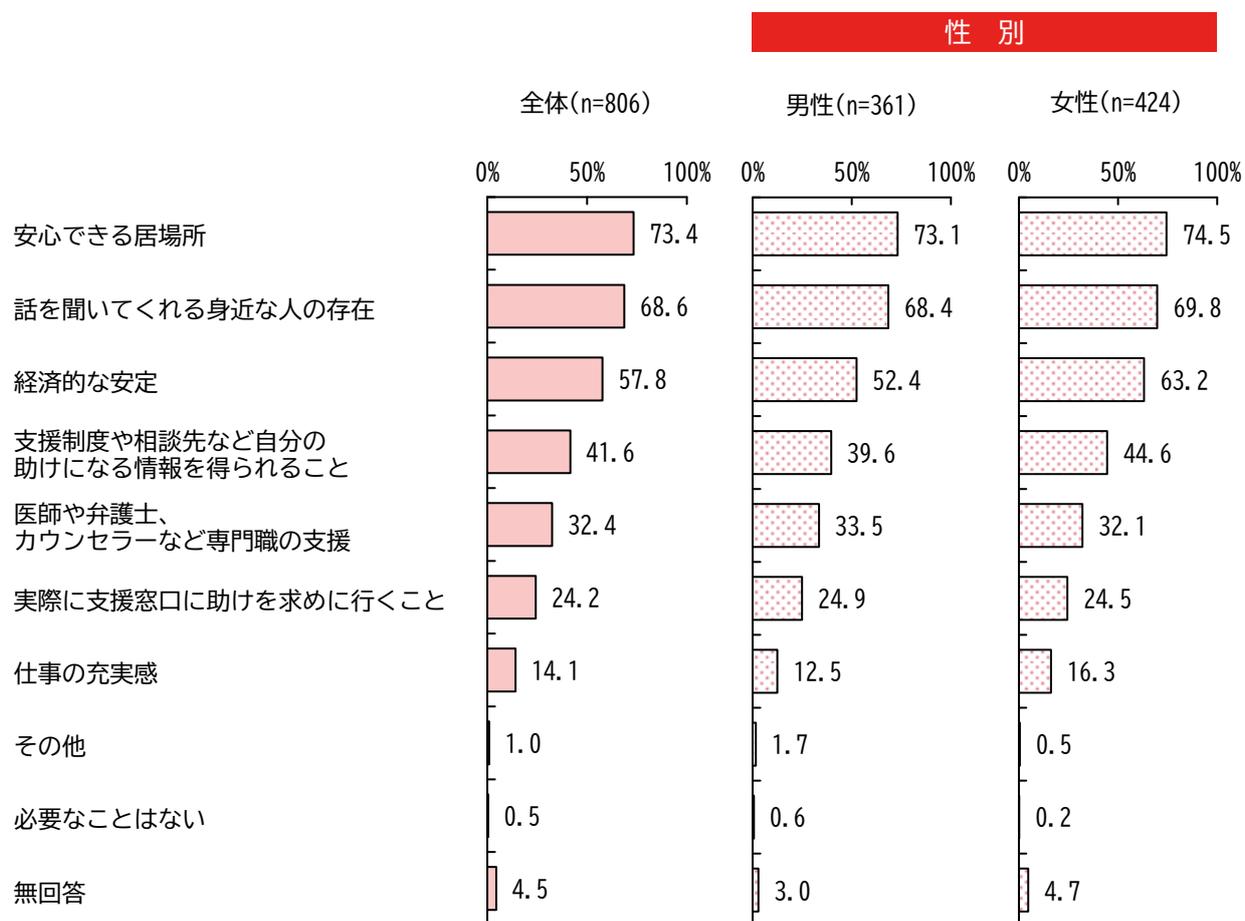
- 悪影響のある傷つき体験はない
- 傷つき体験があり、今も悪影響が出ていて、全く回復していない
- 傷つき体験があり、今も悪影響が出ているが、徐々に回復しつつある
- 傷つき体験があり、悪影響が出ていた時期があったが、完全に回復している
- 生きづらさを感じるが、傷つき体験が原因なのかわからない
- 無回答

あなたの心身や暮らしに悪影響を与えるような傷つき体験では、「悪影響のある傷つき体験はない」が60.0%と最も多く、次いで「傷つき体験があり、悪影響が出ていた時期があったが、完全に回復している」が12.8%、「生きづらさを感じるが、傷つき体験が原因なのかわからない」が8.7%などとなっています。

②女性が困難な状況から回復するために重要なこと

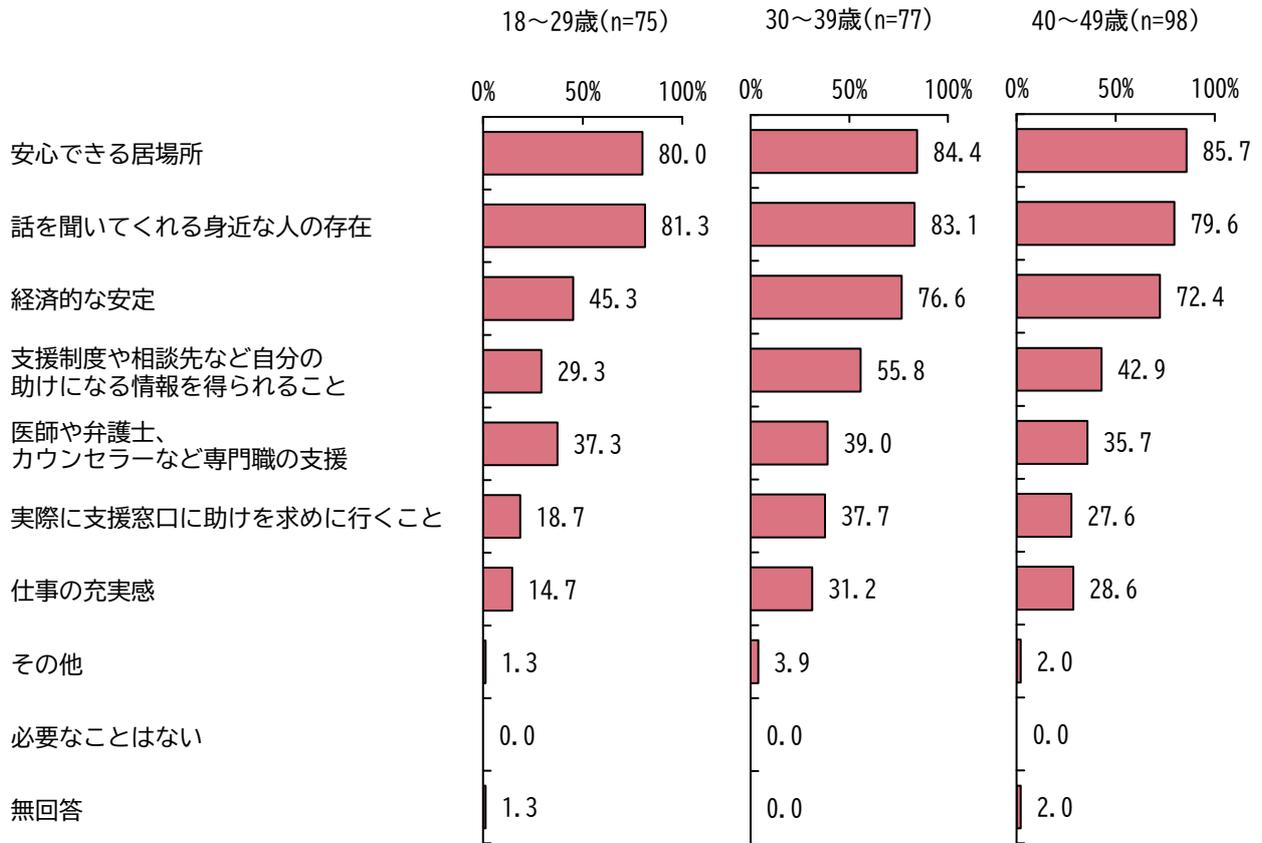
問29 女性が困難な状況から回復するには、どのようなことが重要だと思いますか。

(複数選択可)

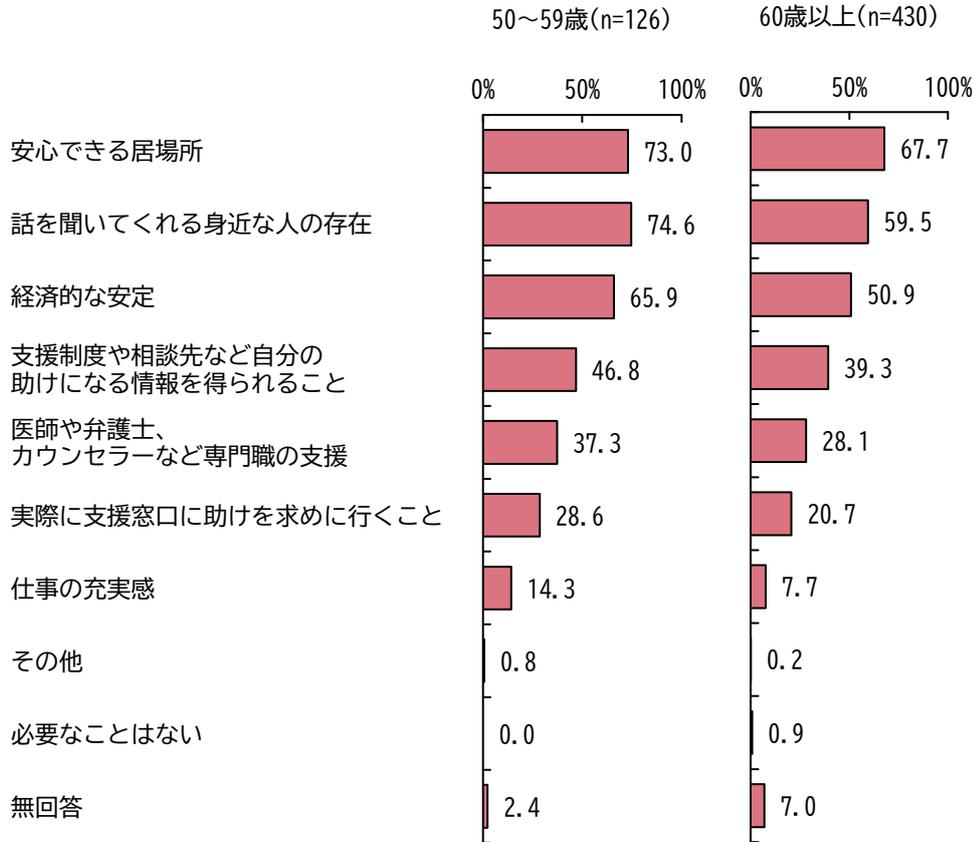


女性が困難な状況から回復するために重要なことでは、「安心できる居場所」が73.4%と最も多く、次いで「話を聞いてくれる身近な人の存在」が68.6%、「経済的な安定」が57.8%などとなっています。

年 齢 別



年 齢 別

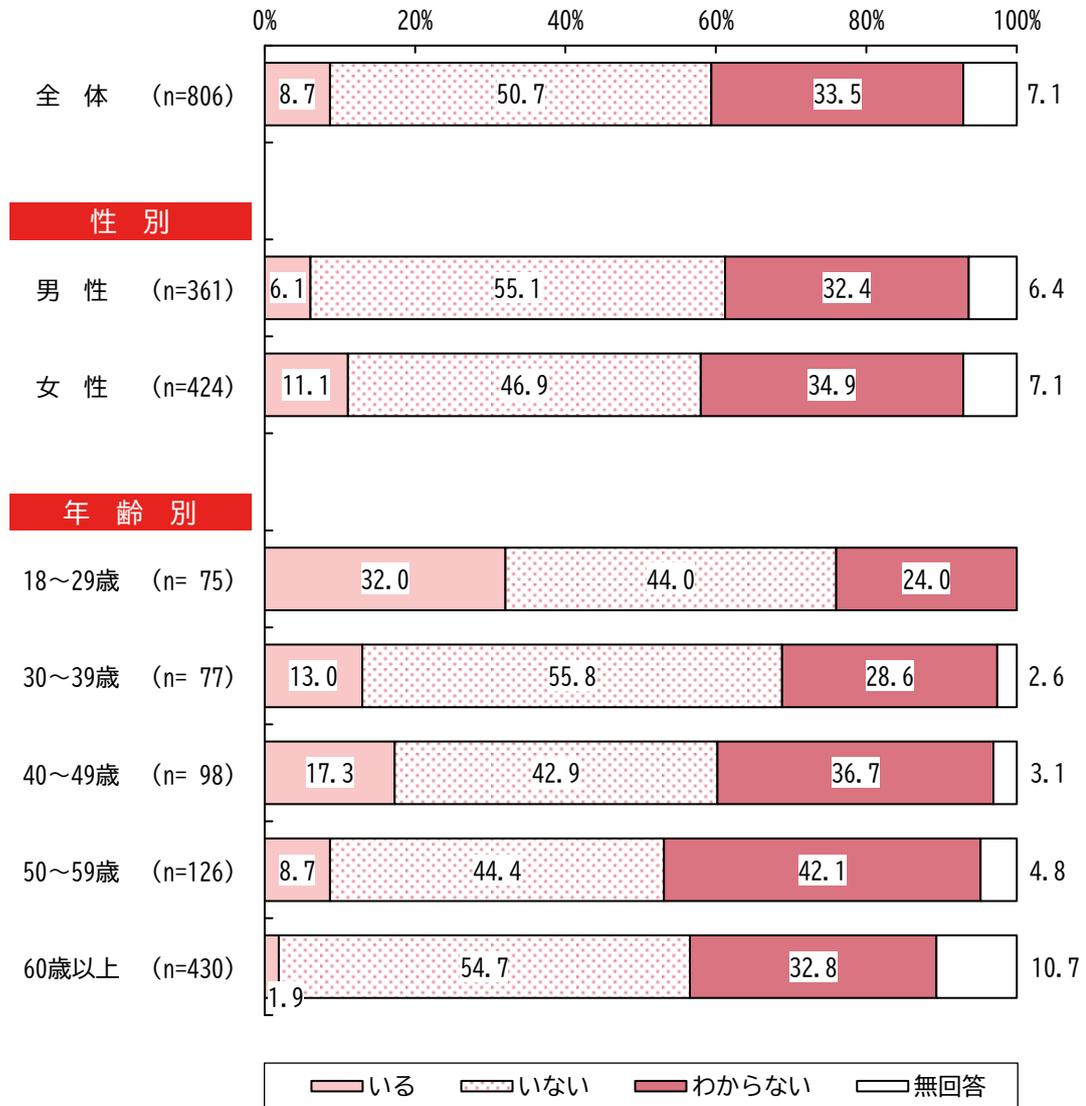


年齢別でみると、“18～29歳”と“50～59歳”は「話を聞いてくれる身近な人の存在」が最も多くなっています。

Ⅶ 性的マイノリティについて

①周りの性的マイノリティの有無

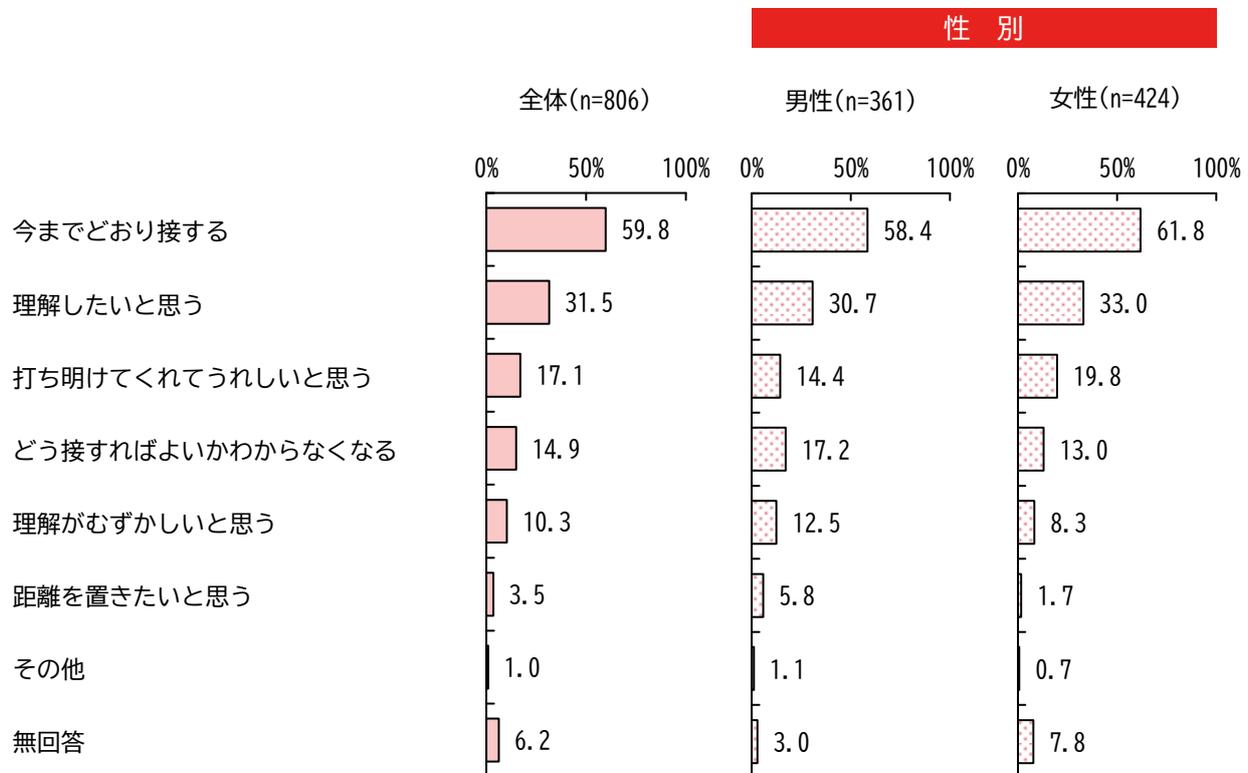
問30 あなたの周りに性的マイノリティ（LGBTQ+）の方はいますか。（1つを選択）



周りの性的マイノリティの有無では、「いる」が8.7%、「いない」が50.7%、「わからない」が33.5%となっています。

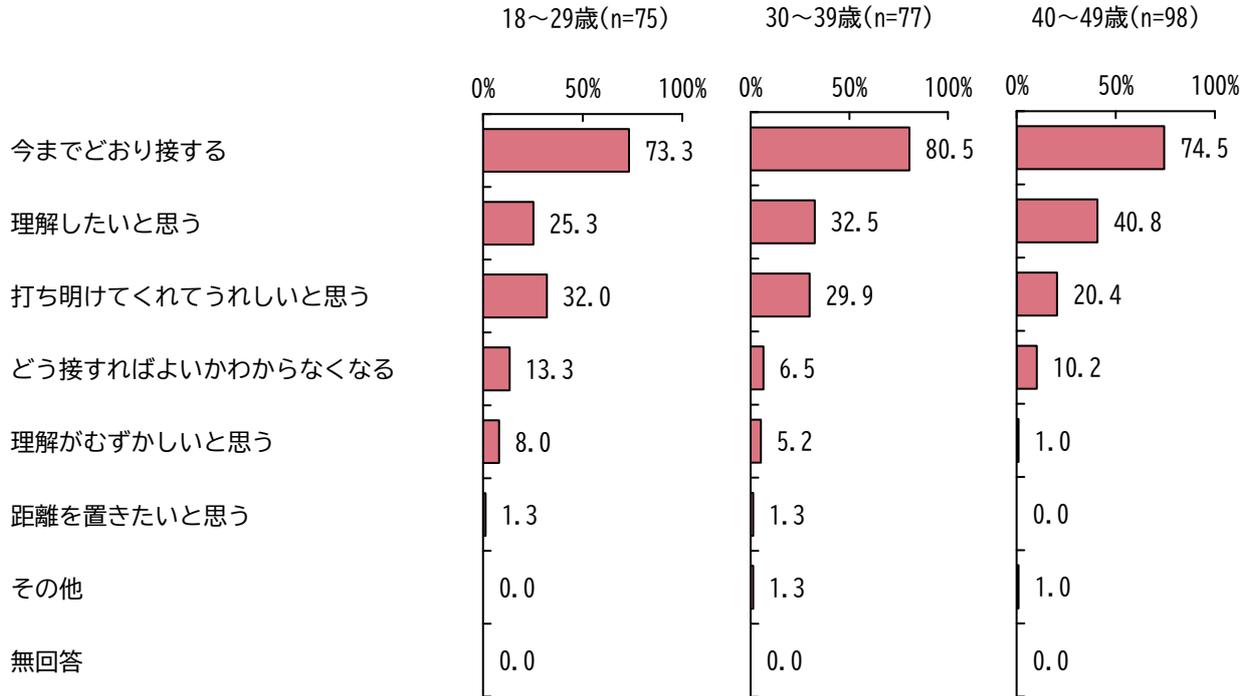
②身近な人から、性的マイノリティであると打ち明けられた場合の態度

問31 あなたの身近な人（家族、友人、知人）などから、性的マイノリティ（LGBTQ+）であると打ち明けられた場合、あなたの気持ちや態度に近いものはどれですか。
（複数選択可）

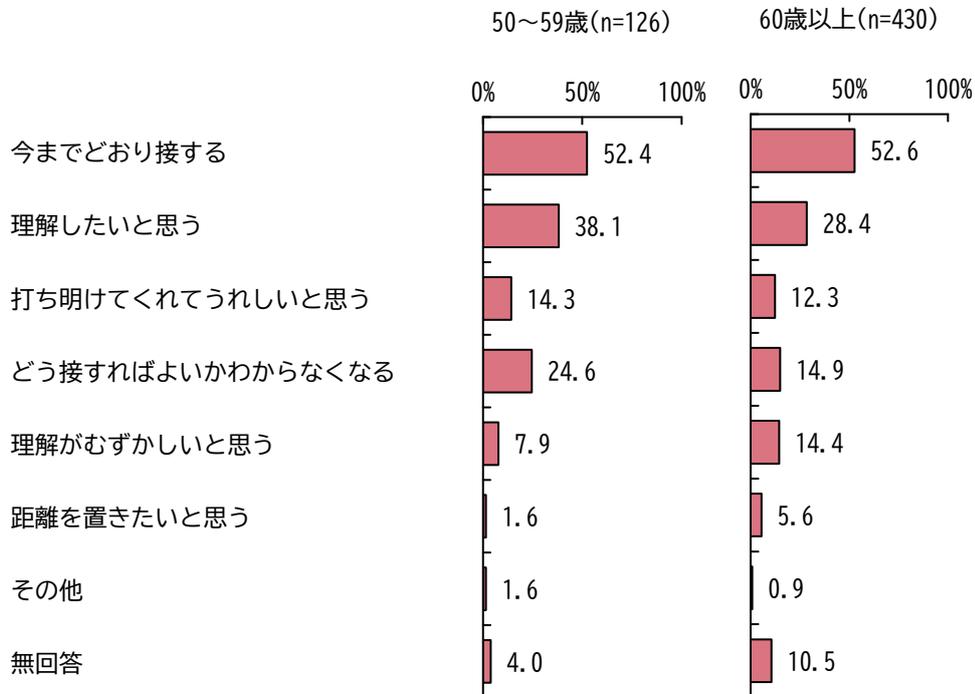


身近な人から、性的マイノリティであると打ち明けられた場合の態度では、「今までどおり接する」が59.8%と最も多く、次いで「理解したいと思う」が31.5%、「打ち明けてくれてうれしいと思う」が17.1%などとなっています。

年 齢 別

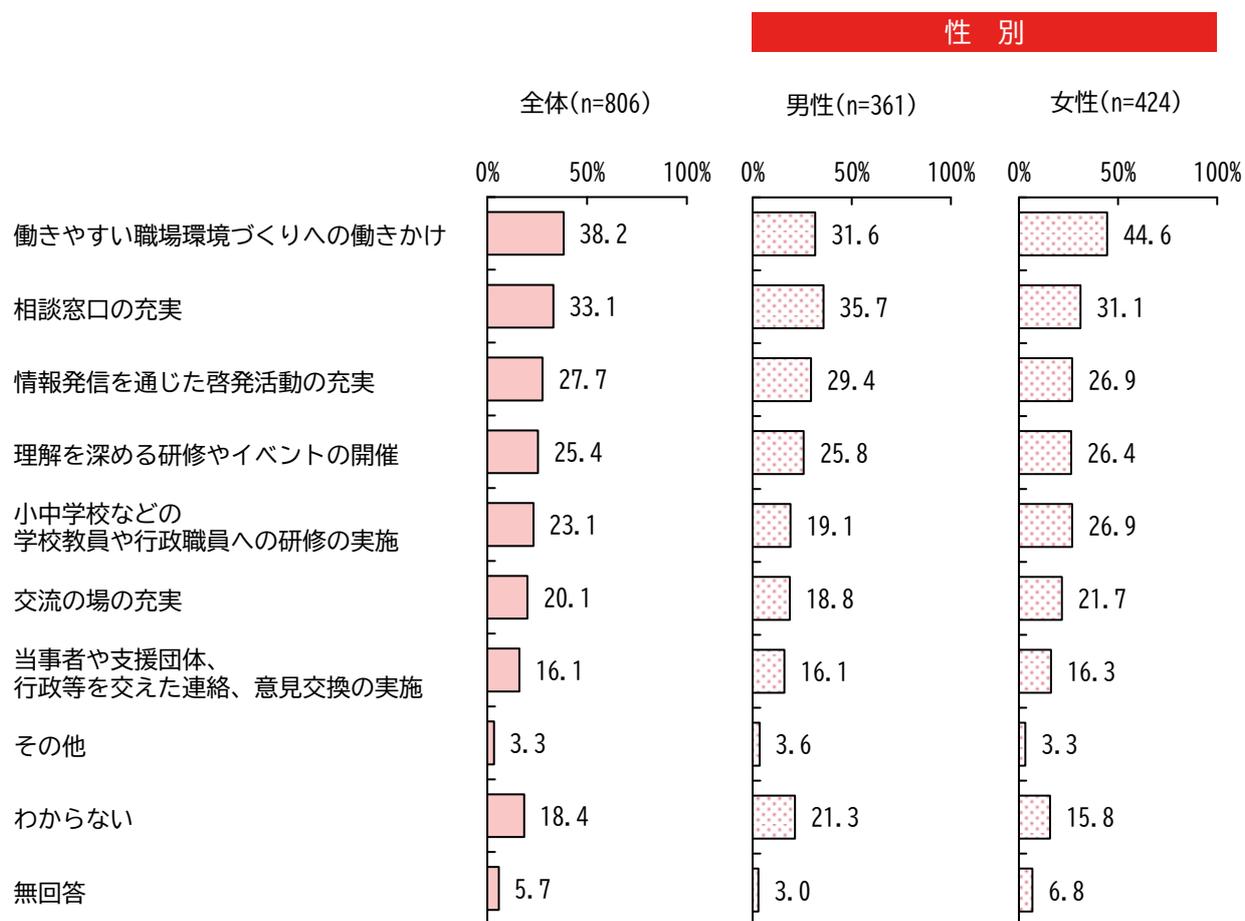


年 齢 別



③性的マイノリティが生活しやすくなるために重要な施策

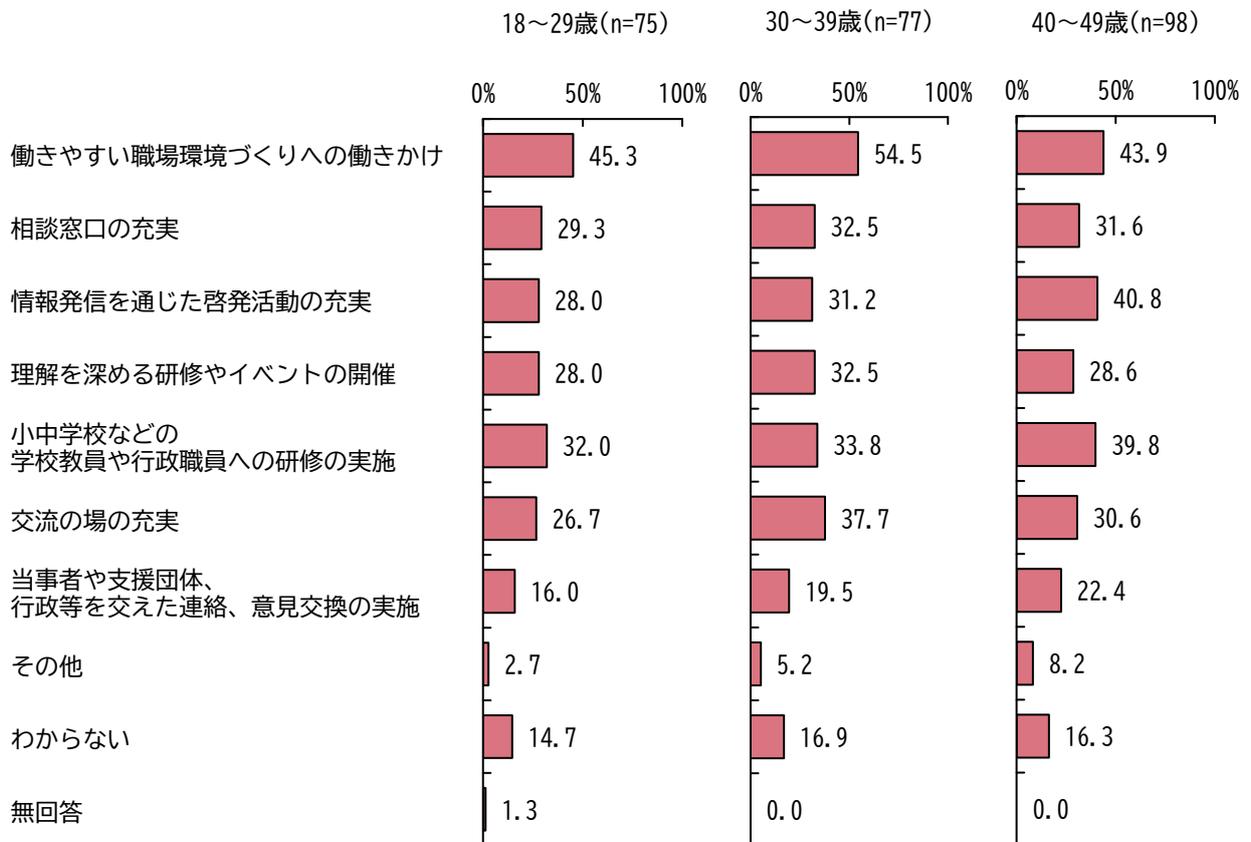
問32 性的マイノリティ（LGBTQ+）の方々が生活しやすくなるためにどのような施策が重要だと思いますか。（複数選択可）



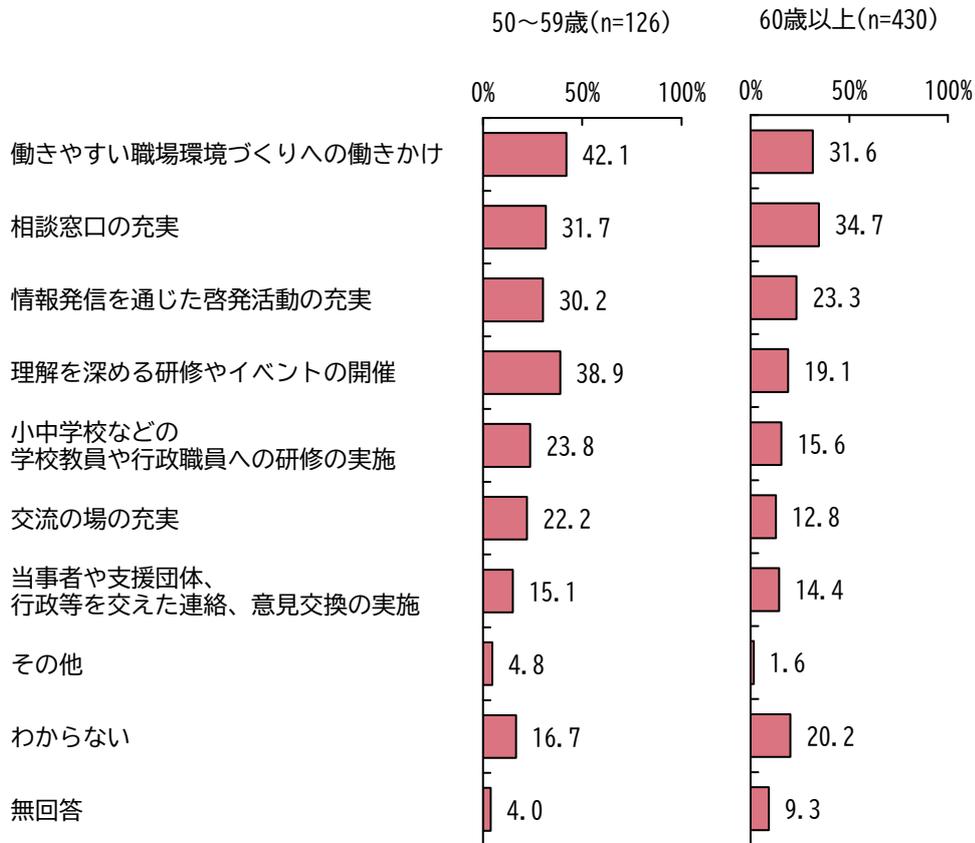
性的マイノリティが生活しやすくなるために重要な施策では、「働きやすい職場環境づくりへの働きかけ」が38.2%と最も多く、次いで「相談窓口の充実」が33.1%、「情報発信を通じた啓発活動の充実」が27.7%などとなっています。

性別でみると、“男性”は「相談窓口の充実」が35.7%と最も多くなっています。

年 齢 別



年 齢 別

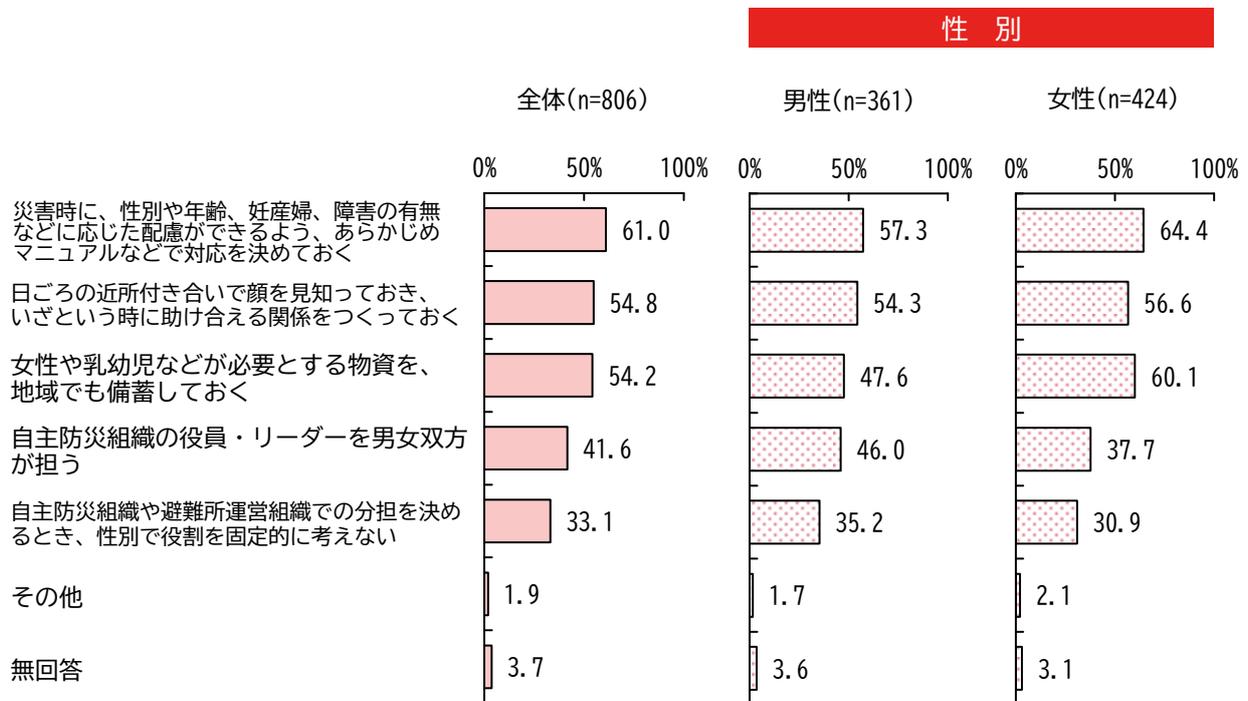


年齢別でみると、“60歳以上”は「相談窓口の充実」が34.7%と最も多くなっています。

VIII その他について

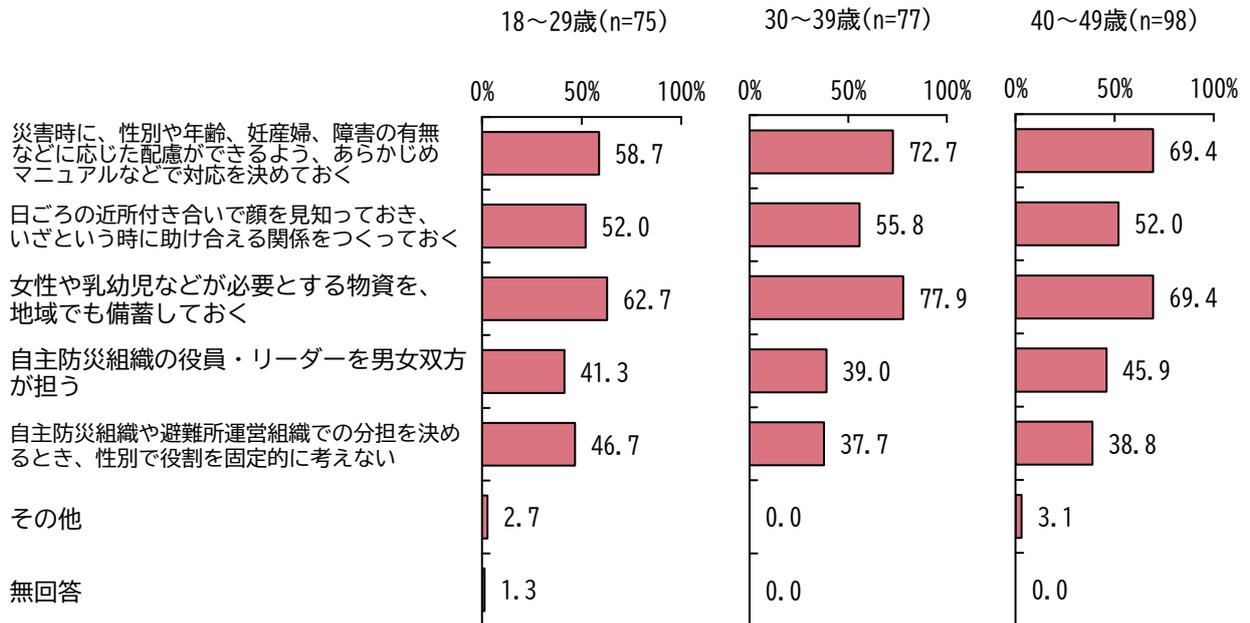
①男女共同参画の視点で災害に強い地域をつくるために重要なこと

問33 東日本大震災や能登半島地震などの教訓から、防災に対して男女共同参画の視点が必要だと指摘されています。災害に強い地域をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(複数選択可)

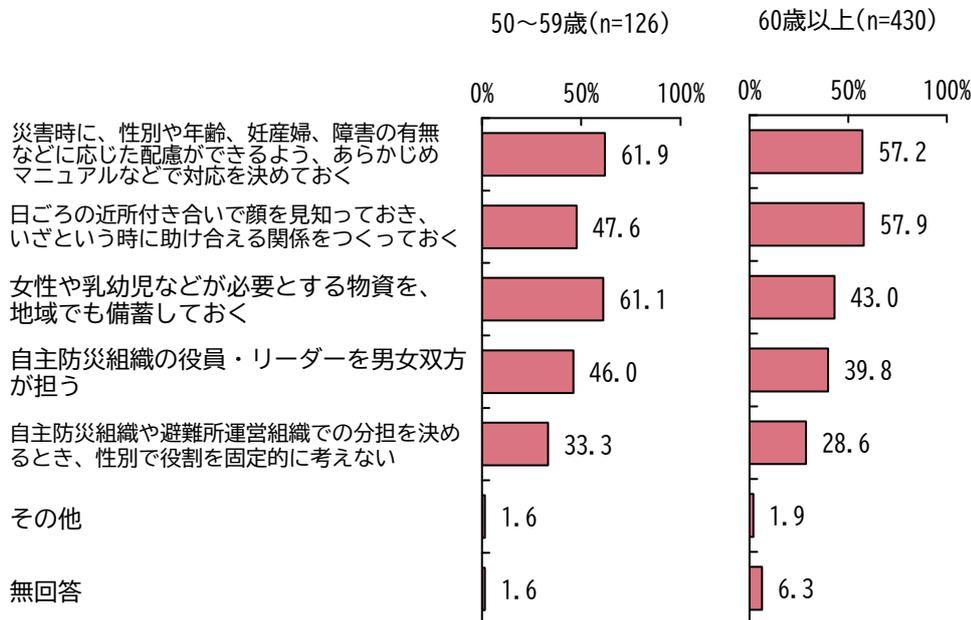


男女共同参画の視点で災害に強い地域をつくるために重要なことでは、「災害時に、性別や年齢、妊産婦、障害の有無などに応じた配慮ができるよう、あらかじめマニュアルなどで対応を決めておく」が61.0%と最も多く、次いで「日ごろの近所付き合いで顔を見知っておき、いざという時に助け合える関係をつくっておく」が54.8%、「女性や乳幼児などが必要とする物資を、地域でも備蓄しておく」が54.2%などとなっています。

年 齢 別



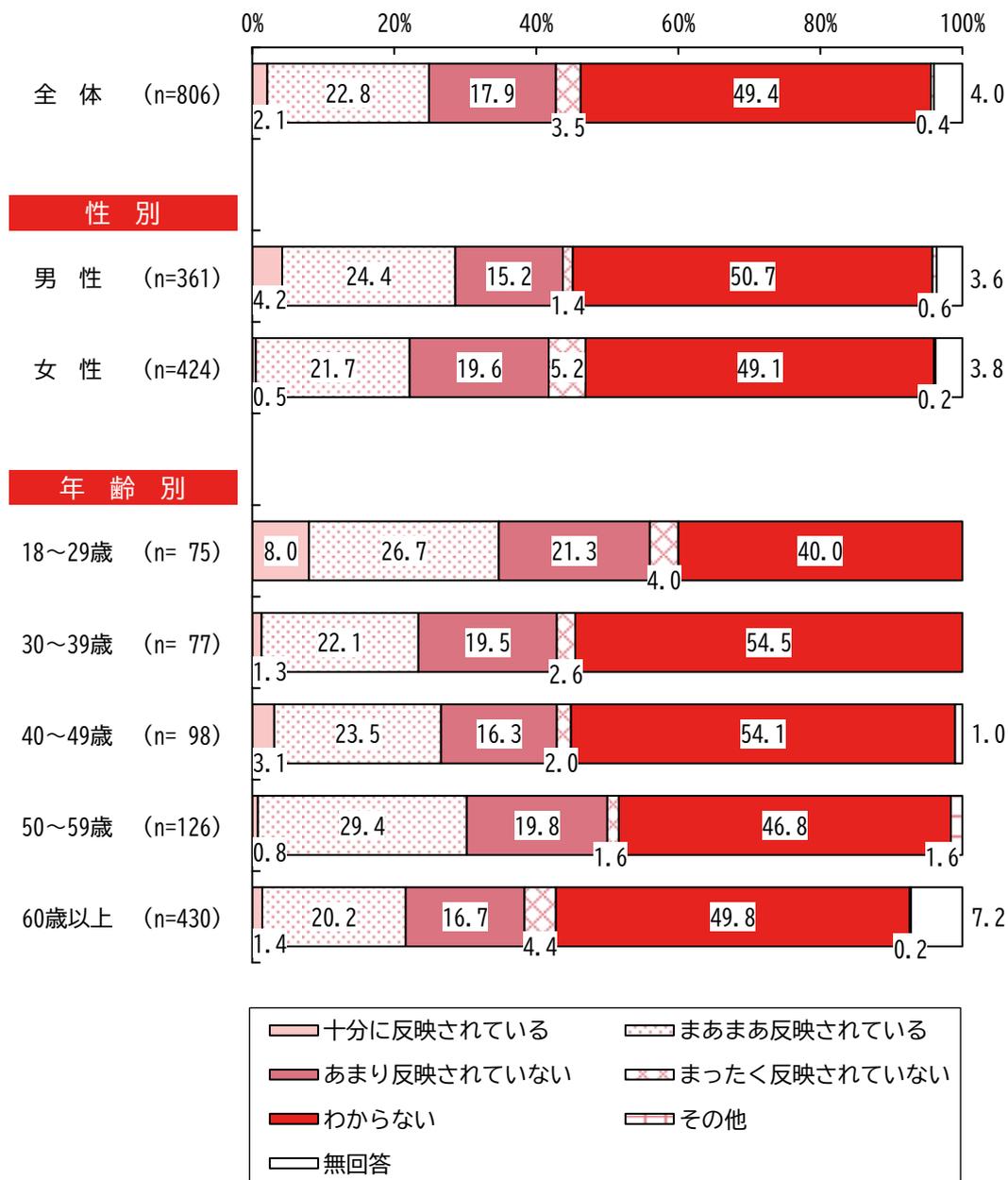
年 齢 別



年齢別でみると、“18～29歳”と“30～39歳”は「女性や乳幼児などが必要とする物資を、地域でも備蓄しておく」が最も多くなっています。“60歳以上”は「日ごろの近所付き合いで顔を見知っておき、いざという時に助け合える関係をつくっておく」が57.9%と最も多くなっています。

②市政への女性の意見の反映

問34 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。(1つを選択)



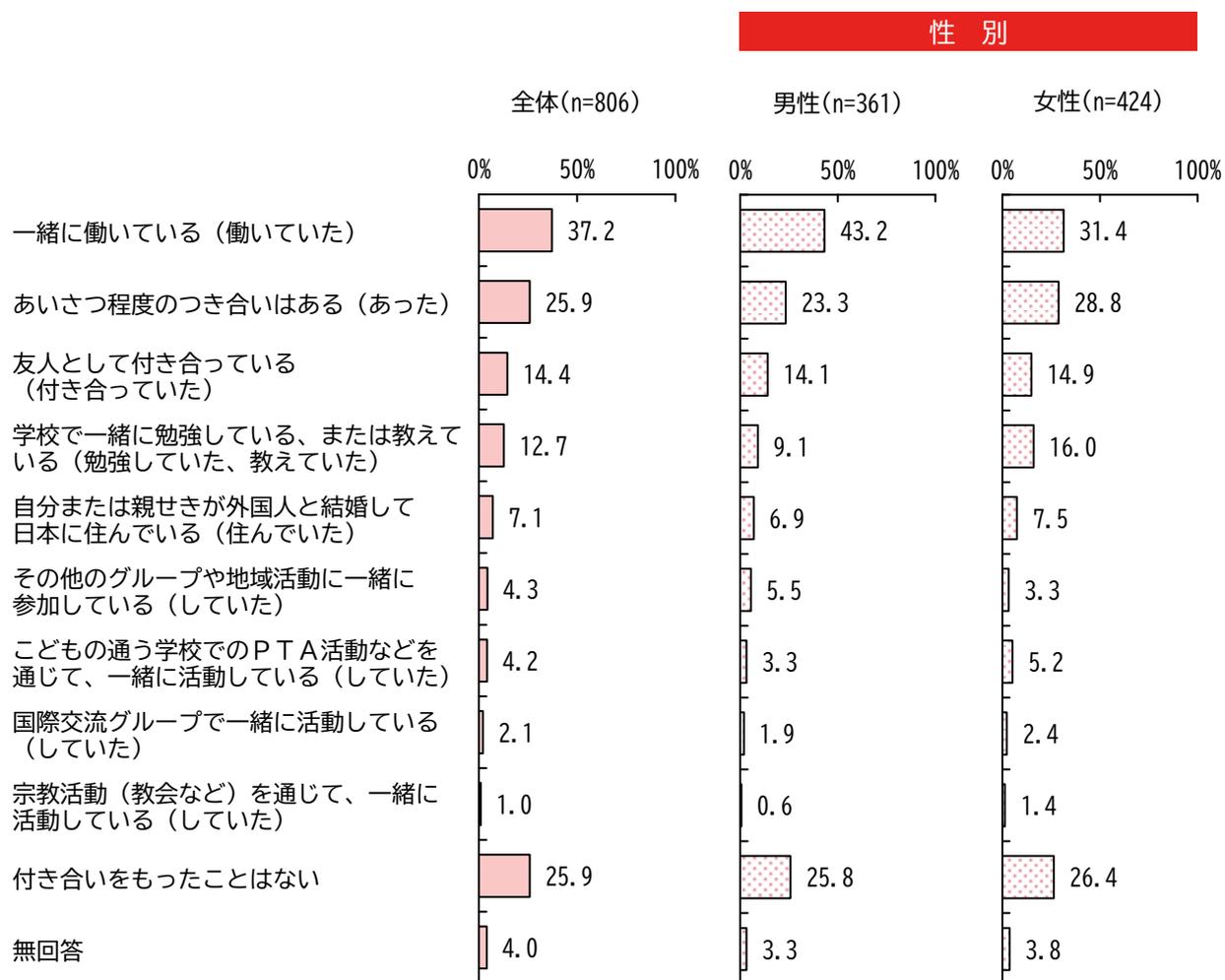
市政への女性の意見の反映では、「わからない」が49.4%と最も多く、次いで「まあまあ反映されている」が22.8%、「あまり反映されていない」が17.9%などとなっています。

IX 多文化共生にかかわることについて

①外国人との付き合い

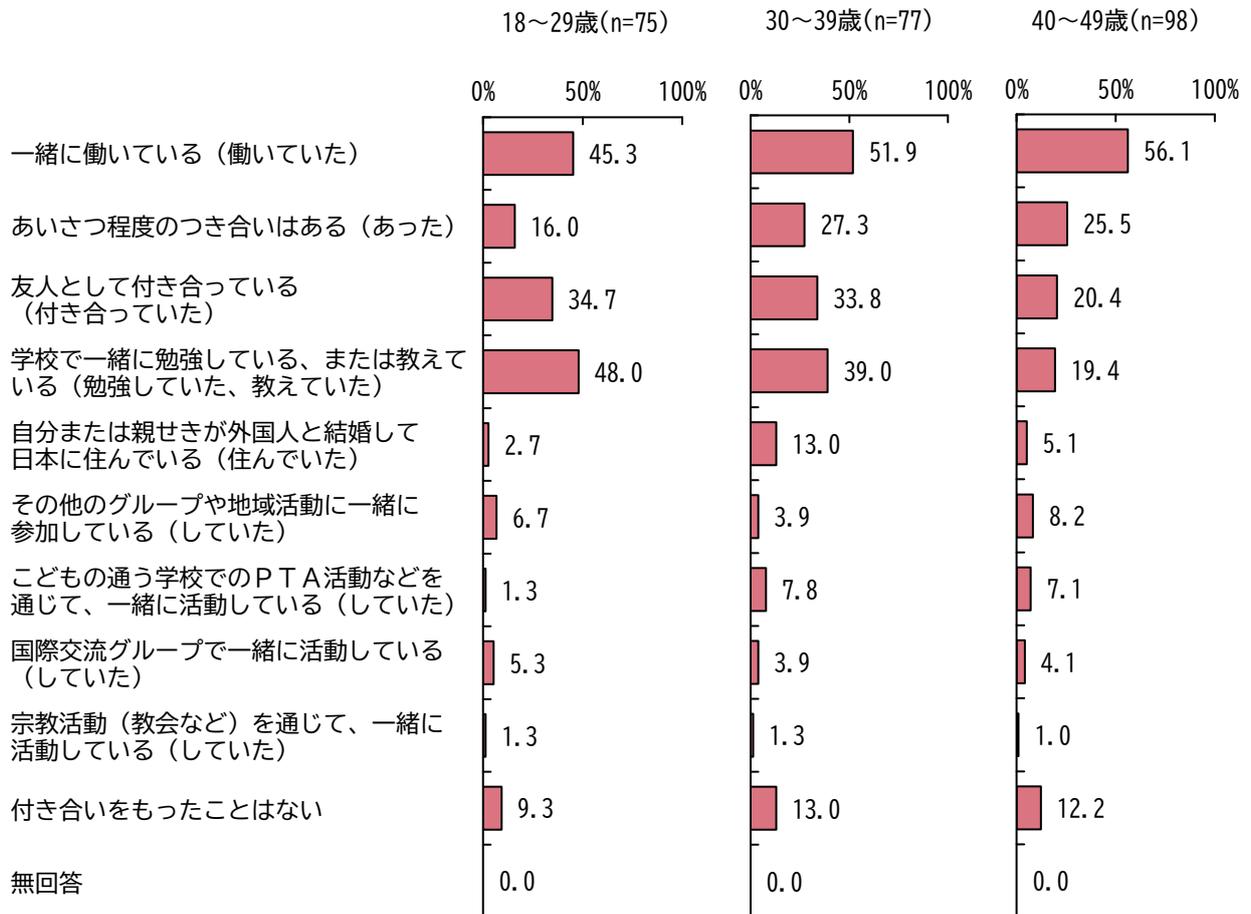
問35 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。

(複数選択可※過去の経験を含む)

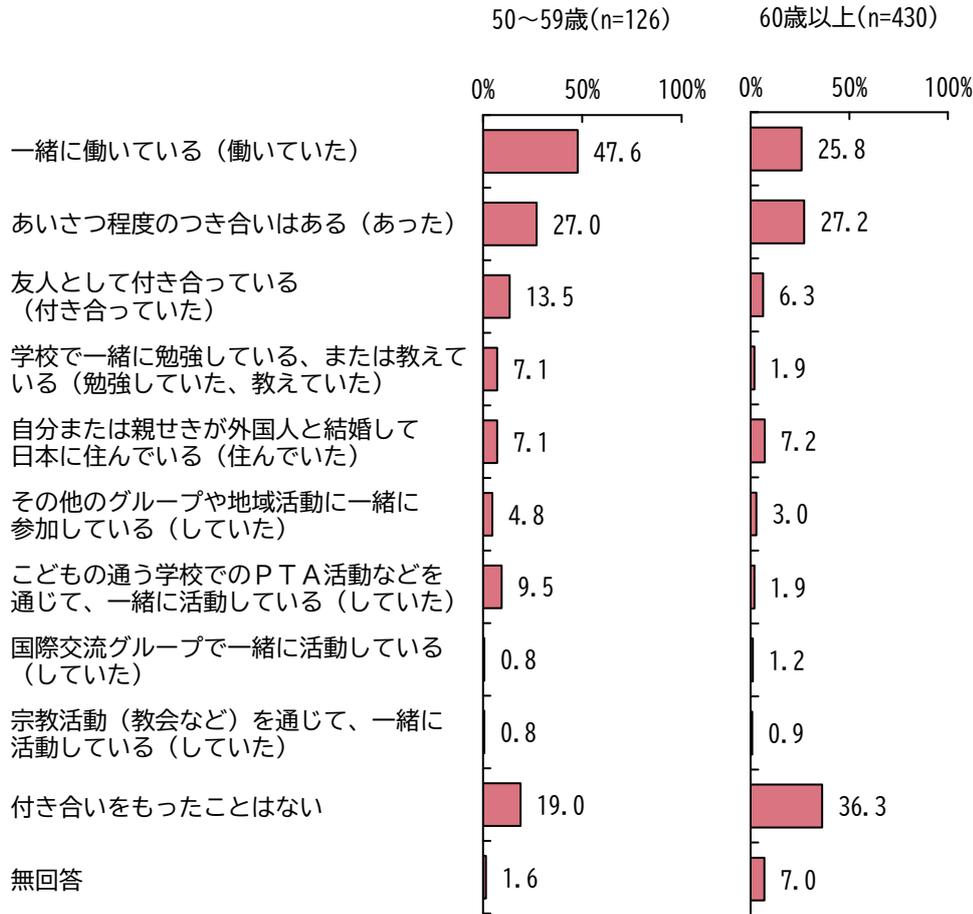


外国人との付き合いでは、「一緒に働いている(働いていた)」が37.2%と最も多く、次いで「あいさつ程度の付き合いはある(あった)」が25.9%、「友人として付き合い合っている(付き合い合っていた)」が14.4%などとなっています。また、「付き合いをもったことはない」が25.9%となっています。

年 齢 別



年 齢 別

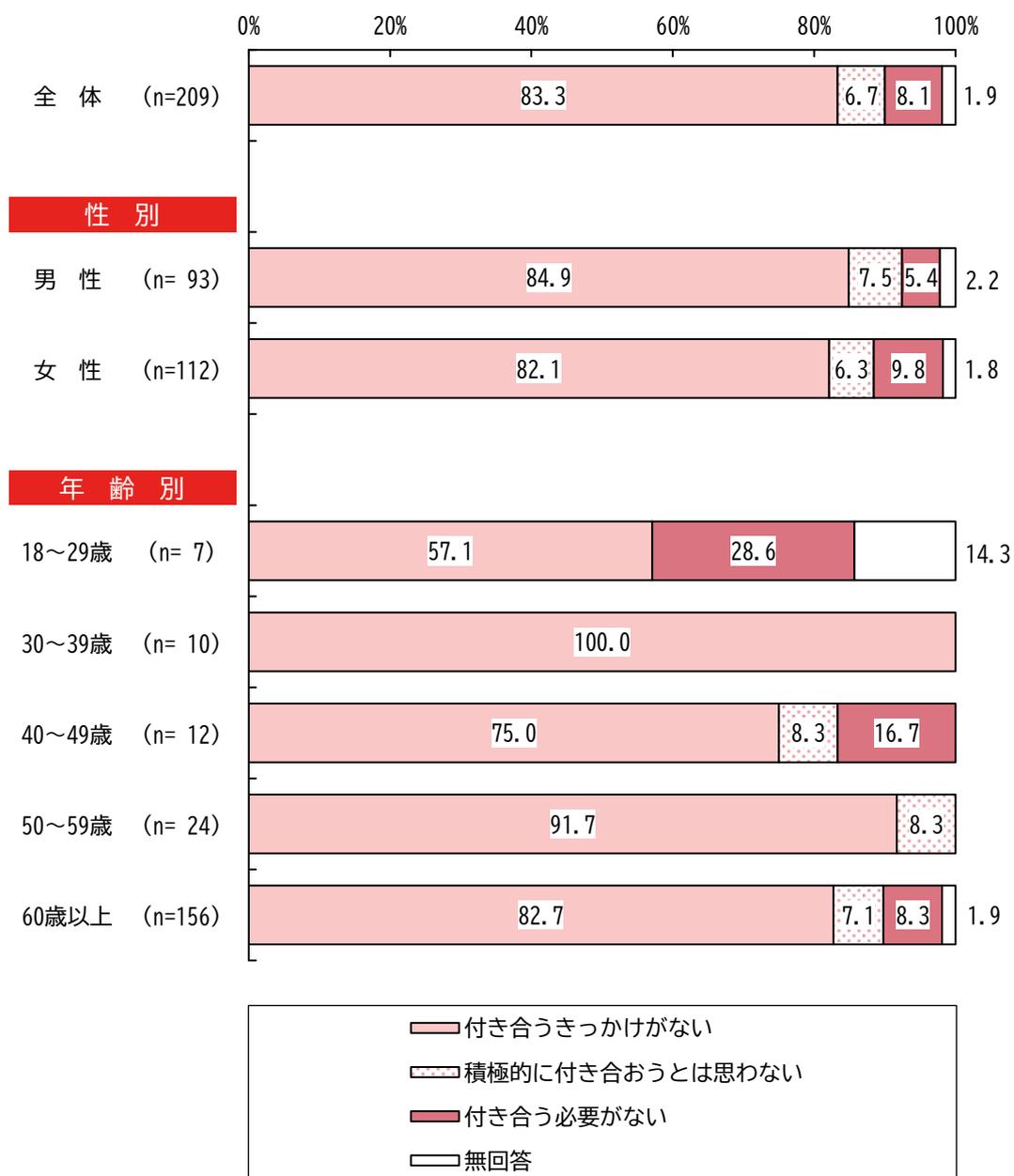


年齢別でみると、“18～29歳”は「学校で一緒に勉強している、または教えている（勉強していた、教えていた）」が48.0%と最も多くなっています。“60歳以上”は「付き合いをもったことはない」が36.3%と最も多くなっています。

②外国人と付き合いがない理由

〈問35で「10. 付き合いをもったことはない」と答えた方に伺います。〉

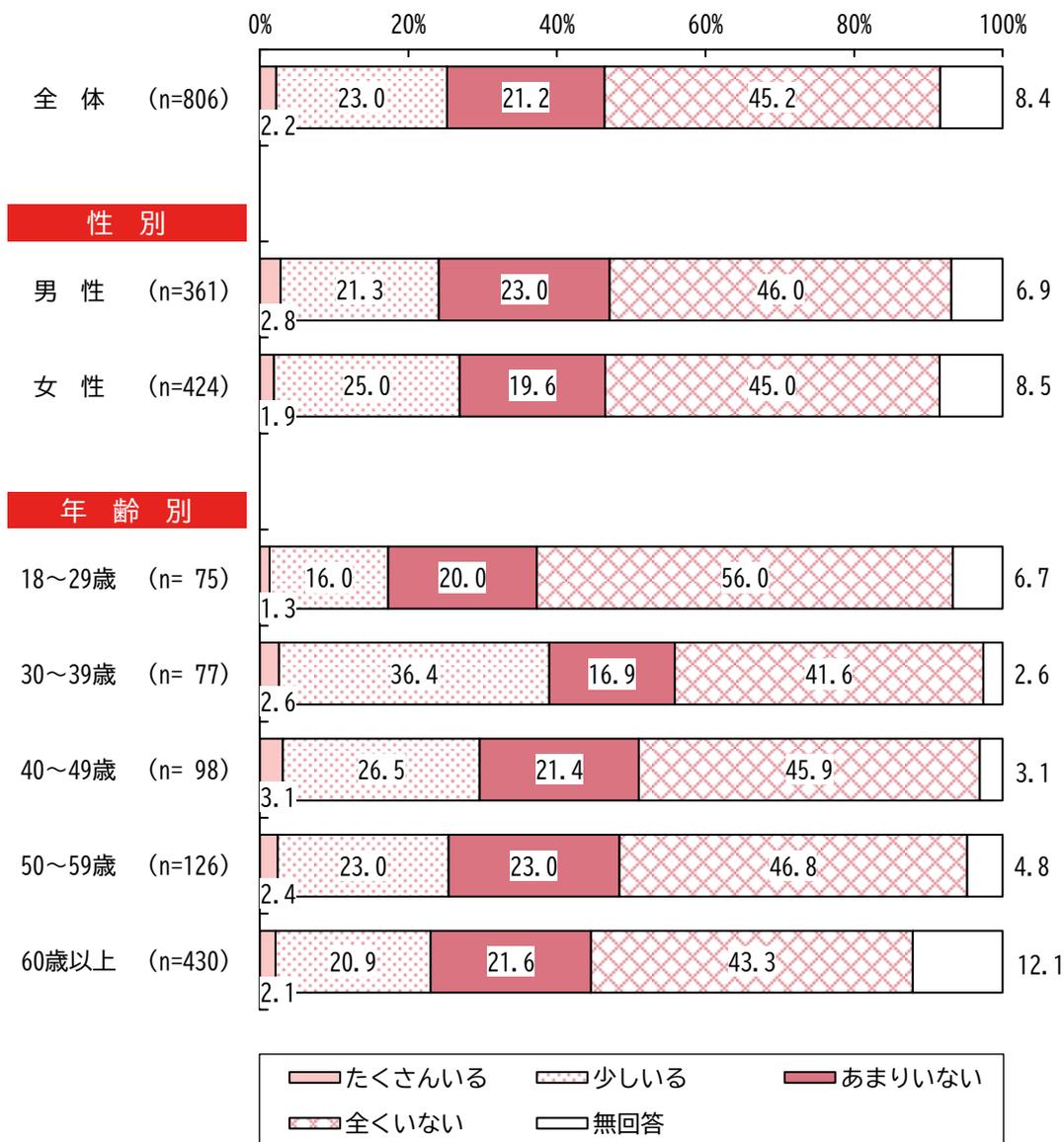
問36 付き合いがない理由は何だと思えますか。(1つを選択)



外国人と付き合いがない理由では、「付き合いきっかけがない」が83.3%、「積極的に付き合いおもうとは思わない」が6.7%、「付き合いが必要がない」が8.1%となっています。

③近所で会えば挨拶をする外国人

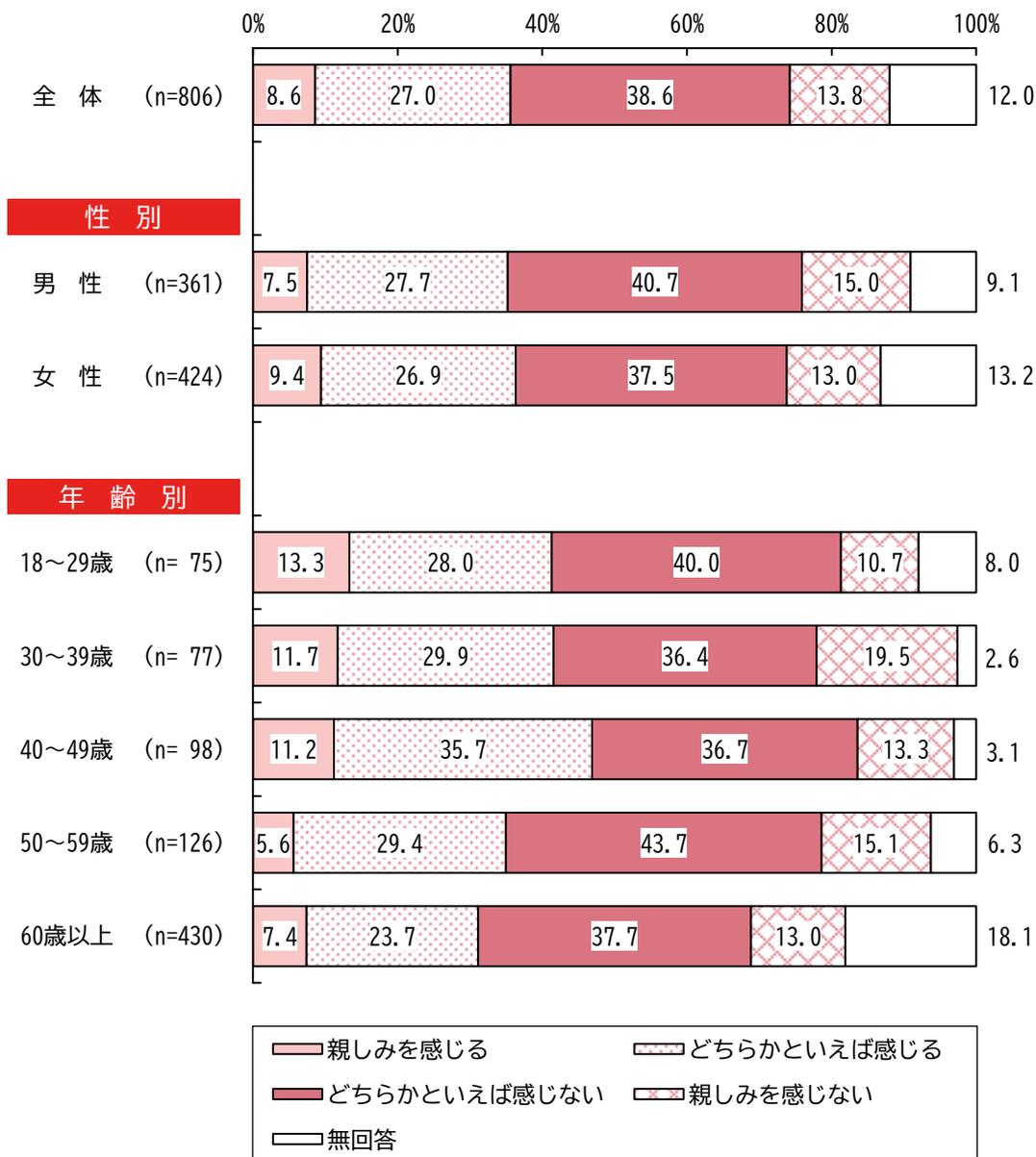
問37 近所で会えば挨拶をする外国人はいますか。(1つを選択)



近所で会えば挨拶をする外国人では、「たくさんいる」が2.2%、「少しいる」が23.0%、「あまりいない」が21.2%、「全くいない」が45.2%となっています。

④地域で暮らす外国人に対する親しみ

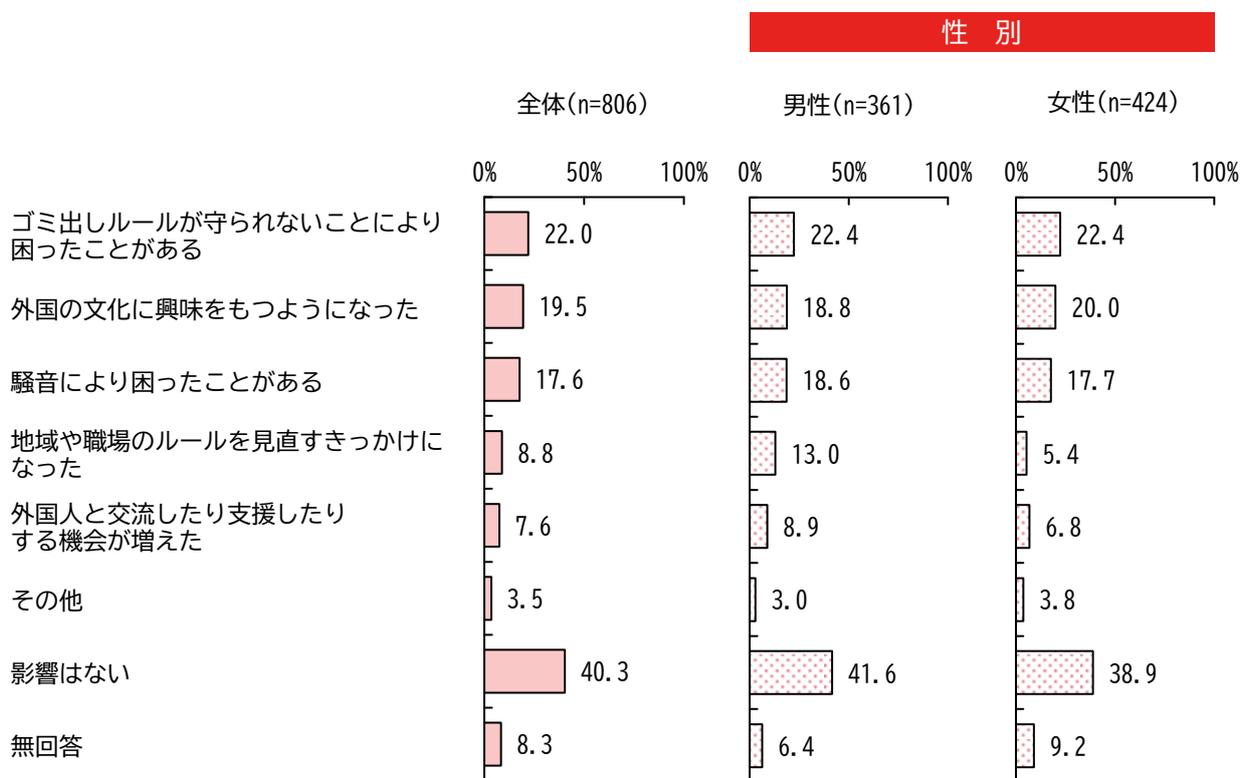
問38 地域で暮らす外国人についてどの程度親しみを感じますか。(1つを選択)



地域で暮らす外国人に対する親しみでは、「親しみを感じる」が8.6%、「どちらかといえば感じる」が27.0%、「どちらかといえば感じない」が38.6%、「親しみを感じない」が13.8%となっています。

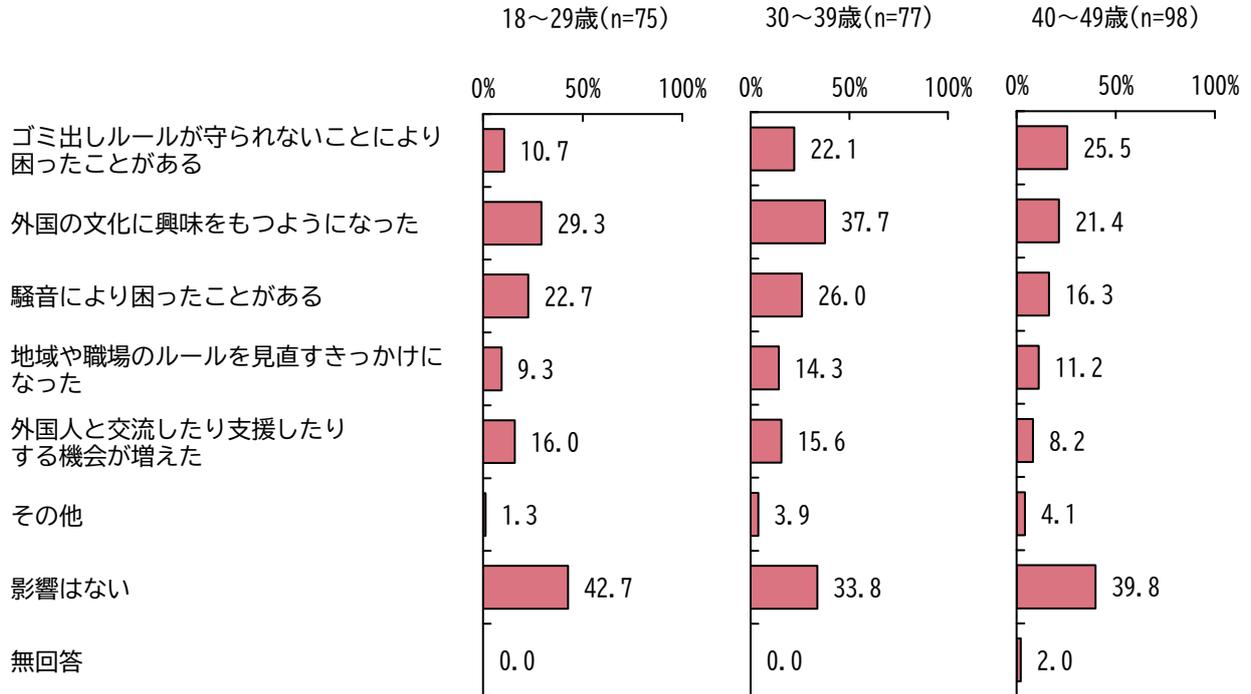
⑤地域や職場において外国人から受けた影響

問40 あなたは地域や職場において外国人からどのような影響を受けたと感じていますか。
(複数選択可)

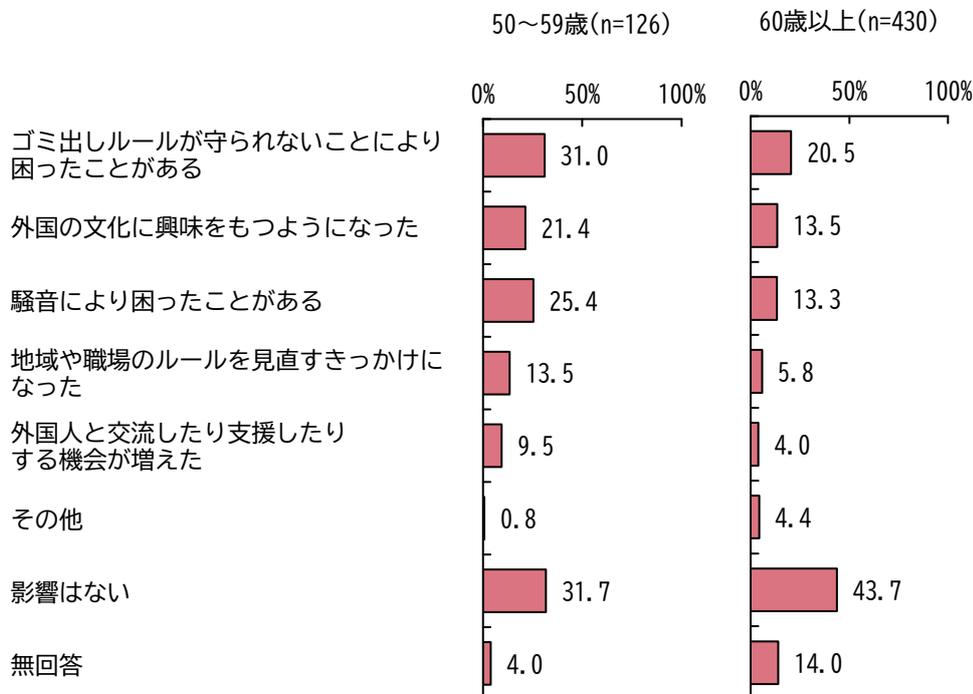


地域や職場において外国人から受けた影響では、「ゴミ出しルールが守られないことにより困ったことがある」が22.0%と最も多く、次いで「外国の文化に興味をもつようになった」が19.5%、「騒音により困ったことがある」が17.6%などとなっています。また、「影響はない」が40.3%となっています。

年 齢 別



年 齢 別



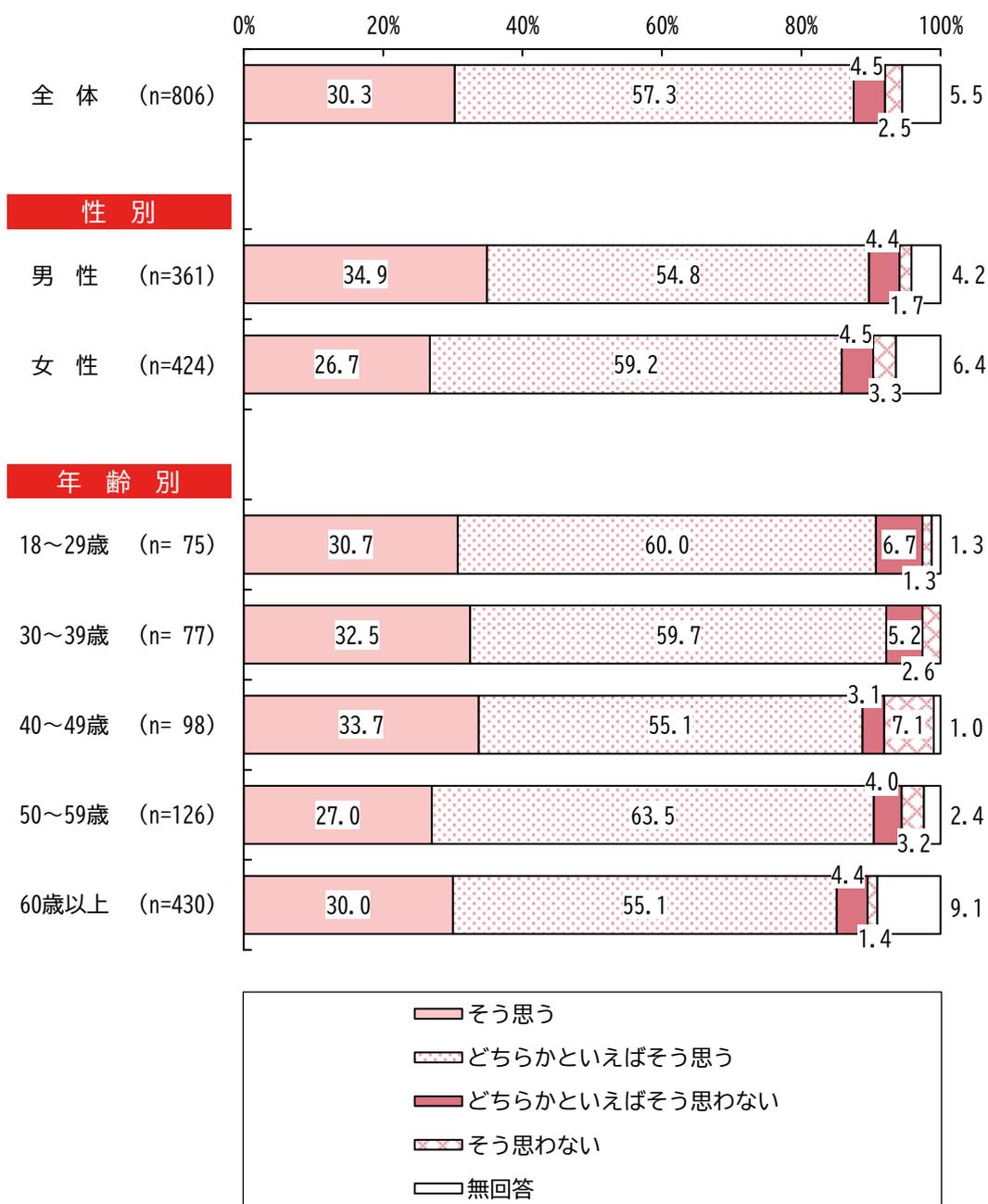
年齢別でみると、“18～29歳”と“30～39歳”は「外国の文化に興味をもつようになった」が最も多くなっています。

⑥外国人は、日本語を身につけたほうが良いか

問41 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。

(それぞれ1つを選択)

①外国人は、日本語を身につけたほうが良い



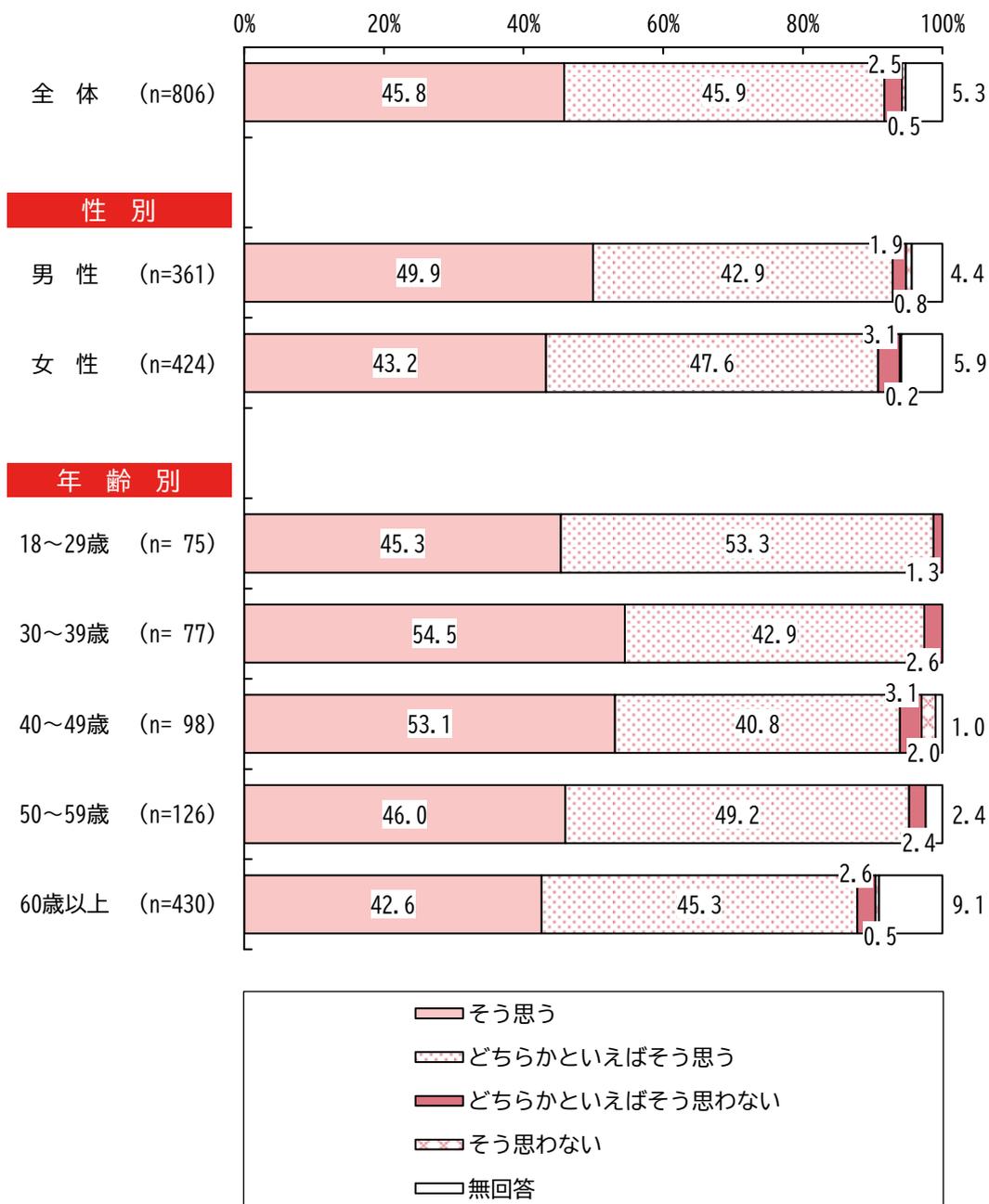
外国人は、日本語を身につけたほうが良いでは、「そう思う」が30.3%、「どちらかといえばそう思う」が57.3%、「どちらかといえばそう思わない」が4.5%、「そう思わない」が2.5%となっています。

⑦外国人は、日本の文化やルールを知ったほうが良いか

問41 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。

(それぞれ1つを選択)

②外国人は、日本の文化やルールを知ったほうが良い



外国人は、日本の文化やルールを知ったほうが良いでは、「そう思う」が45.8%、「どちらかといえばそう思う」が45.9%、「どちらかといえばそう思わない」が2.5%、「そう思わない」が0.5%となっています。

性別でみると、「男性」は「そう思う」が49.9%と最も多くなっています。

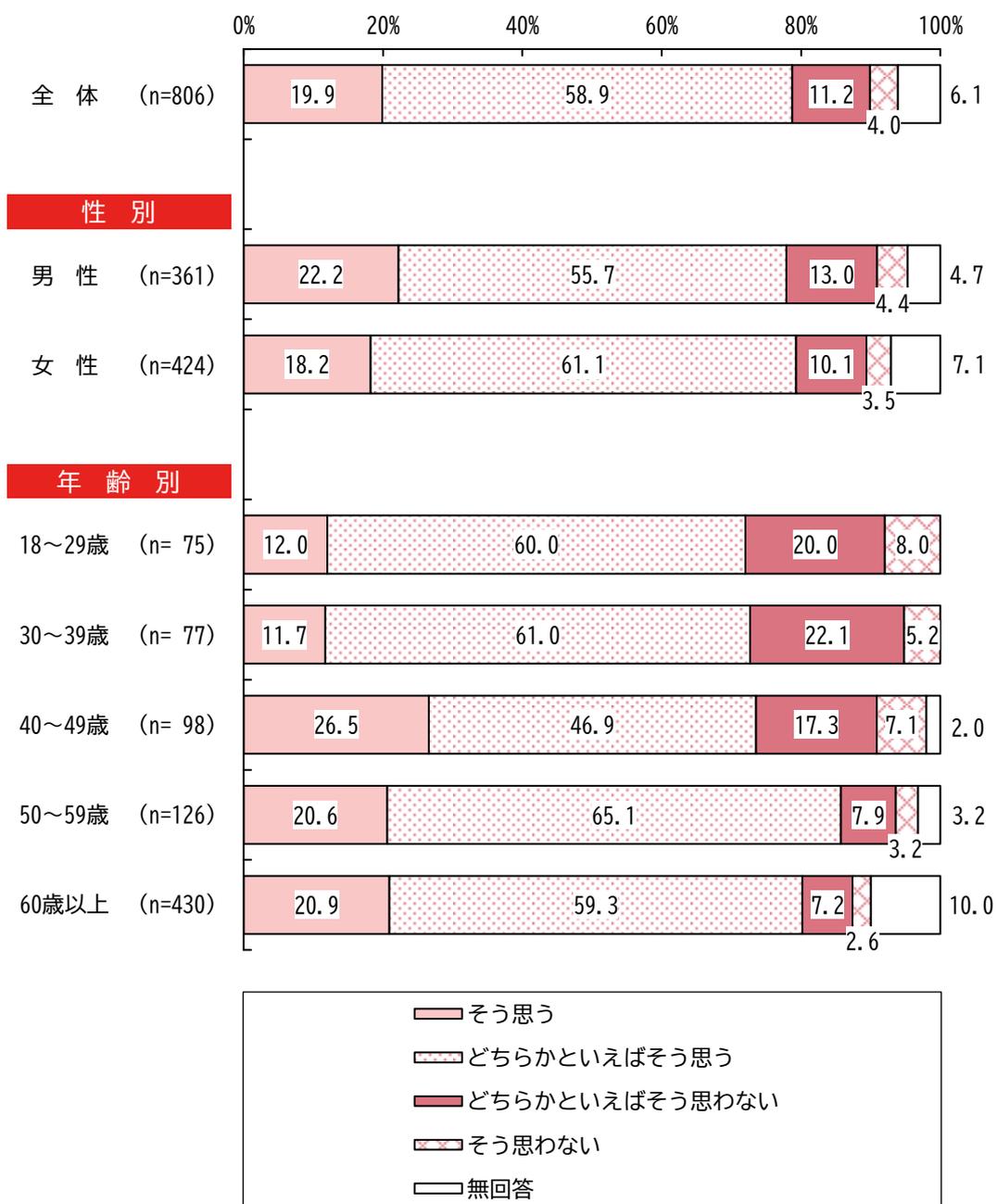
年齢別でみると、「30~39歳」と「40~49歳」は「そう思う」が最も多くなっています。

⑧外国人は、地域の活動に積極的に参加したほうが良いか

問41 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。

(それぞれ1つを選択)

③外国人は、地域の活動に積極的に参加したほうが良い



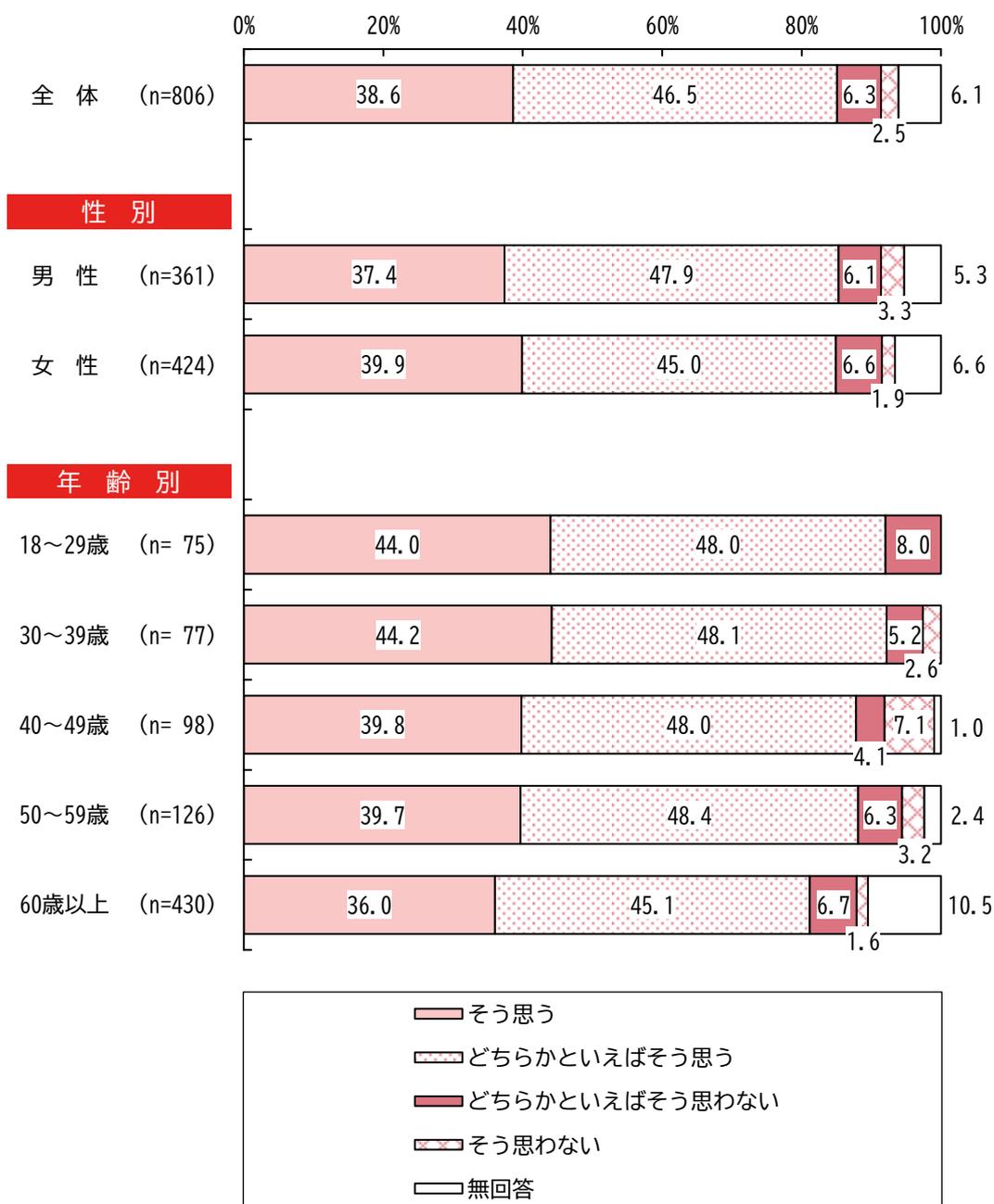
外国人は、地域の活動に積極的に参加したほうが良いでは、「そう思う」が19.9%、「どちらかといえばそう思う」が58.9%、「どちらかといえばそう思わない」が11.2%、「そう思わない」が4.0%となっています。

⑨行政は、外国人が日本語や文化を学べるよう援助したほうが良いか

問41 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。

(それぞれ1つを選択)

④行政は、外国人が日本語や文化を学べるよう援助したほうが良い



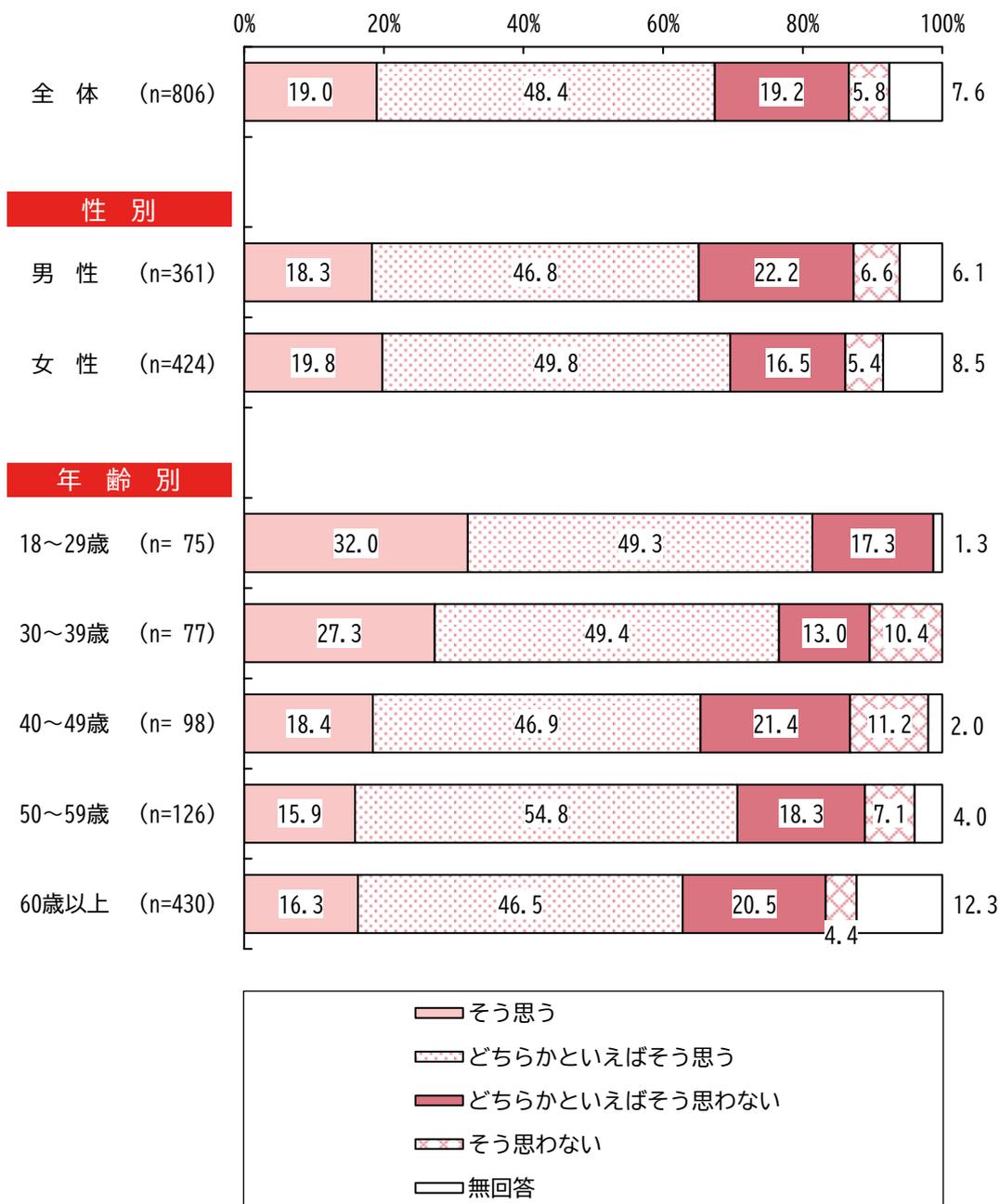
行政は、外国人が日本語や文化を学べるよう援助したほうが良いでは、「そう思う」が38.6%、「どちらかといえばそう思う」が46.5%、「どちらかといえばそう思わない」が6.3%、「そう思わない」が2.5%となっています。

⑩行政は、外国人がかれら自身の言語や文化を守れるよう援助したほうが良いか

問41 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。

(それぞれ1つを選択)

⑤行政は、外国人がかれら自身の言語や文化を守れるよう援助したほうが良い



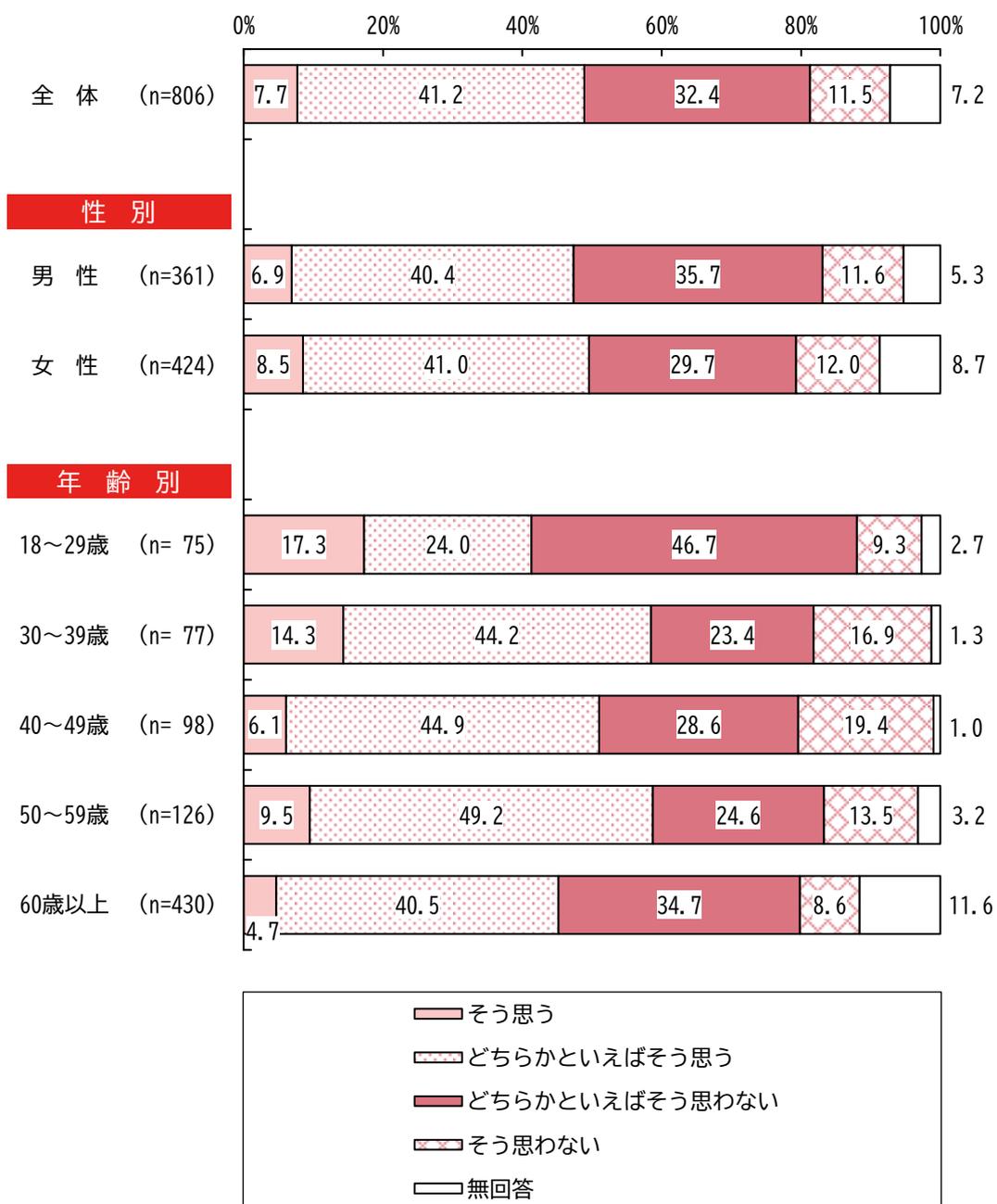
行政は、外国人がかれら自身の言語や文化を守れるよう援助したほうが良いでは、「そう思う」が19.0%、「どちらかといえばそう思う」が48.4%、「どちらかといえばそう思わない」が19.2%、「そう思わない」が5.8%となっています。

⑪日本人は、地域に住む外国人の言語を学んだほうが良いか

問41 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。

(それぞれ1つを選択)

⑥日本人は、地域に住む外国人の言語を学んだほうが良い



日本人は、地域に住む外国人の言語を学んだほうが良いでは、「そう思う」が7.7%、「どちらかといえばそう思う」が41.2%、「どちらかといえばそう思わない」が32.4%、「そう思わない」が11.5%となっています。

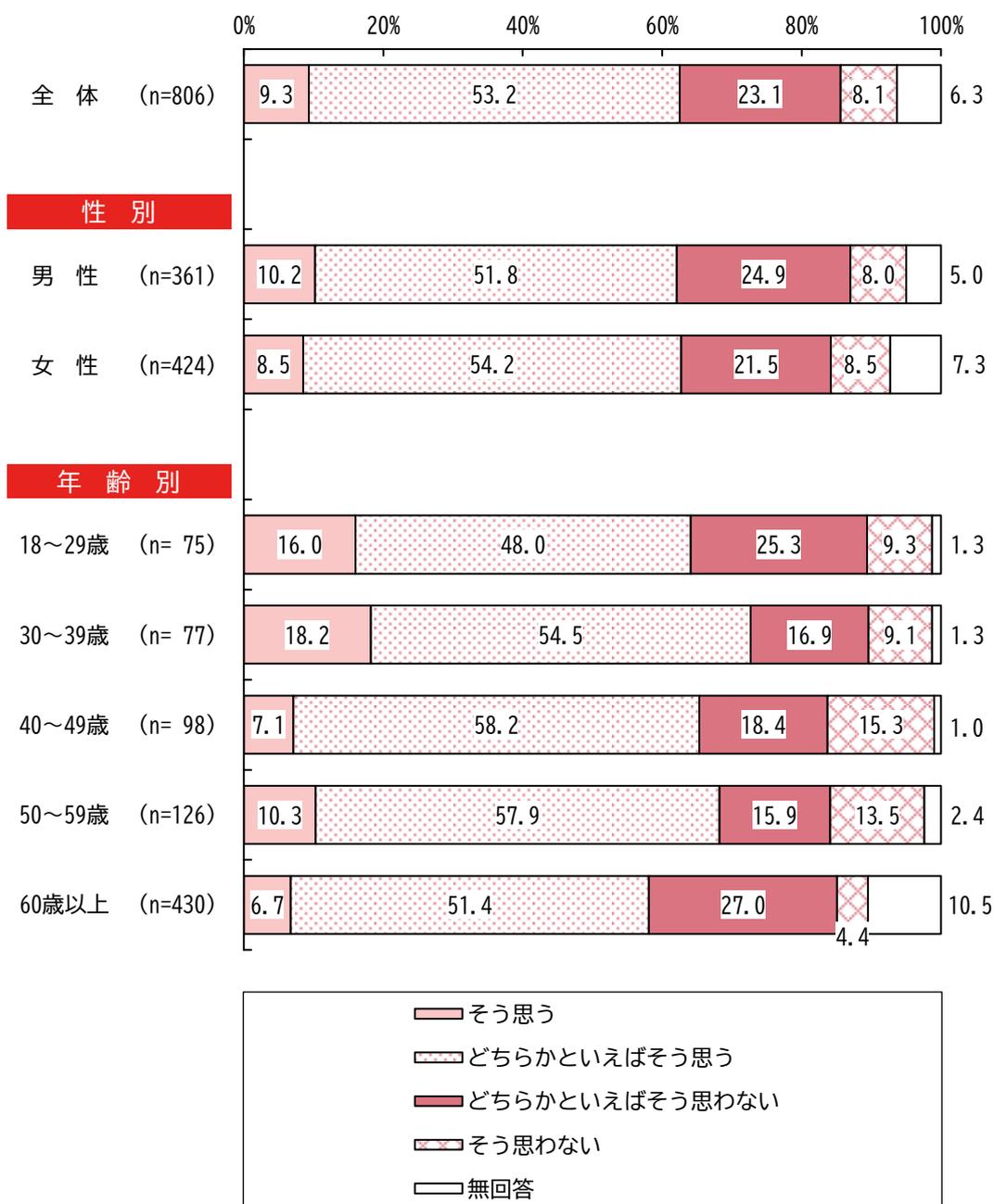
年齢別でみると、“18~29歳”は「どちらかといえばそう思わない」が46.7%と最も多くなっています。

⑫日本人は、地域に住む外国人の文化やルールを知ったほうが良いか

問41 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。

(それぞれ1つを選択)

⑦日本人は、地域に住む外国人の文化やルールを知ったほうが良い



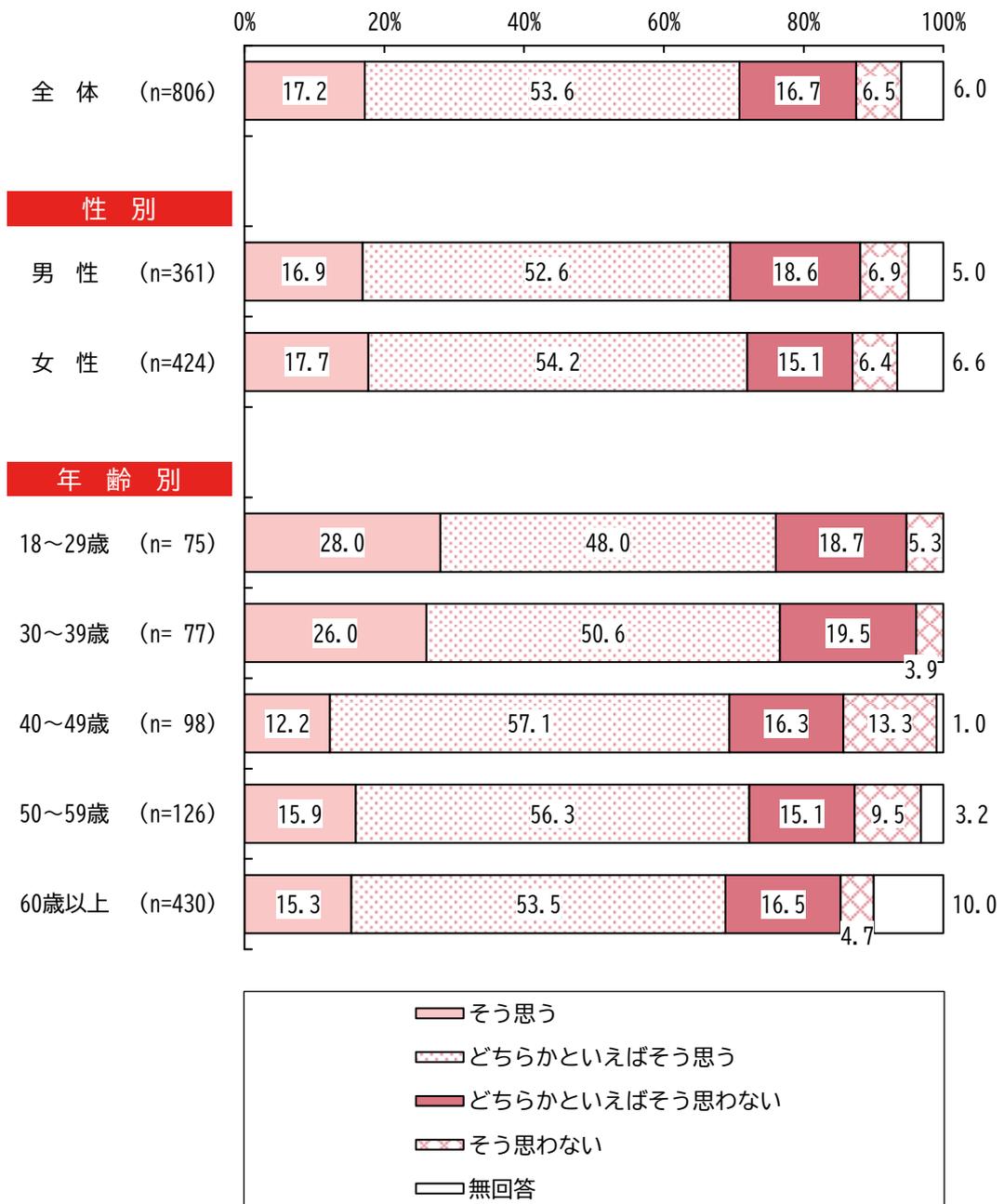
日本人は、地域に住む外国人の文化やルールを知ったほうが良いでは、「そう思う」が9.3%、「どちらかといえばそう思う」が53.2%、「どちらかといえばそう思わない」が23.1%、「そう思わない」が8.1%となっています。

⑬日本人は、地域の活動に外国人を積極的に受け入れたほうが良いか

問41 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。

(それぞれ1つを選択)

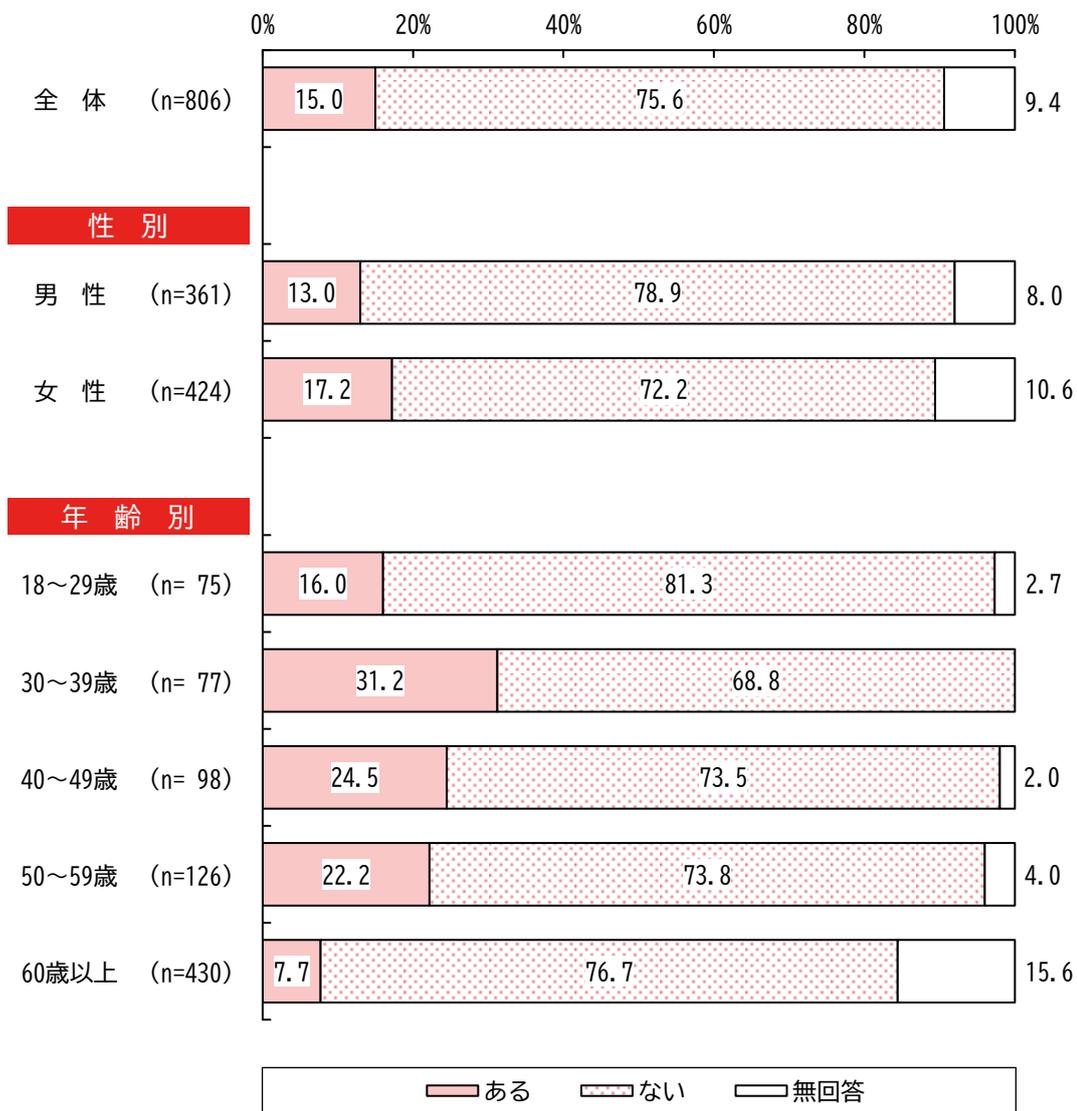
⑧日本人は、地域の活動に外国人を積極的に受け入れたほうが良い



日本人は、地域の活動に外国人を積極的に受け入れたほうが良いでは、「そう思う」が17.2%、「どちらかといえばそう思う」が53.6%、「どちらかといえばそう思わない」が16.7%、「そう思わない」が6.5%となっています。

⑭地域で暮らす外国人と接するときに困ったこと

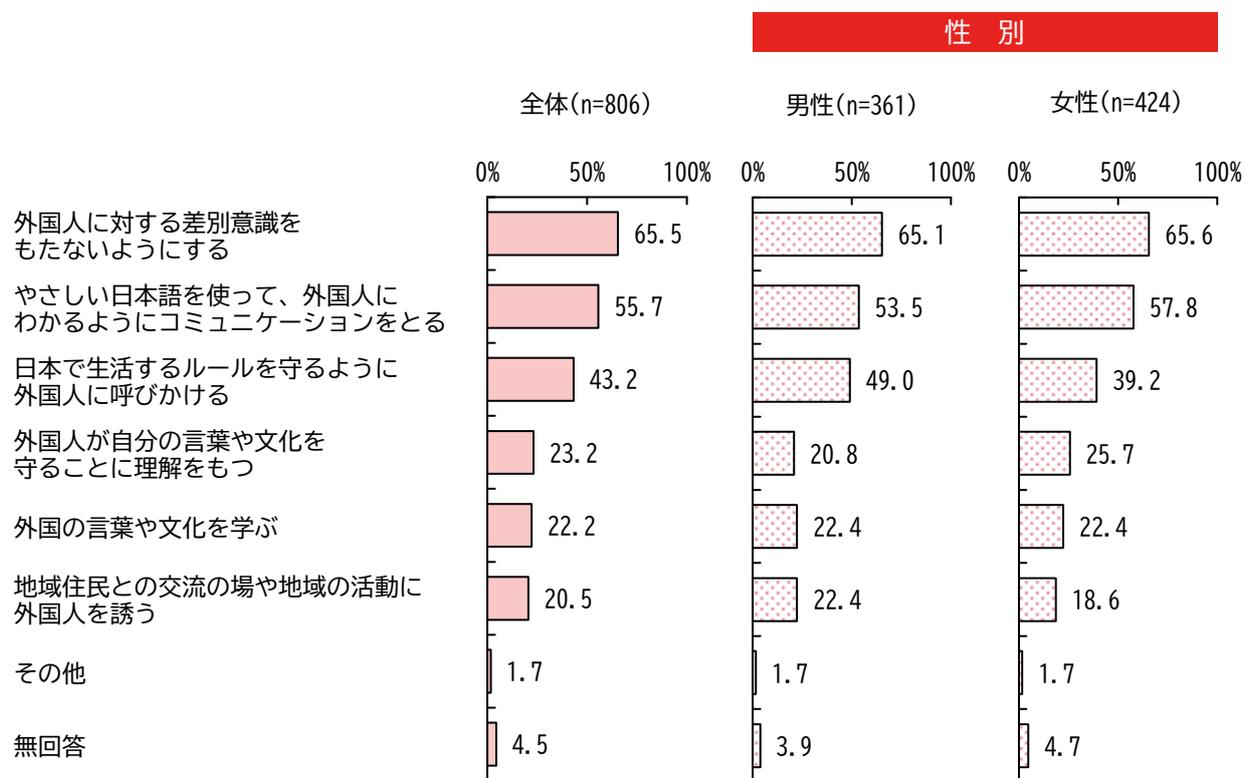
問42 地域で暮らす外国人と接するときに、困ったことはありますか。(1つを選択)



地域で暮らす外国人と接するときに困ったことでは、「ある」が15.0%、「ない」が75.6%となっています。

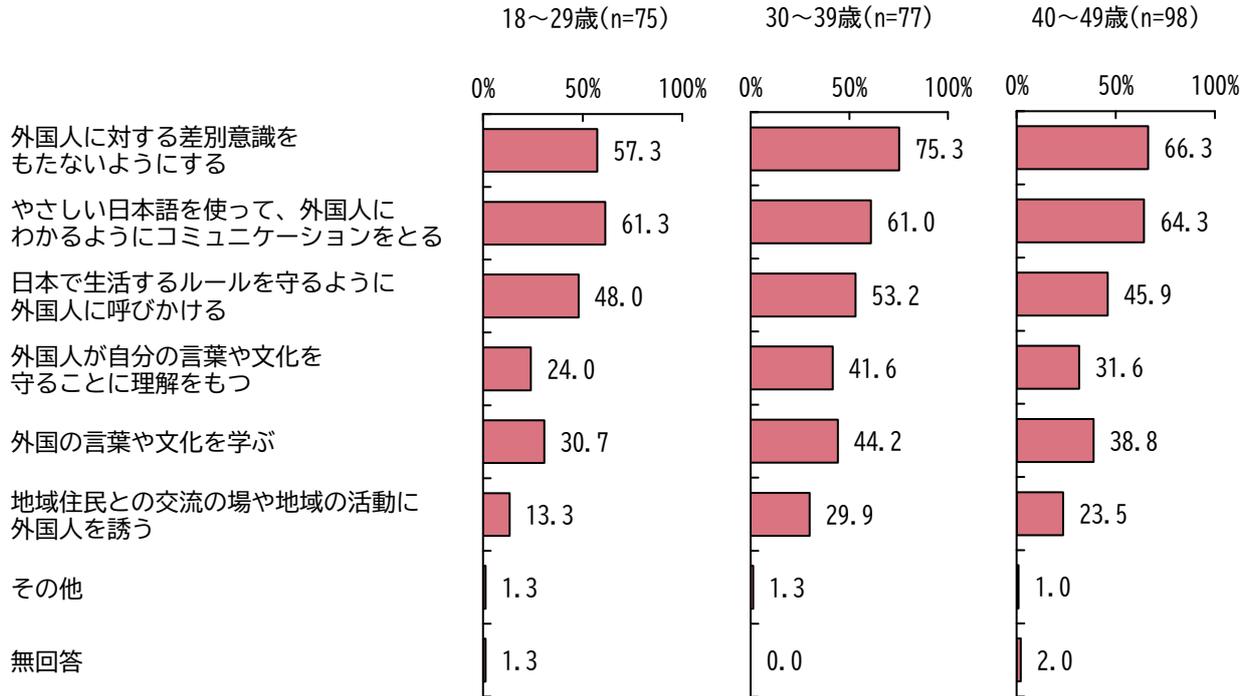
⑮地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするためにすべきこと

問44 地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、あなた自身は何をすべきと思いますか。(複数選択可)

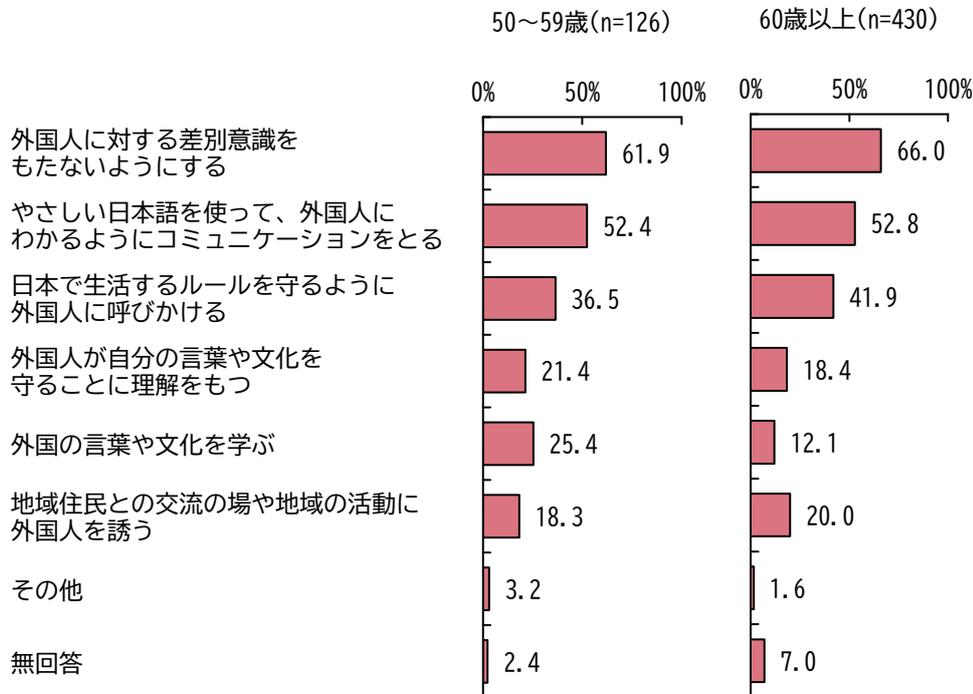


地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするためにすべきことでは、「外国人に対する差別意識をもたないようにする」が65.5%と最も多く、次いで「やさしい日本語を使って、外国人にわかるようにコミュニケーションをとる」が55.7%、「日本で生活するルールを守るように外国人に呼びかける」が43.2%などとなっています。

年 齢 別



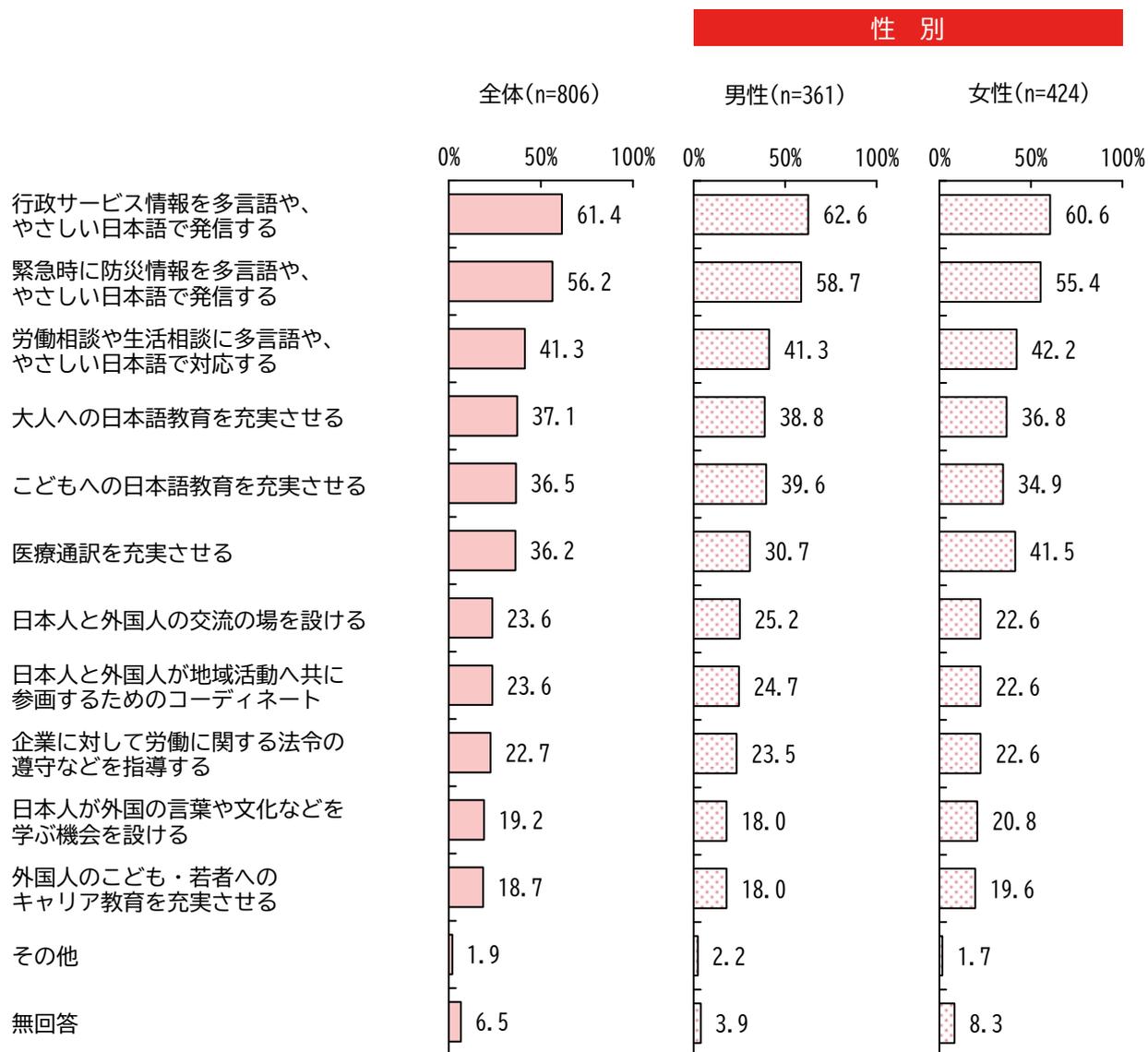
年 齢 別



年齢別でみると、「18～29歳」は「やさしい日本語を使って、外国人にわかるようにコミュニケーションをとる」が61.3%と最も多くなっています。

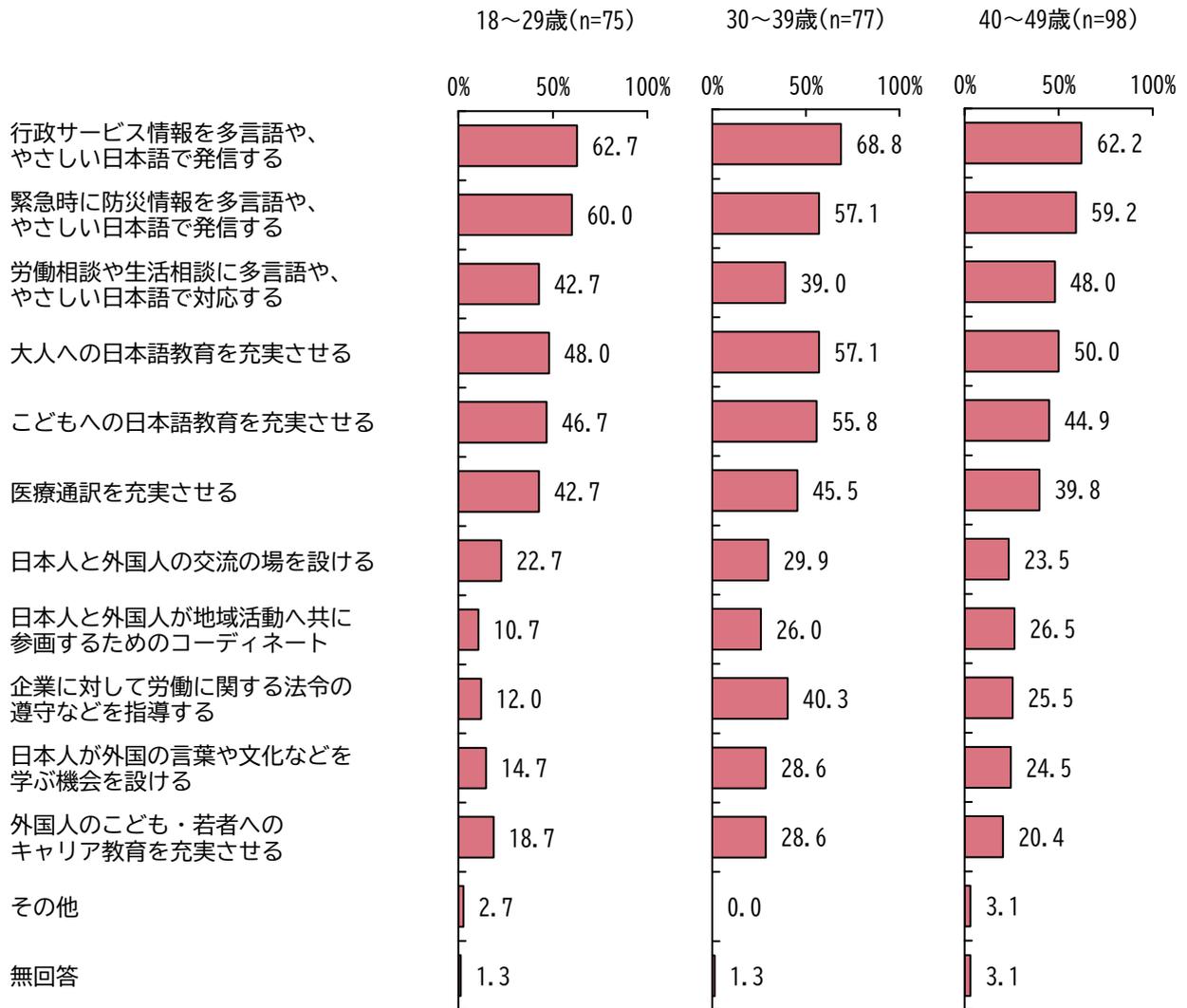
⑯日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために行政が力を入れるべき取り組み

問45 日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(複数選択可)

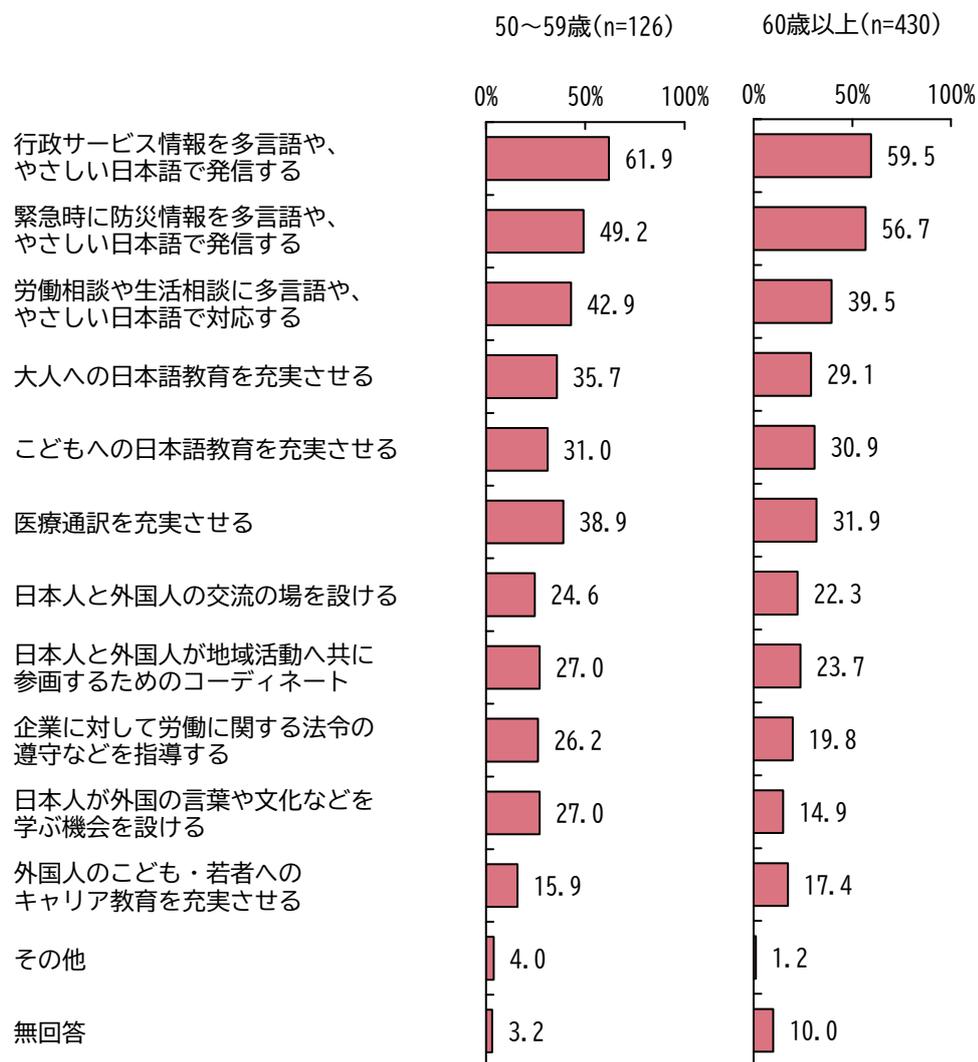


日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために行政が力を入れるべき取り組みでは、「行政サービス情報を多言語や、やさしい日本語で発信する」が61.4%と最も多く、次いで「緊急時に防災情報を多言語や、やさしい日本語で発信する」が56.2%、「労働相談や生活相談に多言語や、やさしい日本語で対応する」が41.3%などとなっています。

年 齢 別



年 齢 別



3. 調査票

3. 調査票

あなたの声をお聞かせください

男女共同参画・多文化共生に関する市民アンケート 調査票

～調査ご協力のお願～

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、皆様に男女共同参画及び多文化共生に関するお考えやご意見をお聞きし、今後の計画の策定・推進の参考とするため、意識調査を実施することになりました。

なお、調査にあたりましては、市内在住の18歳以上の方々2,000人を無作為に選ばせていただき調査票をお送りしています。この調査の結果は、計画推進の目的のみに使用するものであり、他の目的に使用することや内容についてご迷惑をおかけすることは決してありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年11月 湖西市長 影山 剛士

【ご回答にあたって】

対象	市内在住の満18歳以上の方から無作為に抽出した2,000人の市民
調査基準日	令和6年11月1日現在の状況をお答えください。
回答者	<ul style="list-style-type: none">・この調査は、宛名のご本人が、ご自身のお考えをお答えください。・宛名のご本人がご病気などで、自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入のお手伝いをさせていただいても構いません。・回答はすべて無記名です。個人が特定されることはありません。
回答方法	下記のいずれかの方法でご回答ください。 ア) この調査票（紙）の郵送による回答 この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストに投函してください。 イ) オンライン回答フォームによる回答 ①オンライン回答フォームへアクセス URL : https://logoform.jp/form/oU27/739363 ②回答フォームに入力
回答期限	令和6年11月25日（月）までにご回答ください。
集計・公表	<ul style="list-style-type: none">・調査結果は、市ウェブサイトにおいて公表いたします。・回答内容はすべて統計的に処理し、個人情報公表されることはありません。



問合せ先：湖西市市民安全部市民課 〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
(TEL) 053-576-1213 (FAX) 053-576-4880 (MAIL) kyodo@city.kosai.lg.jp

I あなたのことについてお伺いします

(問1) 性別 (1つを選択)	1. 男性	2. 女性	3. その他
(問2) 年齢 ※令和6年11月1日現在 (1つを選択)	1. 18~24歳 2. 25~29歳 3. 30~34歳 4. 35~39歳	5. 40~44歳 6. 45~49歳 7. 50~54歳 8. 55~59歳	9. 60~64歳 10. 65~69歳 11. 70~74歳 12. 75歳以上
(問3) お住まいの地区 (1つを選択)	1. 湖西中学校区 2. 岡崎中学校区	3. 白須賀中学校区 4. 鷺津中学校区	5. 新居中学校区
(問4) 自身の職業 ※兼業の方は主なものをお選びください。 (1つを選択)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 1. 正規雇用者（会社員・公務員など） 2. 非正規雇用者（パート・派遣社員など） 3. 自営業（農林漁業・商工業など） 4. 経営者・役員 </div> 5. 専業主婦・主夫 6. 学生 7. 無職 8. その他（_____）		
(問5) 業種 ※兼業の方は主なものをお選びください。 (1つを選択)	1. 農林漁業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業 7. 卸売・小売業 8. 金融・保険業 9. 不動産業 10. 飲食店・宿泊業 11. 医療・福祉 12. 教育・学習支援業 13. サービス業 14. 公務員 15. その他（_____）		
(問6) 未婚・既婚別 (1つを選択)	1. 未婚 2. 既婚（事実婚・同性カップルなどを含む） 3. その他（離別・死別など）		
(問7) 配偶者・パートナーの職業 ※〈問6で「2. 既婚（事実婚・同性カップルなどを含む）」とお答えの方〉 (1つを選択)	1. 正規雇用者（会社員・公務員など） 2. 非正規雇用者（パート・派遣社員など） 3. 自営業（農林漁業・商工業など） 4. 経営者・役員 5. 専業主婦・主夫 6. 学生 7. 無職 8. その他（_____）		
(問8) 同居家族 (複数選択可)	1. いない（ひとり暮らし） 2. 配偶者（事実婚・同性パートナーなどを含む） 3. 自分自身の親 4. 配偶者・パートナーの親 5. 子 6. 孫 7. 祖父母 8. きょうだい 9. その他（_____）		

(問9) 同居している 一番下の子ども (1つを選択)	1. 3歳未満 2. 3歳以上の未就学児 3. 小学生 4. 中学生 5. 高校生	6. 短大・専門・大学生 7. 社会人 8. 同居している子どもはいない 9. その他 ()
(問10) あなたの介護の 状況 (1つを選択)	1. 現在、家族を介護・介助している 2. 現在、家族を介護・介助していない	

Ⅱ 以下の言葉・考え方についてお伺いします

問11 次の言葉・考え方についてどのくらい知っていますか。(それぞれ1つを選択)

	よく知っている	少し知っている	言葉だけ知っている	知らない
①男女共同参画	1	2	3	4
②リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	1	2	3	4
③性的マイノリティ (またはLGBTQ+)	1	2	3	4
④多文化共生	1	2	3	4

Ⅲ 社会における男女平等についてお伺いします

問12 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること(性別役割分担意識)について、あなたはどのようにお考えですか。(1つを選択)

1. 同感しない	3. どちらかといえば同感する
2. どちらかといえば同感しない	4. 同感する

問13 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(それぞれ1つを選択)

	男性が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性が優遇 されている	平 等	どちらかといえば 女性が優遇 されている	女性が非常に 優遇されている
①家庭生活	1	2	3	4	5
②職場	1	2	3	4	5
③学校教育の場	1	2	3	4	5
④地域 (自治会・PTA等)	1	2	3	4	5
⑤政治の場	1	2	3	4	5
⑥法律や制度の上	1	2	3	4	5
⑦社会通念や慣習・ しきたり	1	2	3	4	5

問14 男女の平等を達成するために、重要なことは何だと思えますか。(複数選択可)

1. 性差別につながる法律や制度を見直すこと
2. 性別に関する偏見や社会通念、慣習をなくすこと
3. 女性が仕事で能力を発揮できること
4. 一定の割合で女性を重要な役職に登用する制度を充実させること
5. 育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること
6. 子育てや介護に男性が参画すること
7. 学校教育で男女平等教育を推進すること
8. 社会教育（成人への啓発）の場で男女平等に関する啓発を推進すること
9. 家庭のこと・DV等について相談できる窓口が充実していること
10. 防災活動や地域活動へ女性が参画すること
11. 再就職や多様な働き方がしやすい社会づくりを進めること
12. その他（具体的に：_____）

IV 家庭生活における役割分担についてお伺いします

問15 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思えますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。

(それぞれ1つを選択)

		主に男性が行う	どちらかといえば男性が行う	男性と女性が同程度行う	どちらかといえば女性が行う	主に女性が行う
家計	①生活費を稼ぐこと	1	2	3	4	5
	②日常の家計管理	1	2	3	4	5
	③高価な契約 (住宅・車など)	1	2	3	4	5
家事	④食事作り	1	2	3	4	5
	⑤洗濯	1	2	3	4	5
	⑥掃除	1	2	3	4	5
	⑦ゴミ出し	1	2	3	4	5
育児	⑧日用品の買い物	1	2	3	4	5
	⑨子どものお世話	1	2	3	4	5
その他	⑩子どもの進路決定	1	2	3	4	5
	⑪家族の介護	1	2	3	4	5
	⑫地域行事の役員	1	2	3	4	5
	⑬地域行事への参加	1	2	3	4	5

問16 家事・育児・介護を外部化（有償サービス・家電等を利用）することについて、どのようにお考えですか。(それぞれ1つを選択)

	利用したほうが良い	どちらかといえば利用したほうが良い	どちらかといえば利用しないほうが良い	利用しないほうが良い
①家事	1	2	3	4
②育児	1	2	3	4
③介護	1	2	3	4

V 職業や労働、ワーク・ライフ・バランスについてお伺いします

問17 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。(1つを選択)

1. 女性は職業をもたないほうがよい
2. 結婚するまで職業をもつほうがよい
3. こどもができるまで職業をもつほうがよい
4. 出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい
5. 結婚・出産・育児の有無にかかわらず、ずっと職業をもち続けるほうがよい
6. その他(具体的に: _____)

問18 男性と比較した場合、現在の女性の働きやすさの状況について、どのように思いますか。
(1つを選択)

1. たいへん働きやすいと思う
2. ある程度働きやすいと思う
3. あまり働きやすいと思わない
4. 働きやすいと思わない
5. わからない

→〈問18で「3. あまり働きやすいと思わない」、「4. 働きやすいと思わない」とお答えの方に伺います。〉

問19 女性が働きやすくない状況の原因は何だと思えますか。(複数選択可)

1. 結婚や出産を機に退職する慣習や圧力があること
2. 夫(パートナー)や家族の理解や協力が十分でないこと
3. 賃金、昇進などの面で男性と同等の待遇になっていないこと
4. 男性よりも家事・育児・介護の負担が大きい中で働くこと
5. 家事や育児は主に女性が担うものという社会の風潮があること
6. 日本には、そもそも長時間労働や休日出勤のある仕事が多いこと
7. 育児休業・休暇が取得しにくいこと
8. 育児施設の不足
9. 介護休業・休暇が取得しにくいこと
10. 介護施設の不足
11. 女性の上司に対して身構えたり、抵抗感のある部下や同僚がいること
12. その他(具体的に: _____)

問20 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることに、あなたはどのようにお考えになりますか。(それぞれ1つを選択)

	積極的に取ったほうが良い	どちらかといえば取ったほうが良い	どちらかといえば取らないほうが良い	取らないほうが良い
①育児休業・休暇	1	2	3	4
②介護休業・休暇	1	2	3	4

問21 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境にありますか。(それぞれ1つを選択)

	取得しやすい	やや取得しやすい	やや取得しにくい	取得しにくい	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5

問22 あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「個人の生活」について、優先させたいものの理想と現実を教えてください。

※「個人の生活」とは、趣味・学習・社会活動・付き合いなどを指しています。

(A、Bについてそれぞれ1つを選択)

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先(すべて)
A 理想の生活	1	2	3	4	5	6	7
B 現実の生活	1	2	3	4	5	6	7

Ⅵ DV(ドメスティック・バイオレンス)やセクシュアル・ハラスメントについてお伺いします

☆立ち入った質問になりますが、この調査は無記名で行っておりますので、回答された方に御迷惑がかかることは一切ありません。調査へのご協力をお願いします。

問23 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思えますか。（それぞれ1つを選択）

	どのような場合でもDVにあたると思う	DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う	DVにあたらなと思う
①平手で打つ	1	2	3
②足で蹴る	1	2	3
③からだを傷つける可能性のある物などで殴る・物を投げる	1	2	3
④殴るふりをして、おどす	1	2	3
⑤大声で怒鳴る	1	2	3
⑥家族や友人との関わりを制限する	1	2	3
⑦電話・メール・SNSを細かく監視する	1	2	3
⑧ほかの異性との会話を許さない (同性パートナーの場合は同性)	1	2	3
⑨何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑩「誰のおかげで生活できているんだ」 などと言う	1	2	3
⑪生活費を渡さない	1	2	3
⑫相手の金品を勝手に使ったり、借金を強要する	1	2	3
⑬嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑭避妊に協力しない	1	2	3

問24 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある（あった）人からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。（複数選択可）

1. 暴力を受けたことがある
2. 身近に暴力を受けた人がいる
3. 暴力を受けた人から相談されたことがある
4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
6. 経験したり見聞きしたことはない
7. その他（具体的に：_____）

→<問24で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方に伺います。>

問25 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

（複数選択可）

1. 暴力をふるった相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に訴えた
5. 仕方がないと思い、何もできなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. 暴力をふるった相手から離れた
9. その他（具体的に：_____）

問26 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメントについて経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。(複数選択可)

1. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある
2. 身近にセクシュアル・ハラスメントを受けた人がいる
3. セクシュアル・ハラスメントを受けた人から相談されたことがある
4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
6. 経験したり見聞きしたことはない
7. その他(具体的に： _____)

→<問26で「1. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」と答えた方に伺います。>

問27 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。(複数選択可)

1. セクシュアル・ハラスメントを行った相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に相談した
5. 仕方がないと思い、何もできなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. セクシュアル・ハラスメントを行った相手から離れた
9. その他(具体的に： _____)

問28 あなたは過去に、今のあなたの心身や暮らしに悪影響を与えるような傷つき体験(例：虐待、DV、いじめ、セクシュアル・ハラスメント、性被害またはそれらの目撃など)がありますか。(1つを選択)

1. 悪影響のある傷つき体験はない
2. 傷つき体験があり、今も悪影響が出ていて、全く回復していない
3. 傷つき体験があり、今も悪影響が出ているが、徐々に回復しつつある
4. 傷つき体験があり、悪影響が出ていた時期があったが、完全に回復している
5. 生きづらさを感じるが、傷つき体験が原因なのかわからない

問29 女性が困難な状況から回復するには、どのようなことが重要だと思いますか。(複数選択可)

1. 安心できる居場所
2. 話を聞いてくれる身近な人の存在
3. 仕事の充実感
4. 経済的な安定
5. 支援制度や相談先など自分の助けになる情報を得られること
6. 実際に支援窓口に助けを求めに行くこと
7. 医師や弁護士、カウンセラーなど専門職の支援
8. 必要なことはない
9. その他(具体的に：_____)

Ⅶ 性的マイノリティについてお伺いします

問30 あなたの周りに性的マイノリティ(LGBTQ+)※の方はいますか。(1つを選択)

1. いる
2. いない
3. わからない

※性的マイノリティ(LGBTQ+)とは、性的少数者ともいいます。同性に恋愛感情をもつ人や、自分の性に違和感がある人など、全体的に見ると少数派とされる人々のことをいいます。

問31 あなたの身近な人(家族、友人、知人)などから、性的マイノリティ(LGBTQ+)であると打ち明けられた場合、あなたの気持ちや態度に近いものはどれですか。(複数選択可)

1. 今までどおり接する
2. どう接すればよいかわからなくなる
3. 距離を置きたいと思う
4. 理解したいと思う
5. 理解がむずかしいと思う
6. 打ち明けてくれてうれしいと思う
7. その他(具体的に：_____)

問32 性的マイノリティ(LGBTQ+)の方々が生活しやすくなるためにどのような施策が重要だと思いますか。(複数選択可)

1. 情報発信を通じた啓発活動の充実
2. 相談窓口の充実
3. 小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施
4. 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換の実施
5. 働きやすい職場環境づくりへの働きかけ
6. 交流の場の充実
7. 理解を深める研修やイベントの開催
8. わからない
9. その他(具体的に：_____)

Ⅷ その他についてお伺いします

問33 東日本大震災や能登半島地震などの教訓から、防災に対して男女共同参画の視点が必要だと指摘されています。災害に強い地域をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。
(複数選択可)

- 1. 自主防災組織の役員・リーダーを男女双方が担う
- 2. 自主防災組織や避難所運営組織での分担を決めるとき、性別で役割を固定的に考えない
- 3. 災害時に、性別や年齢、妊産婦、障害の有無などに応じた配慮ができるよう、あらかじめマニュアルなどで対応を決めておく
- 4. 日ごろの近所付き合いで顔を見知っておき、いざという時に助け合える関係をつくっておく
- 5. 女性や乳幼児などが必要とする物資を、地域でも備蓄しておく
- 6. その他(具体的に: _____)

問34 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。(1つを選択)

- 1. 十分に反映されている
- 2. まあまあ反映されている
- 3. あまり反映されていない
- 4. まったく反映されていない
- 5. わからない
- 6. その他(_____)

男女共同参画についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

続いて、多文化共生に関するアンケートです→

※多文化共生とは・・・?

国籍や文化の違いにかかわらず、すべての人が互いの文化や習慣、考え方を理解し、地域社会を支える一員としてともに生きることです。

IX 多文化共生にかかわることについてお伺いします

問35 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。(複数選択可※過去の経験を含む)

- 1. 一緒に働いている(働いていた)
- 2. 学校と一緒に勉強している、または教えている(勉強していた、教えていた)
- 3. 友人として付き合い合っている(付き合い合っていた)
- 4. 自分または親せきが外国人と結婚して日本に住んでいる(住んでいた)
- 5. 国際交流グループと一緒に活動している(していた)
- 6. こどもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している(していた)
- 7. 宗教活動(教会など)を通じて、一緒に活動している(していた)
- 8. その他のグループや地域活動と一緒に参加している(していた)
- 9. あいさつ程度のつき合いはある(あった)
- 10. 付き合いをもったことはない

▶<問35で「10. 付き合いをもったことはない」と答えられた方に伺います。>

問36 付き合いがない理由は何だと思いますか。(1つを選択)

- 1. 付き合うきっかけがない
- 2. 積極的に付き合いおうとは思わない
- 3. 付き合う必要がない

問37 近所で会えば挨拶をする外国人はいますか。(1つを選択)

- 1. たくさんいる
- 2. 少しいる
- 3. あまりいない
- 4. 全くいない

問38 地域で暮らす外国人についてどの程度親しみを感じますか。(1つを選択)

- 1. 親しみを感じる
- 2. どちらかといえば感じる
- 3. どちらかといえば感じない
- 4. 親しみを感じない

問39 問38のように考えるようになった理由を教えてください。(自由記述)

<理由>

問40 あなたは地域や職場において外国人からどのような影響を受けたと感じていますか。

(複数選択可)

- 1. 外国の文化に興味をもつようになった
- 2. 地域や職場のルールを見直すきっかけになった
- 3. 外国人と交流したり支援したりする機会が増えた
- 4. 騒音により困ったことがある
- 5. ゴミ出しルールが守られないことにより困ったことがある
- 6. 影響はない
- 7. その他(具体的に: _____)

問41 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。(それぞれ1つを選択)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
①外国人は、日本語を身につけたほうが良い	1	2	3	4
②外国人は、日本の文化やルールを知ったほうが良い	1	2	3	4
③外国人は、地域の活動に積極的に参加したほうが良い	1	2	3	4
④行政は、外国人が日本語や文化を学べるよう援助したほうが良い	1	2	3	4
⑤行政は、外国人がかれら自身の言語や文化を守るよう援助したほうが良い	1	2	3	4
⑥日本人は、地域に住む外国人の言語を学んだほうが良い	1	2	3	4
⑦日本人は、地域に住む外国人の文化やルールを知ったほうが良い	1	2	3	4
⑧日本人は、地域の活動に外国人を積極的に受け入れたほうが良い	1	2	3	4

問42 地域で暮らす外国人と接するときに、困ったことはありますか。(1つを選択)

1. ある 2. ない

▶問42で「1. ある」と答えた方に伺います。▶

問43 どのような場面でどのようなことに困りましたか。ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

問44 地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、あなた自身は何をすべきと思いますか。
(複数選択可)

1. 外国人に対する差別意識をもたないようにする
2. 日本で生活するルールを守るように外国人に呼びかける
3. 地域住民との交流の場や地域の活動に外国人を誘う
4. 外国の言葉や文化を学ぶ
5. 外国人が自分の言葉や文化を守ることに理解をもつ
6. やさしい日本語を使って、外国人にわかるようにコミュニケーションをとる
7. その他(具体的に: _____)

問45 日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(複数選択可)

1. 行政サービス情報を多言語や、やさしい日本語で発信する
2. 緊急時に防災情報を多言語や、やさしい日本語で発信する
3. 労働相談や生活相談に多言語や、やさしい日本語で対応する
4. 医療通訳を充実させる
5. 大人への日本語教育を充実させる
6. こどもへの日本語教育を充実させる
7. 日本人と外国人の交流の場を設ける
8. 日本人と外国人が地域活動へ共に参画するためのコーディネート
9. 企業に対して労働に関する法令の遵守などを指導する
10. 日本人が外国の言葉や文化などを学ぶ機会を設ける
11. 外国人のこども・若者へのキャリア教育を充実させる
12. その他(具体的に： _____)

多文化共生についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました市民意識調査票は同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、
11月25日(月)までにご投函くださいますようお願い申し上げます。